B5WY-0181-01

Color Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-C7300 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
PC-9800シリーズ、PC-9801、PC-9821は、日本電気(株)の商標です。
NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
TrueTypeフォントは米国Apple Computer社の登録商標もしくは商標です。
「平成明朝体W3」「平成角ゴシック体W5」は、財団法人日本企画協会フォント普及センターの商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本プリンタのソフトウェアには、the Independent JPEG Groupで作成されたコードの一部を利用しています。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック™W5は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
　刑法　第１４８条、第１４９条、第１６２条
　通貨及証券模造取締法　第１条、第２条等

●ＶＣＣＩ適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置を、家庭環境で使用する場合、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。
国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。
対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ及び複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラスIのレーザシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のカラーページプリンタXL-C7300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、カラー／モノクロ印刷時最大22枚／分（A4サイズ）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタ装置の設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2001年06月

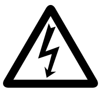
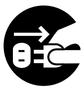
本文中の略語について

Microsoft®Windows®95 operating system/Microsoft®Windows®98 operating systemは、本文中ではWindows 95/Windows 98と表記しています。
Microsoft® Windows® Millennium Editionは、本文中ではWindows Meと表記しています。
Microsoft® Windows NT®Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。
Microsoft®Windows®2000 ProfessionalおよびMicrosoft®Windows® 2000 Serverは、本文中ではWindows 2000と表記しています。
※「Windows 98およびWindows Me」は「Windows 98/Me」、「Windows 2000およびWindows Me 」は「Windows 2000/Me 」、「Windows 95、Windows 98およびWindows Me」は「Windows 95/98/Me」、「Windows 98、Windows MeおよびWindows 2000」は「Windows 98/Me/2000」、「Windows 2000およびWindows NT4.0」は「Windows 2000/NT4.0」、「Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000およびWindows NT4.0」は「Windows 95/98/Me/2000/NT4.0」と略記しています。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

警告	注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意

警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本プリンタ定格電源は100V、15Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

⚠ 警告

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

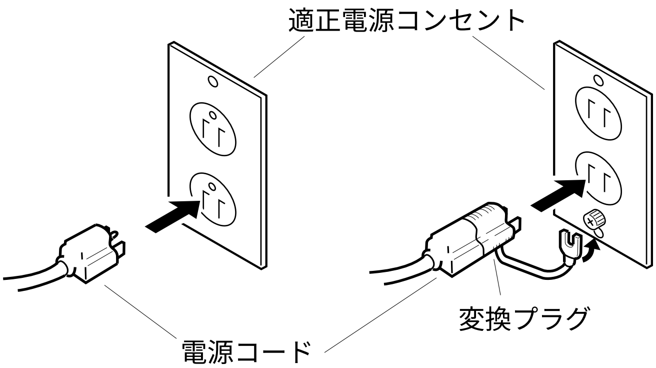
本プリンタに添付されている平行３ピンの電源コードを使用してください。３ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを650㎜ 以上地中に埋めたもの

・接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

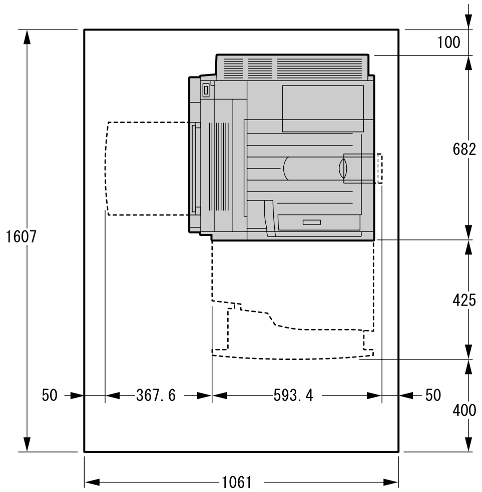
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面、背面および上面には通風口があります。プリンタは壁から100㎜ 以上離して設置し、通風口の上にはものを置かないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な400㎜以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

注意

プリンタは、重さ約85kg（消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。また、フルオプション（拡張給紙ユニット＋両面ユニット）でお使いになる場合は、重さ約125kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを設置する場合は、前後方向に5㎜、左右方向に10㎜以上傾けないでください。

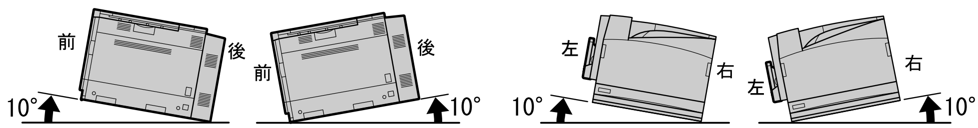
プリンタ内部の消耗品がこぼれて故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、ドラムカートリッジや廃トナーボックスを取り外さないでください。

取り外したドラムカートリッジや廃トナーボックスをもう一度取り付けると、内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、下図に示す角度以上に傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

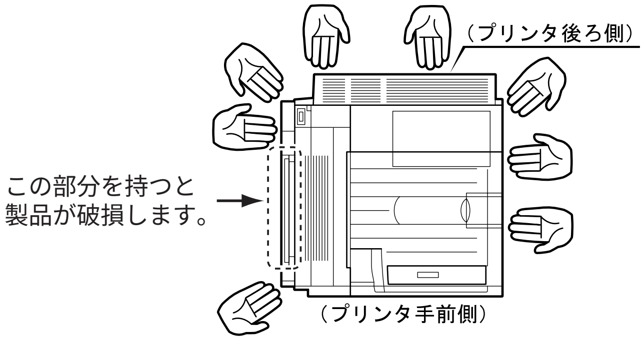


機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、製品が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

プリンタは、消耗品、用紙が入っていない状態で約79kgあります。プリンタを動かす場合は必ず4人以上で持ち運んでください。
プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（オペレータパネル側）に向かって、左右両側と後ろ側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。（xivページ⑥参照）

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態(「1」の状態)にしておきます。１ヶ月に１度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因となるおそれがあります。

なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合はご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。

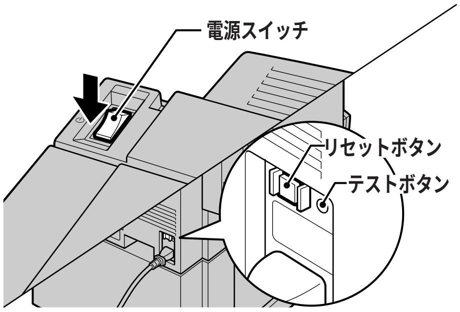
①プリンタの電源を切ります。

②ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンは押し込まれたままの状態となります。

③ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。

これで確認は終了です。

④再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。



つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。

(xivページ①、②、⑤参照)



１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。

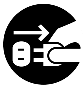
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。

・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

カートリッジ類の取り扱い上のご注意

⚠ 警告

トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのトナーカートリッジは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
（xivページ③参照）

廃トナーボックスを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みの廃トナーボックスは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
（xivページ④参照）

ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

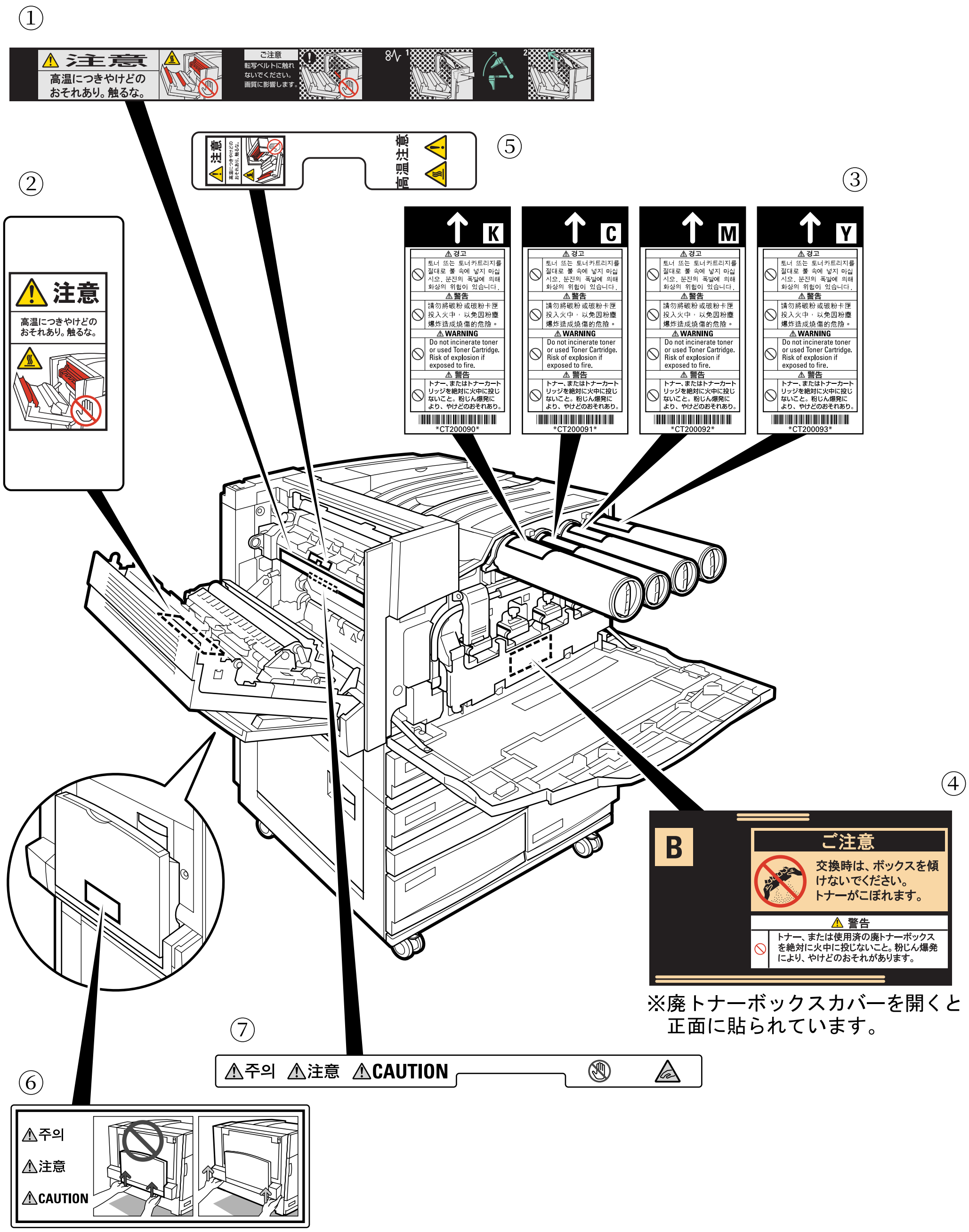
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのドラムカートリッジは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
（xivページ④参照）

トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。


①
注意
高温につきやけどのおそれあり。触るな。
ご注意
転写ベルトに触れないでください。画質に影響します。
②
注意
高温につきやけどのおそれあり。触るな。
⑤
注意
高温注意
③
K
C
M
Y
경고
토너 또는 토너 카트리지를 절대로 불 속에 넣지 마십시오. 분진의 폭발에 의해 화상의 위험이 있습니다.
警告
請勿將碳粉或碳粉卡匣投入火中，以免因粉塵爆炸造成燒傷的危險。
WARNING
Do not incinerate toner or used Toner Cartridge. Risk of explosion if exposed to fire.
警告
トナー、またはトナーカートリッジを絶対に火中に投じないこと。粉じん爆発により、やけどのおそれあり。
CT200090
CT200091
CT200092
CT200093
④
B
ご注意
交換時は、ボックスを傾けないでください。トナーがこぼれます。
警告
トナー、または使用済の廃トナーボックスを絶対に火中に投じないこと。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
※廃トナーボックスカバーを開くと正面に貼られています。
⑦
주의 注意 CAUTION
⑥
주의
注意
CAUTION

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。
「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目　次		内　容
第１章	お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第２章	プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第３章	外部との接続	プリンタをパソコンまたはLANに接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第４章	ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定する方法について説明します。
第５章	プリンタドライバのインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第６章	ネットワークソフトウェアのインストールおよびLPR印刷の設定	ネットワークソフトウェアのインストール方法について説明します。
第７章	プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。
第８章	インターネット印刷の設定	インターネットを経由して、プリンタを使えるようにする方法について説明します。

【運用編】

目　次		内　容
第９章	用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第10章	オプションについて	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
第11章	日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します
第12章	オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第13章	プリンタドライバの設定／印刷	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第14章	共通メニューの設定	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第15章	インターネットサービスの設定	Webブラウザを介して、プリンタの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするサービスを使えるようにする方法について説明します。
第16章	こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
付　録		プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い　本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

ガイド　本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

参照　本書内で参照していただきたい参照先を示します。

目　次

セットアップ編

運　用　編

セットアップ編

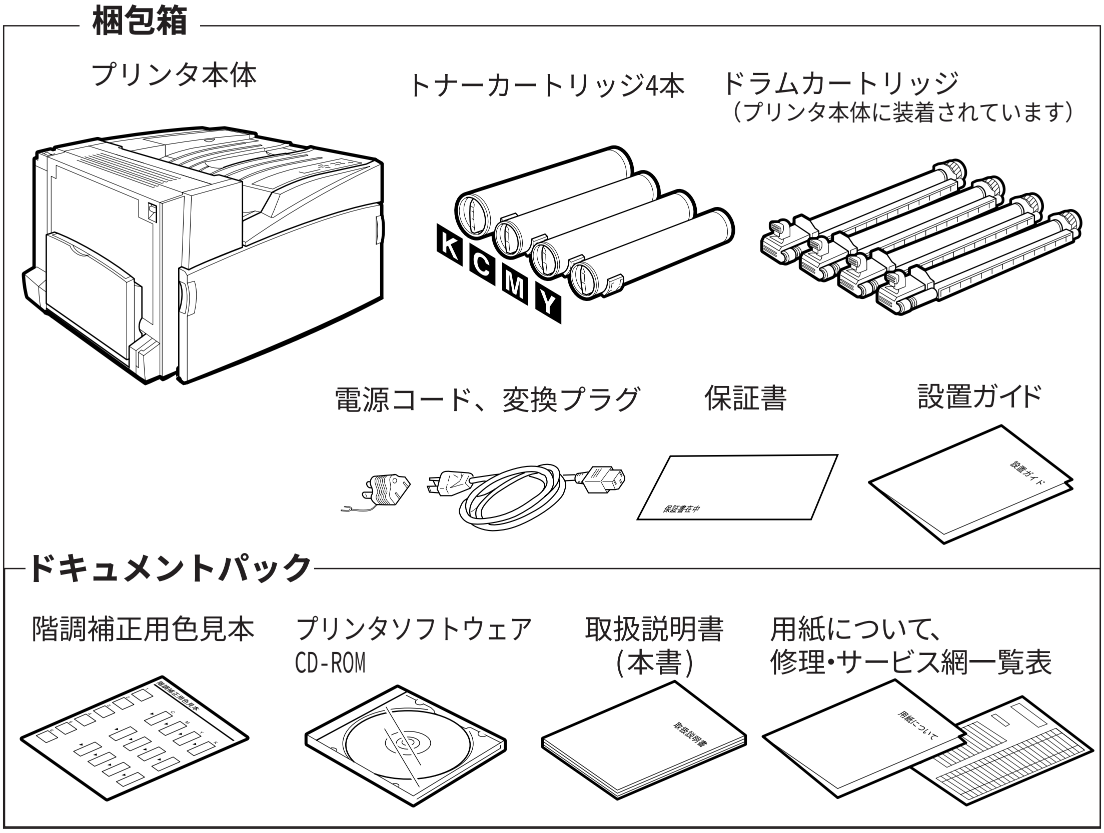
第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず４人以上で持ち運んでください。



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

本プリンタの特長

1 *高速プリントエンジンおよび高品質印刷*

カラー 22 枚／分、モノクロ 22 枚／分の高速印刷（A4 横／片面の連続印刷時)、および 1200 × 1200dpi の高解像度印刷、各色 256 階調のフルカラー印刷が可能です。

2 *LAN 標準装備*

TCP/IP(lpr,IPP,HTTP,DHCP)、UDP/IP(SNMP)をサポートし、Web からの状態監視／設定変更が可能(Internet Services)になりました。*(IPX/SPX[NetWare]は未サポート)

3 *優れた拡張性*

両面ユニットを取り付けることで、用紙の両面に印刷することができます。
拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けると、異なったサイズの用紙を 5 種類まで同時にセットしたり、最大 3,520 枚(拡張給紙ユニット -B 取り付け時)の用紙をセットしたりできます。
また、メモリは標準 32MB、最大 160MB まで増設が可能です。

4 *高性能なカラープリンタドライバのサポート*

Windows95/98/Me/2000/NT4.0 日本語版に対応し、高品位なカラー画像を鮮明に、かつ高速に印刷します。
Nアップ印刷／スタンプ印刷／拡大連写印刷／小冊子印刷等の特殊印刷機能にも対応しています。

5 *多様な用紙サイズに対応*

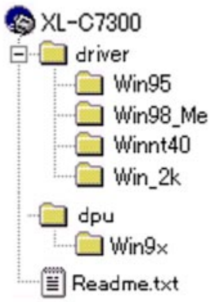
はがき、A5 ～ A3 サイズ、不定形サイズ（幅 305.0mm、長さ 482.0mm)、長尺用紙(幅 297mm、長さ 900mm 固定)までさまざまな用紙サイズに対応しています。

6 *エコノモードで省エネ・低ランニングコストを実現*

スリープモードを採用し、節電モード時5Wの低消費電力を実現しました。(エナジースター取得)
トナーセーブ／両面印刷／ N アップ印刷機能により、ランニングコストを低減できます。

CD-ROM の内容

本プリンタには、「Color Printia LASER プリンタソフトウェア」CD-ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。



XL-C7300ドライバディスク用フォルダ
- Windows 95用プリンタドライバ（V1.0.0）
- Windows 98/Me用プリンタドライバ（V1.0.0）
- Windows NT4.0用プリンタドライバ（V1.0.0）
- Windows 2000用プリンタドライバ（V1.0.0）

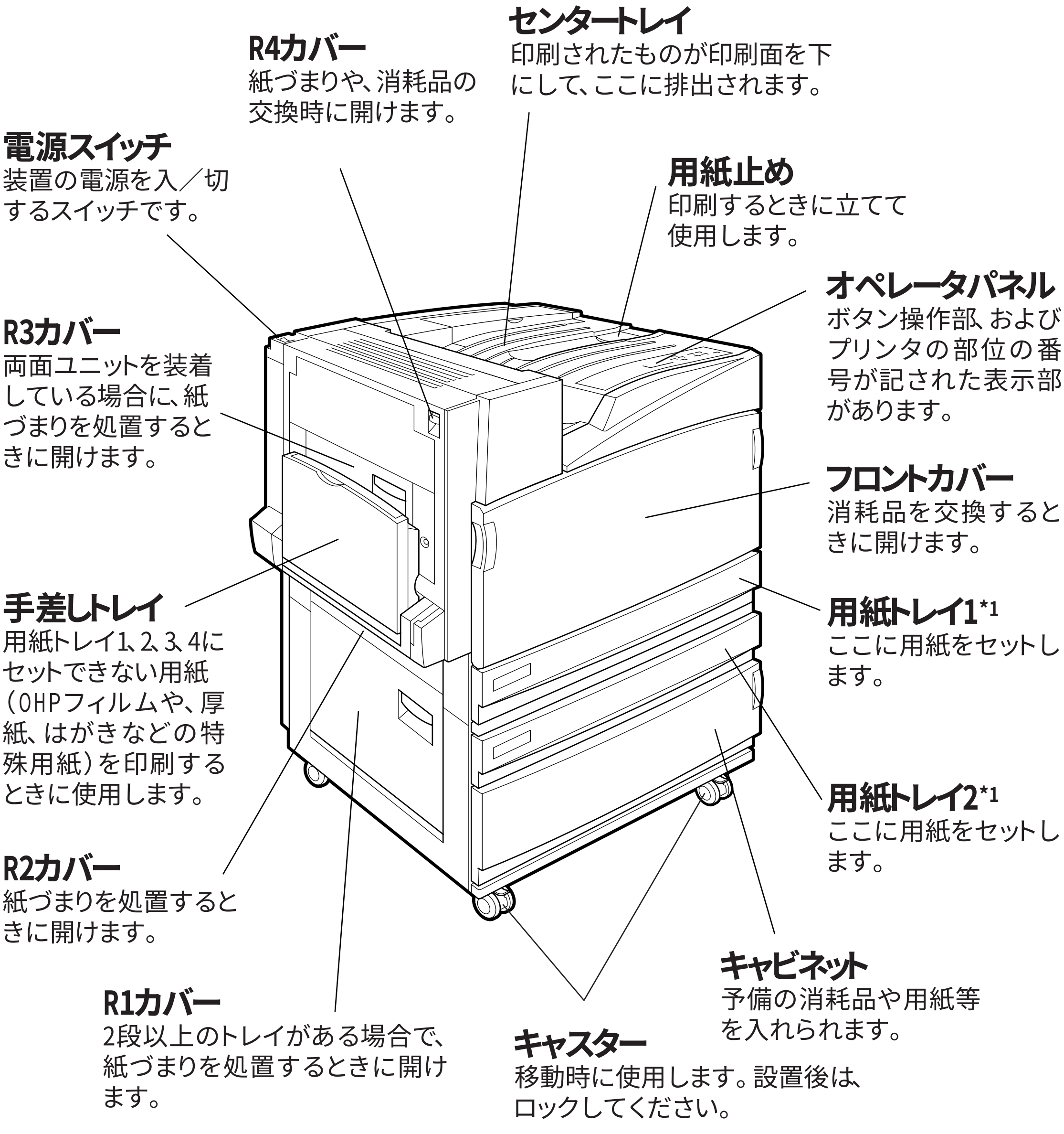
- TCP/IP Direct Print Utility（Windows 95/98/Me用）
- CD-ROM全体のReadmeファイル

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

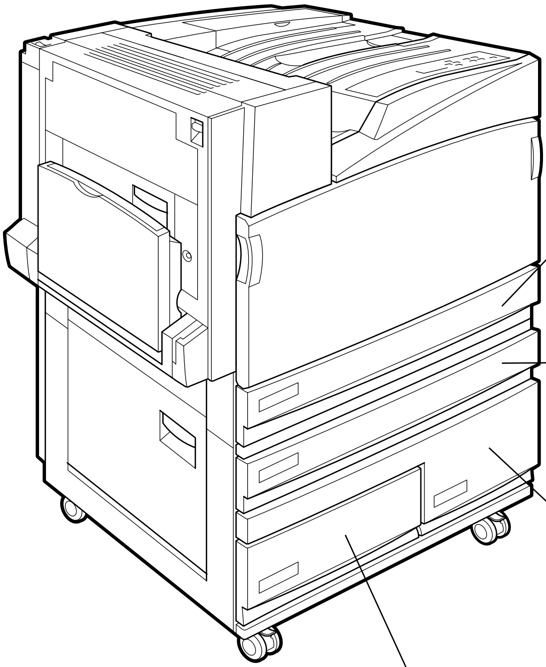
前面

拡張給紙ユニット -A 装着の場合（両面ユニット装着）



*1:トレイの段数は、トレイ1、2で合計2段になります。

拡張給紙ユニット -B 装着の場合（両面ユニット装着）



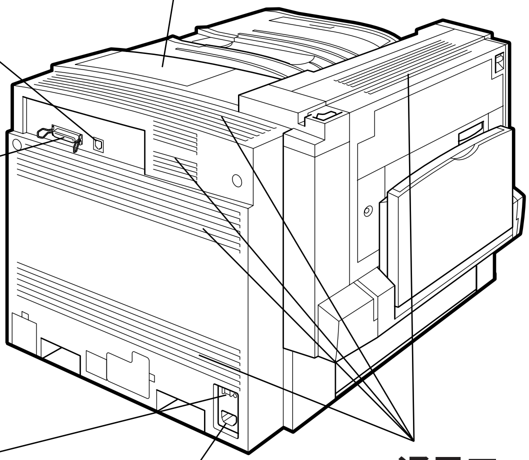
*1:トレイの段数は、トレイ1、2、3、4で合計4段になります。

（上記以外の各部名称と機能については、7ページの「拡張給紙ユニット -A」を参照してください。）

背面

LANケーブルコネクタ
プリンタをLAN経由で接続するためのコネクタです。

プリンタオプション用カバー
プリンタRAMモジュール（オプション）を取り付けるときに開けます。

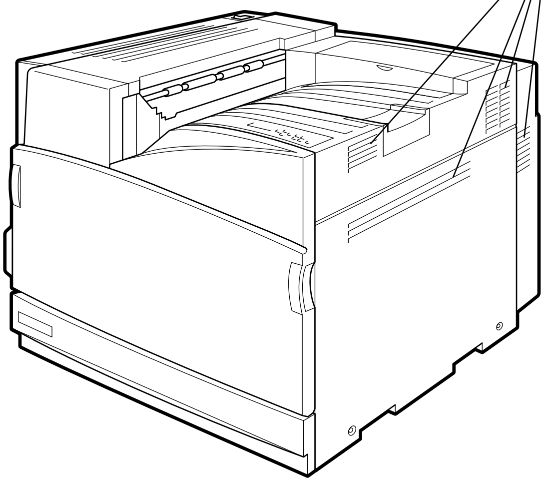


プリンタケーブルコネクタ
パソコンとパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。

ブレーカースイッチ
漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。

電源コードコネクタ
電源コードを差し込むコネクタです。

通風口
プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱を放出します。
設置時には通風口をふさがないでください。



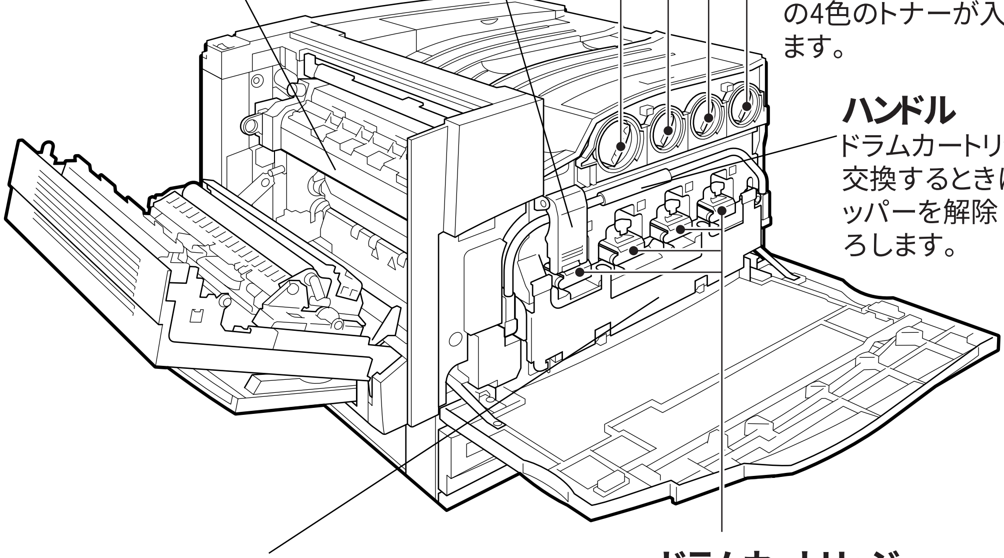
内部

ヒューザ
トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。

ストッパー
ハンドルを固定します。

トナーカートリッジ
ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の4色のトナーが入っています。

ハンドル
ドラムカートリッジを交換するときに、ストッパーを解除しておろします。



廃トナーボックスカバー
使用済みのトナーを回収する廃トナーボックス（B）が奥に入っています。廃トナーボックスを交換するときに開けます。

ドラムカートリッジ（A1、A2、A3、A4）
感光体がセットされています。
プリンタに向かって左から、A1、A2、A3、A4です。

第2章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

- いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　　温度　10 ～ 32℃　　湿度 15 ～ 85％（結露がないこと）
　温度32℃のときは湿度47.5％以下、湿度が85％のときは温度27.8℃以下でご使用ください。
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、製品の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- 電源コンセントは本プリンタ専用にお使いください。
　1つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。
　電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、100V、12A です。
- プリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- プリンタを前後 5㎜、左右 10㎜ 以上傾けて設置しないでください。トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

● ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

・本プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・本プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

お願い

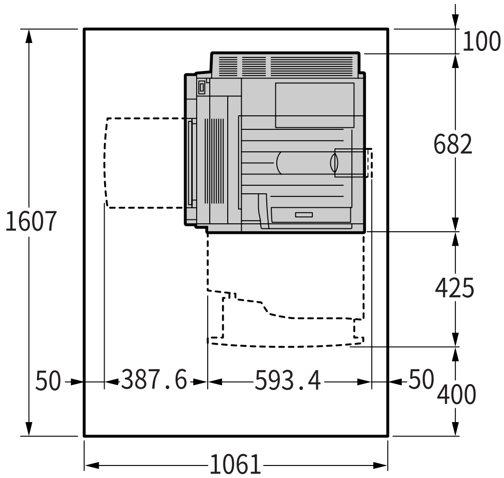
－超音波加湿器をご使用のお客様へ－

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

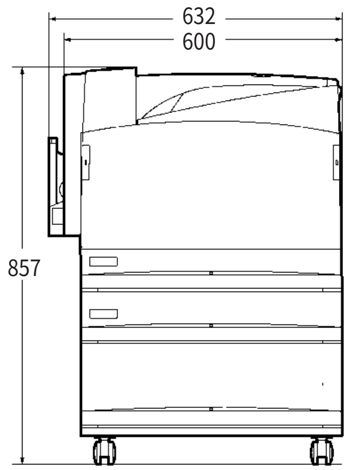
プリンタの寸法および設置スペース

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

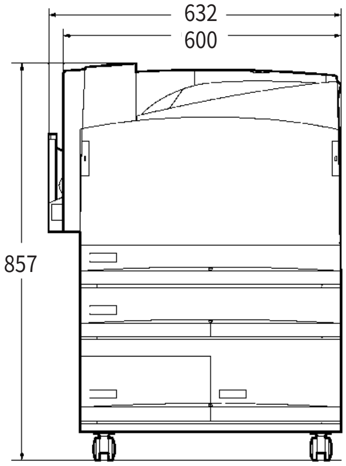
＜上面図＞



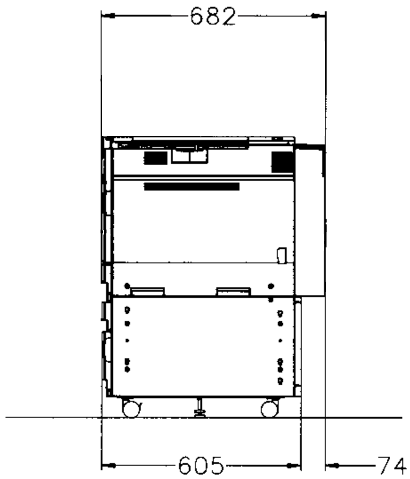
＜正面図＞（拡張給紙ユニット -A 装着時）



＜正面図＞（拡張給紙ユニット -B 装着時）



＜側面図＞



⚠注意	火　災　製品の背面、上面奥と上面左側には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、製品の操作、消耗品の交換、および日常の点検など、製品を正しく使用し、製品の性能を維持するために、上図の設置スペースを確保してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

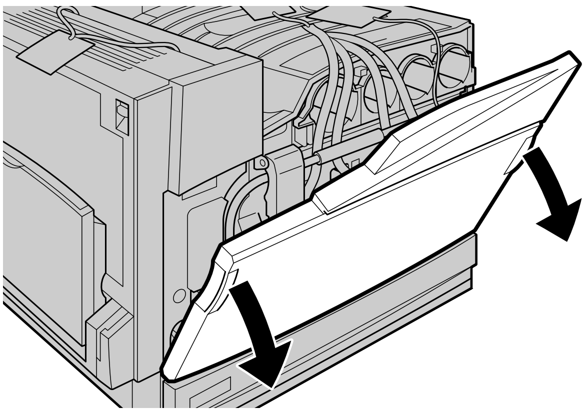
梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認」(4ページ)に記載してあります。

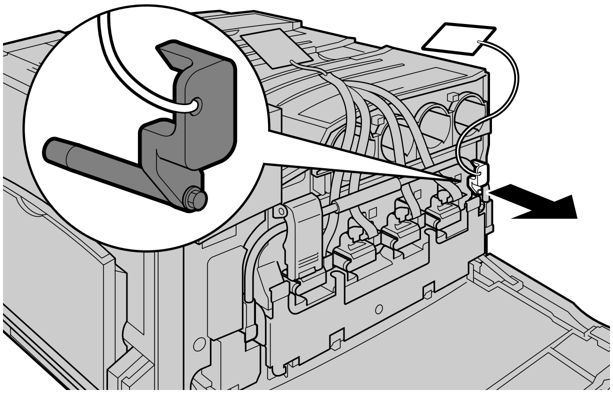
スペーサの取り外し

お願い

取り除いたスペーサは、製品の内部に残さずに、必ず取り除いてください。

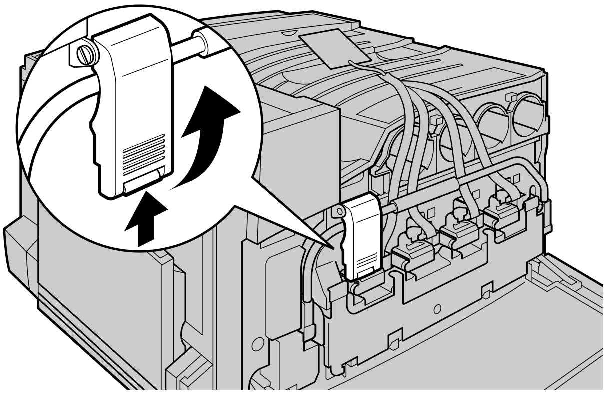


1　フロントカバーを開ける

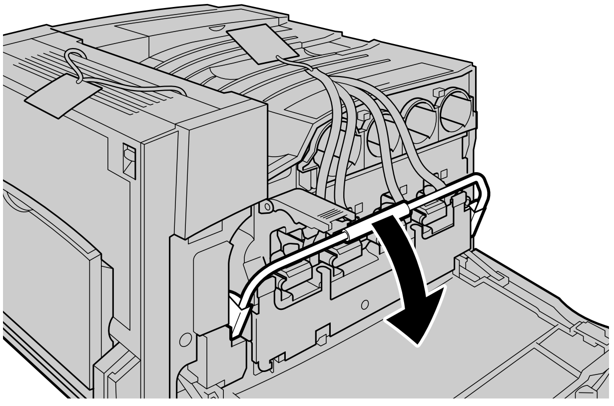


2　正面の右側のタグに付いている黒い固定ピンを、手前に強めに引き抜く

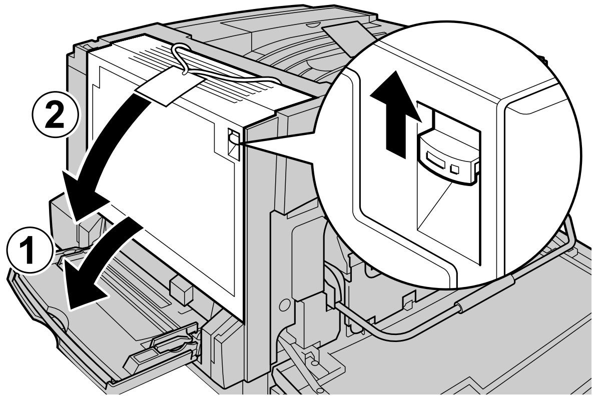
固定ピンが取り外されます。



3　正面左側にあるストッパーを持ち上げる



4　ハンドルを下ろす



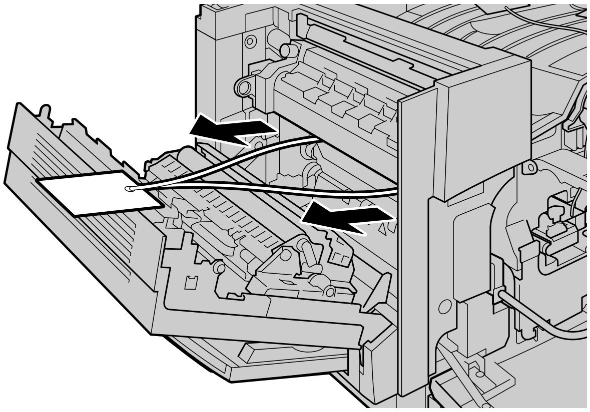
5　①手差しトレイを開いて、スペーサ（ビニールシート）を取り除き、②本体の左側カバーの解除レバーを押し上げて、左側カバーを開ける

6　タグに付いている赤いひもを、強めに引き抜く

２つの固定ピンが取り外されます。

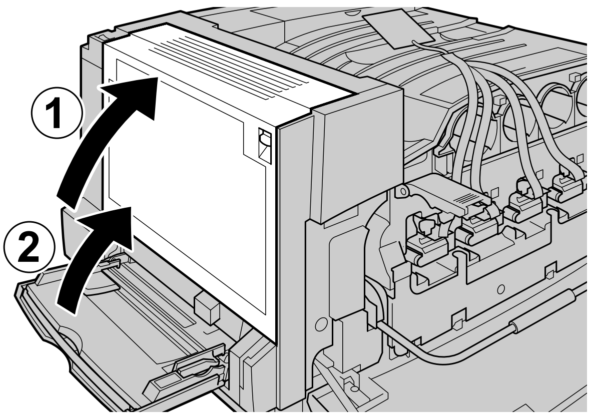
お願い

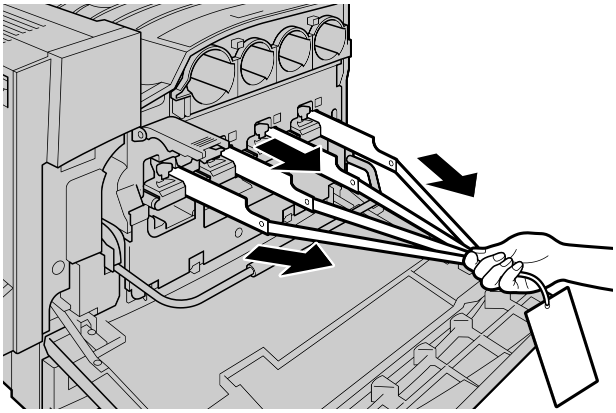
- ボンと音がしますが、異常ではありません。
- 固定ピンは、製品の中に残さないでください。そのまま閉めると故障の原因となります。



斜めに引かずに、矢印の方向にまっすぐ引いてください。

7　左側カバー（①）、手差しトレイ（②）の順番に閉じる



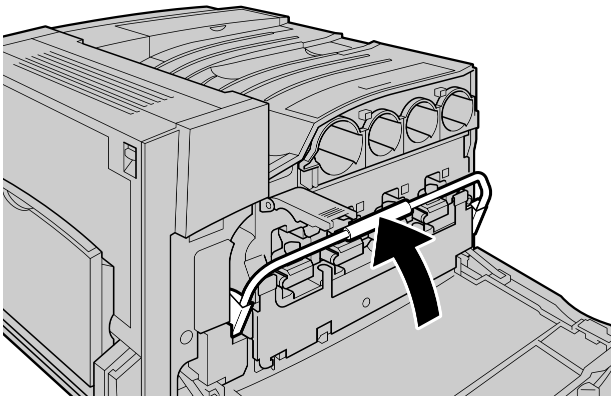


8 本体正面のタグに付いている４本の赤いビニールテープを、手前にゆっくり引き抜く

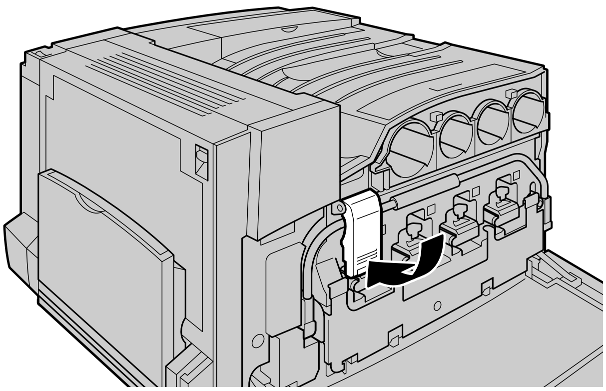
スペーサ４枚が取り除かれます。

お願い

スペーサと一緒にドラムカートリッジが引き出されてしまった場合は、元の位置に押し込んでください。



9 ハンドルを上に戻す



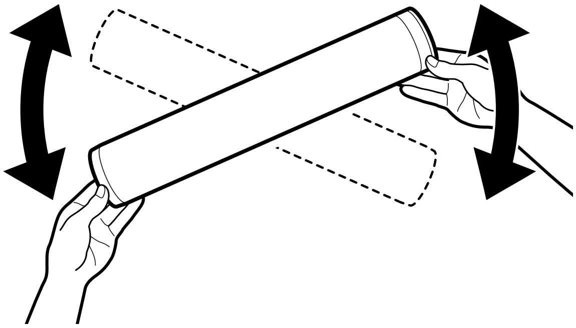
10 ストッパーを下ろす

トナーカートリッジの取り付け

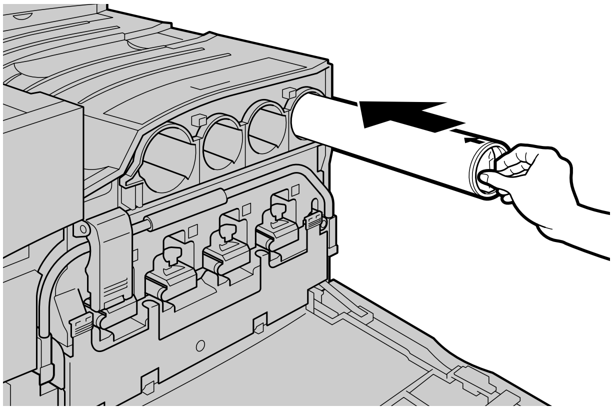
⚠警告	やけど　トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

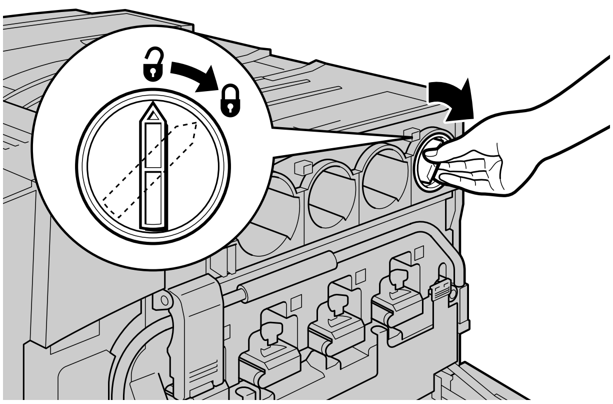
1　*トナーカートリッジ４本（KCMY）を、梱包箱から取り出す*

2　*図のように、軽く3～4回振り、中のトナーを均一にする*



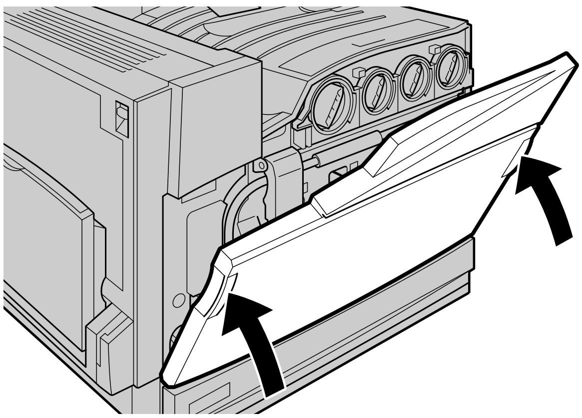
3　*本体正面のトナーカートリッジ差し込み位置と同じ色のトナーカートリッジを、矢印（↑）部を上に向けて、製品の奥に突き当たるまで差し込む*





4　トナーカートリッジを、鍵印（🔒）まで、右にゆっくりと回して固定する

5　2～4を繰り返して、4本のトナーカートリッジをすべて取り付ける



6　フロントカバーを閉じる

ガイド　フロントカバーが閉まらない場合は、以下の手順に戻り、確認してください。

・ハンドルを上に戻す。

参照　「スペーサの取り外し」の手順9（18ページ）参照

・ストッパーを下ろす。

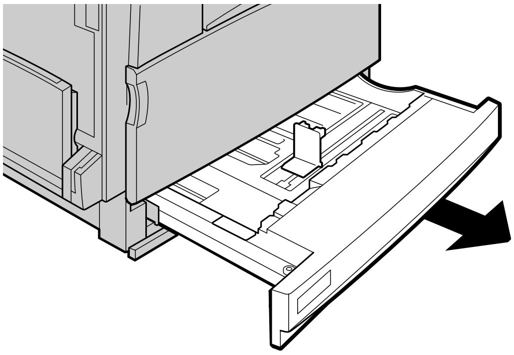
参照　「スペーサの取り外し」の手順10（18ページ）参照

・トナーカートリッジを固定する。

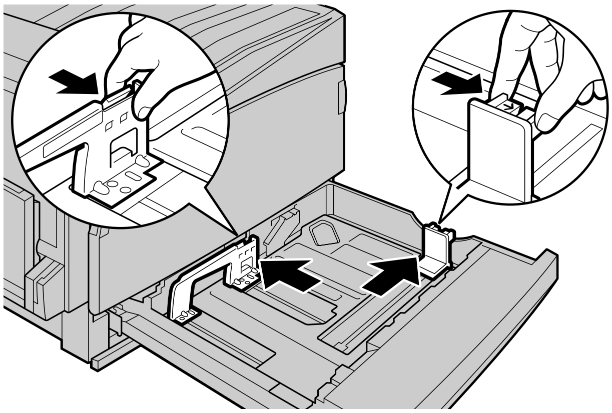
参照　「トナーカートリッジの取り付け」の手順4（20ページ）参照

給紙カセットに用紙をセットする

ここでは、トレイ１を例に、A4サイズの用紙をたて向きにセットする方法について説明します。



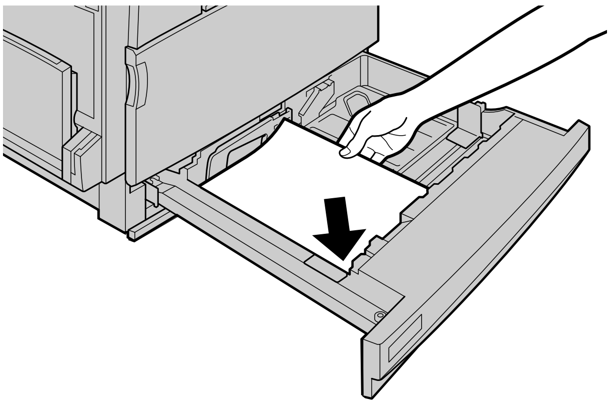
1　*用紙トレイ１を、止まるまで手前に引き出す*



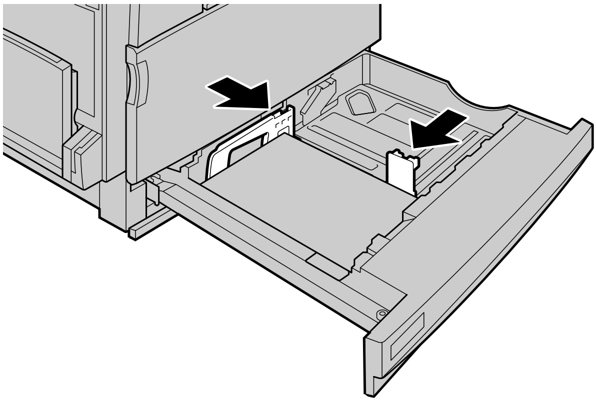
2　*トレイ内にある２か所の用紙ガイドをクリップをつまんで外側にずらす*

ガイド

工場出荷時、用紙トレイ１の用紙ガイドは、A4サイズのたて向きに合わせてあります。



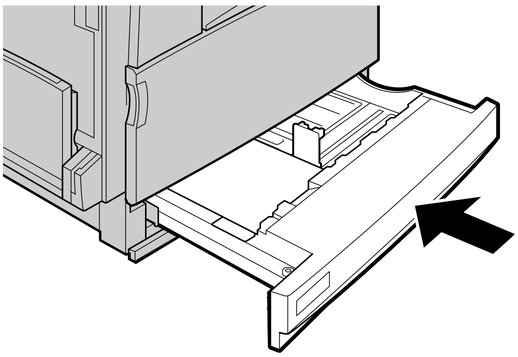
3　*用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、左手前に用紙をセットする*



4 *用紙ガイドのクリップをつまみながら、用紙の端に当たるまでずらす*

お願い

- 折りめやシワが入った用紙や、カールしている用紙は使用しないでください。また、最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。
- 用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。用紙ガイドが目盛りサイズに合っていないと、用紙サイズを自動検出できない場合があります。このときは、いったん用紙ガイドをずらし、再度目盛りに合わせてください。



5 *用紙トレイ１を、プリンタの奥までしっかり押し込む*

お願い

用紙トレイを、無理な力で押し込みすぎないようにしてください。

第3章

外部との接続

この章では、プリンタをパソコンまたはLANに
接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要

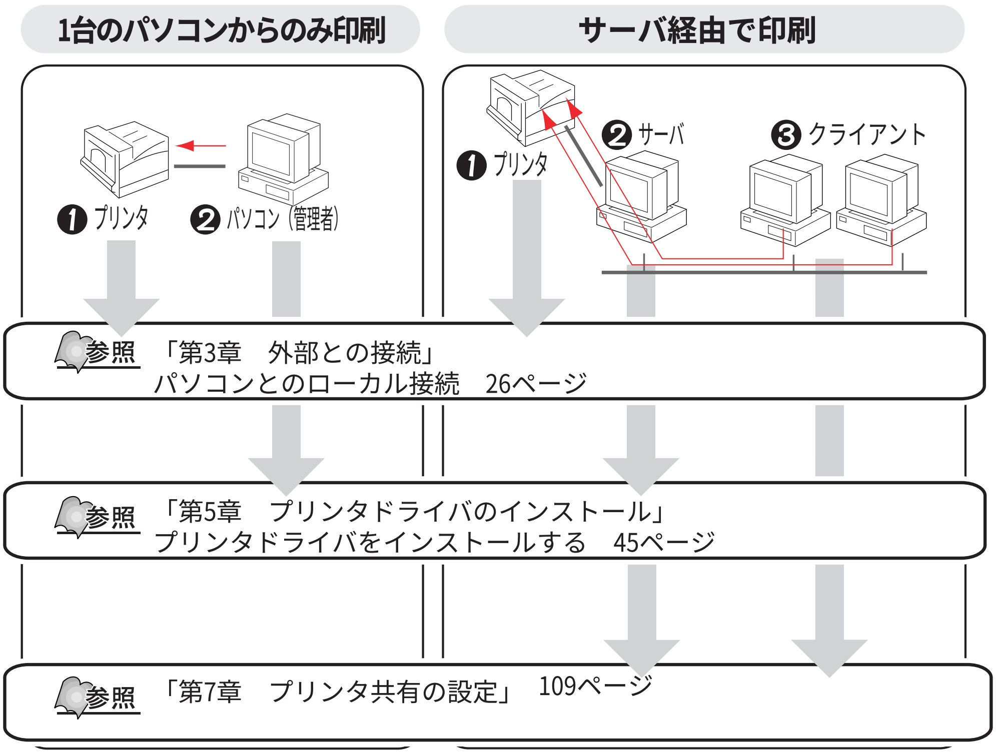
プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはLANと接続し、印刷するために必要な設定を行います。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。
設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン（管理者）❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

ガイド　接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

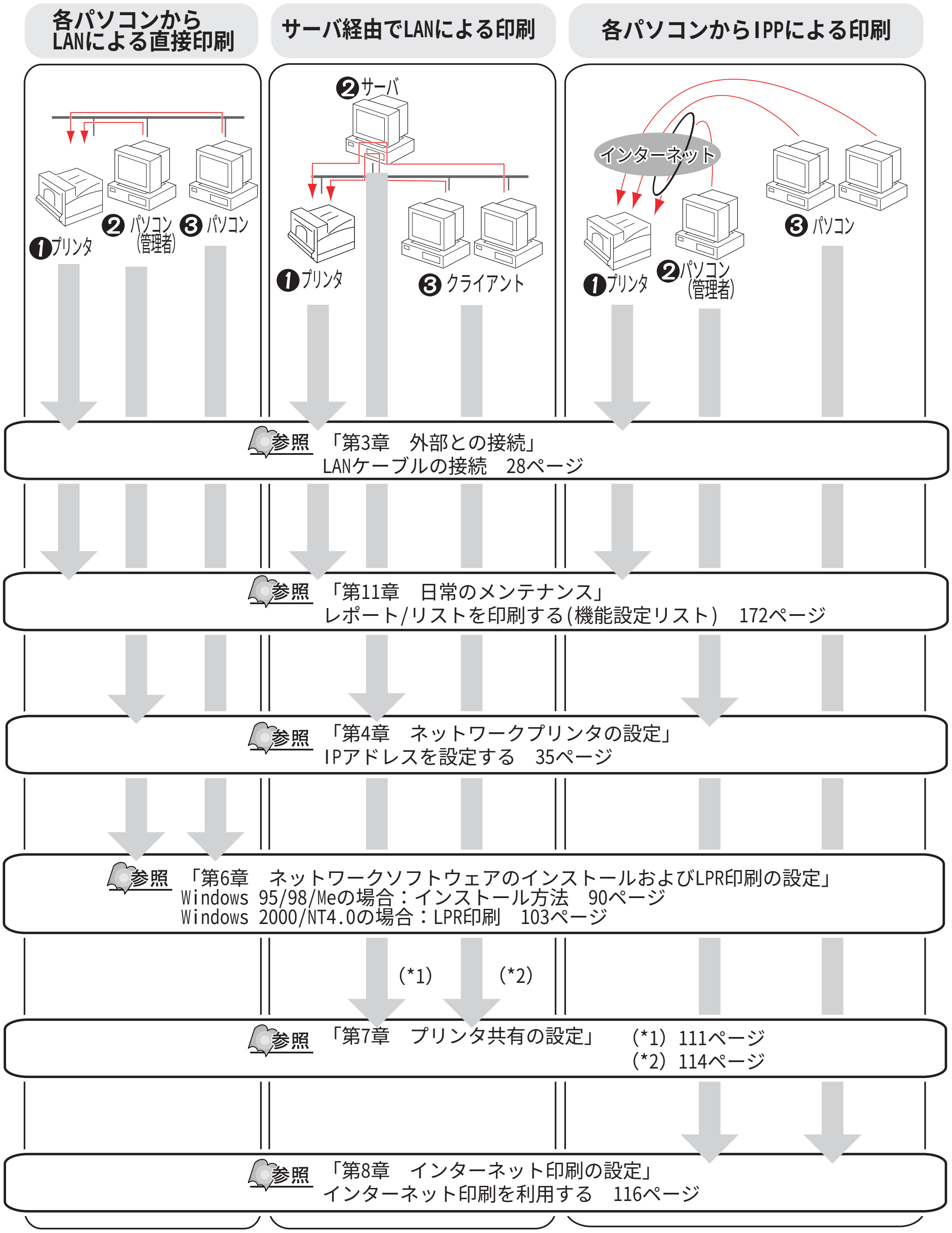
- プリンタケーブルで接続 ..... １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用にIPアドレスを使いたくない場合
- LANケーブルで接続 .... プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速、またインターネットを利用して印刷する場合

サーバ経由で印刷すると、ホスト側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

▷ プリンタケーブルで接続するとき



LAN ケーブルで接続するとき



3

セットアップ編

パソコンとのローカル接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

⚠警告	感 電	プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

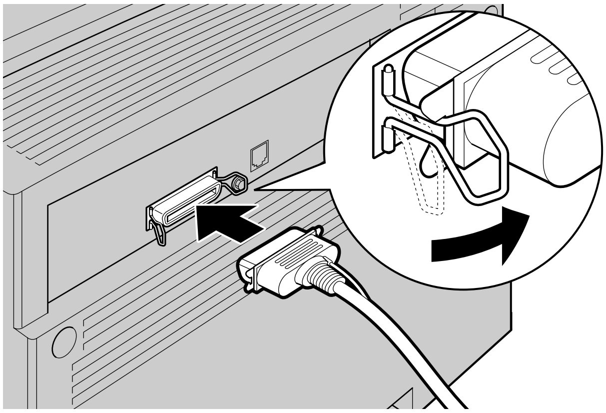
⚠注意	故 障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

- プリンタケーブルについては、次の制約があります。
  - パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
  - ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。
- 本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。

接続のしかた

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 *背面のパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する。両側のツメを起こして固定する*

2 *パソコンまたはサーバのパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する*

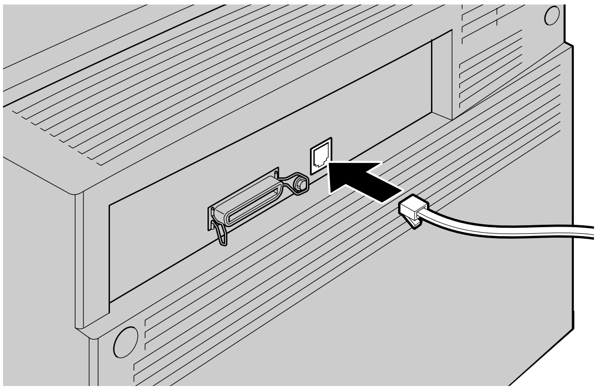
LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-C7300 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。

⚠注意

故 障　LAN ケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。

接続のしかた



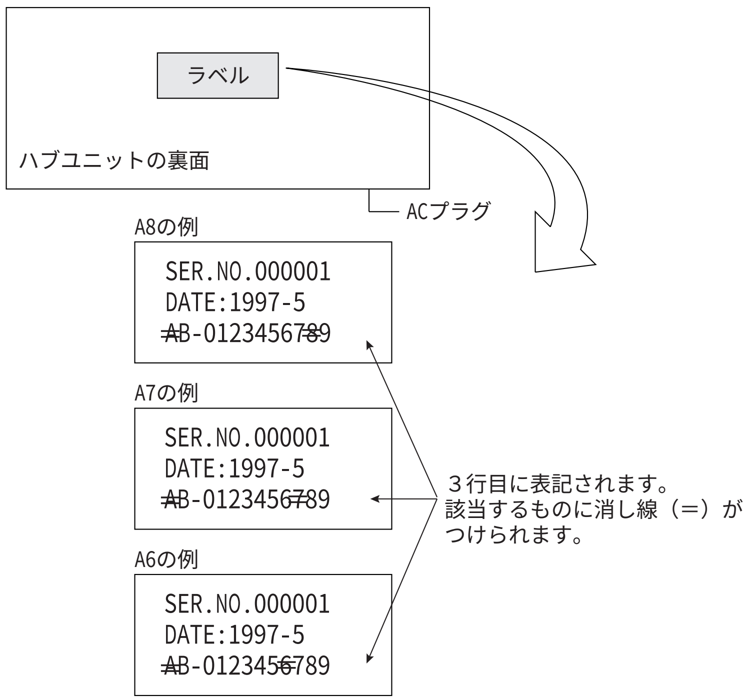
1 *背面の LAN ケーブルコネクタに、LAN ケーブルを接続する*

2 *コンピュータの LAN ケーブルコネクタに、ＬＡＮケーブルを接続する*

LAN に接続するときの注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
  本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、共通メニューの「ネットワーク / ポートセッテイ」にある「Ethernet 設定」で変更します。(共通メニューについては、「第 14 章　共通メニューの設定」(261 ページ) 参照)
  ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合わせ窓口」（347 ページ参照）にご相談ください。
  ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置…ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。



パソコンとLANの両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう１台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。
パラレルポートとLANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・片方のポートを使用して印刷している場合、もう一方のポートは使用できません。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・TCP/IP Direct Print Utilityを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

お願い　パラレルポートから印刷している間は、プリンタからLANケーブルを抜き差ししないでください。

第4章

ネットワークプリンタの設定

この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

使用できる環境

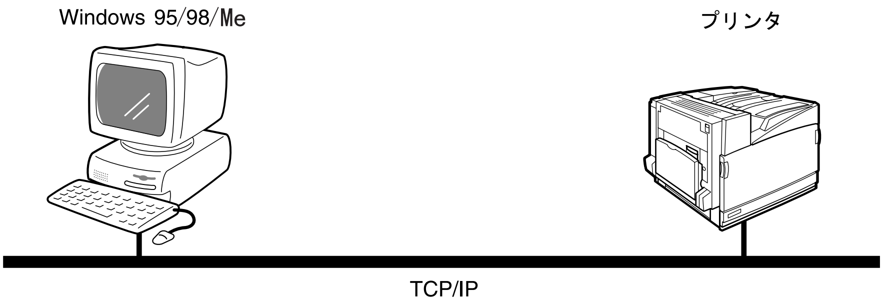
本プリンタを使用できる環境について説明します。

本プリンタをネットワークに接続すると、ネットワークプリンタとして使用できます。

TCP/IP Direct Print Utility

TCP/IP Direct Print Utilityとは、Windows 95/98/Meホストから、同一ネットワーク（Ethernetインタフェース）上のプリンタに、サーバなどを経由せずに印刷データを直接送信し、印刷することを可能にした弊社製ソフトウェアツールです。本プリンタはTCP/IP(lpr)をサポートしているので、このツールを使用すると、Windows 95/98/Meホストから、印刷データを直接送信して印刷できます。この場合、本プリンタとWindows 95/98/Meホストには、IPアドレスの設定が必要です。

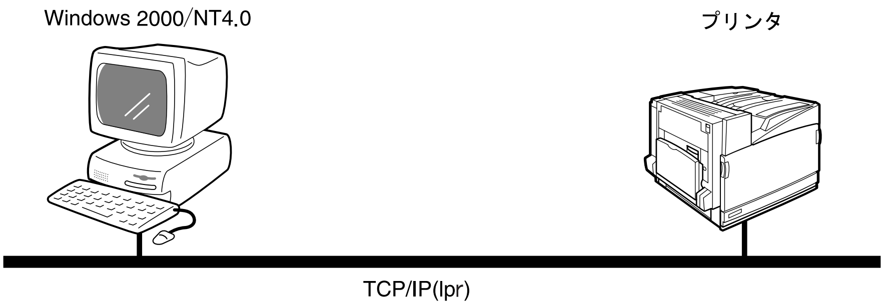
参照　「IPアドレスを設定する」(35ページ)、「TCP/IP Direct Print Utilityポートを設定する」（95ページ)、「第6章 ネットワークソフトウェアのインストールおよびLPR印刷の設定」(89ページ)を参照してください。



TCP/IP(lpr)

本プリンタは、TCP/IP(lpr)をサポートしているので、Windows 2000/NT4.0ホストから、lprで印刷データを直接送信し、印刷できます。この場合は、本プリンタとWindows 2000/NT4.0ホストには、IPアドレスの設定が必要です。
また、Windows 2000/NT4.0上に登録したプリンタを共有に設定することで、Windows 95/98/Meクライアントからも、この共有プリンタに接続して印刷できます。

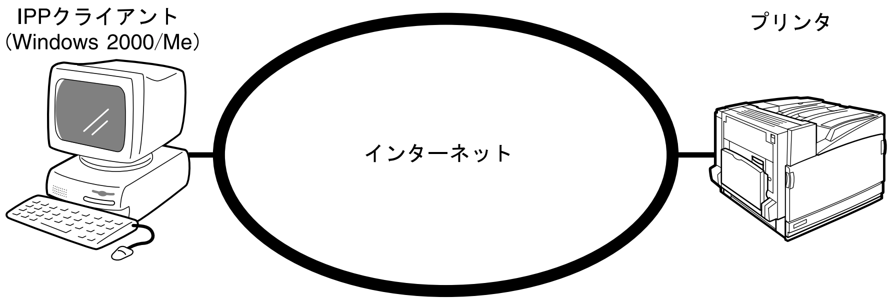
参照　「IPアドレスを設定する」(35ページ)、「TCP/IP Direct Print Utilityポートを設定する」(95ページ)、「第6章 ネットワークソフトウェアのインストールおよびLPR印刷の設定」(89ページ)を参照してください。



インターネット印刷

本プリンタは、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしています。Windows 2000は、IPP対応プリンタに出力するためのホストソフト(IPPポートモニタ)を装備しているので、コントロールパネルの[プリンタの追加]ウィザードから、IPP対応プリンタを指定できます。また、IPPが利用できるWindows Meでもインターネット印刷ができます。IPPを利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタへ印刷できます。

参照　IPPを利用する場合は、「第８章　インターネット印刷の設定」(115ページ)を参照してください。



IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。

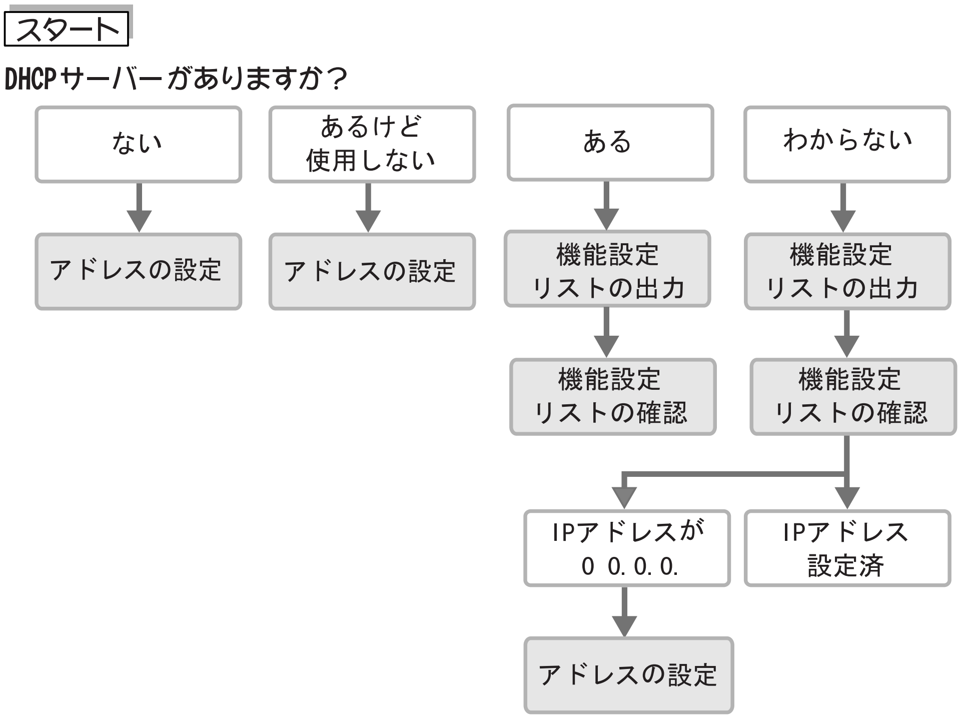
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows 2000/NT4.0ホストがある場合、本プリンタはこれらのアドレス情報をDHCPサーバから取得できます。

工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバから自動的に取得するようになっています。

設定の流れ

DHCPサーバがあるかどうかわからないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCPサーバの有無を確認します。DHCPサーバがあった場合は、IPアドレスは自動的に設定されるので、IPアドレスの入力は不要です。なかった場合は、「アドレスの設定」(37ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

DHCPサーバの確認



ガイド　DHCP環境について不明な場合は、システム管理者にお尋ねください。

設定リストの出力

1 *「レポート／リストを印刷する」(171ページ)を参照して、「機能設定リスト」を印刷する*

2 *「機能設定リスト」の［コミュニケーシン設定］項目の、「TCP/IP：IPアドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」のアドレスを確認する*

参照　「機能設定リスト」の確認方法については、次の「設定リストの確認」を参照してください。

設定リストの確認

TCP/IPアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバは存在しません。「IPアドレスを設定する」(35ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

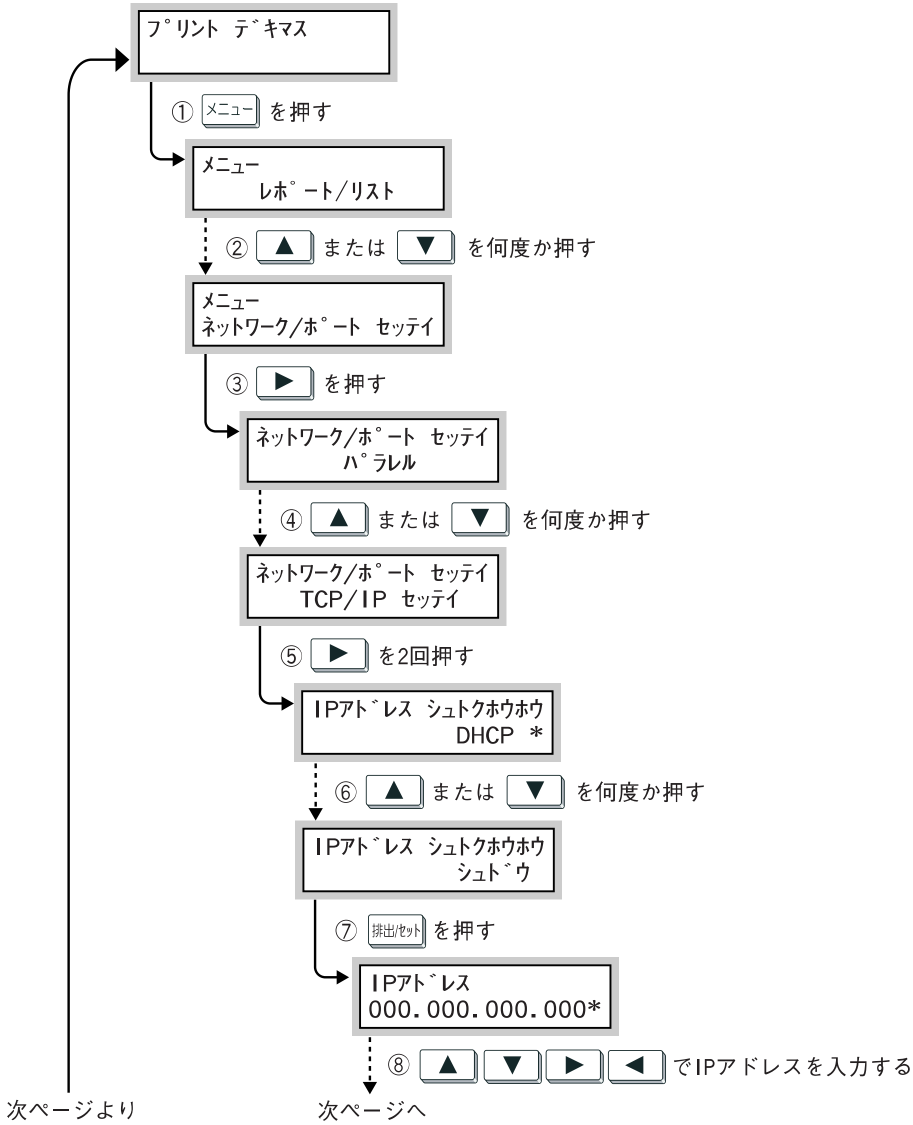
TCP/IPにアドレスが取得されている場合

DHCPサーバが稼動しています。DHCP環境を使用することをお勧めします。本プリンタのIPアドレスはDHCPサーバが設定します。

アドレスの設定

ここでは、オペレータパネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

IP アドレスの設定



前ページへ

前ページより

IPｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX

⑩ 排出/セット を押す

IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
ｼｭﾄﾞｳ＊

続けてサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する場合は、◀を押して「サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの設定」の手順⑥に進みます。

⑪ メニュー を押す

（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

① メニュー を押す

ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ

② ▲ または ▼ を何度か押す

ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

③ ▶ を押す

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
ﾊﾟﾗﾚﾙ

④ ▲ または ▼ を何度か押す

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
TCP/IP ｾｯﾃｲ

⑤ ▶ を押す

TCP/IP ｾｯﾃｲ
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ

⑥ ▲ または ▼ を何度か押す

TCP/IP ｾｯﾃｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

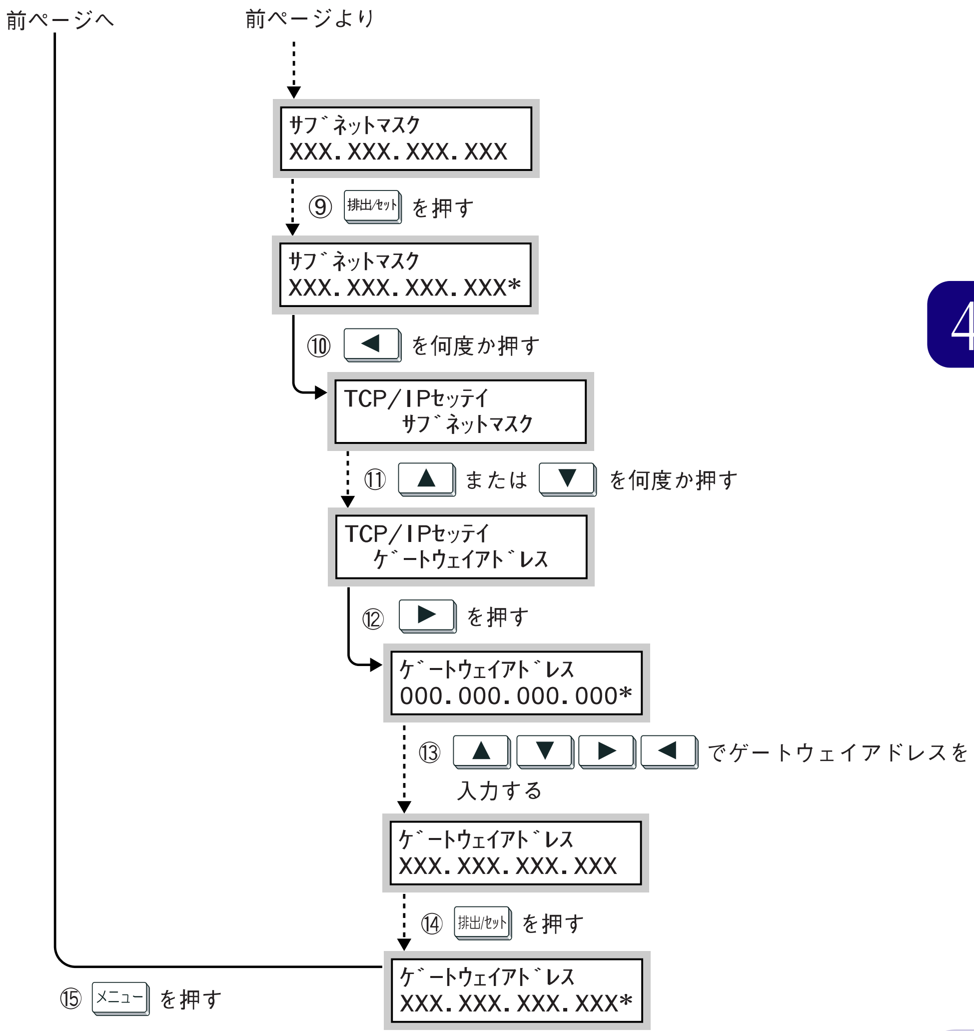
⑦ ▶ を押す

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
000.000.000.000＊

⑧ ▲ ▼ ▶ ◀ でサブネットマスクを入力する

次ページより

次ページへ



（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

第5章

プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

プリンタドライバインストールの概要

ホストから印刷するために、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバとは、ホストからの印刷データや印刷指示を、本プリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

ここでは、同梱されているプリンタソフトウェアCD-ROMを使って、XL-C7300プリンタドライバをインストールするために必要な環境について説明します。

ホスト環境

・サポートしているOS環境

Microsoft Windows 95 Operating System日本語版（ServicePack 1以上）
Microsoft Windows 98 Operating System日本語版
Microsoft Windows Me Operating System日本語版
Microsoft Windows NT Workstation 4.0日本語版（ServicePack 4以上）
Microsoft Windows NT Server 4.0日本語版（ServicePack 4以上）
Microsoft Windows 2000 Professional日本語版（ServicePack 1を含む）
Microsoft Windows 2000 Server日本語版（ServicePack 1を含む）

・必要なシステム環境

IBM PC/AT互換機、PC-9821シリーズで双方向セントロをサポートしている機種
CPU：Pentium 150MHz以上のPC/AT互換機
ハードディスク空き容量：20MByte以上
RAM：32MByte以上
ビデオディスプレイ：VGA以上(推奨：800 × 600以上)

ガイド

[プリンタの追加]からもプリンタドライバをインストールできます。同梱されているCD-ROM内の「DRIVER」フォルダを開き、お使いのOSに合わせて、「WinNT40」フォルダ（Windows NT4.0用）、「Win_2k」フォルダ（Windows 2000用）、「Win95」フォルダ（Windows 95用）、または「Win98_Me」フォルダ（Windows 98/Me用）を選択してください。

ネットワーク環境

・サポートしているネットワークサーバ(OS)環境
Microsoft Windows NT Workstation 4.0日本語版（ServicePack 4以上）
Microsoft Windows NT Server 4.0日本語版（ServicePack 4以上）
Microsoft Windows 2000 Professional日本語版（ServicePack 1を含む）
Microsoft Windows 2000 Server日本語版（ServicePack 1を含む）

・必要なシステム環境
IBM PC/AT互換機、PC-9821シリーズで双方向セントロをサポートしている機種
ネットワーク環境が設定済み
CPU：Pentium 150MHz以上のPC/AT互換機
ハードディスク空き容量：40MByte以上
RAM：64MByte以上
ビデオディスプレイ：VGA以上(推奨：800×600以上)
ネットワークインタフェースカード
CD-ROMドライブ

プリンタドライバのインストールについて

プリンタドライバのインストールについては、「プリンタドライバをインストールする」(45ページ)を参照してください。

プリンタドライバの更新およびアンインストールについて

プリンタドライバの更新およびアンインストールについては、「プリンタドライバをインストールする」にOS別に記載されている「新しいドライバに置き換えるとき」を参照してください。(55、64、72、77、86ページ)

TCP/IP プロトコルを使用する前の確認

TCP/IP プロトコルを使用する前に、次のことを確認してください。

Windows 95、Windows 98、Windows Me

lprを使用して印刷する場合、ホスト側では弊社製「TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IP プロトコル)」を使用します。TCP/IP Direct Print Utility のインストール方法については「第 6 章　ネットワークソフトウェアのインストールおよび LPR 印刷の設定」(89 ページ)を参照してください。

Windows 2000、Windows NT4.0

lpr を使用して印刷する場合、ホスト側では OS に標準添付されている LPR Port を使用します。LPR Port のインストールおよび設定方法については「第6章　ネットワークソフトウェアのインストールおよびLPR印刷の設定」の LPR 印刷 (103 ページ) を参照してください。

プリンタドライバをインストールする

インストールの前に

本プリンタをお使いになるには、プリンタドライバをパソコンに組み込む必要があります。プリンタドライバはパソコンの印刷データや指示をプリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。ご使用のOSによって、インストール方法および印刷設定方法が異なりますので、該当ページをお読みください。

・Windows 95 .... 46ページ
・Windows 98 .... 56ページ
・Windows Me 65ページ
・Windows NT4.0 .... 73ページ
・Windows 2000 .... 78ページ

ガイド

文中において、〔　〕で囲んだ表記はメニューやボタン、ダイアログボックス名を示し、〈　〉で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。
また、メニューなどの後ろに（　）で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

Windows 95の場合

ここでは、Windows 95が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug & Playでのインストール

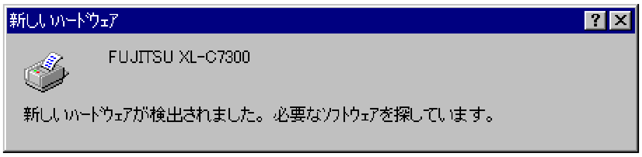
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「Readme95.txt」をお読みください。

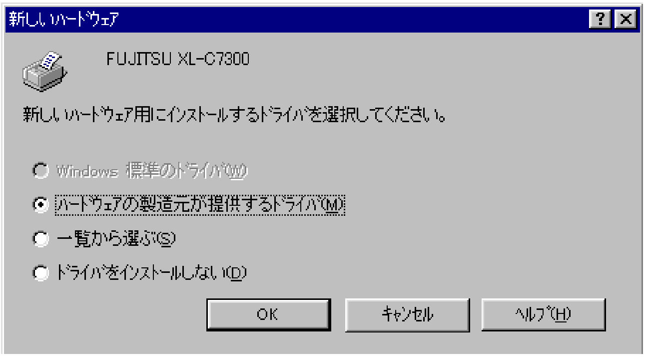


1 *プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows 95を起動する*

パソコン起動時に〈FUJITSU XL-C7300 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。〉と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

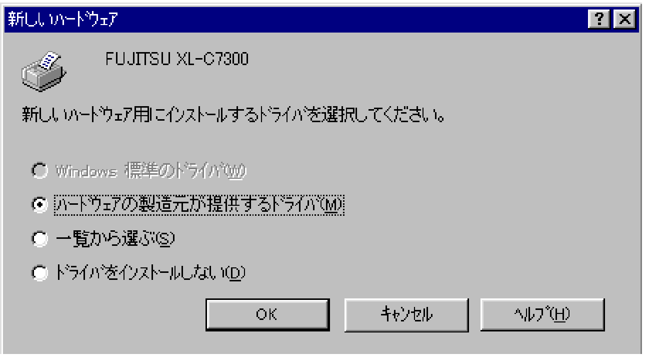
次の画面が表示されている場合は 2 に進みます。



次の画面が表示されている場合は 5 に進みます。

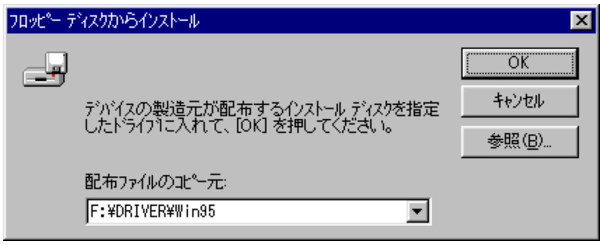


ガイド 一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 〔ハードウェアの製造元が提供するドライバ〕を選択して〔OK〕ボタンをクリックする

3 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする



4 〈配布ファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\Win95」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

8へ進んでください。

5 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする



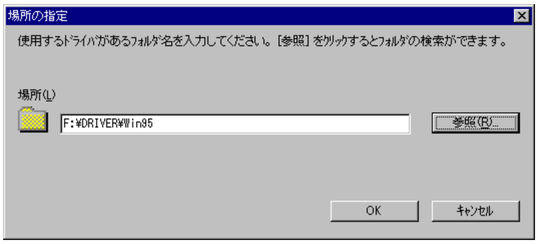
6 〔次へ〕ボタンをクリックする

ガイド

①ドライバが見つからなかったと表示される場合は、〔場所の指定〕をクリックします。



②〔場所の指定〕が表示されたら、〈場所〉にCD-ROMドライブとWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力してください。(CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\WIN95」と入力してください。)〔OK〕をクリックします。



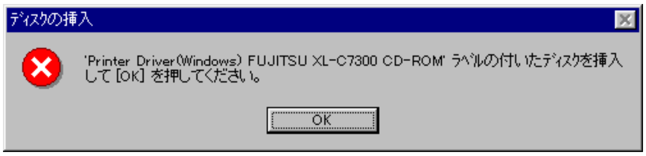
7 〔完了〕ボタンをクリックする

左のようなダイアログボックスが表示されたら、〔完了〕ボタンをクリックします。





8　*プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする*

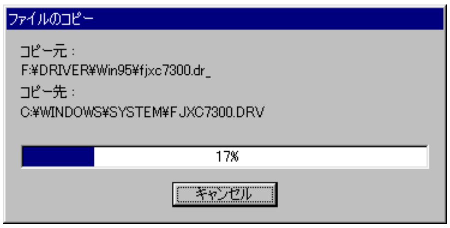




9　*〈ファイルのコピー元〉に CD-ROM ドライブ名と Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F:の場合、「F:\DRIVER\Win95」と入力してください。）*

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

この画面は表示されない場合があります。



ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了するとインストールが終了します。

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme95.txt」をお読みください。

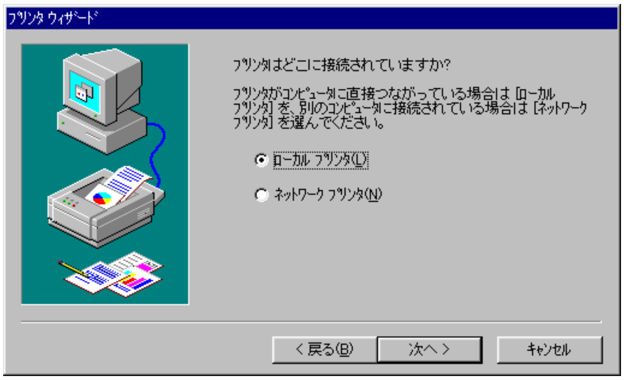
1 *Windows 95 を起動する*



2 *〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする*



3 *〔次へ〕ボタンをクリックする*



4　〔ローカルプリンタ〕を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

ガイド　スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

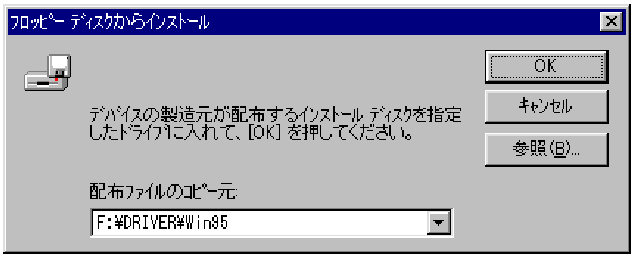
ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド　〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



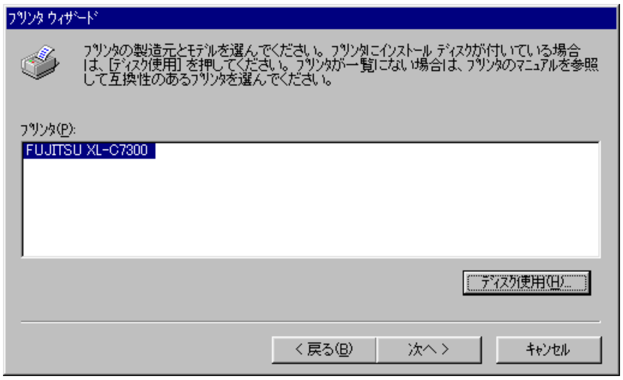
5　〔ディスク使用〕ボタンをクリックする

6　添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする



7　*〈配布ファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\WIN95」と入力してください。）*

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。



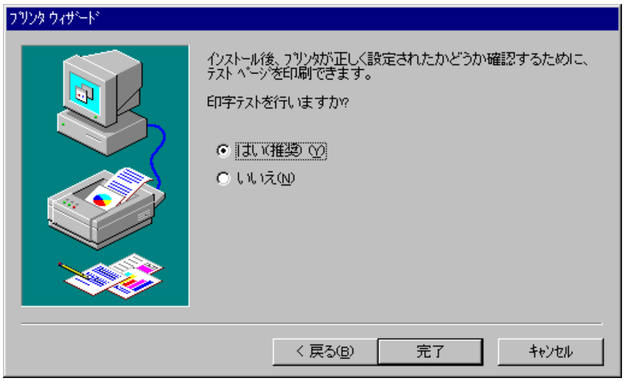
8　*〈FUJITSU XL-C7300〉を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする*



9　*使用するポートを選択して〔次へ〕ボタンをクリックする*

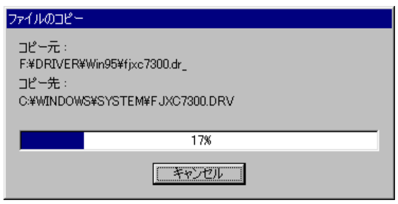


10 *プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする*



11 *テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕ボタンをクリックする*

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



→



テストページ印刷を設定した場合は、テストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1　*〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く*

2　*該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする*



3　*〔はい〕ボタンをクリックする*

4　*Windows 95 を再起動する*

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 95 を再起動します。

5　*新しいプリンタドライバ を、「通常のインストール」(51 ページ)の手順でインストールする*

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されますので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

Windows 98の場合

ここでは、Windows 98が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug & Playでのインストール

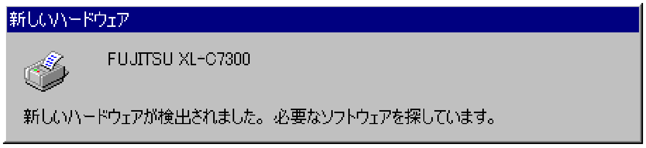
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用CD-ROMを準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「Readme9x.txt」をお読みください。
・Windows 95で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 98にアップグレードしている場合は、Windows 98の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows 98を起動する

パソコン起動時に〈FUJITSU XL-C7300 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。〉と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。



2 〔次へ〕ボタンをクリックする



3 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする

4 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

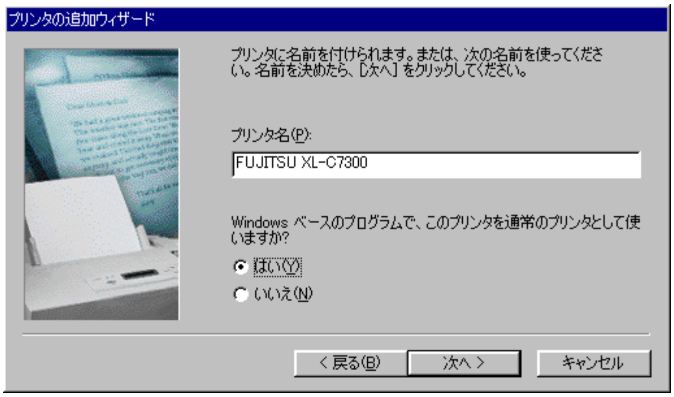


5 〔検索場所の指定〕をチェックし、CD-ROMドライブ名とWindows 98/Me用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\Win98_Me」と入力してください。）

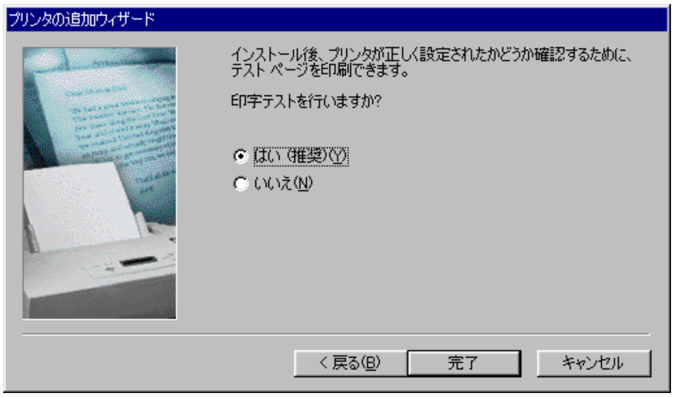
入力が終わったら〔次へ〕ボタンをクリックします。



6 〔次へ〕ボタンをクリックする



7 プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする



8　*印字テストを行うかどうかを選択し、〔完了〕ボタンをクリックする*



ファイルのコピーが開始されます。

手順８で印字テストを行うを選択した場合は印字テストが始まり、印字テストの確認用ダイアログが表示されます。



9　*〔完了〕ボタンをクリックし、インストールを終了する*

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

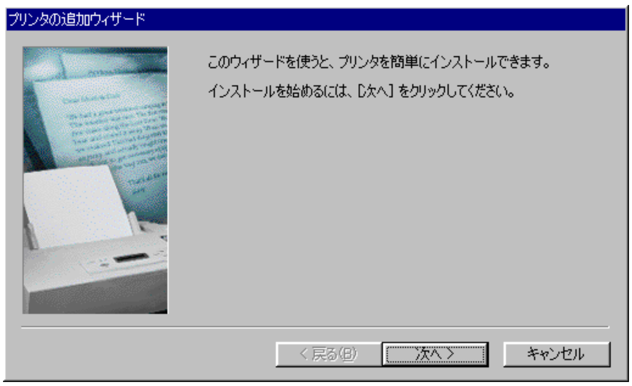
インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme9x.txt」をお読みください。

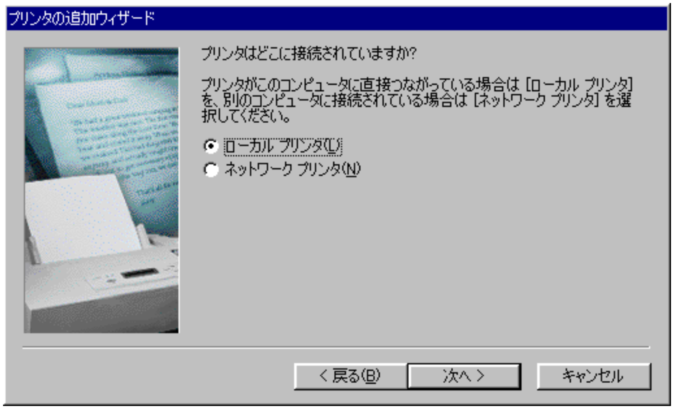
1 *Windows 98 を起動する*

2 *〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする*



3 *〔次へ〕ボタンをクリックする*





4 *〔ローカルプリンタ〕を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする*

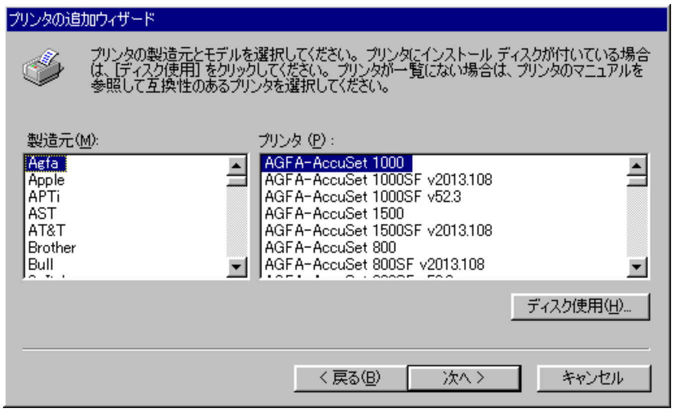
プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

ガイド スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

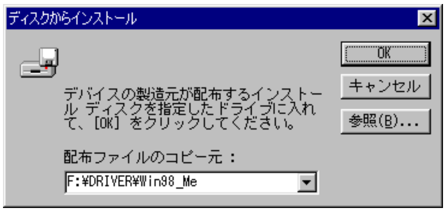
ガイド 〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



5 *〔ディスク使用〕ボタンをクリックする*

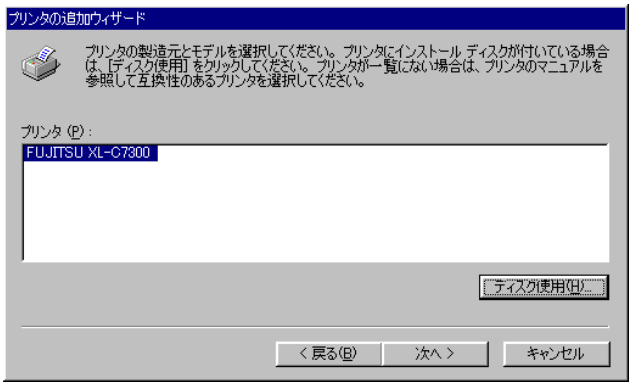
6 *添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする*

7 *〈配布ファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 98/Me用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\Win98_Me」と入力してください。）*

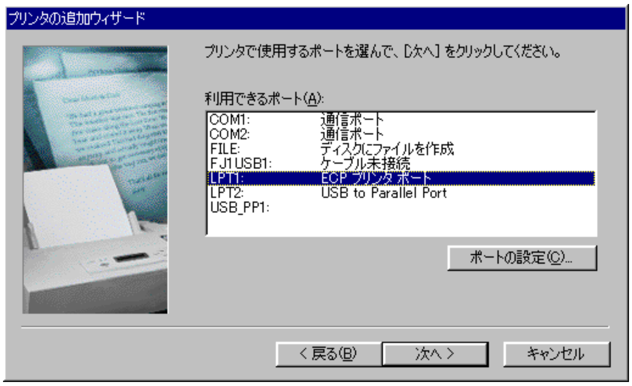


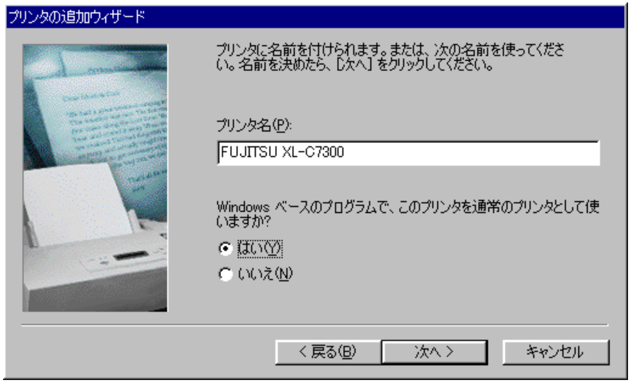
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

8 *〈FUJITSU XL-C7300〉を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする*

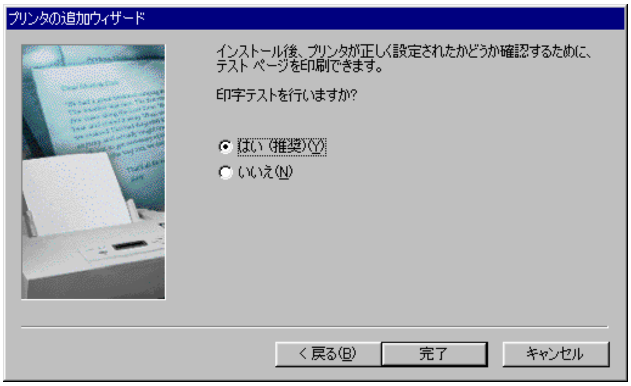


9 *使用するポートを選択して〔次へ〕ボタンをクリックする*



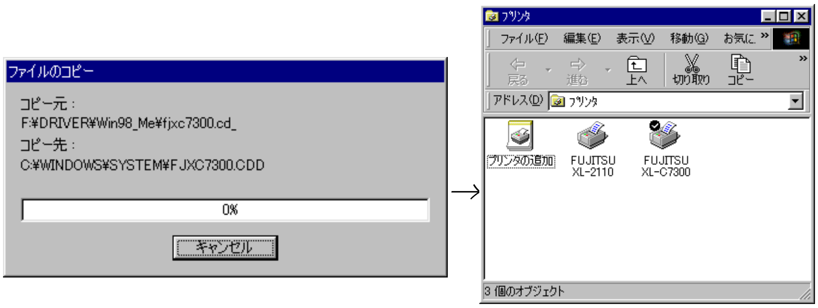


10 プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする



11 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページ印刷を設定した場合はテストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます。

ガイド このドライバはWindows 95用のドライバと同じものです。したがって使用されるプログラムファイルは共通のものです。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1　*〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く*

2　*該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする*



3　*〔はい〕ボタンをクリックする*

4　*Windows 98 を再起動する*

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 98 を再起動します。

5　*新しいプリンタドライバ を、「通常のインストール」（60ページ）の手順でインストールする*

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

Windows Me の場合

ここでは、Windows Me が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug & Play でのインストール

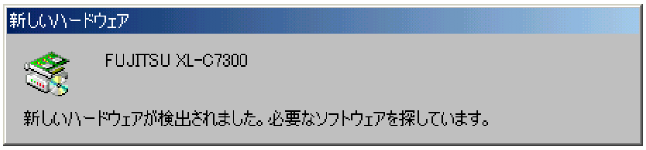
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9x.txt」をお読みください。
- Windows 95/98 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows Me にアップグレードしている場合は、Windows Me の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1　*プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows Meを起動する*

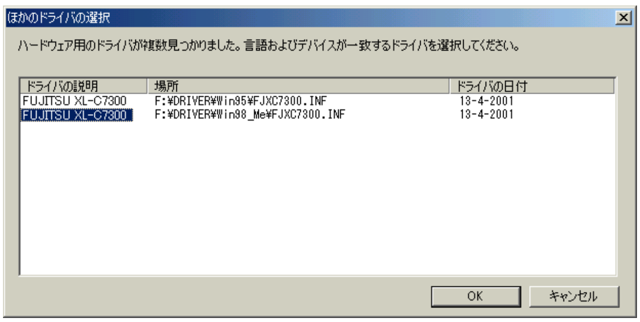
パソコン起動時に＜FUJITSU XL-C7300 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。＞と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド　Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

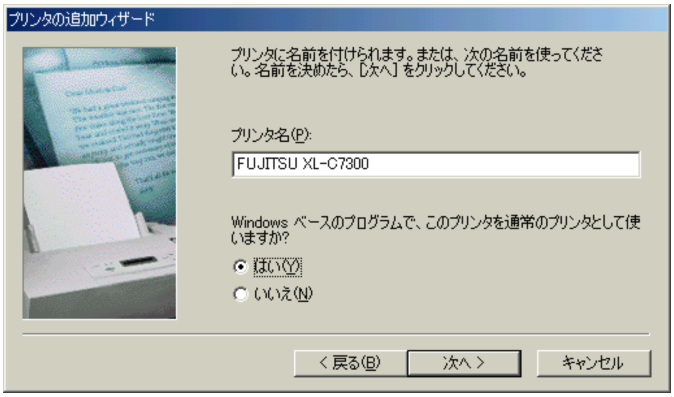
2　*添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする*



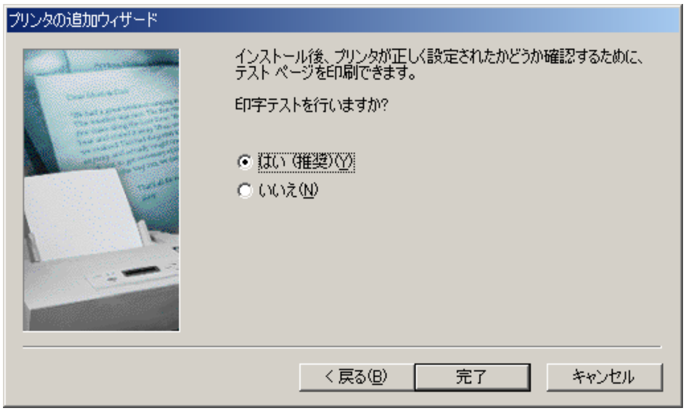
3　*＜適切なドライバを自動的に検索する（推奨）＞を選択して、〔次へ〕ボタンをクリックする*



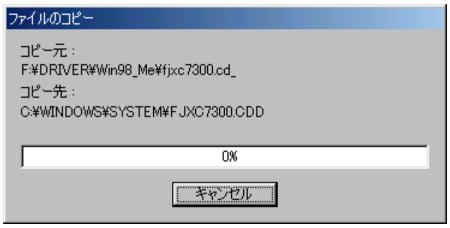
4　*＜ほかのドライバの選択＞画面が表示されたら、「場所」が「F：\DRIVER\WIN98_ME\XLC7300.INF」（CD-ROMドライブがF:の場合）のドライバを選択し、〔OK〕ボタンをクリックする*



5　*プリンタ名を確認し、本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする*



印字テストを行なうかどうかを選択し、〔完了〕ボタンをクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



6　*〔完了〕ボタンをクリックし、インストールを終了する*

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド
ご使用のパソコンにインストールされているWindows Meのバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い
インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROM内の「Readme9x.txt」をお読みください。

1 *Windows Meを起動する*

2 *〈プリンタの追加ウィザード〉を起動する*

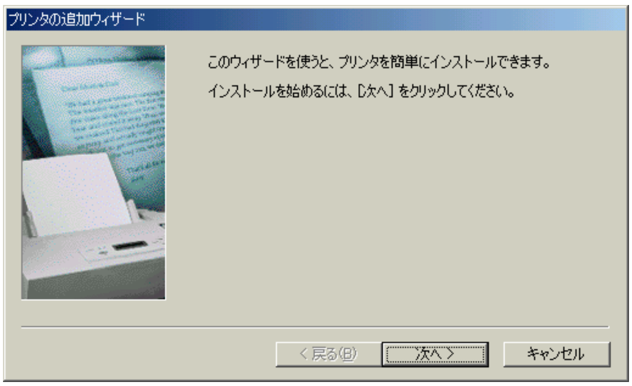


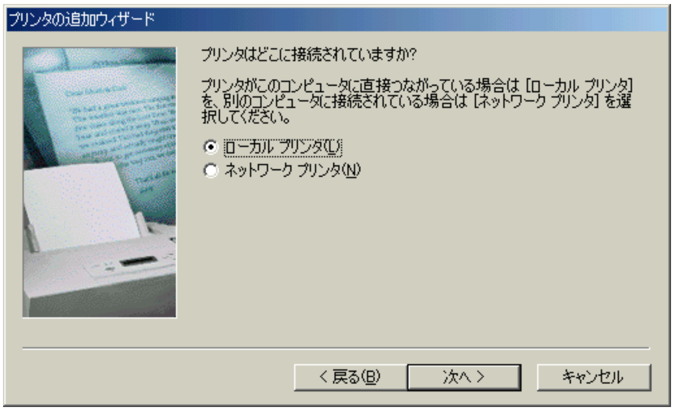
(1)　〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックします。

(2)　〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックします。

(3)　〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックします。

3 *〈プリンタの追加ウィザード〉で、〔次へ〕ボタンをクリックする*





4 *〈ローカルプリンタ〉を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする*

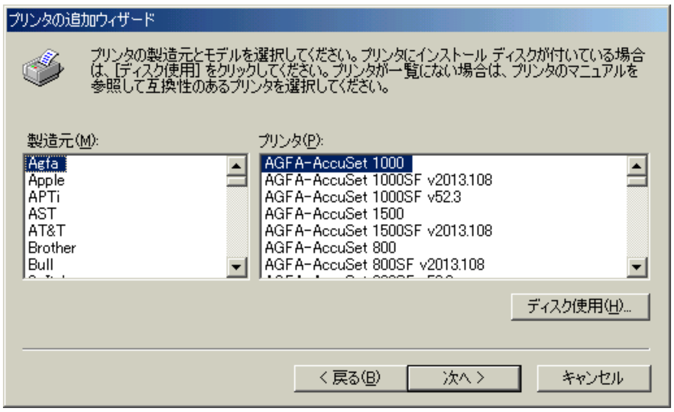
プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

ガイド スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

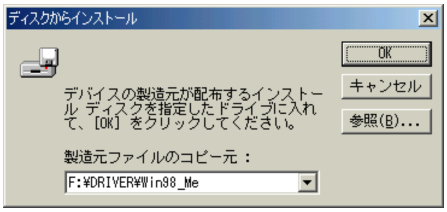
ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド 〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



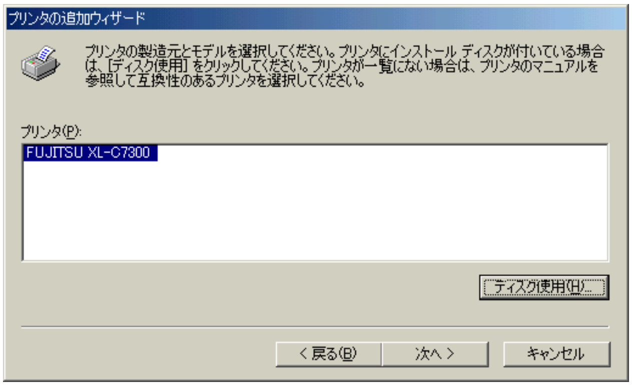
5 *〔ディスク使用〕ボタンをクリックする*

6 　*添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする*

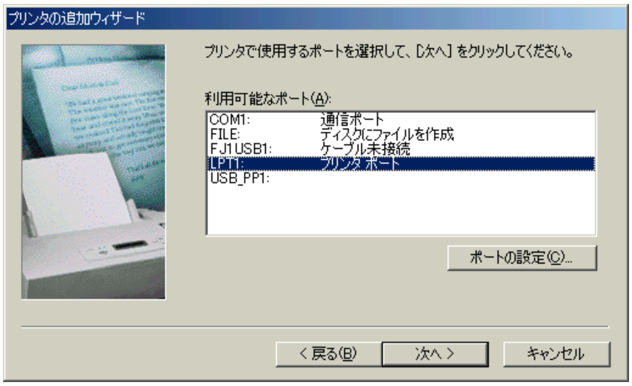


7 　*〈製造元ファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 98/Me用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF：の場合、「F：\DRIVER\Win98_Me」と入力してください。）*

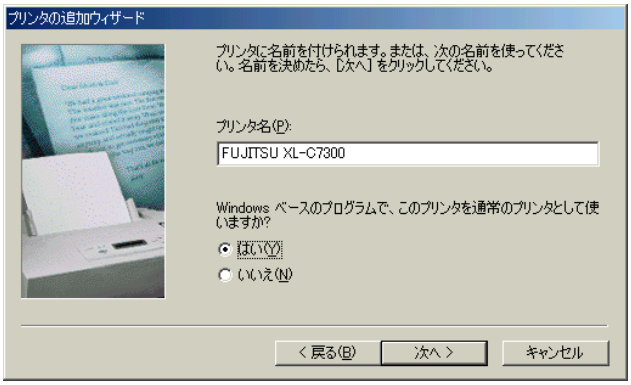
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。



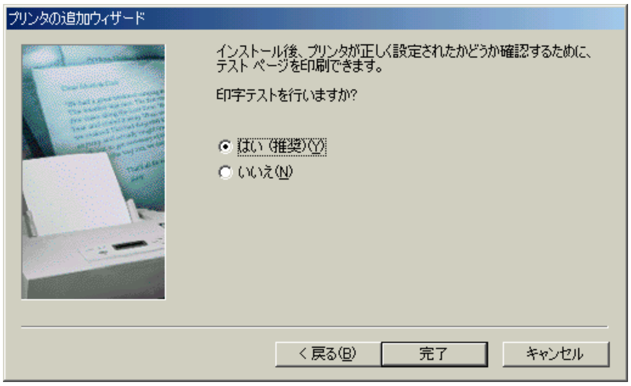
8 　*〈FUJITSU XL-C7300〉を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする*



9 　*使用するポートを選択して〔次へ〕ボタンをクリックする*

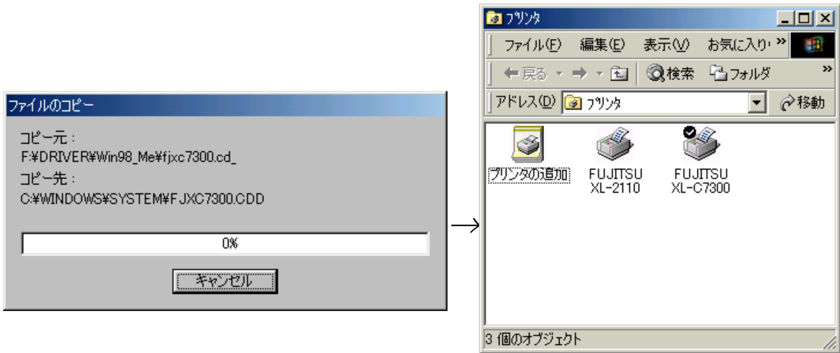


10 *プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする*



11 *印字テストを行なうかどうかを選択し、〔完了〕ボタンをクリックする*

ファイルのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページ印刷を設定した場合はテストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1　*〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕の手順で、〔プリンタ〕フォルダを開く*

2　*該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする*



3　*〔はい〕ボタンをクリックする*

4　*Windows Me を再起動する*

古いプリンタドライバを削除したら、Windows Me を再起動します。

5　*新しいプリンタドライバ を、「通常のインストール」(68 ページ) の手順でインストールする*

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

Windows NT4.0の場合

ここでは、Windows NT4.0が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い
- インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「ReadmeNT.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1　*Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする*



2　*〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする*

5

セットアップ編

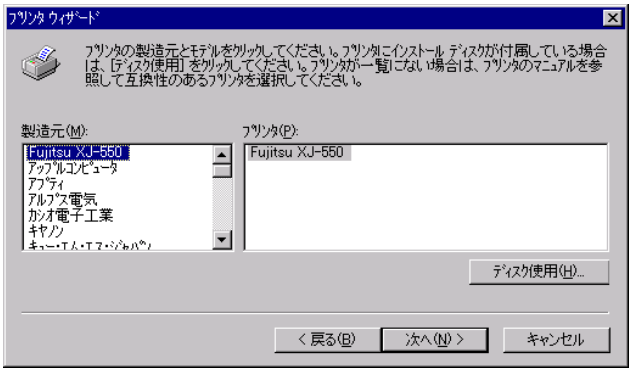


3 〈このコンピュータ〉を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする



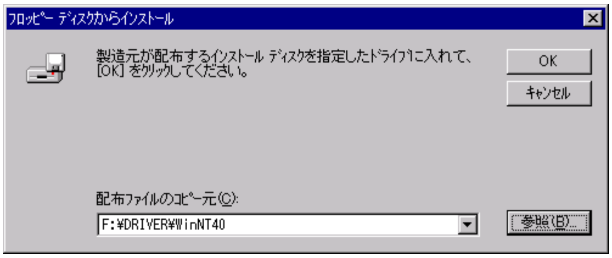
4 プリンタを接続したポートを指定して〔次へ〕ボタンをクリックする

〔利用可能なポート〕から、プリンタを接続したポートを選択します。



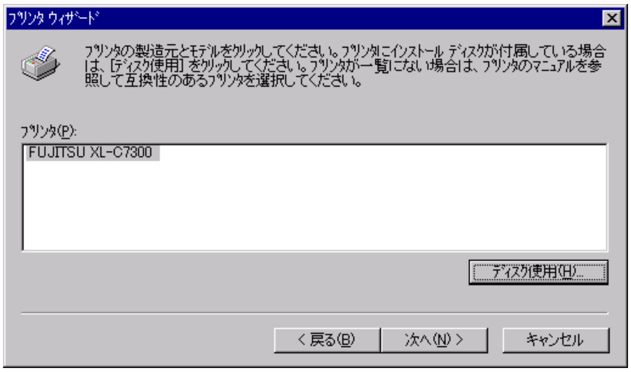
5 〔ディスク使用〕ボタンをクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

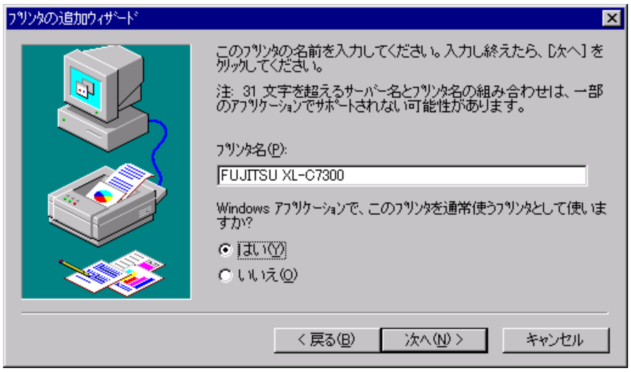


7 *〈配布ファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows NT4.0用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\WinNT40」と入力してください。）*

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。



8 *〈FUJITSU XL-C7300〉を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする*



9 *プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定するか、しないかを選択して、〔次へ〕ボタンをクリックする*



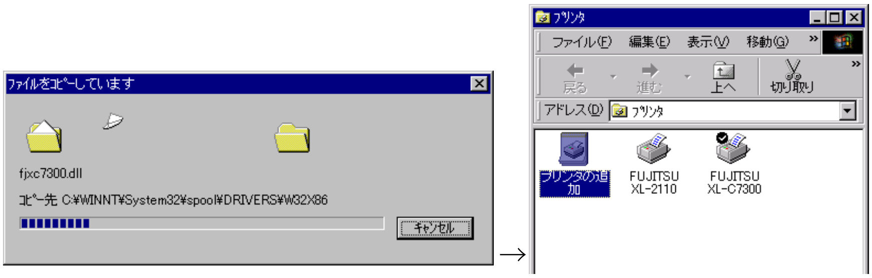
10　*〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする*

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、〈共有しない〉を選択します。

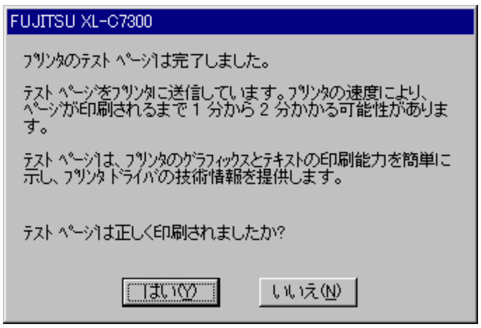


11　*テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕ボタンをクリックする*

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページを選択した場合に以下の操作を行います。



12　*テストページが正しく印刷されたら〔はい〕ボタンをクリックし、インストールを終了する*

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1 *〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く*

2 *該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする*



3 *〔はい〕ボタンをクリックする*

4 *Windows NT4.0を再起動する*

古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。

5 *新しいプリンタドライバを、「インストール」（73ページ）の手順でインストールする*

ガイド インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

Windows 2000 の場合

ここでは、Windows 2000が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug & Playでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

ガイド

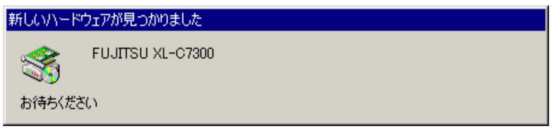
ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

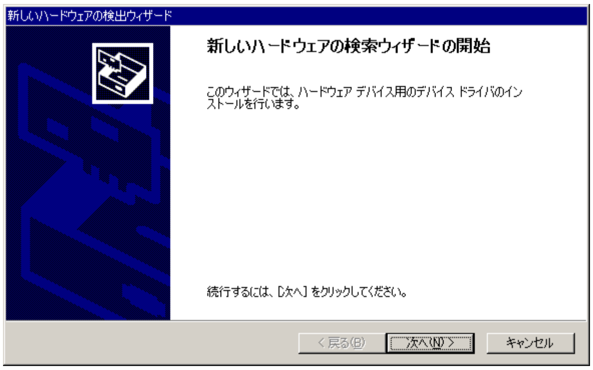
- インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 *プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で、Windows 2000を起動する*

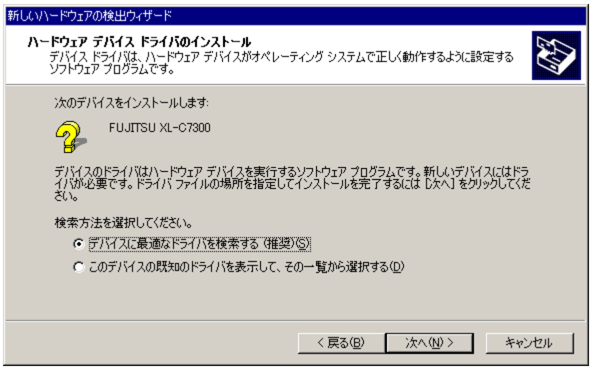
2 *新しいハードウェアが検出される*



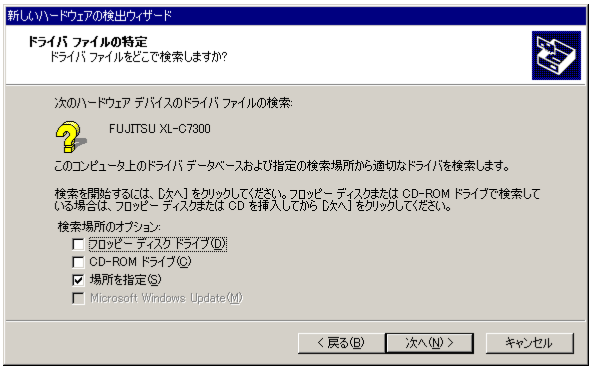
3　プリンタドライバをインストールする



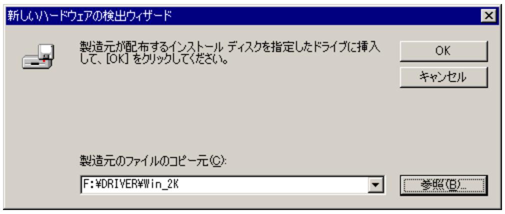
(1) 〈新しいハードウェアの検出ウィザード〉ダイアログが表示されたら、〔次へ〕ボタンをクリックします。



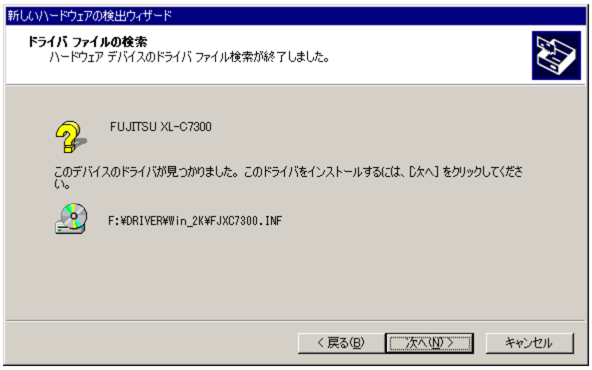
(2) 〔デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。



(3) プリンタドライバディスクをセットし、〔フロッピーディスクドライブ〕および〔CD-ROMドライブ〕のチェックを外し〔場所を指定〕のみをチェックし、〔次へ〕ボタンをクリックします。

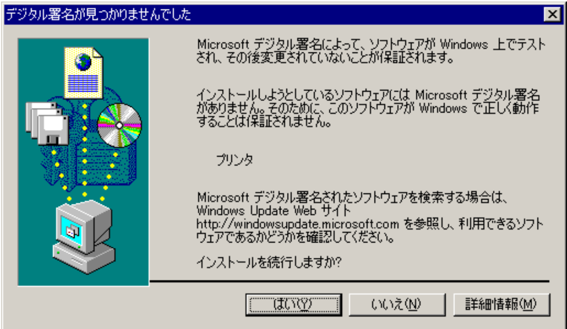


(4) 〈製造元のファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 2000用ドライバのフォルダ名を入力します。(CD-ROMドライブがF：の場合、「F：\DRIVER\Win_2K」と入力してください。) 入力が終わったら、〔OK〕ボタンをクリックします。



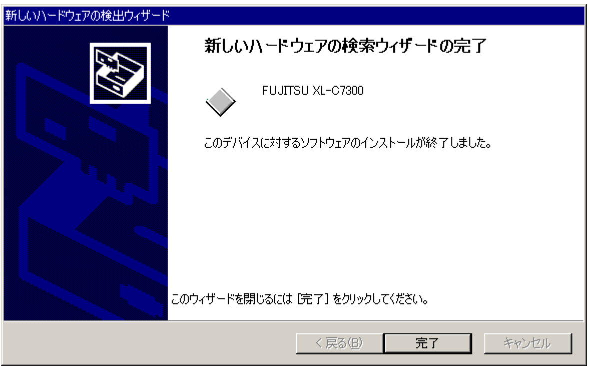
4　以降、プリンタウィザードの指示に従って設定する

(1)　ドライバが検出されたら、〔次へ〕ボタンをクリックします。



(2)　〈デジタル署名が見つかりませんでした〉という警告が表示されたら、〔はい〕ボタンをクリックします。

(3)　プリンタドライバのファイルコピーが開始されます。



(4)　〈新しいハードウェアの検索ウィザードの完了〉画面が表示されたら、〔完了〕ボタンをクリックし、インストールを終了します。

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

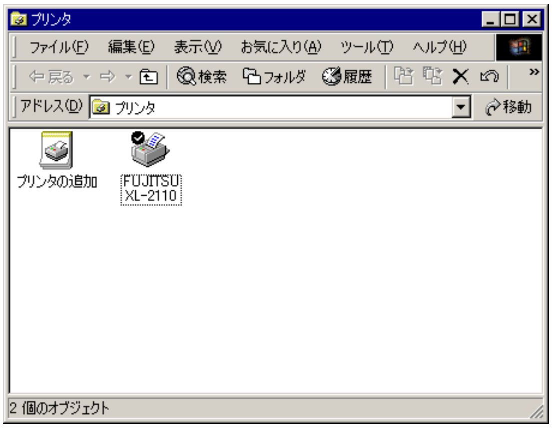
ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme2k.txt」をお読みください。
- ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 *Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする*

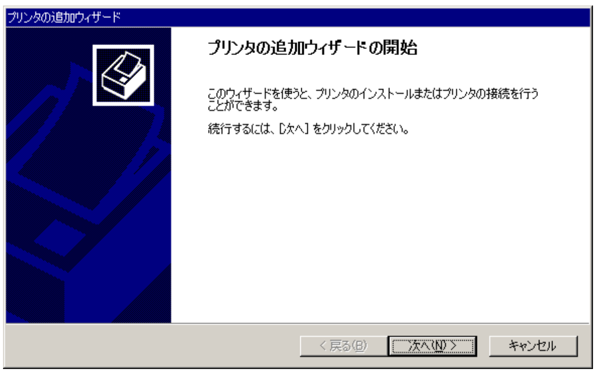


2 *〈プリンタの追加ウィザード〉を起動する*

(1)　〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックします。

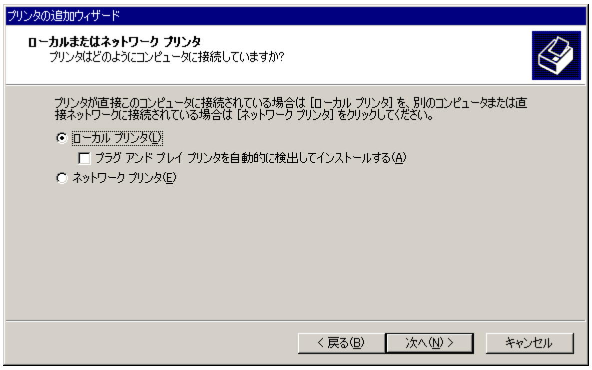
(2)　〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックします。

(3)　〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックします。



3 *プリンタドライバをインストールする*

(1)　〈プリンタの追加ウィザードの開始〉で〔次へ〕ボタンをクリックします。

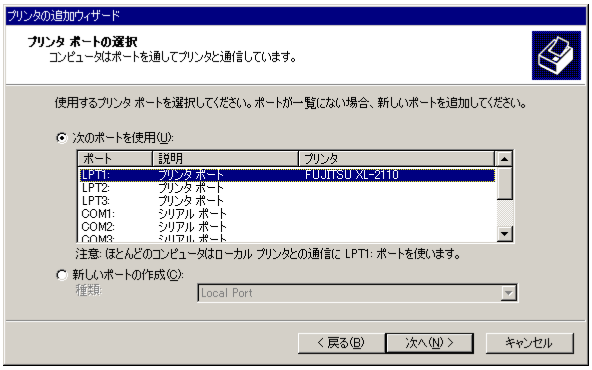


(2)　< ローカルプリンタ > を選択し、〔プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕ボタンをクリックします。
プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）
パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

ガイド　スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド　〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

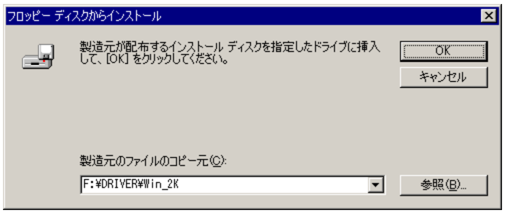


(3)　使用するプリンタポートとして「LPT1:」を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。

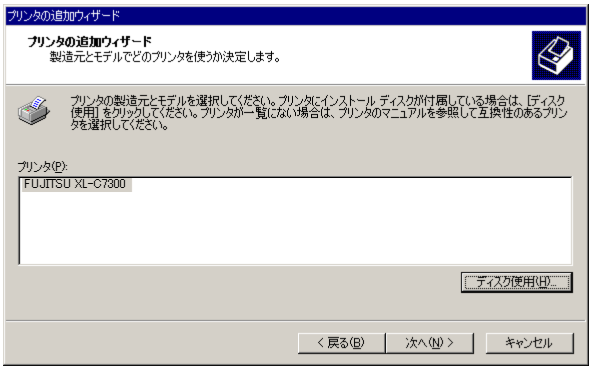


(4)〔ディスク使用〕ボタンをクリックします。

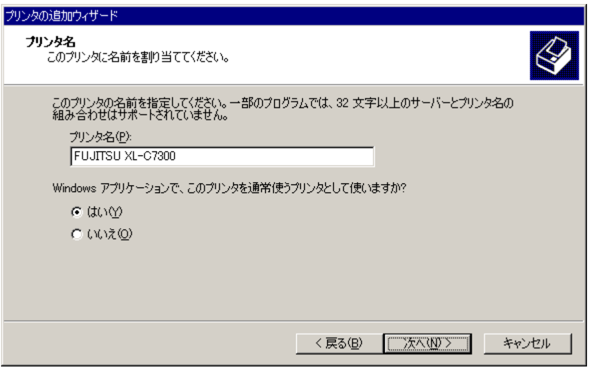
(5) 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。



(6)〈製造元のファイルのコピー元〉にCD-ROMドライブ名とWindows 2000用ドライバのフォルダ名を入力します。(CD-ROMドライブがF:の場合、「F:\DRIVER\Win_2k」と入力してください。)
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

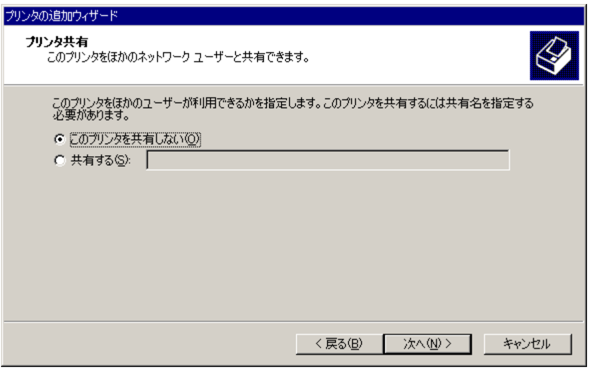


(7)〈FUJITSU XL-C7300〉を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックします。

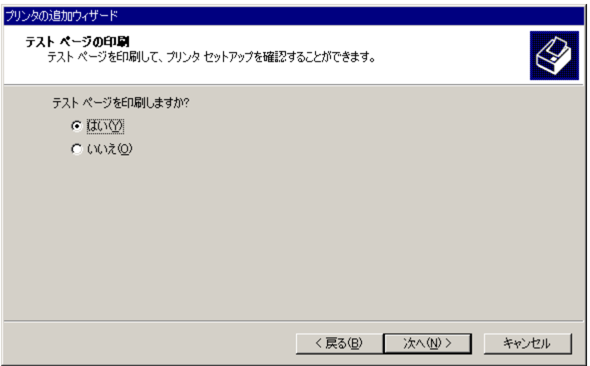


(8)　プリンタ名を確認し、通常使うプリンタにする場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。

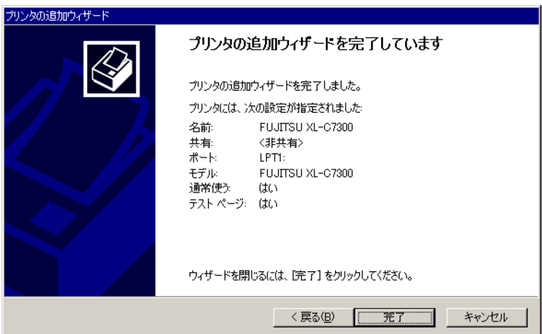
注）他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタに設定されます。



(9)　〔プリンタの共有〕を行うかどうかを選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。



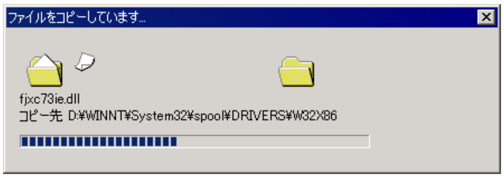
(10)　テストページを印刷するかしないかを選択し、〔次へ〕ボタンをクリックします。



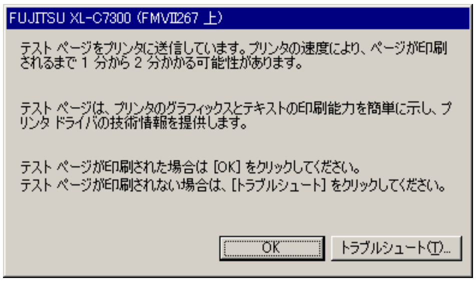
(11)　〈プリンタの追加ウィザードを完了しています〉と表示されたら、〔完了〕ボタンをクリックします。



(12) 〈デジタル署名が見つかりませんでした〉という警告メッセージが表示されたら、〔はい〕ボタンをクリックします。

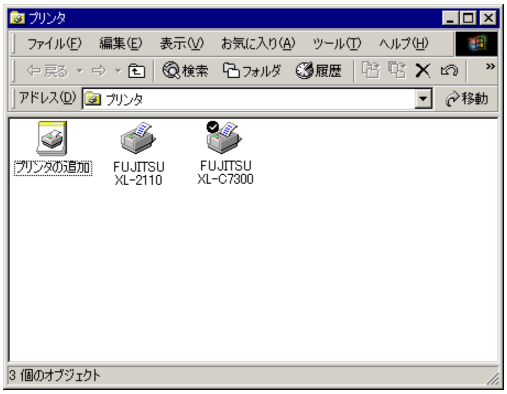


(13) プリンタドライバのインストールが開始されます。



(14) テストページが正しく印刷されたら〔OK〕ボタンをクリックし、インストールを完了します。

注）10 項でテストページを印刷しないとした場合、本画面は表示されません。



(15) インストールが完了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

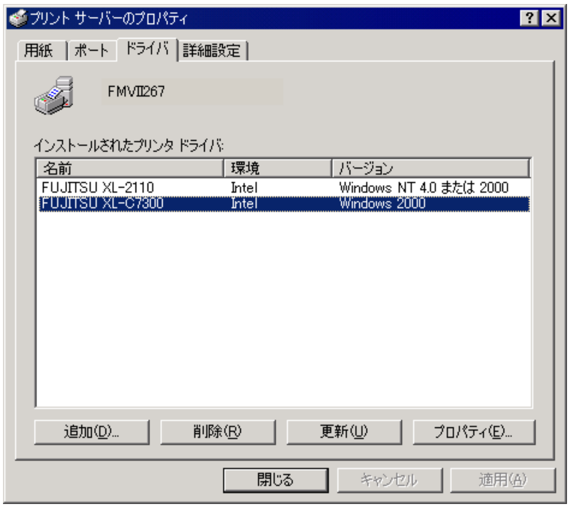
1 *〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックし、〔コントロールパネル〕フォルダを開く*

2 *〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く*

3 *該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする*



4 *〔はい〕ボタンをクリックする*



5 *〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバのプロパティ〕をクリックし、〔ドライバ〕タブで該当するプリンタを選択し、〔削除〕ボタンをクリックする*

6　*Windows 2000を再起動する*

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000を再起動します。

7　*新しいプリンタドライバ を、「通常のインストール」(81ページ)の手順でインストールする*

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

最新プリンタドライバを入手する

最新プリンタドライバは弊社ホームページの下記アドレス(URL)よりダウンロード関連のページを開き、入手してください。

http://www.fmworld.net/

第6章

ネットワークソフトウェアのインストールおよびLPR印刷の設定

この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

インストール方法

TCP/IP Direct Print Utility を Windows95/98/Me 上に設定する方法について説明します。以降の操作は、プリンタとパソコンがネットワークに接続されていることを前提としています。プリンタとパソコンがネットワークに接続されていない場合は、接続してから、次の操作を行ってください。

全体の流れは以下のようになります。

① プリンタ側の設定
② TCP/IP プロトコルの設定
③ プリンタのセットアップ
④ TCP/IP Direct Print Utility ソフトウェアのインストール
⑤ TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定

プリンタ側の設定

Windows95/98/Me を使用している環境から、TCP/IP Direct Print Utility（TCP/IP プロトコル）で印刷する場合、プリンタ側の設定が必要になります。プリンタのオペレータパネルから次の設定を行ってください。

参照　オペレータパネルの操作方法については、「第12章　オペレータパネルの操作」(205 ページ) を参照してください

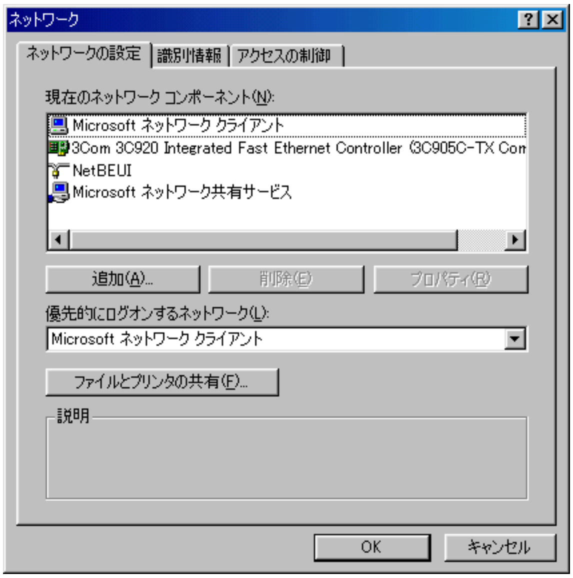
1　*「メニュー→ネットワーク／ポートセッテイ→TCP/IPセッテイ→ IP アドレス」にて IP アドレスを設定する*

ガイド　プリンタが、すでに IP アドレスを取得／設定されている場合、本設定は不要です。
取得／設定されていることの確認は、「機能設定リスト」を出力することにより行えます。
「機能設定リスト」の出力方法については、「レポート／リストを印刷する」(171 ページ) を参照してください。

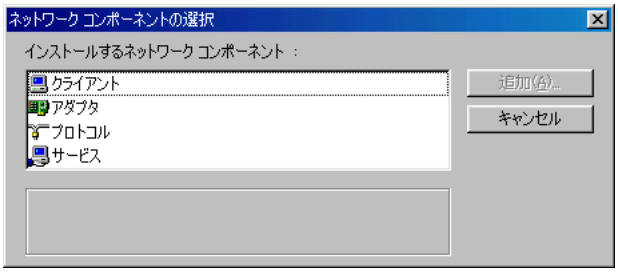
TCP/IP プロトコルの設定

TCP/IP Direct Print Utilityポートの設定を行うためには、パソコンに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれている必要があります。「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていないことを知らせるメッセージが表示された場合は、以下の手順に従って組み込んでください。

参照　TCP/IPプロトコルのインストール方法の詳細については、Windows95/98/Meの取扱説明書を参照してください。

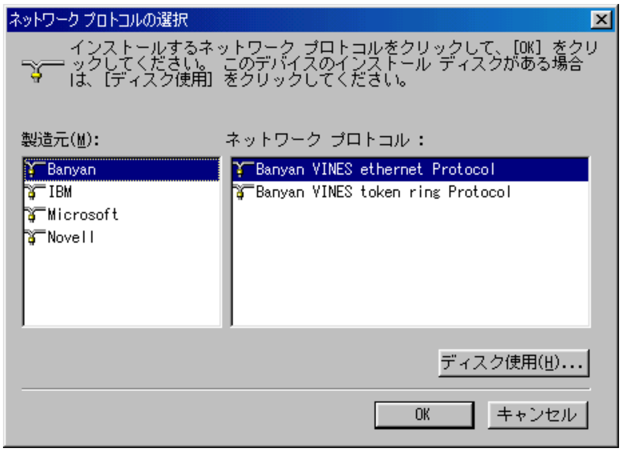


1　*パソコンを立ち上げ、〔コントロールパネル〕アイコンの〔ネットワーク〕アイコンを開く*



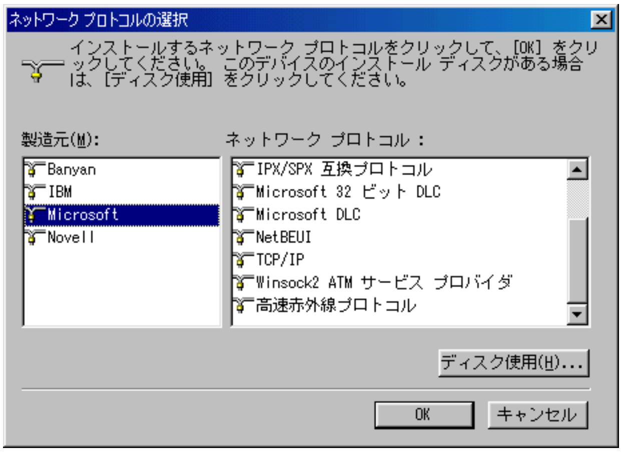
2　*〔ネットワークの設定〕タブの〔追加〕ボタンを選択する*

〔ネットワークコンポーネントの選択〕ダイアログボックスが表示されます。



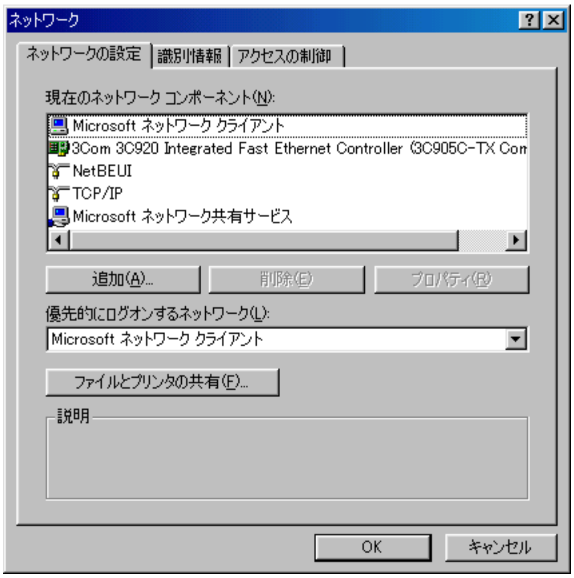
3 *〔ネットワーク構成ファイルの追加〕ダイアログボックスから〔プロトコル〕を選択して、〔追加〕ボタンを選択する*

〔ネットワークプロトコルの選択〕ダイアログボックスが表示されます。



4 *〔ネットワークプロトコルの選択〕ダイアログボックスの〔製造元〕ボックスから〔Microsoft〕を選択する*

〔ネットワークプロトコル〕ボックスに〔TCP/IP〕が表示されます。



5 *〔TCP/IP〕を選択し、〔OK〕ボタンを選択する。指示に従ってファイルをコピーする*

6 *〔ネットワークの設定〕タブの〔OK〕ボタンを選択する*

7 *システムを再起動する*

プリンタドライバのセットアップ

TCP/IP Direct Print Utilityポートの設定を行うためには、ソフトウェアのインストールを行う前に、プリンタドライバをセットアップしておく必要があります。

プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタウィザードを使用し、ローカルプリンタをLPT1：ポートに追加してください。

参照　プリンタドライバのセットアップ方法については、「第5章 プリンタドライバのインストール」（41ページ）を参照してください。

参照　プリンタドライバのインストール方法については、「第5章 プリンタドライバのインストール」(41ページ)を参照してください。

TCP/IP Direct Print Utilityソフトウェアのインストール

TCP/IP Direct Print Utilityのインストールを行うためには、Windows95/98/Meの〔ファイル名を指定して実行〕コマンドを使用します。

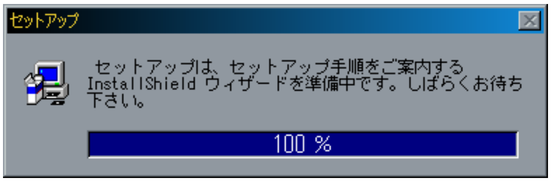
以下にインストールの手順を説明します。

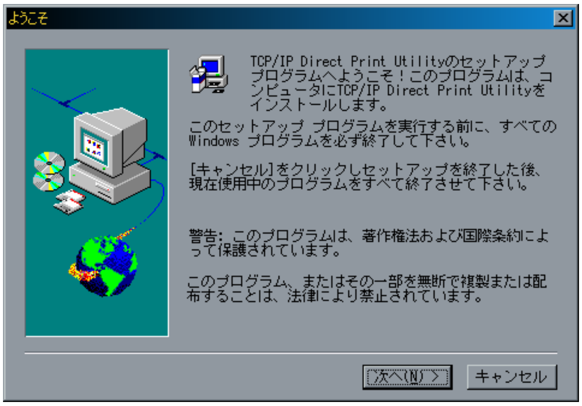
1　*コンピュータを立ち上げ、〔スタート〕ボタンを選択し、〔ファイル名を指定して実行〕を選択する*

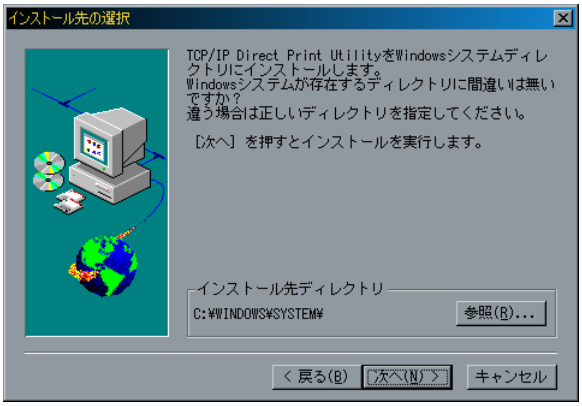
〔ファイル名を指定して実行〕ダイアログボックスが表示されます。

2　*〔名前〕ボックスに、TCP/IP Direct Print Utilityのインストール実行ファイルを格納したドライブ名（例　F:）とパス名（例　F:\Dpu\Win9x\Setup.exe）を入力し、〔OK〕ボタンを選択する。ドライブ名はお使いのパソコンの構成により異なる。確認のうえ入力する。画面に表示される指示に従って、操作を続ける*

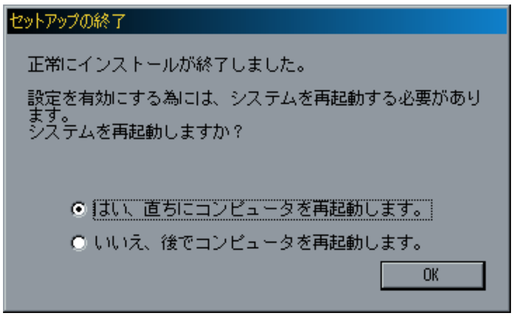
〔ネットワーク構成ファイルの追加〕ダイアログボックスが表示されます。







3　*〔はい、直ちにコンピュータを再起動します。〕ラジオボタンを選択し、〔OK〕を選択する*



ガイド

システムを再起動しないと設定は有効になりません。

これでインストールは終了です。
次にポートの設定を行ってください。

TCP/IP Direct Print Utilityポートの設定

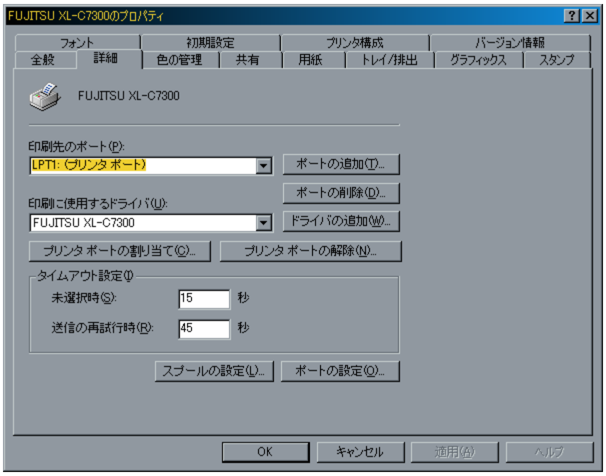
以下にTCP/IP Direct Print Utilityポートの設定手順を説明します。

1 〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックする

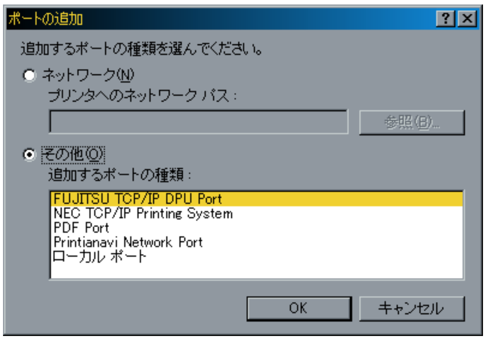
プリンタのウィンドウが表示されます。

2 本プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

プリンタのプロパティを設定するダイアログボックスが表示されます。

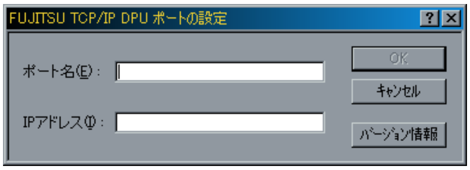


3 〔詳細〕タブを選択する



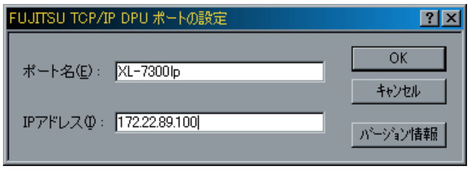
4 〔ポートの追加〕ボタンを選択する

〔ポートの追加〕ダイアログボックスが表示されます。



5 *〔その他〕ラジオボタンを選択し、〔FUJITSU TCP/IP DPU Port〕を選択し、〔OK〕ボタンを選択する*

〔FUJITSU TCP/IP DPU ポートの設定〕ダイアログボックスが表示されます。



6 *次の説明を参考に、必要な項目を設定し、〔OK〕ボタンを選択する*

〔ポート名〕
プリンタを識別するための名前を入力してください。
〔IP アドレス〕
プリンタのIPアドレスを入力してください。

ガイド

- IP アドレスとは、0～255の4つの数値をピリオドで区切った番号(xxx.xxx.xxx.xxx)です。プリンタのIPアドレスがわからない場合は、ネットワークのシステム管理者に尋ねるか、「機能設定リスト」を出力して、IP アドレスを参照してください。
- 「機能設定リスト」の出力方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。
- 複数のTCP/IP Direct Print Utilityポートの追加について
  富士通製TCP/IP Direct Print Utilityポートを複数追加する場合は、あとから追加するポートに次のようなポート名は使用しないでください。
  - すでに存在するポート名の最後に文字を追加したポート名
    (例) 既存のポート名が「printer」の場合、「printer1」「printer-01」など
  - すでに存在するポート名の先頭から１文字以上を抽出したポート名
    (例) 既存のポート名が「printer」の場合、「prin」、「print」など

  ※上記いずれの場合も大文字小文字の区別はありません。

これでポートの設定は終了です。

インストール後のポート設定の変更方法

インストール後に、ポートの設定（IPアドレス）を変更する場合について説明します。

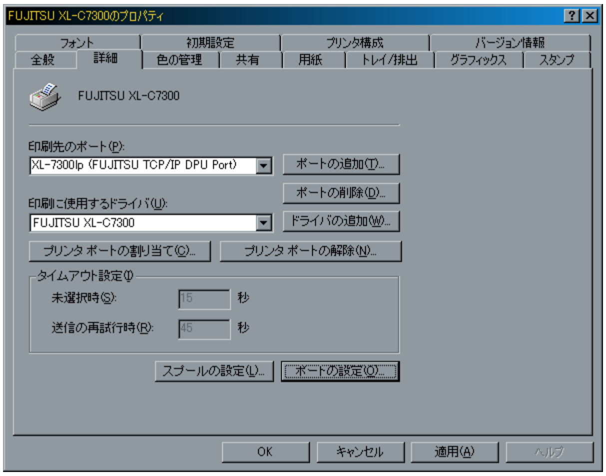
1　*〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックする*

プリンタのウィンドウが表示されます。

2　*本プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する*

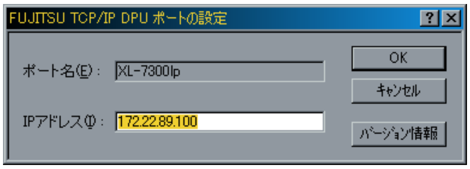
プリンタのプロパティを設定するダイアログボックスが表示されます。

3　*〔詳細〕タブを選択する*



4　*〔ポートの設定〕ボタンを選択する*

〔FUJITSU TCP/IP DPU ポートの設定〕ダイアログボックスが表示されます。





5　*〔IP アドレス〕に変更したい IP アドレスを入力し、〔OK〕ボタンを選択する*

ガイド

〔ポート名〕は変更できません。

これでポートの設定の変更は終了です。

アンインストール方法

ここでは、TCP/IP Direct Print UtilityをWindows95/98/Me上から削除する方法について説明します。

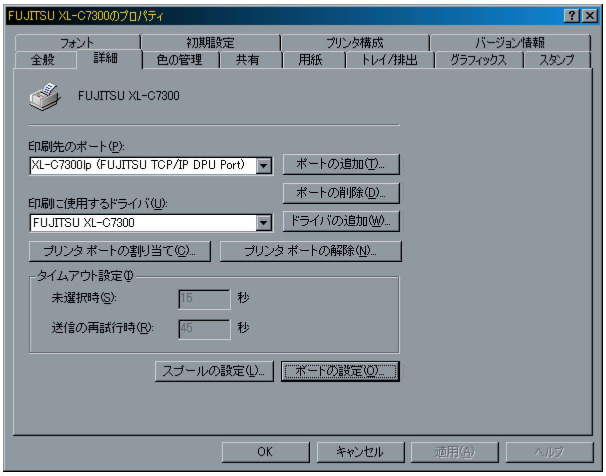
手順の流れは以下のとおりです。

① TCP/IP Direct Print Utilityのプリンタポートをすべて削除する。
② レジストリからキーを削除する。
③ システムを再起動する。
④ TCP/IP Direct Print Utility関連ファイルを削除する。

以下に手順の詳細を説明します。

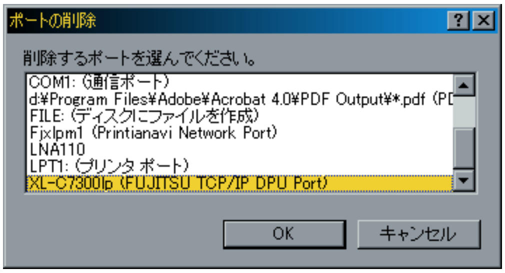
1　*Windows 95/98/Meを立ち上げ、〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックする。（Windows Meの場合は、〔マイコンピュータ〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕の順に選択）本プリンタアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する*

〔プロパティ〕ダイアログボックスが表示されます。



2　*〔プロパティ〕ダイアログボックスの〔詳細〕タブを選択し、〔ポートの削除〕ボタンを使用し、「FUJITSU TCP/IP DPU Port」をすべて削除する*

必ずすべてのTCP/IP Direct Print Utilityポートが削除されていることを確認してから次へ進んでください。



ガイド

ポートがプリンタに使用されているため削除できない場合は、〔印刷先のポート〕を他に変更し、更新してから削除を行ってください。

3　*〔スタート〕ボタンを選択し、〔ファイル名を指定して実行〕を選択し、〔regedit〕と入力し、〔Enter〕キーを押す*

〔レジストリエディタ〕が起動します。

4　*〔レジストリエディタ〕から、HKEY_LOCAL_MACHINE＞SYSTEM＞CurrentControlSet＞Control＞Print＞Monitorsの中の〔FUJITSU TCP/IP DPU Port〕キーを削除する*

お願い

- レジストリの操作中に、レジストリの内容を誤って変更したり、削除したりすると、Windows 95/98/Meに悪影響をおよぼし、システムを正常に起動できなくなることがあります。
- レジストリの操作を行う前にバックアップを取るなどして、操作を慎重に行ってください。

ガイド　レジストリエディタの使用方法については、ヘルプを参照してください。

5　*〔レジストリエディタ〕を終了し、システムを再起動する*

6　*windows 95/98/Meを立ち上げ、〔スタート〕ボタンから〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に選択し（Windows Meの場合は、〔スタート〕〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択）、エクスプローラを起動する。システムルート（例:Windows）の中のSYSTEMディレクトリーにある以下のTCP/IP Direct Print Utility関連ファイルを削除する*

・XCDPUMON.DLL
・XCDPUMON.HLP

本ソフトウェア独自の機能と制限事項について

プリンタの状態について

プリンタの状態表示は、TCP/IP Direct Print Utilityでポートを設定したパソコンからプリントした場合のみ表示されます。ポートを設定したパソコンで、プリンタを共有使用に設定して、共有先からプリントする場合は、プリンタの状態は表示されません。

プリンタスプールの設定について

プリンタプロパティの〔詳細〕タブの中にある〔スプールの設定〕において、〔プリンタに直接印刷データを送る〕を指定すると印刷が正常に行われない場合があります。プリンタプロパティの〔詳細〕タブにある〔スプールの設定〕を選択して表示される〔プリンタスプールの設定〕ダイアログボックス上の設定を、〔印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う〕にして使用してください。

ダイヤルアップ接続のダイアログボックス表示について

パソコンにダイヤルアップ接続のエントリが設定されている場合、パソコン起動後、本ポートを使用して印刷を行った場合、ダイヤルアップのダイアログボックスが表示されることがあります。この場合、ダイヤルアップのダイアログボックスにある〔キャンセル〕ボタンを押して、ダイアログボックスを閉じて下さい。

また、この現象が発生した場合は、〔スタート〕〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔通信〕の順にクリックし、〔ダイヤルアップネットワーク〕のアイコンを開きます。エントリ名に設定しているアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューのプロパティを選択します。〔ダイヤル〕タブをクリックし、規定のインターネット接続の中にある〔ネットワークに接続していないときにダイヤルする〕に設定してください。

LPR印刷

ここでは、Windows 2000/NT4.0からのLPR印刷の設定について説明します。

準　備

プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。設定したIPアドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「IPアドレスの設定方法」（35ページ）参照

サービスの組み込み

Windows 2000のとき

「UNIX用印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 〔オプションネットワークコンポーネント〕ウィザードを表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕の順に選択し、〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスの〔詳細設定〕メニューから〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択します。

2 「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか（チェックボックスがチェックされているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3 「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか（チェックボックスがチェックされているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示に従って、操作をしてください。

● Windows NT4.0のとき

「Microsoft TCP/IP印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んであることが必要です。

1 *〔ネットワーク〕画面を表示する*

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 *「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれていることを確認する*

〔サービス〕タブをクリックして表示される「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が表示されることを確認します。表示されない場合は、組み込んでください。

手　順

1 *Windows 2000/NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする*

2 *添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、プリンタドライバをインストールする(「第5章 プリンタドライバのインストール」(41ページ)参照)*

ガイド インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定で、ポート名は「LPT1:」を選択してください。

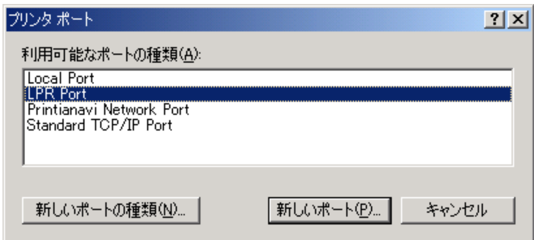
以降は画面の指示に従ってインストールします。

3 *プリンタのポートの設定を変更する*

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択します。

2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示します。

3 〔ポート〕タブをクリックし、〔ポートの追加〕ボタンをクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスから、「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕ボタンをクリックします。



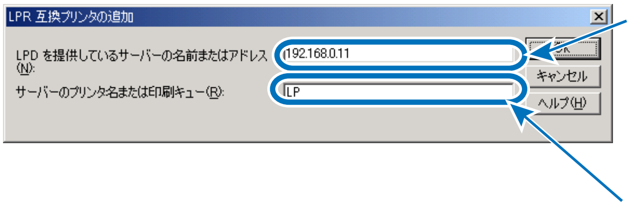
〔LPR互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。

次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

プリンタのIPアドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」(Windows NT4.0は「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」)には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。

4　*印刷データのスプール方法を変更する*

・Windows 2000 のとき

プリンタのプロパティから〔詳細設定〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

・Windows NT4.0 のとき

プリンタのプロパティから〔スケジュール〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。
以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

第7章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタドライバをインストールしたパソコン（サーバ）から印刷可能なプリンタを、他のパソコン（クライアント）からもサーバ経由で使用するために必要な設定について説明します。

プリンタを共有に設定する

ネットワーク上のサーバパソコンにインストールしたプリンタを共有に設定できます。共有プリンタに設定すると、ネットワーク上のほかのクライアントパソコンからも印刷できます。また、各クライアントは、プリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。

共有プリンタの設定は、プリンタドライバのインストールが完了したときの画面からもできます。

準備

サーバがWindows 95/98/Meの場合、サーバ側のネットワーク設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1 *〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックする*

2 *〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする*

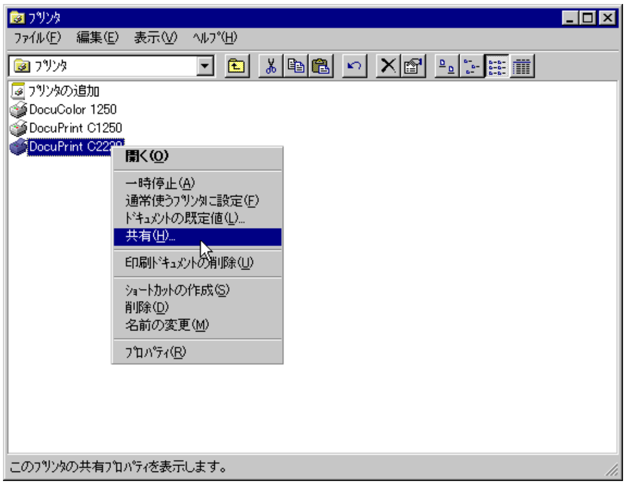
3 *〔プリンタを共有できるようにする〕を選択し、〔OK〕をクリックする*

サーバ側の設定

1　〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする

2　印刷に使用するプリンタのアイコンを選択して、右クリックする

3　ポップアップメニューから〔共有〕を選択する



4　〔共有する〕を選択して、任意の共有名を入力する

5　〔代替ドライバ〕一覧（Windows 2000の場合は〔追加ドライバ〕）で、インストールするプリンタドライバを選択する

6　〔OK〕をクリックする

代替ドライバをインストールするときは、プリンタドライバのファイルの場所を入力する画面が表示されます。そのときは、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットして、プリンタドライバの入っているフォルダを指定する

ガイド　Windows NT4.0の場合、代替ドライバの機能を利用するには、Windows NT4.0にService Pack 5以降をインストールする必要があります。

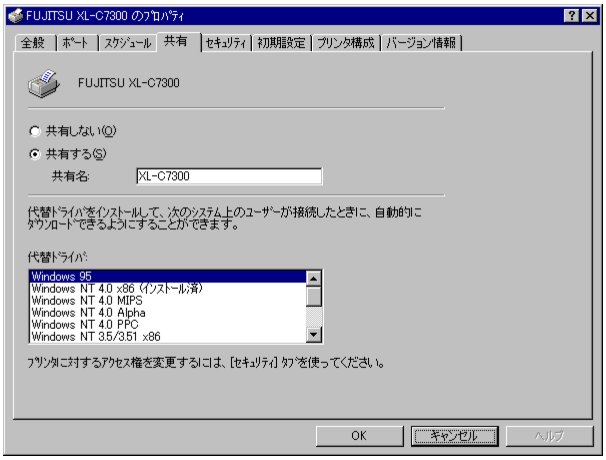
代替ドライバ

代替ドライバの登録／更新方法について説明します。

【サーバ環境が Windows NT4.0 の場合】

① プリンタのプロパティを表示し、〔共有〕タブを選択する

② 〔共有する〕を 選択し、任意の共有名（例：XL-C7300）を設定する



③ クライアント OS が Windows 95/98/Me の場合は、代替ドライバとして「Windows 95」を選択し、OK ボタンをクリックする

ただし、Windows 95 用ドライバと Windows 98/Me を混在登録することはできません。両方を代替ドライバとして登録するには、２台のサーバ環境が必要となります。

④ ディスク挿入ダイアログで OK ボタンを左クリックする

代替ドライバのコピー元の設定画面が表示されます。

⑤ プリンタドライバの格納フォルダを設定し、OK ボタンをクリックする

代替ドライバが登録されます。（プリンタドライバの格納フォルダについては、「第５章　プリンタドライバのインストール」（42 ページ）を参照ください。）

ガイド 代替ドライバの更新は、上記３～５と同様の手順で行えます。（更新結果は、クライアント環境でネットワーク・インストールを実施した時にバージョン情報で確認できます。）

【サーバ環境が Windows 2000 の場合】



①〔プリントサーバーのプロパティ〕ダイアログより〔ドライバ〕タブを選択する

② 追加ボタンをクリックすると、プリンタドライバの追加ウィザードが表示されるので、次画面へ進む

③ ディスク使用ボタンをクリックし、代替ドライバとするプリンタドライバの格納フォルダを設定後、〔OK〕ボタンをクリックする

詳細は 42 ページ以降を参照してください。

④ 代替ドライバをインストールするコンピュータ環境と OS を選択する



コンピュータ環境：Intel 固定

クライアント OS：

Windows 95/98/Me の場合

「Windows 95 または 98」

Windows NT4.0 の場合

「Windows NT4.0 または 2000」

※ Windows 95 と Windows 98/Me のドライバを混在させて、登録することはできません。

⑤ 画面に従って進み〔完了〕ボタンをクリックし、「ディスクの挿入」ダイアログ上で再度代替ドライバの格納フォルダを設定する

〔OK〕ボタンをクリックすると、代替ドライバの登録が行われます。

ガイド　代替ドライバの更新は、上記［ドライバ］タブで更新ボタンをクリックすると行えます。

クライアント側の設定

クライアントから共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
ここではWindows NT4.0を例にとって説明しますが、他のOSもほぼ同様の設定方法になります。
Windows NT4.0のクライアントからWindows 2000/NT4.0のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド　サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本プリンタに添付のプリンタソフトウェアCD-ROMが必要です。（サーバがWindows 95/98/Meのとき）

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ....Windows 95/98/Me/2000/NT4.0が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ...Windows NT4.0が動作するパソコンです。

設　定

1　*エクスプローラを起動する*

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Windows NTエクスプローラ〕の順に選択します。

2　*サーバで利用可能な共有プリンタを表示する*

〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から、共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　*設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする*

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

第 8 章

インターネット印刷の設定

この章では、IPP を使ってインターネット印刷をするための設定について説明します。

インターネット印刷を利用する

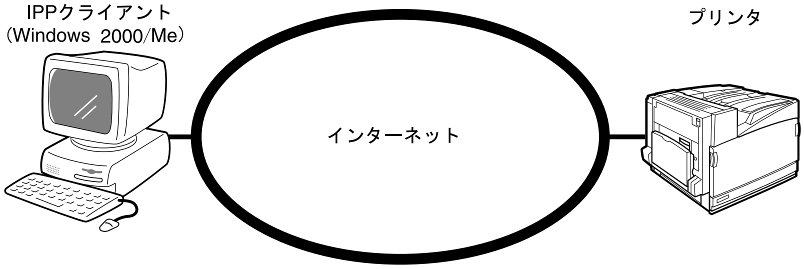
IPP を使って、Windows 2000/Me からインターネット印刷を利用する場合の設定手順を説明します。

システム構成について

本プリンタは、IPP（Internet Printing Protocol）をサポートしています。Windows 2000/Me は、IPP プリンタに印刷するためのホストソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているので、〔プリンタの追加〕ウィザードから、IPP 対応プリンタを指定できます。IPP を利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタに印刷できます。

お願い

Windows Me の場合、インターネット印刷を利用するには、IPP ポートをインストールする必要があります。
Windows Me の CD-ROM をお持ちの場合：
CD をエクスプローラ等で参照し、\ADD-ONS\ipp\WPNPINS.EXE を実行してください。
プレインストールモデル等で Windows Me の CD-ROM をお持ちでない場合：
エクスプローラ等で、ハードディスク上にある WPNPINS.EXE を検索し、実行してください。



・トランスポートプロトコル
TCP/IP
・対象 OS
Microsoft Windows 2000 Server 日本語版(ServicePack 1を含む)
Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版(ServicePack 1を含む)
Microsoft Windows Me 日本語版

設定のながれ

1　*ホスト側で、印刷先の設定とプリンタドライバをインストールする*

参照　設定方法については、「印刷先の設定とプリンタドライバのインストール」(118 ページ)を参照してください。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

ネットワーク環境によっては、IP アドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

アドレスの指定方法には、DHCPサーバから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。

参照　IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」(35 ページ)を参照してください。

その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

・IPP のアクセス権制御（工場出荷時:【ムコウ】)
・IPP の追加ポート番号（工場出荷時:【80】)
・IPP のタイムアウト　（工場出荷時:【60 ビョウ】)

参照　設定項目の詳細は、「第 14 章　共通メニューの設定」(261 ページ)を参照してください。また、「Internet Services」を使うと、さらに詳細な設定ができます。詳細については、「第 15 章　インターネットサービスの設定」(279ページ)を参照してください。

印刷先の設定とプリンタドライバのインストール

ホスト側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールをする手順について説明します。

ガイド

- ・プリンタドライバをインストールする前に、ホストに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 2000/Meに付属のマニュアルを参照してインストールしてください。
- ・インターネット印刷をプロキシサーバを経由して利用する場合に、印刷先の設定をすると、「プリンタに接続できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。その時は、〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔コントロールパネル〕をクリックし、〔インターネットオプション〕で、本プリンタのIPアドレスをプロキシサーバを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、Windows 2000/Meに付属のマニュアルを参照してください。

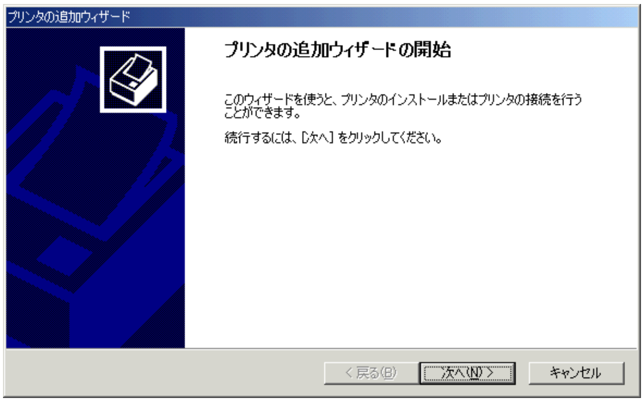
Windows 2000の場合

1　*〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする*

〔プリンタ〕ダイアログが表示されます。

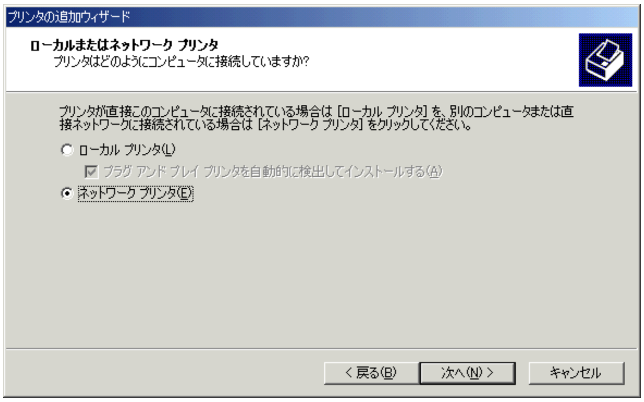


2　*〔プリンタの追加〕を開く*



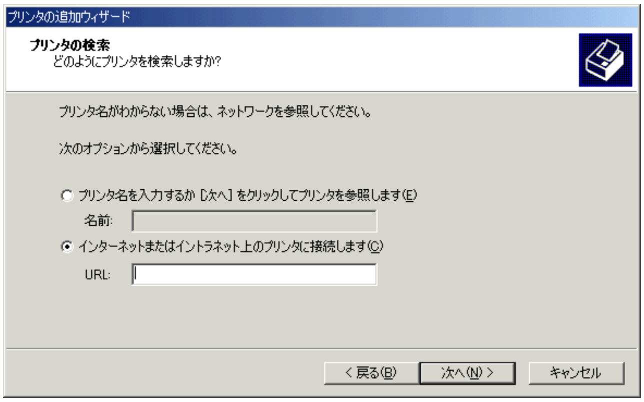
3　*〔次へ〕をクリックする*

プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。



4　*〔ネットワークプリンタ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする*

プリンタの検索方法を指定する画面が表示されます。

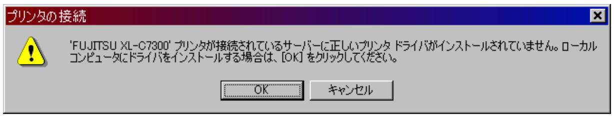


5　*〔インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します〕を選択し、〔URL〕に以下のURLを入力して、〔次へ〕をクリックする*

http://〔本プリンタのIPアドレス〕/ipp

プリンタの接続ダイアログボックスが表示されます。

ガイド　ホスト上でDNS設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。



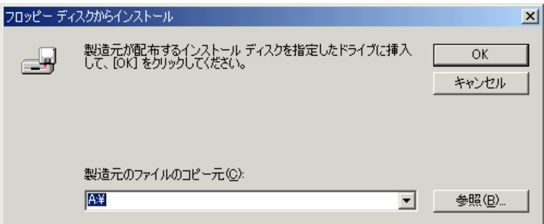
6 〔OK〕をクリックする

プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

7 プリンタソフトウェア CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする



8 〔ディスク使用〕をクリックする

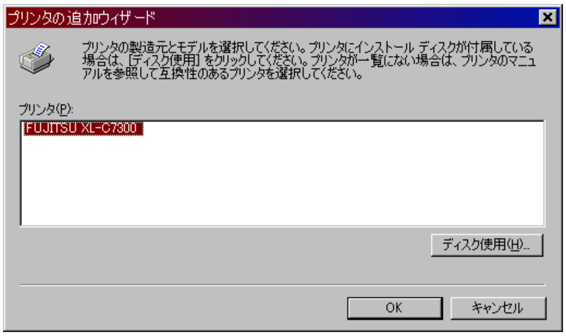


9 表示されたダイアログボックスで「X:\DRIVER\Win_2k」と入力し、〔OK〕をクリックする

プリンタを選択する画面が表示されます。

ガイド

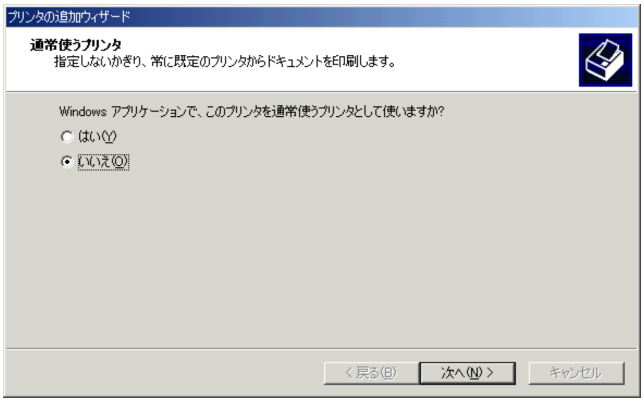
- ここでは、CD-ROMのドライブ名を「X:」として説明しています。（CD-ROMドライブがＦの場合、「F:DRIVER\Win_2k」と入力してください。）
- 〔参照...〕をクリックして、「DRIVER\Win_2k」フォルダを指定することもできます。



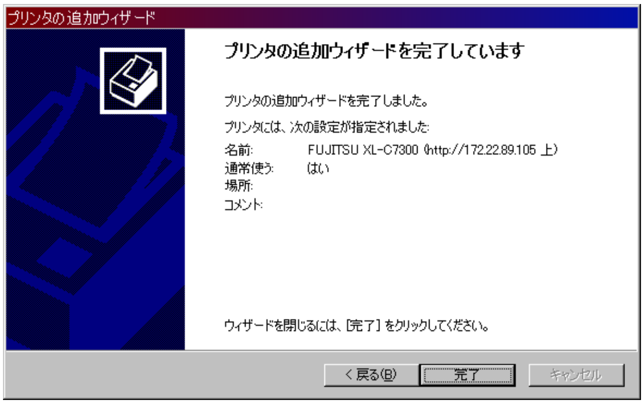
10〔FUJITSU XL-C7300〕を選択して、〔OK〕をクリックする

ガイド

「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログボックスが表示されますが、〔はい〕をクリックすると、必要なファイルのコピーを開始します。



11 本プリンタを通常使用する場合は〔はい〕を、使用しない場合は〔いいえ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



12〔完了〕をクリックして終了する

Windows Me の場合

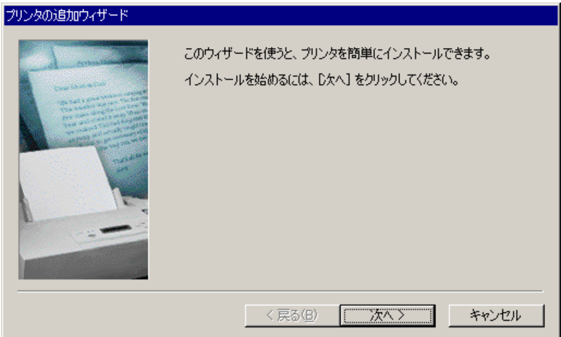
1 〔スタート〕、〔設定〕、〔プリンタ〕の順に選択する

〔プリンタ〕ウィンドウが表示されます。



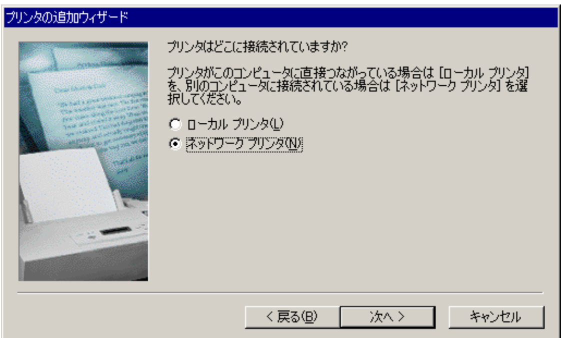
2 〔プリンタの追加〕を開く

「プリンタの追加」ウィザードが起動します。



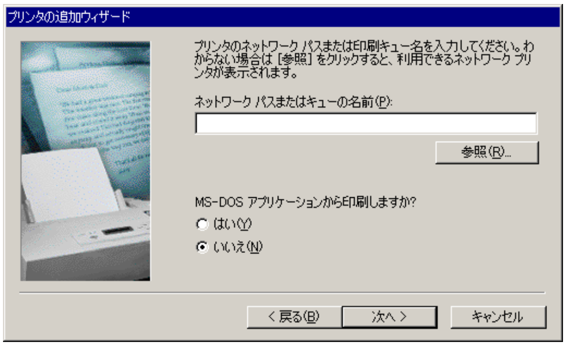
3 〔次へ〕をクリックする

プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。



4 〔ネットワークプリンタ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

プリンタの検索方法を指定する画面が表示されます。

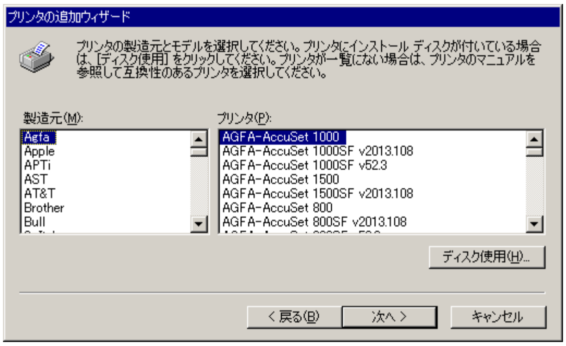


5　*〔ネットワークパスまたはキューの名前〕に以下の URL を入力して、〔次へ〕をクリックする*

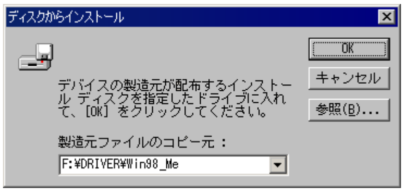
http://〔本プリンタの IP アドレス〕/ipp

ガイド　ホスト上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

6　*プリンタソフトウェア CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする*



7　*〔ディスク使用〕をクリックする*



8　*表示されたダイアログボックスで「X:\DRIVER\Win98_Me」と入力し、〔OK〕をクリックする*

プリンタを選択する画面が表示されます。

ガイド

- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「X:」として説明しています。（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:DRIVER\Win98_Me」と入力してください。）
- 〔参照 ...〕をクリックして、「DRIVER\Win98_Me」フォルダを指定することもできます。

8

セットアップ編

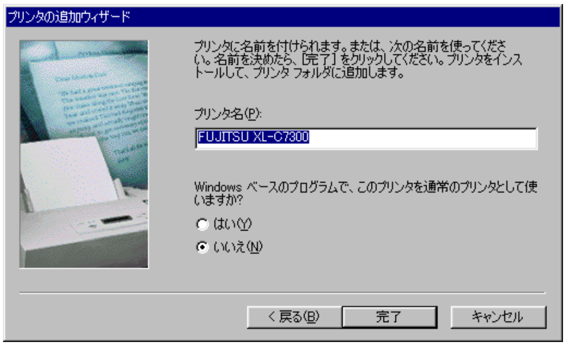


9 〔FUJITSU XL-C7300〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

通常使うプリンタを指定する画面が表示されます。

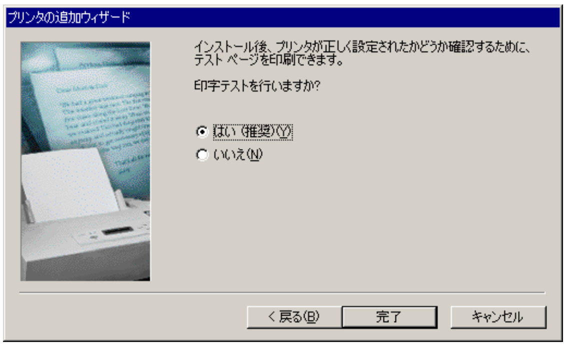
ガイド

「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログボックスが表示されますが、〔はい〕をクリックして、インストールを続けてください。



10 プリンタの名前を入力する

11 本プリンタを通常使用する場合は〔はい〕を、使用しない場合は〔いいえ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



12 インストール後に、テストページを印刷する場合は〔はい〕を、印刷しない場合は〔いいえ〕を選択して、〔完了〕をクリックして終了する

必要なファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、インストール完了の画面が表示されます。

運　用　編

第9章

用紙について

本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となることがあります。本プリンタの性能を効果的に活用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(347ページ)にお問い合わせください。

用紙の種類

普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次項で紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	規格（メートル坪量 / 連量）	セット可能枚数
用紙トレイ１～２	メートル坪量：64 ～ 105g/m^2 連量：55 ～ 90kg	約 560 枚
用紙トレイ３（大容量）	メートル坪量：64 ～ 105g/m^2 連量：55 ～ 90kg	約 1000 枚
用紙トレイ４（大容量）	メートル坪量：64 ～ 105g/m^2 連量：55 ～ 90kg	約 1300 枚
手差しトレイ	メートル坪量：64 ～ 220g/m^2 連量：55 ～ 189kg	10㎜まで 100 枚

ガイド

・メートル坪量とは、１m^2の用紙１枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788 × 1,091㎜）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。
・手差しトレイで、不定形サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザ定義サイズとして用紙を登録する必要があります。登録のしかたについては、「不定形用紙を登録する」（242 ページ）を参照してください。
・手差しトレイで、A3 より大きい用紙または、幅が 297㎜を超える不定形サイズの用紙に印刷するときは、用紙ガイドを移動してからセットします。

お願い

プリンタドライバで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷すると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

使用できる用紙

本プリンタでは、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ品の詳細は、「サプライ品」（154 ページ）を参照してください。

お願い

用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

推奨用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙			説明
上質紙	カラーオフィス用紙	A3 B4 A4 B5	本プリンタでの印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
普通紙	オフィス用紙Ｗ	A3 B4 A4（Y） B5（Y） A5	本プリンタでの印刷時、良好な印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀ用OHPﾌｨﾙﾑ	A4	XL-C3100/7300 用 OHP フィルムです。 手差しトレイからの給紙のみ使用できます。
長尺用紙	長尺用紙(297 × 900mm)		XL-C7300 用の長尺用紙です。 手差しトレイからの給紙のみ使用できます。

ガイド

カラーページプリンタXL-C3000に対応していたカラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡは、本プリンタではご使用になれません。

一般の用紙

推奨用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説明
普通紙	PPC 用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	坪量は 64 ～ 105g/㎡ の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙[*1]	坪量は 64 ～ 105g/㎡ の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製はがき[*2]	通常の官製はがきが使用可能です。
	ラベル紙[*3]	台紙全体がラベルで覆われていて、カットがないレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙	坪量は 105 ～ 220g/㎡ の範囲内のものが使用可能です。

*1：再生紙は、一般の室温以上の環境下で使用すると、印刷品質が低下したり、紙づまりなどが発生することがあります。

*2：かもメールなどの絵入りはがきなどの印刷は、はがきの粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。このような場合は給紙ローラを清掃（200 ページ）してください。

*3：台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となります。使用しないでください。

給紙方法と用紙のサイズ

次のサイズ、質量の用紙が使用できます。用紙トレイ、手差しトレイのどちらでも使用できます。

給紙方法	用紙種類	サイズ(セット方向)	質量	積載可能枚数
用紙トレイ (560 枚)(*6)	普通紙	A3(横) B4(横) A4(縦／横) B5(縦／横) A5(横) レター(縦) リーガル(横)	64 ～ 105g/m²	約 560 枚 (または総厚 54mm まで)
(1000 枚)(*7)	普通紙	A4(縦) B5(縦) レター(縦)	64 ～ 105g/m²	約 1000 枚 (または総厚 93mm まで)
(1300 枚)(*8)				約 1300 枚 (または紙厚 121mm まで)
手差しトレイ	普通紙	A3(横) B4(横) A4(縦／横) B5(縦／横) A5(縦／横) レター(縦／横) リーガル(横) ユーザー定義用紙〔カスタム〕 (幅 100 × 140 ～ 長さ 305 × 482mm)	64 ～ 105g/m²	約 100 枚 (または総厚 16mm まで)
	官製はがき(*1)	はがき(横)	190g/m²	約 40 枚
	ラベル紙(*2)	A4(縦／横) レター(縦／横)	106 ～ 220g/m²	約 40 枚
	厚紙 1(*3)	給紙方法手差しトレイでの普通紙と同じ	106 ～ 169g/m²	約 40 枚
		長尺（幅 297 × 長さ 900mm）	106g/m²	1 枚
	厚紙 2(*4)	給紙方法手差しトレイでの普通紙と同じ	170 ～ 220g/m²	約 40 枚
	OHP フィルム(*5)	A4(縦／横)	160g/m²	約 40 枚

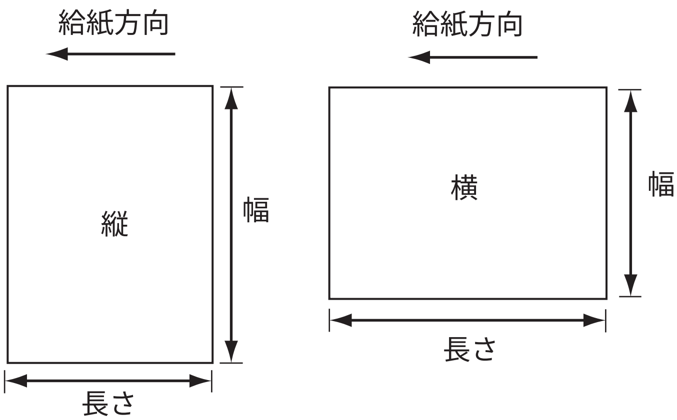
*1：官製はがきの印刷ではプリンタドライバの用紙種類は、はがきに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*2：プリンタドライバの用紙種類はラベル紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*3：プリンタドライバの用紙種類は厚紙1に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*4：プリンタドライバの用紙種類は厚紙2に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*5：プリンタドライバの用紙種類はOHPフィルムに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*6：本トレイは標準トレイおよびオプションの拡張給紙ユニット-A／-Bのトレイ2用です。
*7：本トレイはオプションの拡張給紙ユニット-Bのトレイ3用です。
*8：本トレイはオプションの拡張給紙ユニット-Bのトレイ4用です。

お願い

ハガキは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたハガキや反りのあるはがきを使用すると、紙づまりなどが発生することがあります。

ガイド

表の中の「幅」、「長さ」、「横」、「縦」の関係は下図のとおりです。



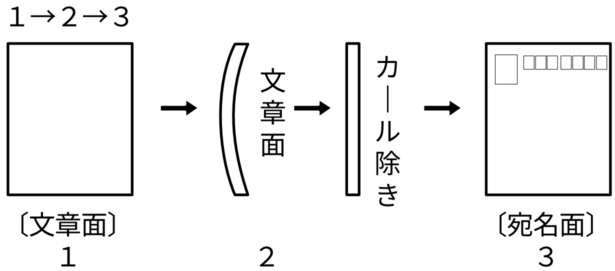
普通紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。
また、プリンタドライバでの用紙種類の設定は、文章面に印刷する場合は「はがき」を、宛名面に印刷する場合は、「はがき（うら面）」を指定してください。指定を間違えると画質が落ちることがあります。



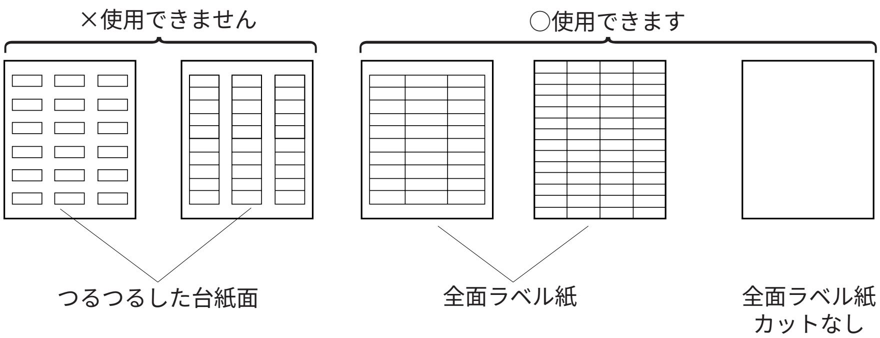
官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
・印刷面を上にしてセットしてください。
・手差しトレイに横方向にセットしてください。
・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

ＯＨＰフィルム

本プリンタ専用以外のOHP フィルムは使用しないでください。

ラベル紙

台紙全体がラベルで覆われていて、カットがないレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。



使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタの故障となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・本プリンタで印刷済みの上質紙、普通紙、再生紙、OHP フィルム、ラベル紙 *1
・他のカラーレーザプリンタ／モノクロレーザプリンタ用OHPフィルム、他のカラー複写機／モノクロ複写機用 OHP フィルム、カラーページプリンタ用 OHP フィルムII A4
・インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
・他のカラーレーザプリンタ、モノクロレーザプリンタで印刷済みの用紙
・熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、濡れている用紙
・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、160℃以下の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・160℃以下の熱で溶けたり、変質する用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・ツルツル、スベスベした表面がなめらかすぎる用紙
・紙粉の多い用紙
・簡単にはがれてしまうラベル紙
・台紙全体がラベルなどで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

*1：本プリンタで片面のみ印刷された、厚紙 1/ 厚紙 2/ 官製はがき / 長尺用紙のみ裏面印刷が可能です。

用紙の保管上のご注意

用紙を保管するときは、以下のことに気を付けてください。

・用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
・開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
・用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

用紙をトレイにセットする前に以下の事項を守ってください。
・バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
・折りめ、シワが入った用紙は使用しないでください。
・波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
・サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
・OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

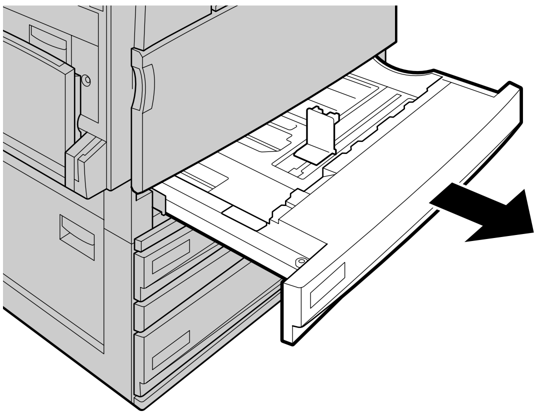
用紙のセット

用紙トレイに用紙をセットする

用紙トレイに用紙をセットする

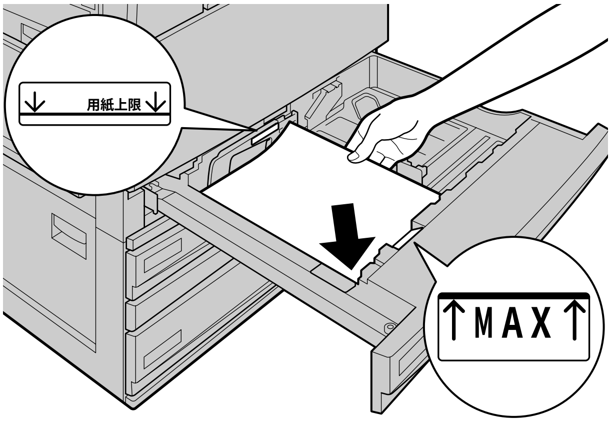
用紙トレイ１～４に用紙をセットする方法を説明します。印刷中に用紙がなくなると、オペレータパネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的に印刷が再開されます。

参照　用紙サイズや向きを変更する場合は、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」（142 ページ）を参照してください。



1　*用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出す*

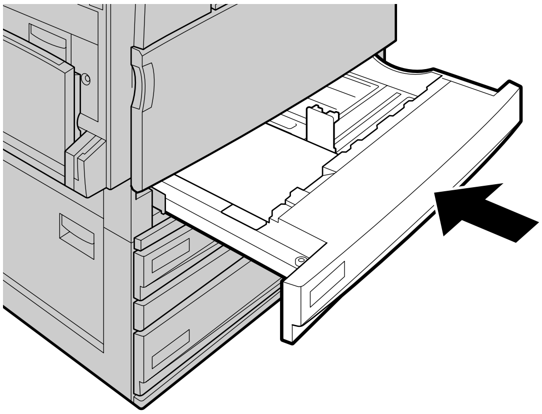
⚠注意	けが	用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



2　印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットする

お願い

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



3　奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む

正しく用紙がセットがされると、自動的に印刷が再開されます。

用紙トレイ１～４にセットする用紙種類について

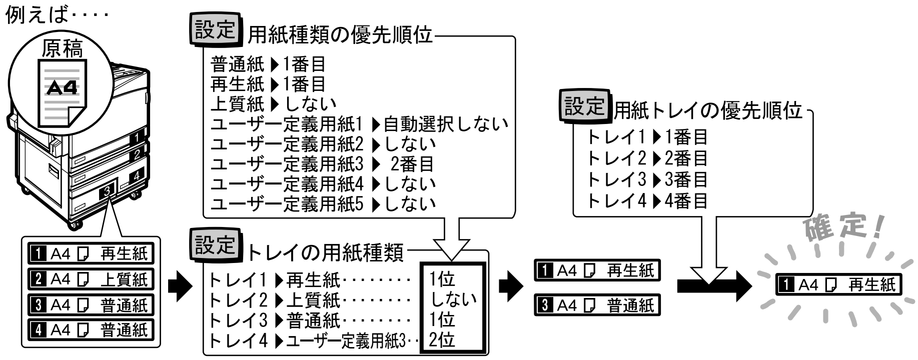
用紙トレイ１～4には、メートル坪量で64～105g/㎡の普通紙、再生紙、上質紙がセットできます。セットした用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙種類は、設定が必要です。通常、各トレイは、普通紙が設定されています。再生紙や上質紙をセットする場合は、設定を変更してください。また、普通紙、再生紙、上質紙の用紙に名前を付けて、ユーザ定義用紙として設定することもできます。ユーザ定義用紙は、５種類まで設定できます。

参照　用紙トレイの用紙種類を変更する場合は、「共通メニューの設定を変更する」（265ページ）を参照してください。

自動トレイ選択について

プリンタドライバのプロパティ画面で、〔トレイ / 排出〕タブの「用紙トレイ選択」を「自動」にして印刷を指示すると、機械は、印刷する原稿のサイズと向きから、該当する用紙トレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。

・自動トレイ選択の優先順位
この自動トレイ選択で、該当する用紙トレイが複数ある場合は、「トレイの用紙種類」に設定している、「用紙種類の優先順位」が高いトレイを選択します。このとき、「用紙の優先順位」の設定を「自動選択しない」に設定しているトレイは、「自動トレイ選択」の対象にはなりません。また、「用紙種類の優先順位」がまったく同じ場合は、「用紙トレイの優先順位」で決定されます。



ガイド

・手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
・自動トレイ選択で該当する用紙トレイがなかったときは、用紙補給を促すメッセージが表示されます。ただし、このメッセージを出さずに、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するよう設定することもできます。（用紙の置き換え機能）
・印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます（自動トレイ切り替え機能）。このとき、〔用紙種類の優先順位〕を〔自動選択しない〕に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。

参照　「用紙トレイの用紙種類」、「用紙種類の優先順位」、「用紙トレイの優先順位」の設定についてや、用紙の置き換え機能設定については、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）を参照してください。また、Internet Services からも同様の設定ができます。

手差しトレイに用紙をセットする

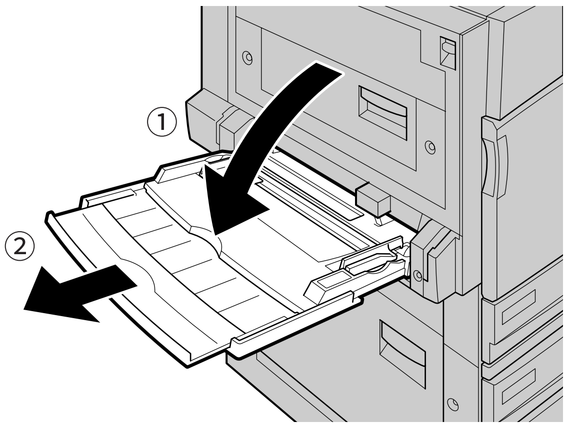
用紙トレイ１～４にセットできないサイズや種類の用紙に印刷する場合は、手差しトレイを使用します。

ここでは、手差しトレイへの用紙のセット方法について説明します。

詳細な印刷の指示は、プリンタドライバの〔トレイ / 排出〕タブで指定します。そのとき、セットする用紙の種類も指定します。指定できる用紙の種類は、次のとおりです。用紙に合わせて選択してください。

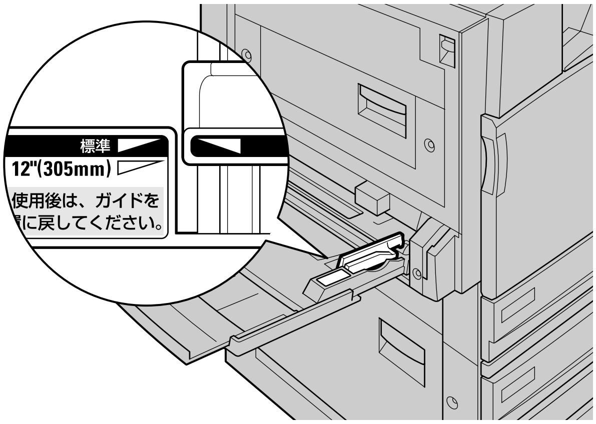
・上質紙(64 ～ 105g/m²)
・普通紙(64 ～ 105g/m²)
・再生紙(64 ～ 105g/m²)
・厚紙 1(106 ～ 169g/m²)
・厚紙 1(106 ～ 169g/m²) うら面
・厚紙 2(170 ～ 220g/m²)
・厚紙 2(170 ～ 220g/m²) うら面
・はがき
・はがき（うら面）
・OHP フィルム
・ラベル紙
・ユーザ定義用紙種類 1 ～ 5
※ 長尺用紙の場合は、「厚紙 1(106 ～ 169g/m²)」または「厚紙 1(106 ～ 169g/m²) うら面」を選択してください。

参照　特殊用紙に印刷する場合は、「特殊用紙に印刷する」(236 ページ)、「はがきに印刷する」(239ページ)、「不定形用紙に印刷する」(241 ページ) を参照してください。



1　*手差しトレイを開く*

必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2段階に引き出せます。

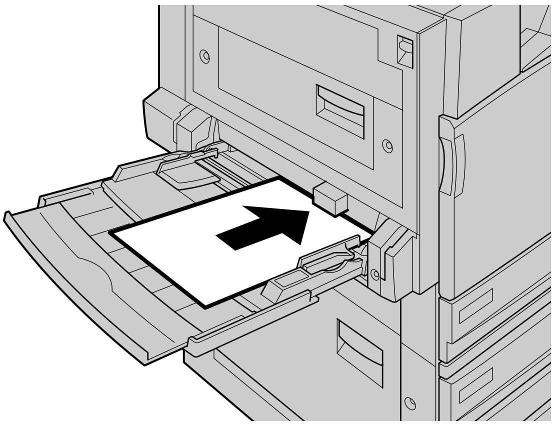


2 手差しトレイの手前にある用紙ガイドの位置を確認する

通常は、用紙ガイドを「標準」の位置にします。

ガイド

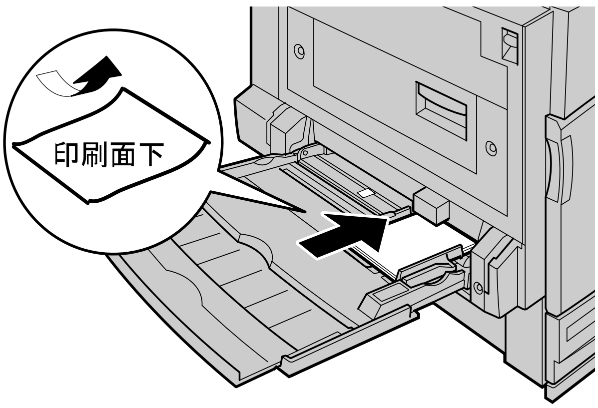
用紙ガイドが「12 ”(305mm)」の位置にある場合は、「標準」の位置に戻してください。幅がA3（297mm）を超える用紙に印刷する場合は、用紙ガイドを移動します。用紙ガイドの移動の仕方は、次項の「用紙ガイドの位置を移動する」（141ページ）を参照してください。



3 印刷する面を下に向けて、用紙を手前の用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込む

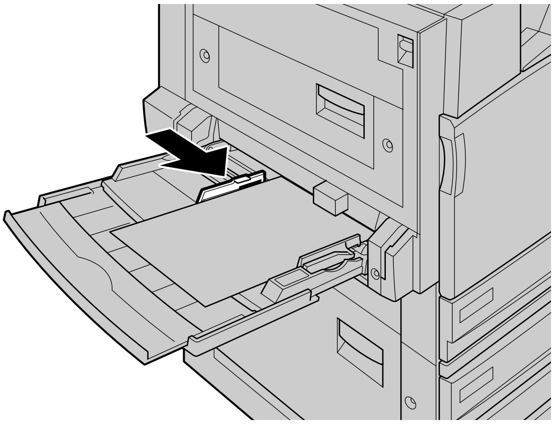
お願い

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 給紙ローラを清掃しても給紙されない場合は、用紙の先端を図のように上向きにカールさせてからセットしてください。



ガイド

異なるサイズの用紙を混在してセットできません。



4 *用紙サイズ合わせガイドを、セットする用紙サイズに合わせる*

5 *印刷を指示する*

〔トレイ / 排出〕タブの「用紙トレイ選択」で「手差し」を選択し、「手差し用紙種類」から用紙の種類を選択してください。

運用編

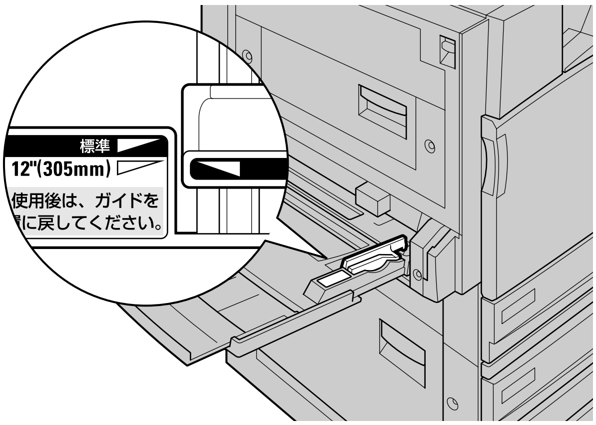
9

用紙ガイドの位置を移動する

幅が A3（297mm）を超える用紙に印刷するときは、用紙ガイドを「12 ”(305mm)」に移動してください。

お願い

印刷が終了したら、必ず用紙ガイドを「標準」の位置に戻してください。



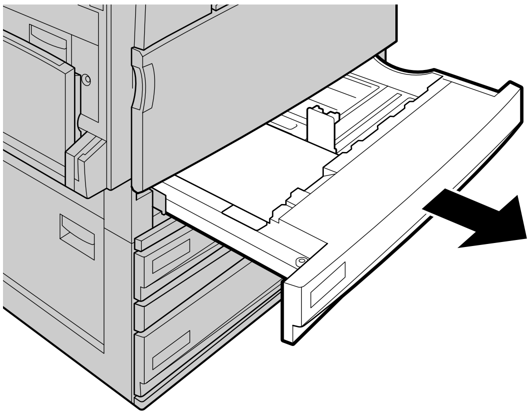
1 *手差しトレイの手前にある用紙ガイドを「１２ ”(305mm)」にスライドさせる*

用紙トレイの用紙サイズを変更する

用紙トレイ１〜４の用紙サイズを変更する方法を説明します。セットできる用紙サイズは定形サイズだけです。不定形サイズの用紙に印刷したい場合は、手差しトレイを使用してください。

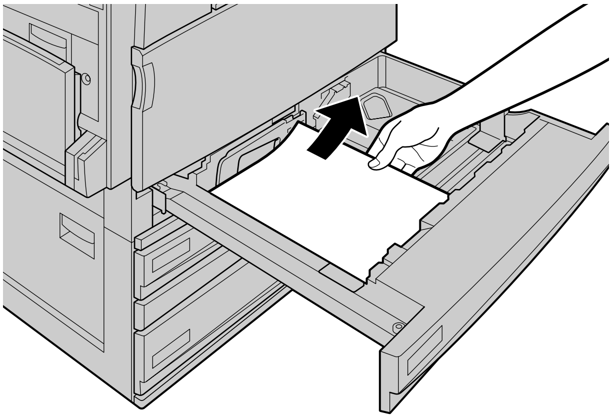
参照

- 用紙トレイ１〜４には、用紙の紙質が設定されています。紙質の種類は、「普通紙」、「上質紙」、「再生紙」の３種類で、通常は、「普通紙」が設定されています。異なる紙質の用紙に変える場合は、印字品質を保つため、セットする用紙に合わせて、紙質の設定を変更してください。紙質の設定については、「共通メニューの設定を変更する」(265ページ)を参照してください。
- 不定形サイズの用紙に印刷する方法は、「不定形用紙に印刷する」(241ページ)を参照してください。

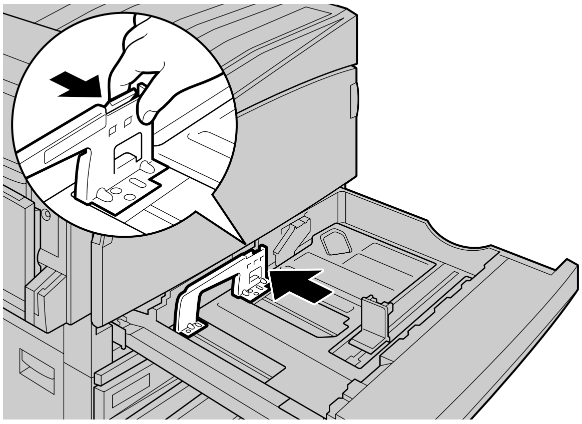


1　*用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出す*

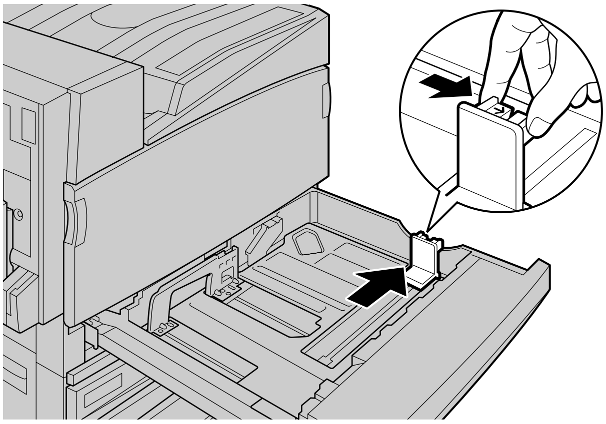
⚠注意	けが	用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



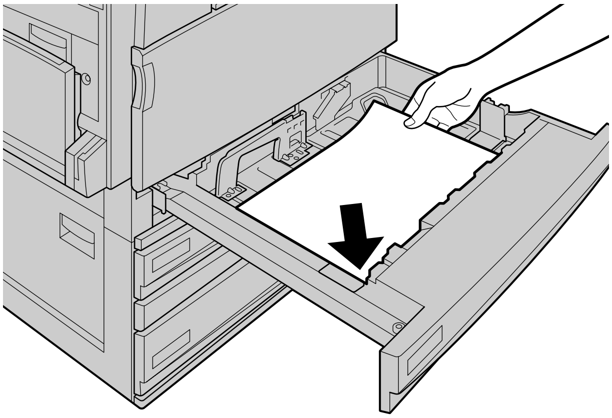
2 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出す



3 トレイ内の奥にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを奥まで移動する



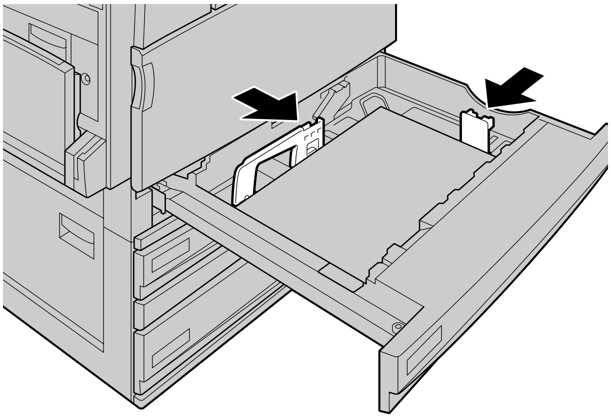
4 トレイ内の右にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを右側へ移動する



5　印刷する面を上にして、用紙の先端を左手前にそろえてセットする

お願い

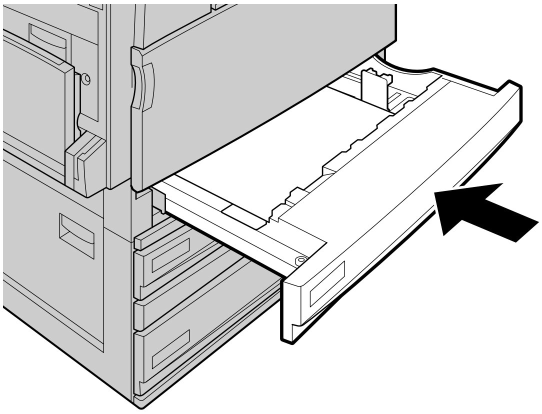
- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。



6　2か所の用紙ガイドレバーを、用紙に軽く当てるように合わせる

お願い

- 用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。
- 用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。目盛りのサイズに合っていないと、用紙サイズを自動で検出できないことがあります。このときは、いったん用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。



7 *奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む*

8 *用紙の種類を変更した場合は、用紙トレイに、用紙種類(普通紙、上質紙、再生紙)の設定をする*

参照　用紙の種類の設定は、「共通メニューの設定を変更する」(265ページ)を参照してください。

第10章

オプションについて

本プリンタのオプションのプリンタRAMモジュール、両面ユニット、拡張給紙ユニットについて説明します。

オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット		プリンタに取り付けると、用紙の両面に印刷できます。

※　本ユニット装着時には、必ずプリンタRAMモジュール128MBを装着してください。

拡張給紙ユニット

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット-A		2段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3～A5の用紙を約560枚セットできる用紙トレイが1個と、予備の消耗品、用紙、取扱説明書等を入れるためのキャビネットで構成されています。
拡張給紙ユニット-B		2～4段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3～A5の用紙を約560枚セットできる用紙トレイが1個と、A4～B5サイズの用紙を約1000枚、または約1300枚セットできる用紙トレイが各1個ずつで構成されています。

プリンタRAMモジュール

品　名	型　名	内　容
プリンタRAMモジュール-128MB	XL-EM128M4	RAMを128MB搭載したメモリモジュールです。 標準搭載で印刷できない場合、長尺（297×900mm）に印刷時、両面ユニット装着時に増設します。

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL711、FMV-CBL712
PRIMERGY，GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

【USB ケーブル】

本プリンタをパソコンのUSBインタフェースに接続して使用するためのケーブルです。USB からパラレルインタフェースの変換を行います。

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	FMV-CBL721	USB に対応し、Windows 95 OSR2.5 以降または Windows 98/Me/2000 が動作するパソコンに接続可能です。

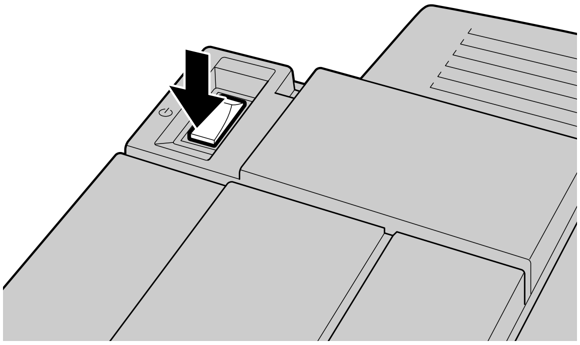
運用編

10

プリンタRAMモジュールの取り付け方

⚠注意

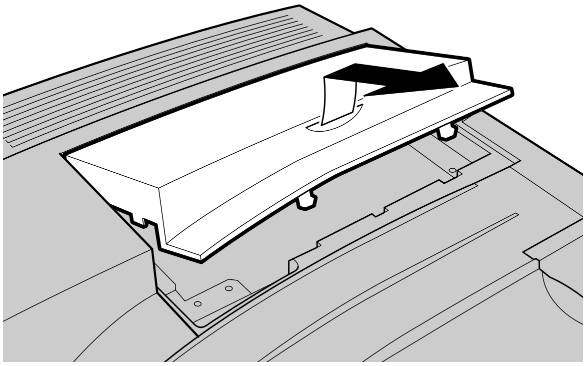
破 損　本オプションを設置する際は、必ず機器の電源を落して作業をしてください。電源を入れたまま作業をすると、静電気などによりオプションおよび機器が破損するおそれがあります。



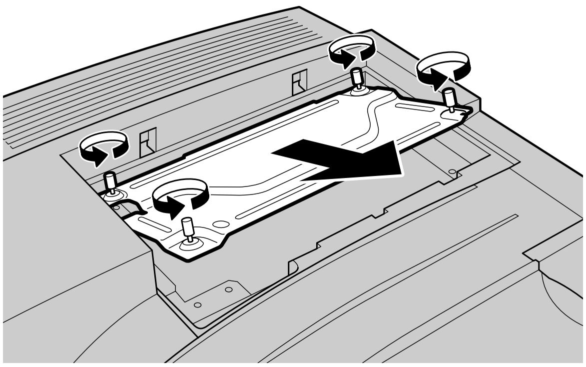
1 *本体上面左奥にある電源スイッチの［ ⏻ ］の側を押し、電源を切る。電源を切ったら、電源コードを本体から抜く*

お願い

エラーメッセージが表示された場合には、「メッセージ一覧」（313ページ）を参照して対処をしてください。



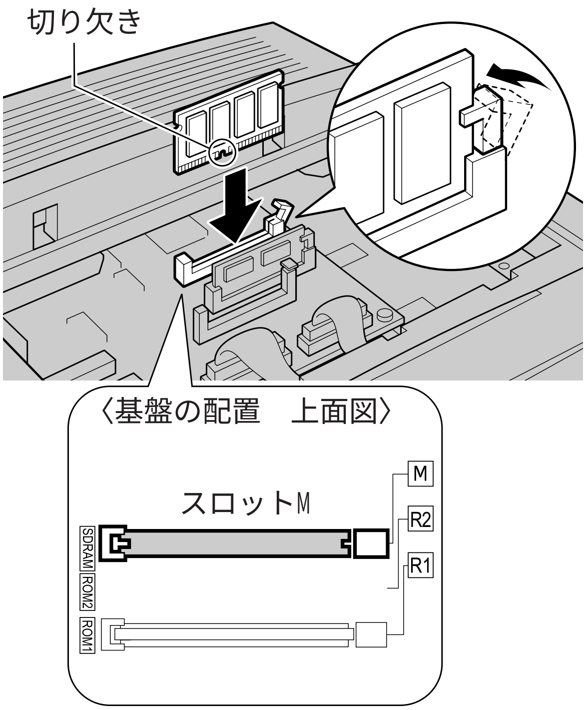
2 *本体上面の右奥にあるカバーの取っ手を、持ち上げて、矢印の方向に外す*



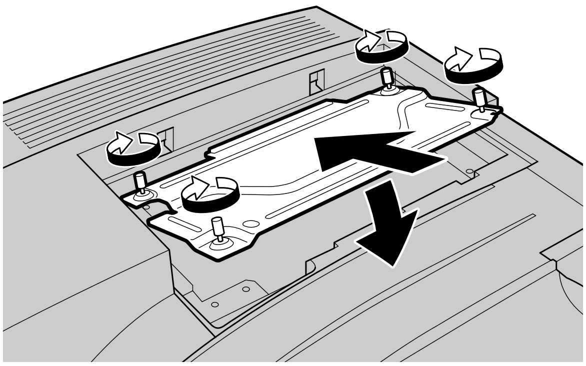
3 *4つのねじを、手前2か所、奥2か所の順番に、空回りするくらいまでゆるめて、金属の板を外す*

お願い

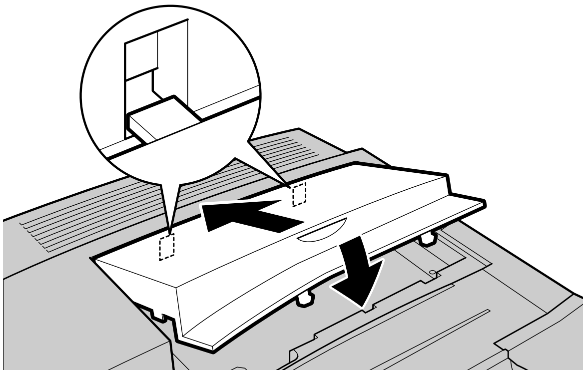
ねじは、完全に取り外さないでください。



4 *メモリの切り欠きが左側にくるように持ち、スロットMに真っすぐに差し込む。軽く差し込んだ状態で、左、右の順に強く押し込む*



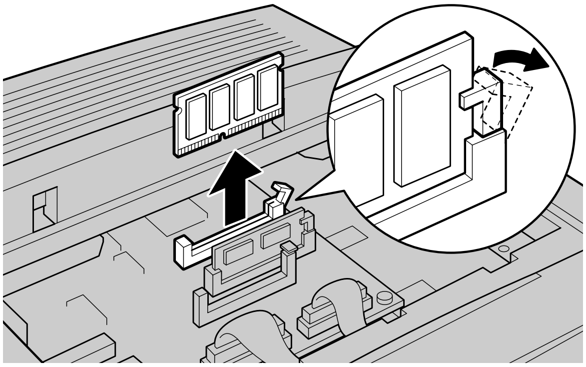
5 *金属の板を差し込み、4か所のねじを留める*



6 *カバーを取り付ける*

これで、RAMモジュールの取り付けは終了です。正しく取り付けられたかどうかを、機能設定リストを印刷して確認してください。
また、アプリケーションソフトウェアから印刷する前に、プリンタドライバでプリンタの構成を変更してください。

プリンタRAMモジュールの取り外し方



1 *両側にあるイジェクトレバーを外側に倒して、スロットに差し込まれているRAMモジュールをまっすぐに引き抜く*

参照　本体上面の右にあるカバーと外し方は、「プリンタRAMモジュールの取り付け方」（150ページ）を参照してください。

第11章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ品

サプライ品の商品番号を以下に示します。
これらの品物については、本プリンタのご購入元へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

ガイド カラーページプリンタ XL-C3000 に対応していたカラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡは、本プリンタではご使用になれません。

商　品　名		商品番号	備　考
カラーオフィス用紙（上質紙）	A3	0415750	250 枚× 5 冊で 1 ケース
	B4	0415720	
	A4	0415710	250 枚× 10 冊で 1 ケース
	B5	0415740	
オフィス用紙 W（普通紙）	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5	0411630	
カラーページプリンタ用 OHP フィルム	A4	0415510	50 枚
長尺用紙(297 × 900mm)		0421010	100 枚× 5 冊で 1 ケース
トナーカートリッジ（ブラック）	CL107	0885110	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 10,000 枚（ブラックのみ 12,000 枚）です（印刷の内容により、多少の差があります）。
トナーカートリッジ（イエロー）	CL107	0885120	
トナーカートリッジ（マゼンタ）	CL107	0885130	
トナーカートリッジ（シアン）	CL107	0885140	
ドラムカートリッジ	CL107	0885410	感光体、ドラムクリーナーで構成されています。約 24,000 枚で交換です。（注 1）
廃トナーボックス	CL107	0885710	約 10,000 枚で交換です。
CL107　給紙カセット（A3 ユニバーサル）		0885310	A3 〜 A5 サイズで約 560 枚 拡張給紙ユニット -A および拡張給紙ユニット -B に添付の用紙トレイと同一です。

（注1）ドラムカートリッジ、廃トナーボックスの印刷寿命は、モノクロ：カラー＝ 1：1 で印刷した場合です。
印刷の内容により（カラーの印刷枚数が多い場合等）印刷寿命が約 12,000 枚程度になります。

使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル: 0120-30-0693
平日　8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

サプライ品を交換する

トナーカートリッジを交換する

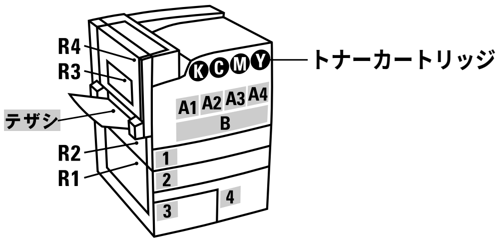
本プリンタには、ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の4色のトナーカートリッジがセットされています。各カートリッジにはそれぞれの色のトナーが入っており、トナーは印刷するたびに少しずつ減少します。

トナーカートリッジの交換時期になると、オペレータパネルのディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。オペレータパネルの左にある表示部で、該当するトナーカートリッジの位置を確認し、メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。

```
トナー　K
コウカンシ゛キテ゛ス
```

↓

```
トナー　K
コウカン　シテクタ゛サイ
```



ガイド

・ディスプレイには、トナーカートリッジの色は、K、C、M、Yと表示されます。Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。
・交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、最大250ページの印刷で製品は停止し、印刷できなくなります。（印刷ページ数は原稿によって異なります。）

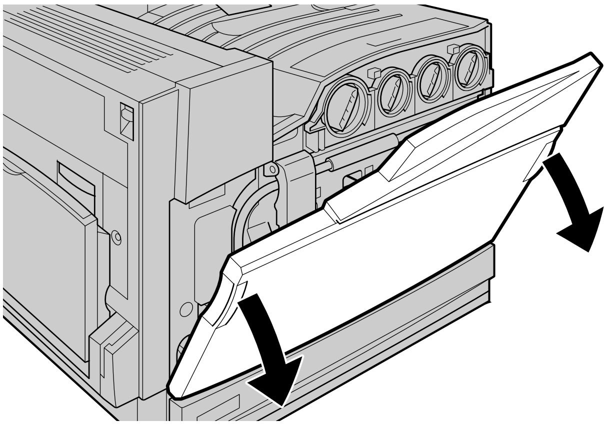
⚠警告	
やけど	トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お願い

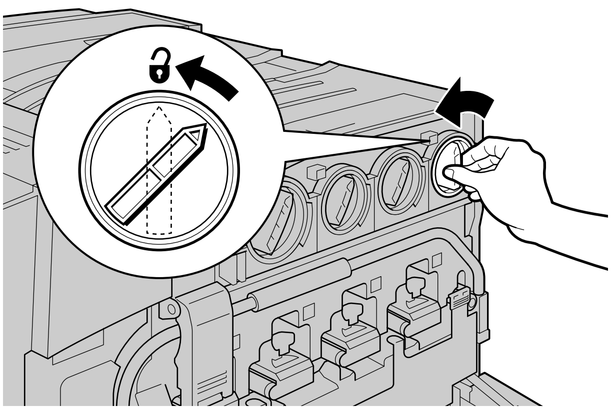
- 使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
  （「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（155ページ）参照）
- トナー残量が少なくなってきている場合、「コウカンジキデス」とメッセージが表示されないまま、印刷中に製品が停止して「トナーヲコウカンシテクダサイ」と表示されることがあります。その場合は、表示されている色のトナーカートリッジを交換すると、印刷は継続されます。トナーカートリッジを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。

ガイド

トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。



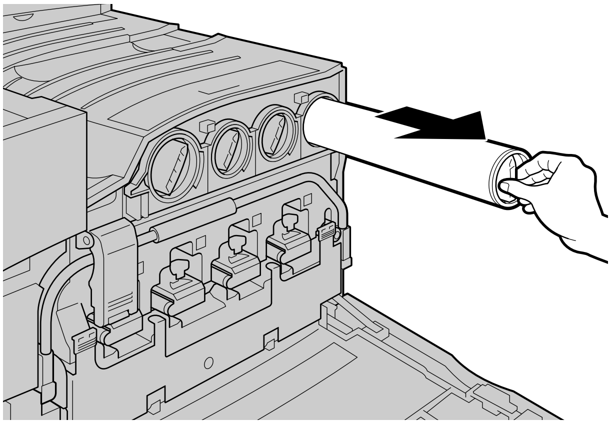
1 *製品が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける*



2 *メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、鍵印（🔓）の位置まで左方向に回す*

ガイド

Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

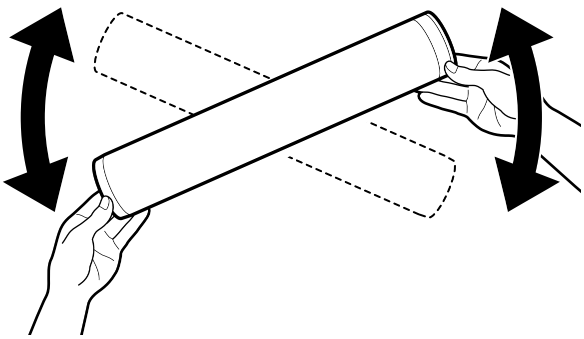


3 トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出す

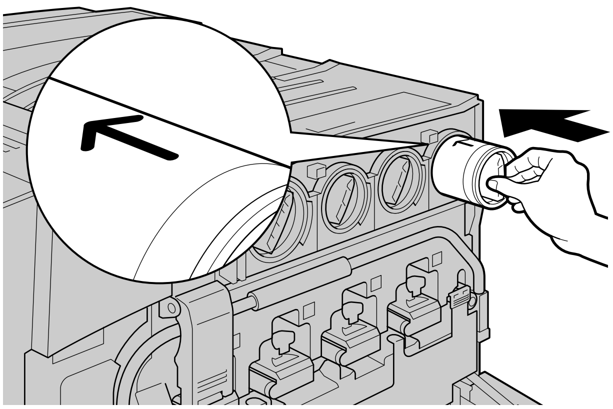
⚠警告	やけど トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お願い

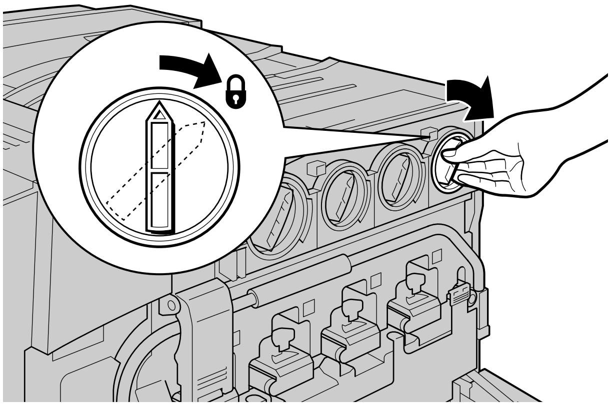
・トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
・使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
（「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（155 ページ）参照）



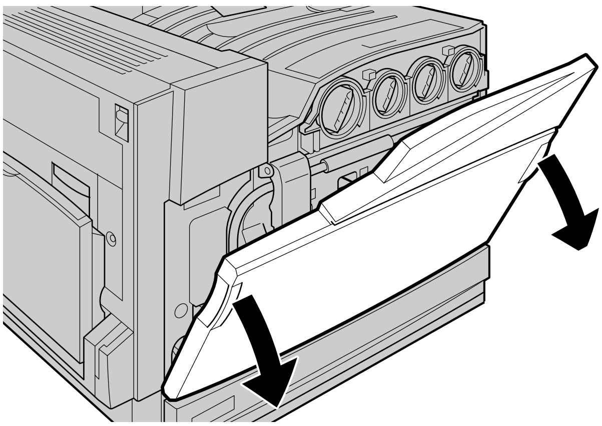
4 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように、軽く 3、4回上下左右によく振る



5　トナーカートリッジの矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込む



6　トナーカートリッジを、鍵印（🔒）まで右方向に回す



7　フロントカバーを閉じる

ディスプレイに「オマチクダサイ」と表示され、約2分後、「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。

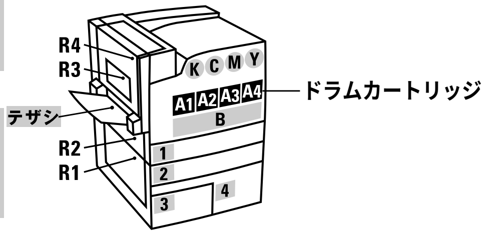
ドラムカートリッジを交換する

本プリンタには、4本のドラムカートリッジがセットされています。ドラムカートリッジは、印刷画像を形成するための感光体ユニットです。このドラムカートリッジの交換時期になると、オペレータパネルのディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。オペレータパネルの左にある表示部で、該当するドラムカートリッジの位置(〔A1〕、〔A2〕、〔A3〕、〔A4〕)を確認してから、交換してください。

```
ﾄﾞﾗﾑ A1
ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ
```

↓

```
ﾄﾞﾗﾑ A1
ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```



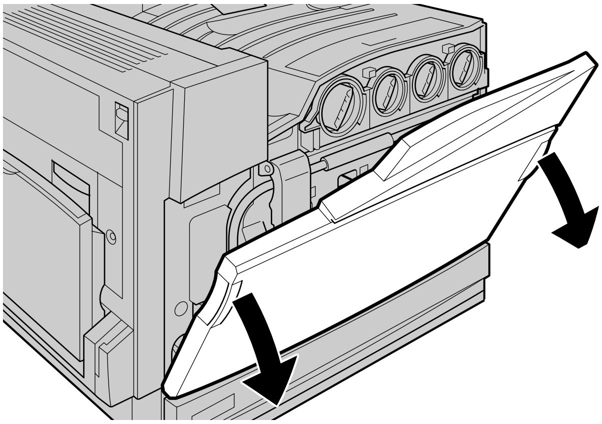
「コウカンジキデス」のメッセージが表示されたら、ドラムカートリッジを交換してください。交換しないで使い続けると、メッセージ表示後、約1,500ページで製品が停止し、印刷できなくなります。(印刷ページ数は原稿によって異なります。)

⚠注意

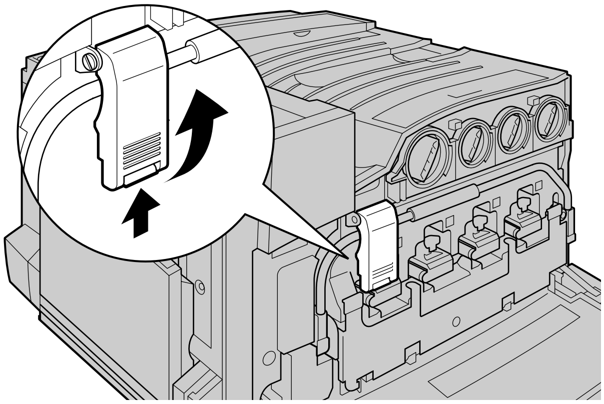
けが　ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。

お願い

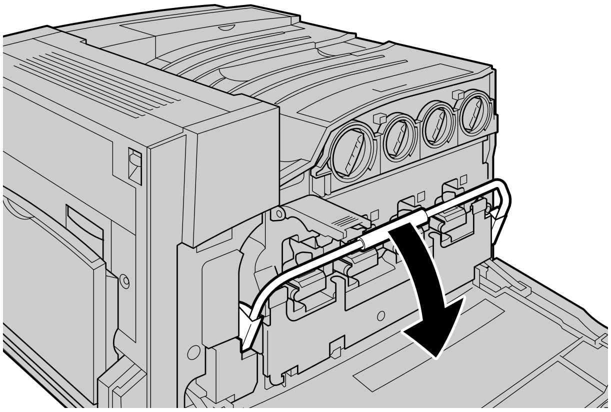
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。
- ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
(「使用済みカートリッジ(トナー、ドラム)の回収サービス」(155ページ)参照)
- ドラムカートリッジを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。



1 *製品が停止していることを確認し、フロントカバーを開く*

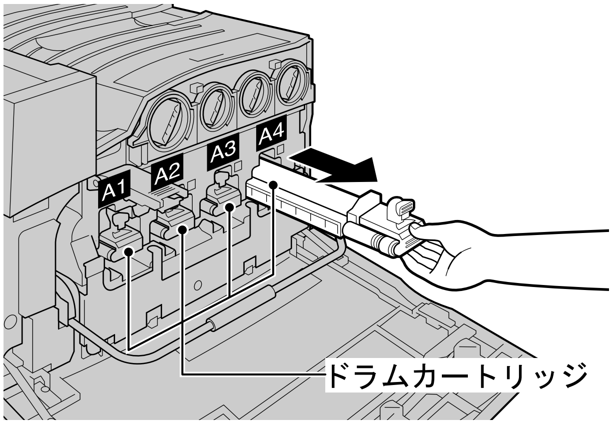


2 *正面左側にあるストッパーの下部を上に押しながら、持ち上げる*



3 *ハンドルを下ろす*

ドラムカートリッジのロックが解除され、4本のドラムカートリッジが持ち上がります。

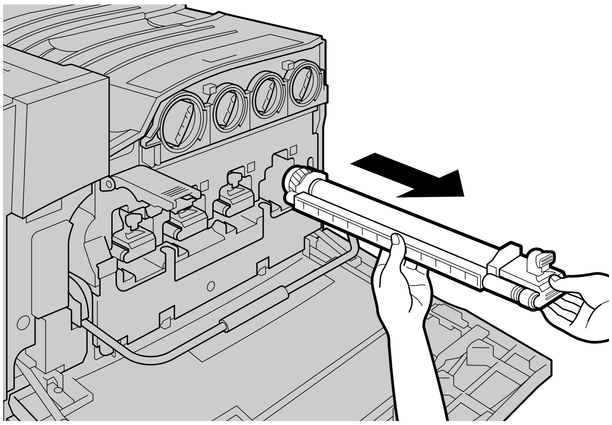


4 メッセージに表示されている、ドラムカートリッジ(A1、A2、A3、A4)の取っ手をつかみ、静かに引き出す

ここでは、A4を例に説明します。

お願い

ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。



5 図のように、左手を添えて、ドラムカートリッジを引き抜く

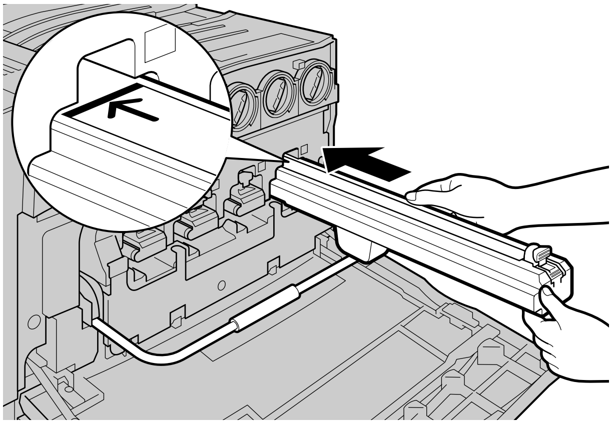
お願い

ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

6 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れて、その箱にしまう

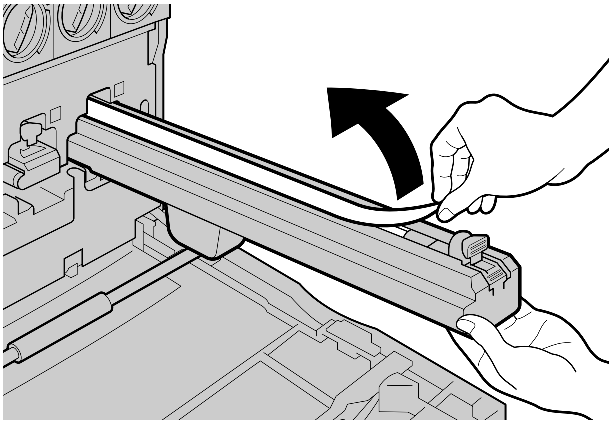
お願い

・ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
・使用済みのドラムカートリッジは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
（「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（155 ページ）参照）

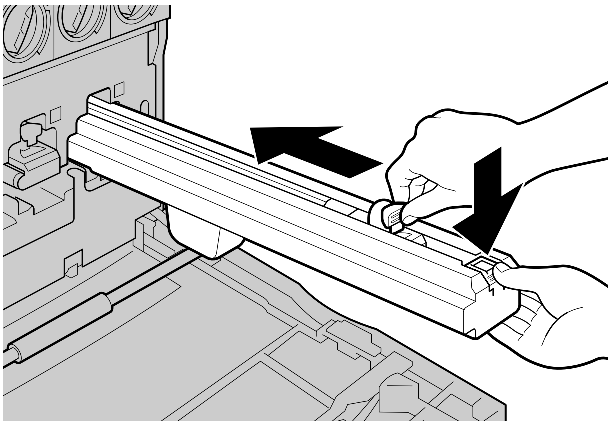


7 *新しいドラムカートリッジ（保護カバー付き）を、ハンドルの上に載せて、先端を製品の中に差し込む*

右図のように、矢印のところまで差し込んでください。

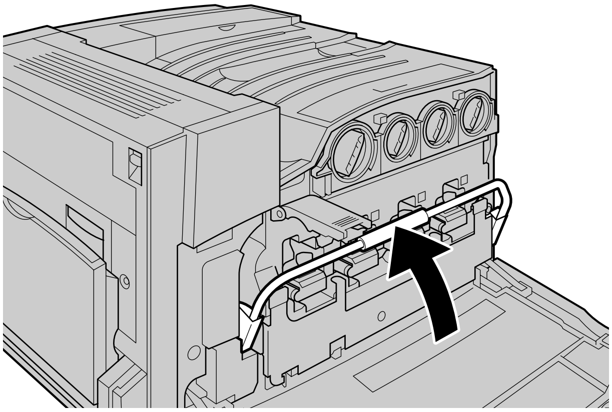


8 *先端を差し込んだ状態で、上面のシールをはがす*

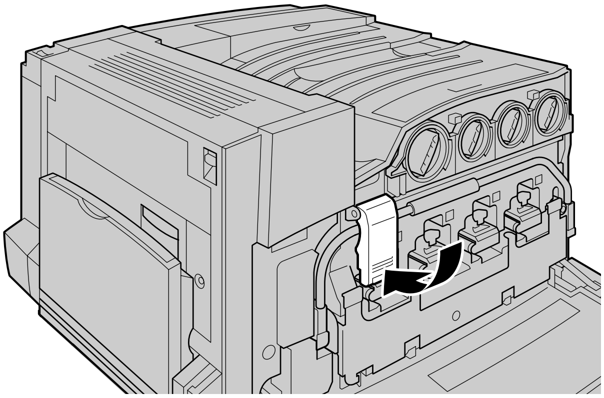


9 *上部のオレンジ色のつまみを持ち、前方にスライドさせて、ドラムカートリッジが、奥に突き当たるまで押し込む*

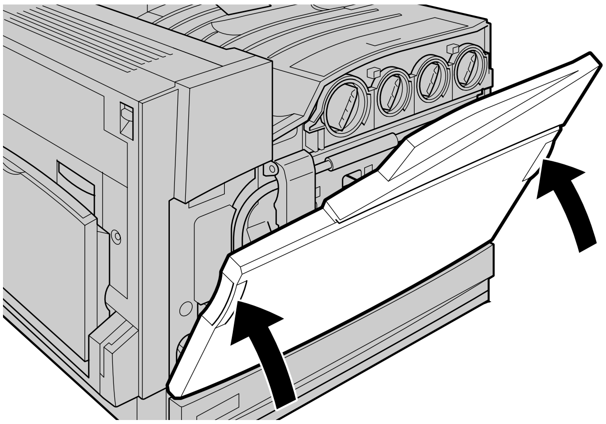
保護カバーは、そのまま空箱に入れてください。



10 ハンドルを上に戻す



11 ハンドルのストッパーを下ろして、ロックする



12 フロントカバーを閉じる

「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。

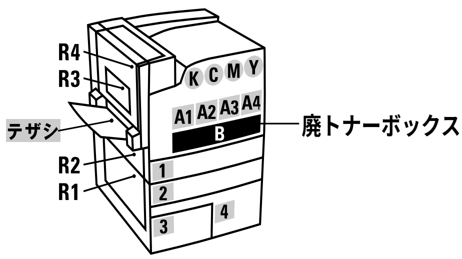
廃トナーボックスを交換する

印刷後のドラムに残ったトナーは、集められて廃トナーボックスにたまります。廃トナーボックスがトナーでいっぱいになると、オペレータパネルのディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。オペレータパネルの左にある表示部で、廃トナーボックスの位置を確認して、交換してください。

```
ハイトナーホ゛ックス　　　B
コウカンシ゛キテ゛ス
```

↓

```
ハイトナーホ゛ックス　　　B
ヲ　コウカン　シテクタ゛サイ
```



「コウカンジキデス」のメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約900ページの印刷で製品は停止します。(印刷ページ数は原稿によって異なります。)

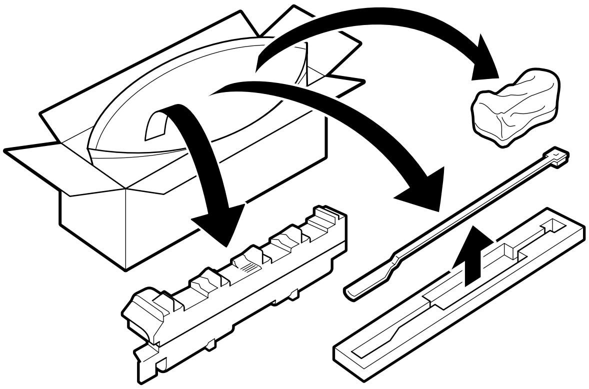
また、廃トナーボックスを交換するときは、廃トナーボックスが入った箱に同梱されている清掃棒を使用して、廃トナーボックスの奥にある、レーザスキャナ部（D1、D2、D3、D4）を清掃してください。

⚠警告	やけど トナー、廃トナーボックス、または、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お願い

- 使用済みの廃トナーボックスは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
  (「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」(155ページ）参照)
- 廃トナーボックスを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。

ガイド 廃トナーボックスを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

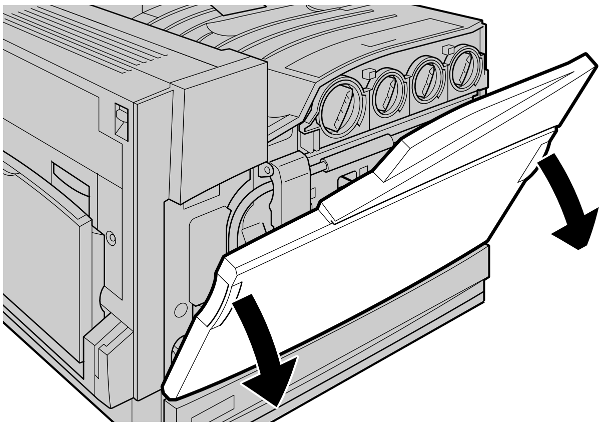


1　新しい廃トナーボックスを準備する

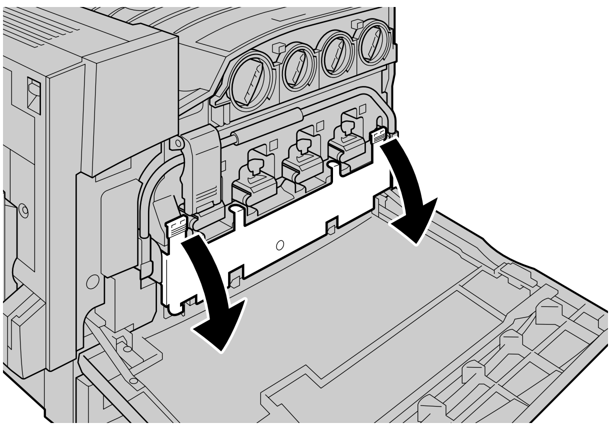
箱から新しいボックス、オレンジ色のビニールキャップ、清掃棒を取り出しておきます。

ガイド

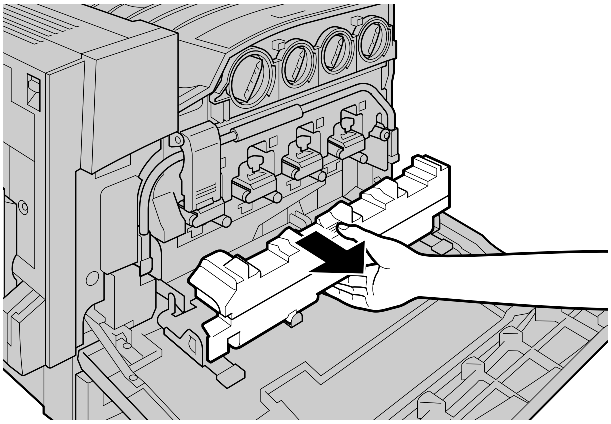
箱から取り出す際、ビニール袋ははさみ等で切らなくても、開封できます。
使用済み廃トナーボックス回収時のトナー飛散防止のため、ビニールをはさみ等で切らないでください。



2　製品が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



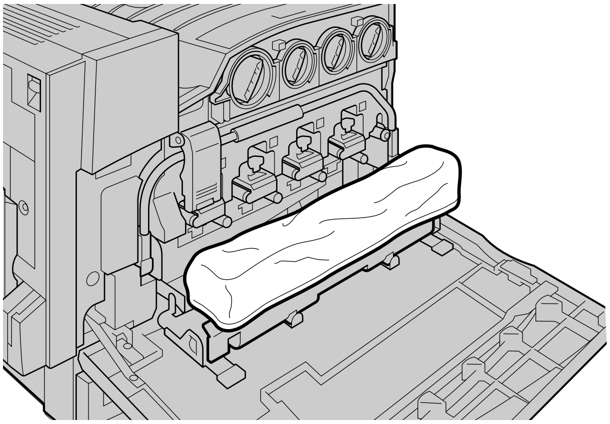
3　本体正面(B)の黒いカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開ける



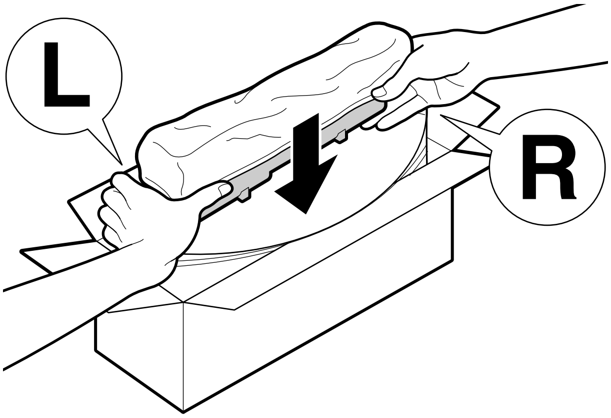
4　*廃トナーボックスの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出す*

ガイド

廃トナーボックスは、開いた黒いカバーの上に、いったん置いてください。このとき、廃トナーボックスを傾けると、トナーがこぼれますので注意してください。



5　*トナーがこぼれないように、付属のオレンジ色のビニールキャップを上からかぶせる*



6 *使用済みの廃トナーボックスは、両手でしっかり持って、空箱に収納する*

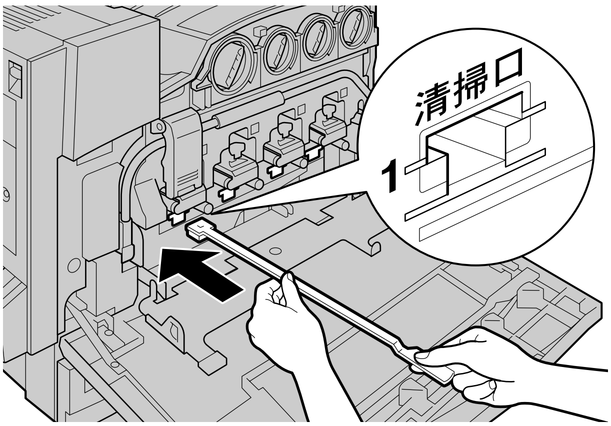
ガイド

空箱の〔L〕が左手側、〔R〕が右手側です。反対にすると収納できません。

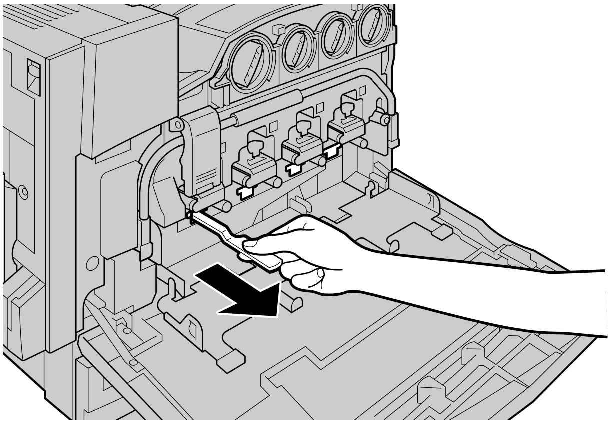
⚠警告	やけど トナー、廃トナーボックス、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お願い

使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、無償回収サービスをご利用ください。
(「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（155ページ）参照)



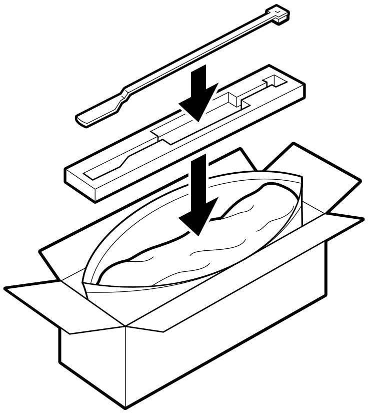
7 *付属の清掃棒を取り出す。Dの1～4の清掃口（四角い穴）に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込む*



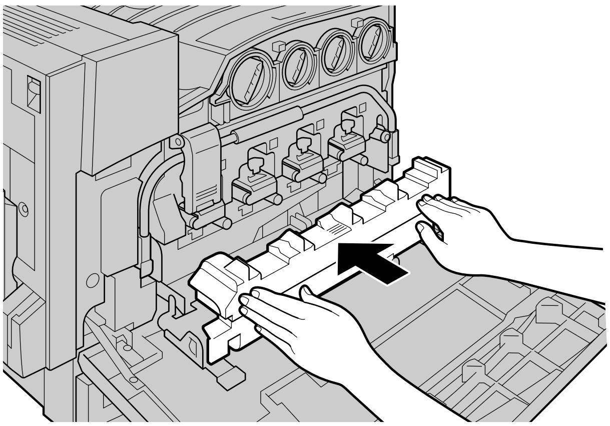
8 *清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻し、4か所をすべて1度ずつ清掃する*

ガイド

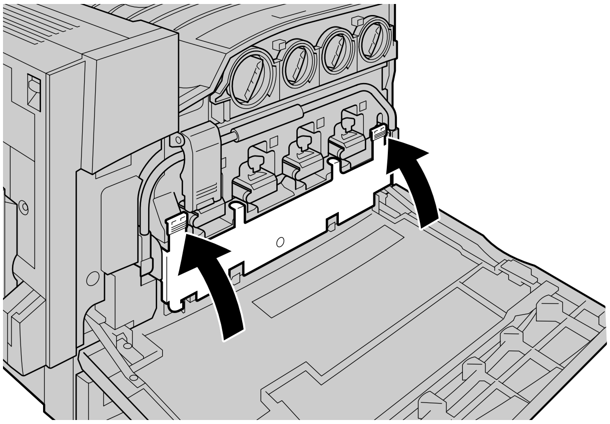
パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。



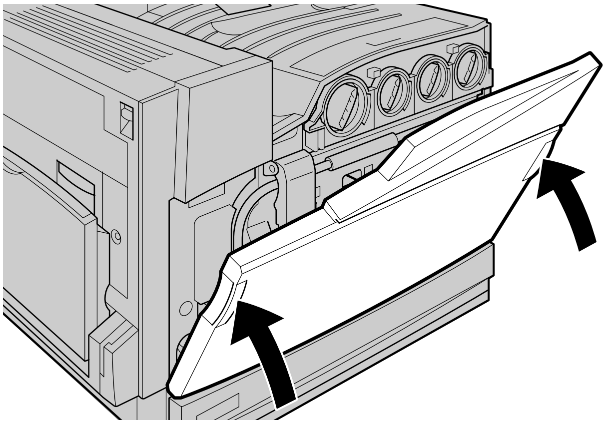
9 *使用済みの清掃棒を、使用済みの廃トナーボックスと一緒に収納し、袋をとじる*



10 *新しい廃トナーボックスの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、両手を使って左右均等に奥に押し込む*



*11*左右のオレンジ色のつまみを持って、黒いカバーを閉じる



*12*フロントカバーを閉じる

「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。

レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法について説明します。

本プリンタには、ホストからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

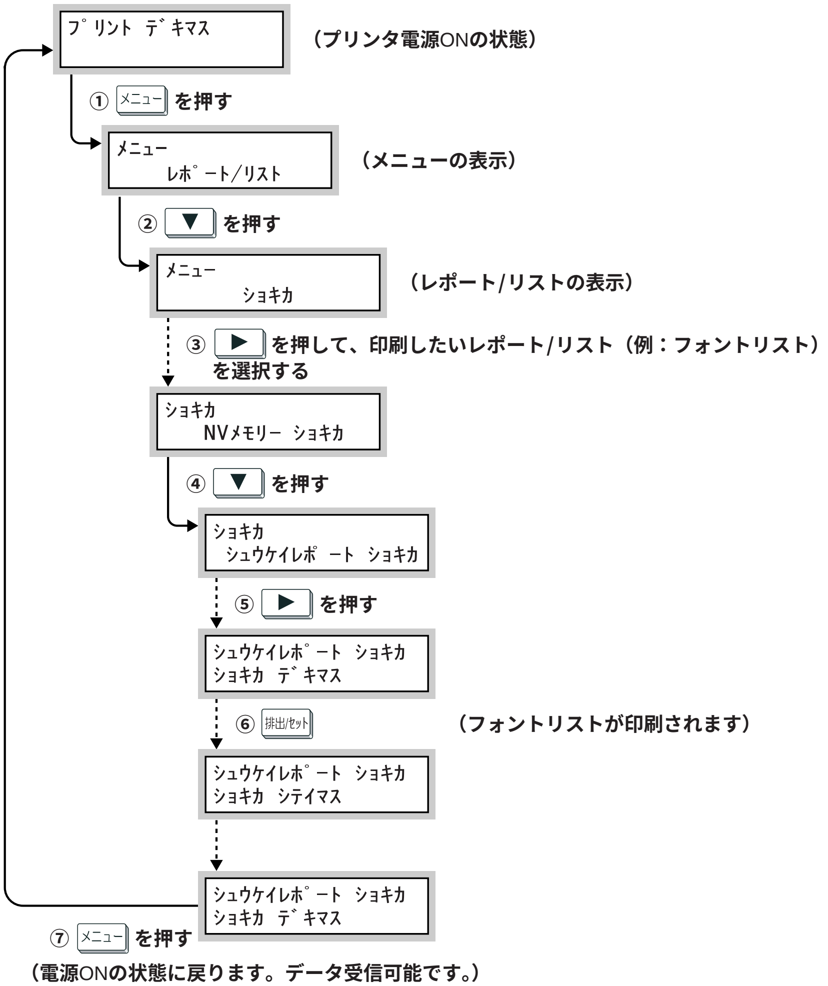
・機能設定リスト
・エラー履歴レポート
・ジョブ履歴レポート
・プリンタ出力集計レポート
・フォントリスト

ガイド　レポート / リストの印刷は、A4 サイズ縦の用紙に印刷しますが、用紙トレイのサイズが A4 縦以外のトレイしかない場合は、A4 に近いサイズの用紙に印刷します。

参照　レポートやリストの印刷は、オペレータパネルから指示します。操作方法については、次ページ以降を参照してください。

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、オペレータパネルを操作して印刷します。ここでは、フォントリストを印刷する場合を例に説明します。他のレポート / リストも同様に印刷を指示してください。



レポート / リストの種類

機能設定リスト

機能設定リストについて説明します。

ガイド 本プリンタの設定によっては、表示されない項目があります。

機能設定リストとは

本プリンタのハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。詳細な項目と、印刷結果を以下に説明します。

印刷結果について

システム設定

機械情報	型名、プリンタのシリアル番号が印刷されます。
ROM	装着されているROMと、そのバージョンが印刷されます。
搭載オプション	用紙トレイや両面印刷ユニットなど、装着されているオプションが印刷されます。
メンテナンス	ジョブ履歴レポート自動プリント、異常警告音、節電モード、オフライン自動解除の設定状況が印刷されます。また、両面ユニット装着の場合は、レポート / リストの両面プリントの設定状況も印刷されます。

プリント設定

全体	プリントページ数、搭載フォントの状況が印刷されます。プリントページ数には、現在までに印刷したカラーと白黒の印刷ページ数と総ページ数が印刷されます。搭載フォントには、現在搭載されているフォントの種類と書体数が印刷されます。
メモリー	メモリの総容量と、プリントページバッファ、各ポートの受信バッファメモリ容量が印刷されます。
給紙設定	用紙トレイにセットされている用紙のサイズと向き、用紙トレイに設定されている用紙の種類、用紙トレイの優先順位の設定が印刷されます。
排紙設定	用紙置き換えの設定が印刷されます。
用紙設定	ユーザ定義の用紙の名称と、用紙種類の優先順位、用紙種類別の画質種類の設定状況が印刷されます。

コミュニケーション設定

各ポートの項目と設定値が印刷されます。

Ethernet 設定	接続タイプと、MAC アドレスが印刷されます。
TCP/IP	IP アドレスの取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ステータス情報が印刷されます。
パラレル	自動排出時間、インプットプライムの設定が印刷されます。
lpd	受付 IP アドレス制限、コネクションタイムアウト、ポート番号が印刷されます。
IPP	アクセス権制御、ポート番号、追加ポート番号、タイムアウトが印刷されます。

印刷結果

XL−C7300
機能設定リスト

日時 : 2001/03/07　18:26
ページ : 1(最終)

システム設定

機械情報	
型名	XL-C7300
シリアル番号	160126
ROM	
標準ROM	Ver 0.8.2
出力装置ROM	Ver 4.2.9
搭載オプション	
拡張給紙ユニット−B (3トレイ)	
オフセット排出トレイ	
両面ユニット	
メンテナンス	
ジョブ履歴レポート自動プリント	しない
レポートの両面プリント	片面
異常警告音	鳴らさない
節電モード	有効(30分)
オフライン自動解除	しない

プリント設定

全体	
プリントページ数	
カラー	4743ページ
白黒	1937ページ
総ページ数	6680ページ
搭載フォント	TrueType和文 2書体 TrueType欧文 15書体
メモリー	
総容量	160.00MB
プリントページバッファ	133.86MB
受信バッファ	
パラレル	256KB
LPD	256KB
IPP	256KB
給紙設定	
トレイの用紙、向き	
トレイ1	A4、たて置き
トレイ2	A3、よこ置き
トレイ3	A4、たて置き
トレイ4	A4、たて置き
トレイの用紙種類	
トレイ1	普通紙
トレイ2	普通紙
トレイ3	普通紙
トレイ4	普通紙
用紙トレイの優先順位	
トレイ1	1番目
トレイ2	2番目
トレイ3	3番目
トレイ4	4番目
排紙設定	
用紙の置き換え	用紙補給を表示
オフセット排出(センタートレイ)	セット単位
用紙設定	
用紙名称設定	
ユーザー定義用紙種類1	"ﾕｰｻﾞ-1　"
ユーザー定義用紙種類2	"ﾕｰｻﾞ-2　"
ユーザー定義用紙種類3	"ﾕｰｻﾞ-3　"
ユーザー定義用紙種類4	"ﾕｰｻﾞ-4　"
ユーザー定義用紙種類5	"ﾕｰｻﾞ-5　"
用紙種類の優先順位	
上質紙	3番目
普通紙	1番目
再生紙	2番目
ユーザー定義用紙種類1	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類2	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類3	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類4	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類5	自動選択しない
用紙種類別画質処理	
上質紙	B
普通紙	B
再生紙	C
ユーザー定義用紙種類1	B
ユーザー定義用紙種類2	B
ユーザー定義用紙種類3	B
ユーザー定義用紙種類4	B
ユーザー定義用紙種類5	B

コミュニケーション設定

Ethernet設定	
接続タイプ	自動(10BASE-T/100BASE-TX)
MACアドレス	08:00:37:0A:7E:6E
TCP/IP	
IPアドレス取得方法	DHCPからアドレスを取得
IPアドレス	172.22.89.100
サブネットマスク	255.255.255.128
ゲートウェイアドレス	172.22.89.1
ステータス情報	正常
パラレル	
自動排出時間	30秒
インプットプライム	有効
LPD	
受付IPアドレス制限	しない
コネクションタイムアウト	16秒
ポート番号	515
IPP	
アクセス権制御	無効
ポート番号	631
追加ポート番号	80
タイムアウト	60

運用編

11

エラー履歴レポート

エラー履歴レポートについて説明します。

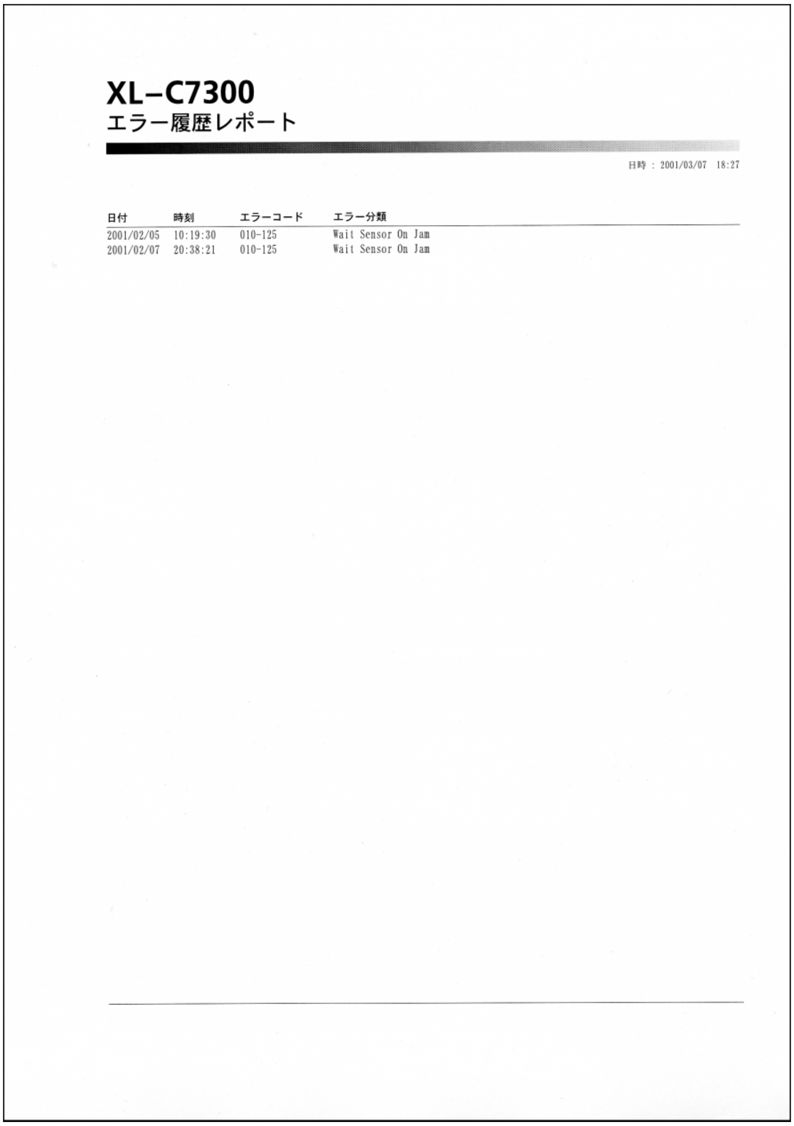
エラー履歴レポートとは

本プリンタに発生したエラーに関する情報が印刷されます。

印刷結果について

エラー履歴レポートには、最新の50件までのエラーについて、日付、時刻、エラーコード、エラー分類が印刷されています。

印刷結果例


XL–C7300
エラー履歴レポート

日時 : 2001/03/07　18:27

日付	時刻	エラーコード	エラー分類
2001/02/05	10:19:30	010-125	Wait Sensor On Jam
2001/02/07	20:38:21	010-125	Wait Sensor On Jam

ジョブ履歴レポート

ジョブ履歴レポートについて説明します。

ジョブ履歴レポートとは

ホストから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。

このジョブ履歴レポートは、50件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、オペレータパネルで設定できます。

参照　自動ジョブ履歴の設定については、「自動ジョブ履歴」（267ページ）を参照してください。

印刷結果について

ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブについて、以下の項目を印刷します。

日付、完了時刻、データ送信元、ユーザ / ホスト名、カラーモード、用紙サイズ、用紙種類、ページ数、枚数、印字指定、ジョブ処理状態が印刷されます。

印刷結果例

XL−C7300

ジョブ履歴レポート

日時 ： 2001/03/07　18:27
ページ ： 2（最終）

日付	完了時刻	データ送信元	ユーザー/ホスト名	カラーモード	用紙サイズ	用紙種類	ページ数	枚数	印字指定	ジョブ処理状態
2001/03/06	22:16:45	LPD	TUETSUKI	カラー	A3	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/06	22:16:56	LPD	TUETSUKI	カラー	A3	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/06	22:59:23	LPD	TUETSUKI					0		強制終了
2001/03/06	23:00:53	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2001/03/06	23:01:08	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	09:11:00	LPD	KINOSITA	白黒	A4	普通紙	1	1	2up/片面	正常終了
2001/03/07	09:12:05	LPD	KINOSITA	カラー	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	09:12:36	LPD	KINOSITA	カラー	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	09:12:43	LPD	KINOSITA	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	09:20:18	LPD	KINOSITA	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2001/03/07	09:21:18	LPD	KINOSITA	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	10:17:50	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	18	18	2up/片面	正常終了
2001/03/07	10:25:07	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	10:43:02	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	11:10:25	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	13:59:30	LPD	TUETSUKI	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	15:54:23	LPD	mishii	カラー	A4	普通紙	30	16	2up/両面	正常終了
2001/03/07	16:06:06	LPD	mishii	カラー	A4	普通紙	15	8	2up/両面	正常終了
2001/03/07	16:29:29	LPD	KINOSITA					0		強制終了
2001/03/07	18:27:10		LocalUser	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2001/03/07	18:27:38		LocalUser	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了

ジョブのエラー終了について

「ジョブ処理状態」に、次のエラー終了の内容が記載されることがあります。

印字内容	原因と処置	
プリントパラメータ異常	【原因】	不定形サイズを指定して、〔用紙トレイ選択〕を〔自動〕に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。
	【処置】	印刷データを確認してください。上記の場合は、手差しトレイを選択してください。
使用メモリ不足	【原因】	メモリが不足したため、印刷データを処理できませんでした。
	【処置】	〔印刷モード〕を〔速度優先〕にして、もう一度印刷を指示してください。 参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）
プリントページバッファ不足	【原因】	プリントページバッファが不足したため、印刷データを処理できませんでした。
	【処置】	次のどれかの方法で処置してください。 ・〔印刷モード〕を〔速度優先〕にする ・印刷保証を利用する ・メモリを増設する 参照　〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」（249ページ）、印刷保証については「メモリの増設」（215ページ）、プリントページバッファについては「プリンタ RAM モジュールの取り付け方」（156ページ）
予期しないエラー	【原因】	印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 共通メニューの〔プリント設定〕の〔用紙の優先順位〕がすべての用紙で「シナイ」に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している
	【処置】	自動トレイ選択で印刷をする場合は、〔用紙の優先順位〕で、用紙のどれかを「シナイ」以外に設定してください。 参照　〔用紙の優先順位〕については、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）

印字内容	原因と処置
コマンドエラー	【原因】　サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】　印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
画像伸長エラー	【原因】　イメージ処理中エラーが発生しました。 【処置】　〔印刷モード〕を〔速度優先〕にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、印刷保証モードで印刷してください。 参照　〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」(249ページ)、印刷保証については「主な印刷機能一覧」(215ページ)
プリント言語非搭載	【原因】　サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】　印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
代替フォントにより印刷	【原因】　代替フォントで印刷されました。 【処置】　印刷データを確認してください。
数値演算エラー	【原因】　数値演算エラーが発生しました。 【処置】　印刷データを確認してください。

プリンタ出力集計レポート

プリンタ出力集計レポートについて説明します。

プリンタ出力集計レポートとは

ホスト別（ジョブオーナー別）に、本プリンタで印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。印刷枚数は、カラーとモノクロ別にカウントされています。プリンタ出力集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

参照　プリンタ出力集計レポートの詳細については、「プリンタ出力集計レポートで総印刷枚数を確認する」(182ページ）を参照してください。

参照　プリンタ出力集計レポートのデータを初期化できます。詳細については、「共通メニューの設定を変更する」(265ページ）を参照してください。

印刷結果例

XL–C7300
プリンター出力集計レポート

初期化日時　2001/03/07　12:12

レポート印刷日時 ： 2001/03/07　18:28
ページ ： 1(最終)

	ページ数								枚数		
	カラー						白黒		カラー	白黒	
	サイズ					カラー	白黒		カラー	白黒	
ジョブオーナー名	A3	A4	B4	B5	その他	総ページ数	総ページ数	総ページ数	総枚数	総枚数	総枚数
Administrator¥KINOSITA	10	533	0	0	1	544	499	1043	382	290	672
UnknownUser¥SATEMOE2	0	2	0	0	1	3	0	3	2	0	2
UnknownUser¥YOSHI-6266NA	0	1266	0	0	0	1266	0	1266	1066	0	1066
UnknownUser¥カバ丸３号	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
mishii¥カバ丸１号	0	116	0	0	0	116	0	116	60	0	60
mishii¥カバ丸２号	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
mtone¥TONE	3	54	0	0	0	57	12	69	57	12	69
sogawa¥OGAWA	0	6	0	0	0	6	0	6	6	0	6
sugimoto¥FMV-MVII267	0	314	0	0	0	314	14	328	175	12	187
tuetsuki¥JTAG-PC	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
tuetsuki¥TUETSUKI	141	2287	0	0	0	2428	1301	3729	2331	1092	3423
tuetsuki¥カバ丸３号	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
ytakahashi¥YOSHI-6266NA	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
UnknownUser	1	1	0	0	0	2	24	26	2	12	14
Report/List	0	2	0	0	0	2	91	93	2	63	65
総合計	155	4586	0	0	2	4743	1941	6684	4088	1481	5569

※「ページ数」は印刷された用紙の片面を一つとして、「枚数」は使用した用紙を一つとして集計したものです。
2ページ構成のドキュメントを両面印刷した場合、「ページ数」は「2」、「枚数」は「1」と数えられます。

フォントリスト

フォントリストについて説明します。

フォントリストとは

使用できるフォントの一覧が印刷されます。

印刷結果について

フォントリストには、使用できるフォントの名称とサンプル文字列が印刷されます。

印刷結果例

XL–C7300
フォントリスト

日時 : 2001/03/07　18:29

ART EXで使用できる書体		印字見本
和文	平成明朝	ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩
	平成角ゴシック	**ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩**
欧文	Enhanced Classic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Enhanced Modern	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	CS Times Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	CS Times Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	CS Times Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	CS Triumvirate Regular	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	CS Triumvirate Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	CS Triumvirate Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	CS Courier	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Oblique	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	CS Courier Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	CS Courier Bold Oblique	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	CS Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚαβχδεφγηιφκ0123456789

総印刷枚数を確認する

プリンタ出力集計レポートで総印刷枚数を確認する

ホスト別（ジョブオーナー別）に、本プリンタで印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、「プリンタ出力集計レポート」で確認できます。印刷枚数は、カラーとモノクロ別にカウントされています。プリンタ出力集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

プリンタ出力集計レポートは、プリンタのオペレータパネルを操作して印刷します。

プリンタ出力集計レポートの印刷結果について

プリンタ出力集計レポートには、次の項目が印刷されます。

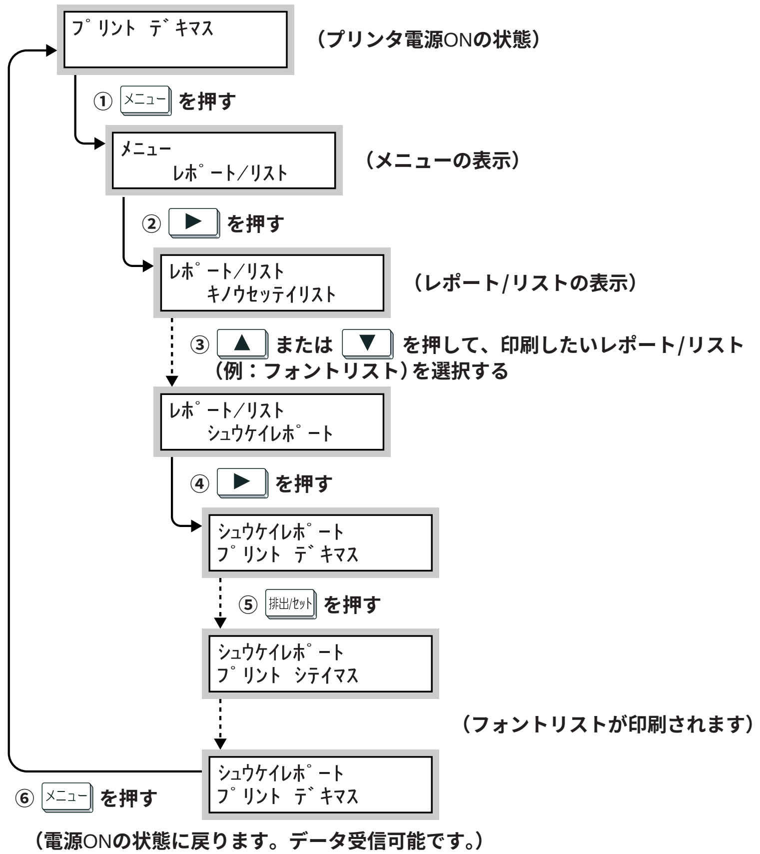
初期化日時	プリンタ出力集計のデータを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンタ出力集計レポートを印刷した日時です。

ジョブオーナーごとに、次の項目が印刷されます。

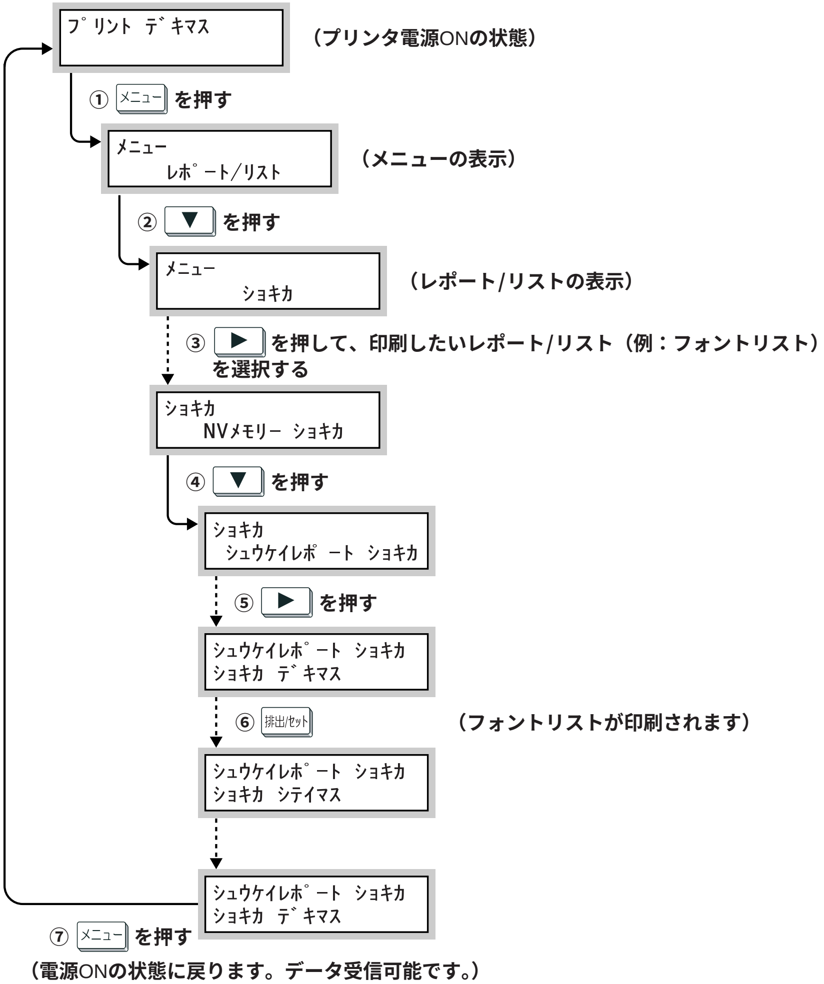
ジョブオーナー名	最大200ユーザまでのオーナー名が印刷されます。管理対象となるユーザ名はプリンタドライバの〔ジョブオーナーの指定〕で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または201人目以降のユーザの印刷ジョブは、最後から2つ目の「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
カラーA3ページ数	A3以上のサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーA4ページ数	A4サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーB4ページ数	B4サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーB5ページ数	B5サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーその他ページ数	B5より小さなサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー総ページ数	カラーで印刷した総ページ数です。
白黒総ページ数	白黒で印刷した総ページ数です。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
カラー総枚数	カラーで印刷に使用した用紙の枚数です。
白黒総枚数	白黒で印刷に使用した用紙の枚数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

ガイド　プリンタ出力集計レポートのデータを初期化できます。詳しくは「共通メニューの設定を変更する」（265ページ）を参照してください。

プリンタ出力集計レポートの印刷のしかた



プリンタ出力集計レポートの初期化



階調を補正する

階調補正とは

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正することができます。
補正することによって、本プリンタの印刷画質を一定の品質に保つことができます。

補正は、「階調補正チャート」を印刷して、本プリンタに付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、プリンタに設定値を入力して行います。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）各色の低濃度（L）/ 中濃度（M）/ 高濃度（H）を調整することができます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」にすると印刷時に階調補正は働きません。

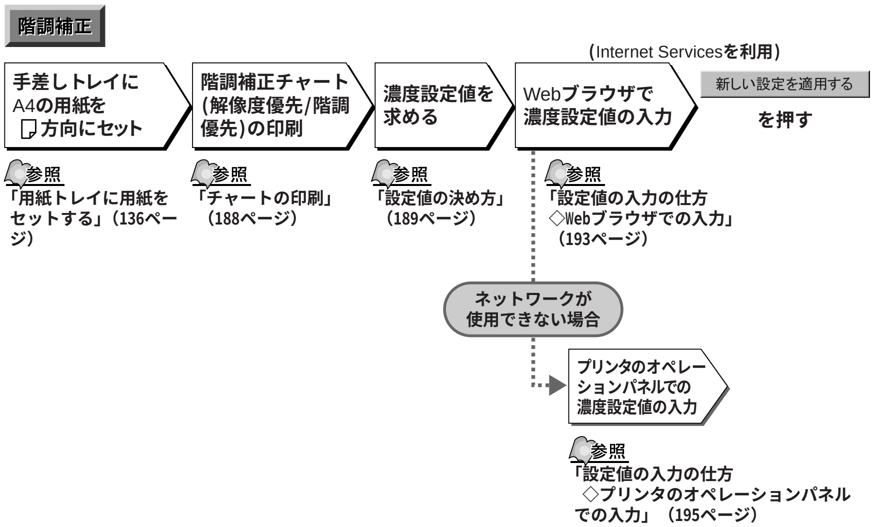
ガイド

- 階調補正をしても色階調がたびたびずれるような場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて「0」）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンタの経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正を行う

階調補正実行の流れ

階調補正操作の流れは、次のとおりです。

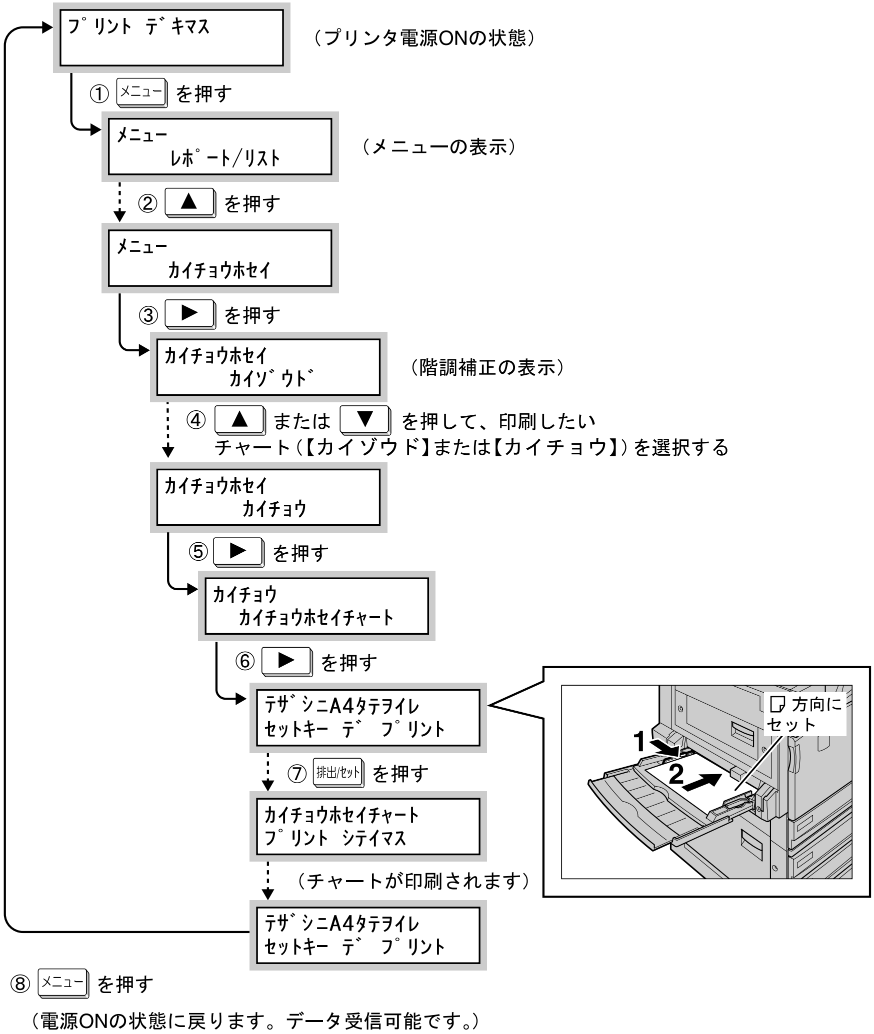


チャートの印刷

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の2種類あります。

解像度優先はグラフィックに対する補正、階調優先はテキストや写真イメージに対する補正のためのチャートです。

チャートは、手差しトレイを使用してA4縦の用紙に印刷します。階調補正チャートの印刷方法は、次のとおりです。ここでは、階調優先を例に説明します。



ガイド 解像度優先の階調補正チャートを印刷する場合は、フロー図の⑤で「カイゾウド」を選択してください。

設定値の決めかた

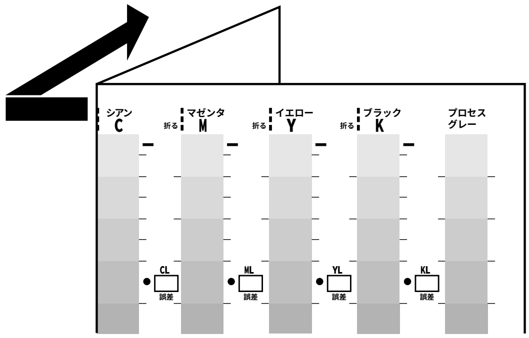
濃度設定値は、印刷した「階調補正チャート」と本プリンタに付属の「階調補正用色見本」の濃度を比較して求めます。

階調補正チャートの補正パッチ7個とそれぞれの中間から、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-6～+6の13段階です。

階調補正用色見本に指定されている手順もあわせてごらんください。

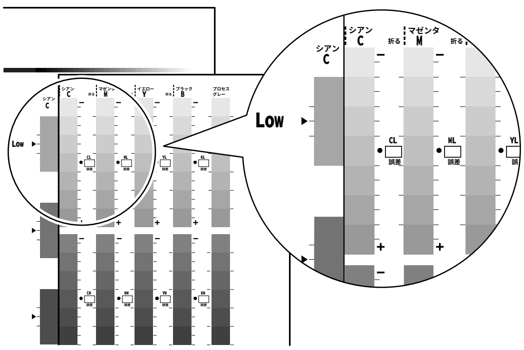
ガイド　工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。

1　*印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにする*



2　*チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせる*

ガイド　低濃度（L）の補正をする場合は、LowとLowを合わせます。



3 「・」印を起点にチャートを上下にずらして、色見本との誤差を目盛りから読み取る

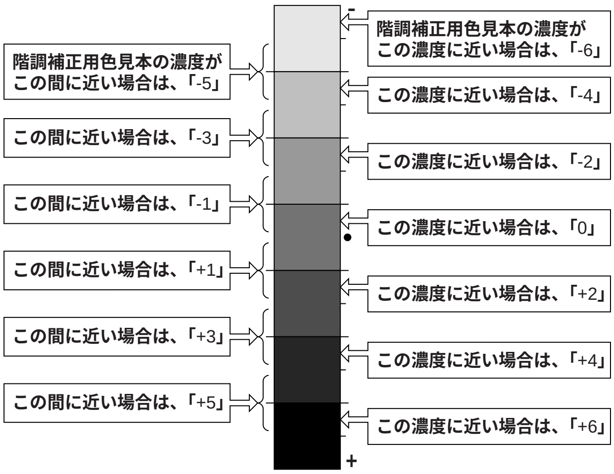
お願い

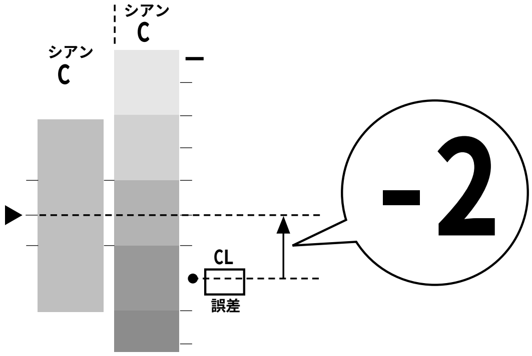
マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。

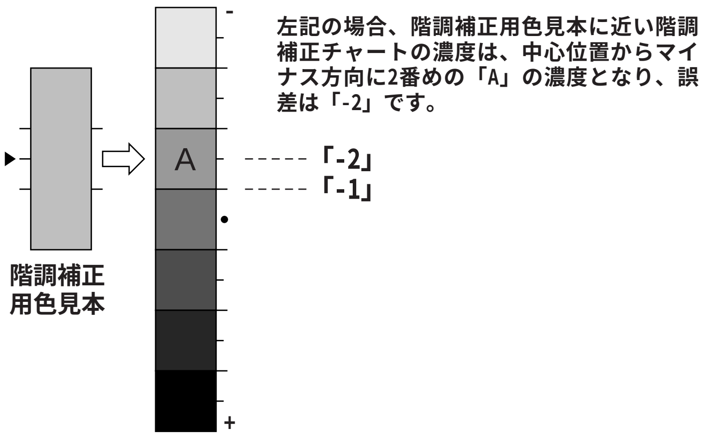
ガイド

誤差が設定範囲（-6～+6）を超える場合、ここでは最大値を誤差として補正を行い、再度補正を行ってください。

階調補正チャート測定部







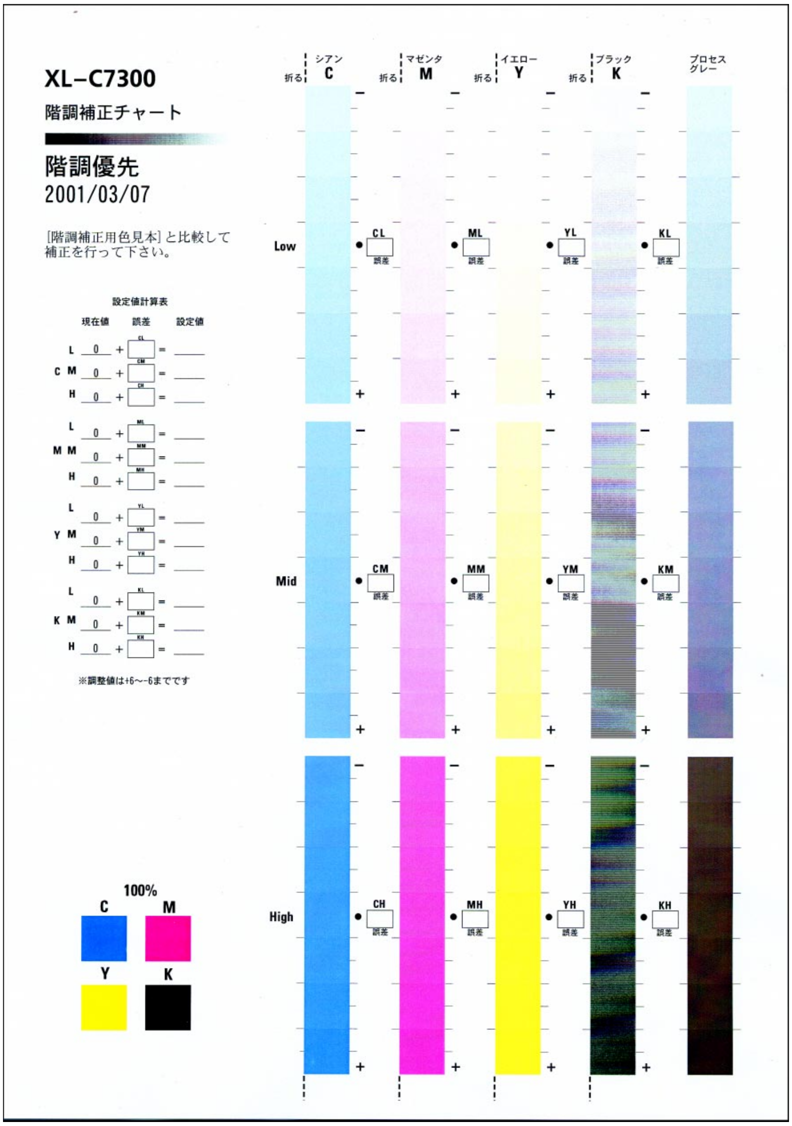
4 *該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入する*

5 *同じ色の、ほかの2つの濃度も、同様に誤差を読み取る*

6 *同様にCMYKの残りの色に対して手順1〜5を繰り返して、誤差を読み取る*

7 *すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写す*

以下は、シアンの例です。



8　*計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入する*

「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

設定値の入力のしかた

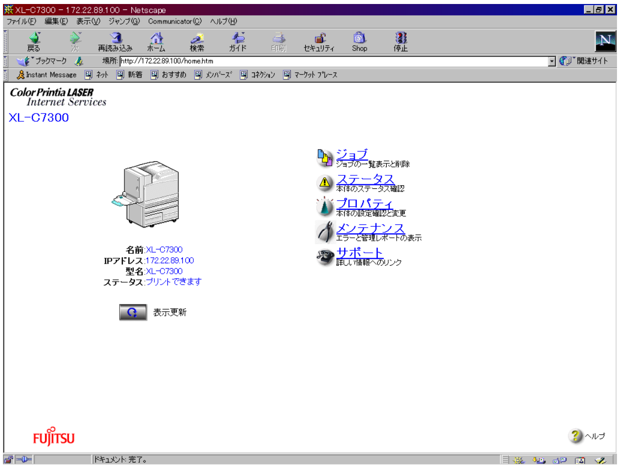
「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値を、本プリンタに設定します。

TCP/IP環境が使用できる場合は、「Internet Services」を使用して、Webブラウザ上で入力します。TCP/IP環境が使用できない場合は、プリンタのオペレータパネルで入力します。

参照　「Internet Services」については、「ホストからプリンタを設定する（Internet Services）」（280ページ）を参照してください。

Webブラウザでの入力

1 *ホスト上で、ブラウザを起動する*



2 *ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタのIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〔Enter〕を押す*

Internet Servicesの画面が表示されます。

3 *〔プロパティ〕をクリックする*

〔プロパティ〕タブが表示されます。



4　左側エリアの〔階調補正〕をクリックする

右側エリアに、左記の画面が表示されます。



5　該当する色の濃度のメニューから値を選択する

6　同じ色のほかの2つの濃度も同様に、メニューから値を選択する

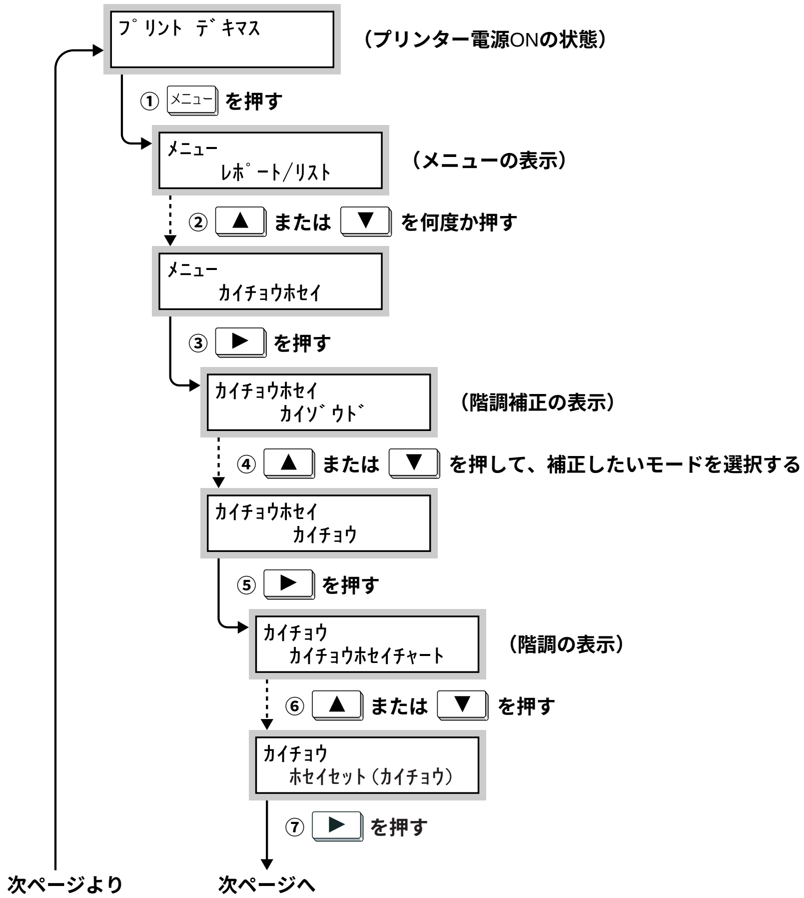
7　CMYKの残りの色に対しても同様に、メニューから値を選択する

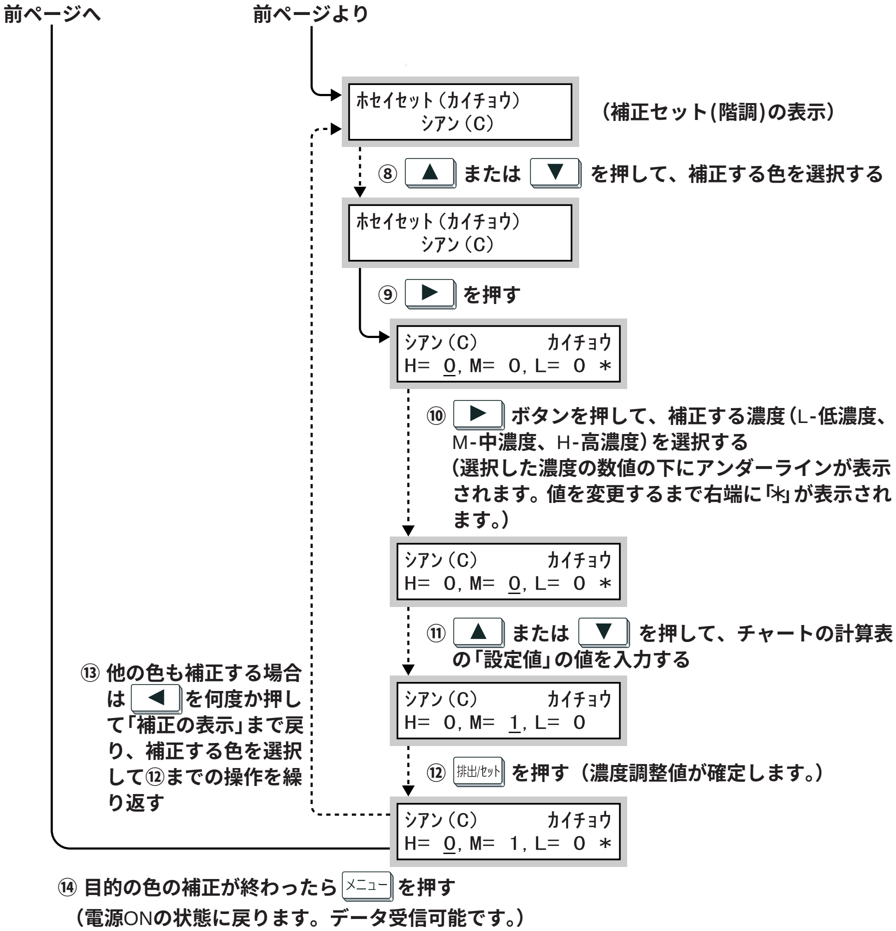
8　すべての色の濃度設定値が入力できたら、〔新しい設定を適用〕をクリックする

プリンタのオペレータパネルでの入力

濃度設定値の入力方法は、次のとおりです。

ここでは、階調優先のシアンの中濃度（M）を例に説明します。





補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」(188ページ)を参照して、該当するチャートを印刷します。

チャートでCMYKそれぞれの低 / 中 / 高濃度の「・」印の濃度が、該当する色見本の濃度に近いことを確認します。結果に満足できないときは、再度補正を行います。

また、「プロセスグレー」は、CMYを掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMYのどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

電源の投入および切断方法

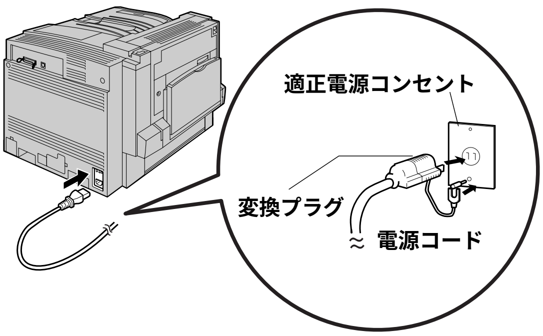
電源を入れる

⚠警告

火 災　電源プラグは、定格電圧100Vで定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、100V、15Aとなっています。

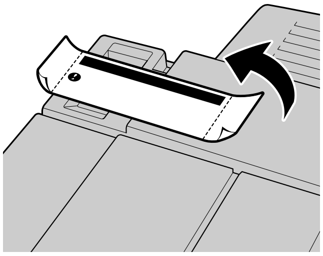
感 電　万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、本プリンタに添付されている平行3ピンの電源コードを使用してください。3ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を必ずいずれかに取り付けてください。

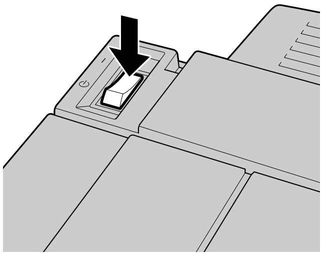
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを650㎜以上地中に埋めたもの
・接地工事（D種）を行っている接地端子



1　*本体背面の電源コードのコネクタに、電源プラグを差し込み、もう片方を電源コンセントに差し込む*

電源コンセントにアース線が付いている場合は、アース線も接続します。





2　上面の左奥に貼られているピンク色のシールをはがし、シールの下にある電源スイッチの「｜」側を押す

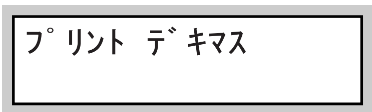
電源が入ります。
オペレータパネルのディスプレイに「オマチクダサイ」と表示され、約2分で、「プリントデキマス」と表示されます。

ガイド　ピンク色のシールをはがすのは、プリンタ本体購入後1回のみで、以降は必要ありません。

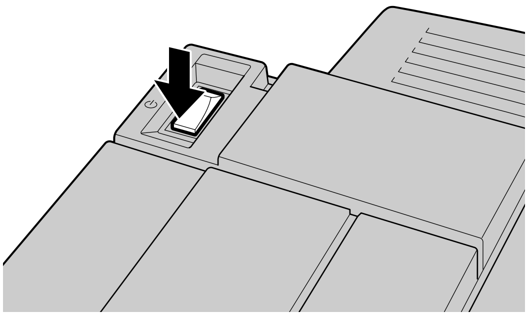
電源を切る

次の手順に従って、電源を切ります。

お願い　電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データやプリンタのメモリ上に蓄えられた情報は消去されます。



1　オペレータパネルのディスプレイ表示などで、印刷ジョブの処理中でないことを確認する



2　上面左奥にある電源スイッチの［ ⏻ ］の側を押し、電源を切る

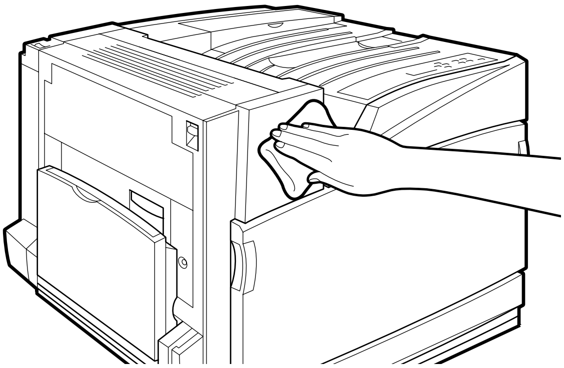
お願い　エラーメッセージが表示された場合には、「メッセージ一覧」(313ページ)を参照して対処をしてください。

プリンタを清掃する

プリンタ外部の清掃

お願い

・製品を清掃する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに製品を清掃すると、感電の原因となるおそれがあります。
・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。



1 *本体の外側を、水でぬらして固く絞った柔らかい布でふく*

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

お願い

水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

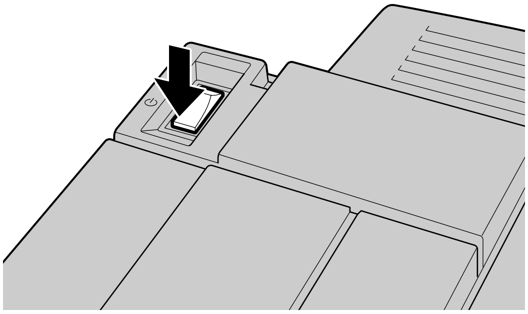
2 *柔らかい布で、水分をふき取る*

プリンタ内部（ローラ）の清掃

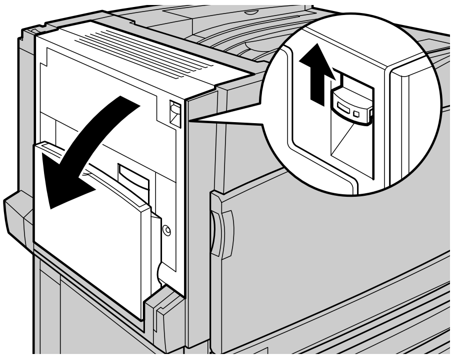
セットした用紙に問題がないのに給紙が正常に行われない場合、手差しユニットの給紙ローラが汚れている可能性があります。
この場合、次の手順で手差しユニット内部の給紙ローラを拭いてください。

お願い

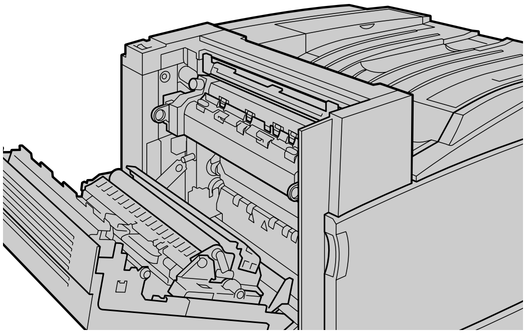
絵入りの完成はがきなどには、粉が付いていることがあります。このようなハガキを使用すると、ハガキについている粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があるため、必要に応じて給紙ローラを清掃してください。



1 *上面左奥にある電源スイッチの［ ⏻ ］の側を押し、電源を切る*

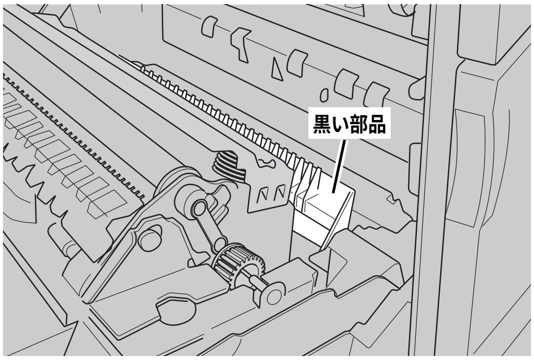


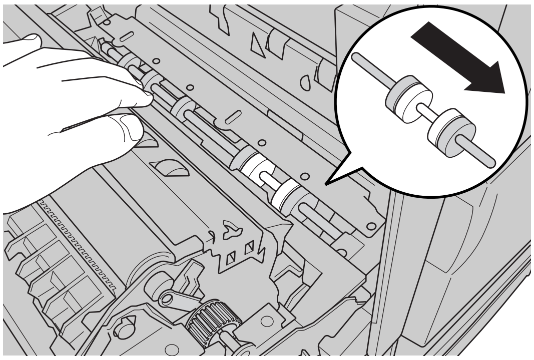
2 *リリースレバーを上げながら、R4カバーをゆっくりと開く*



3 *R4カバーを開いた部分の下側にある黒い部品を持ち上げながら、水を含ませて固くしぼった布で給紙ローラ(2個)の表面を矢印の方向に数回拭く*

このとき、プリンタ内部に水滴を落とさないように注意してください。





⚠警告	やけど「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

レーザスキャナ部（ROS:Raster Output Scanner）の清掃

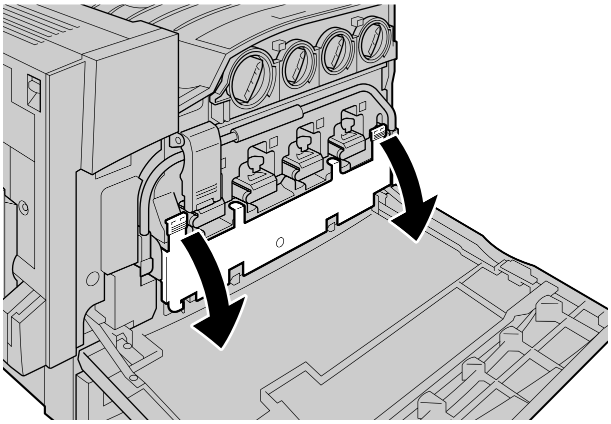
印刷に白筋がでる場合は、レーザスキャナ部を清掃してください。

レーザスキャナ部の清掃は、通常、廃トナーボックスの交換時に行います。ただし、印刷に白筋がでるなど、画質に影響がある場合は、次の手順で、レーザスキャナ部を清掃してください。

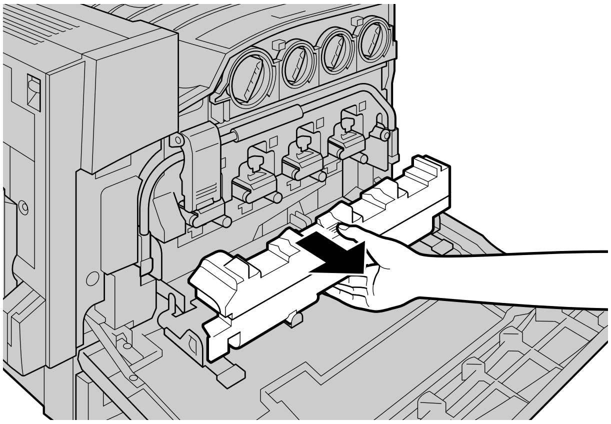
お願い

- 清掃棒は、フロントドアの裏側にセットされています。
- レーザスキャナ部を清掃する場合は、廃トナーボックスをいったん取り外します。そのとき、廃トナーボックスを傾けるとトナーがこぼれますので、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に置くようにしてください。

1 *製品が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける*



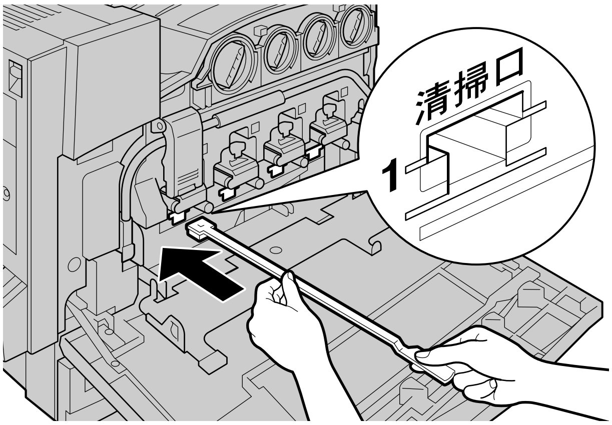
2 *本体正面(B)の黒いカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開ける*



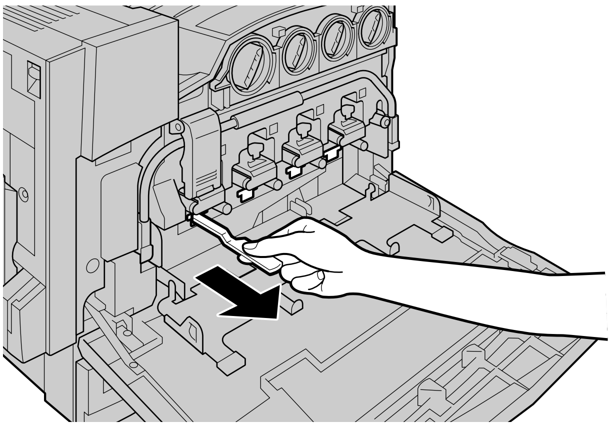
3　*廃トナーボックスの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出す*

ガイド

廃トナーボックスは、傾けてトナーをこぼさないように、いったん別の場所に待避させてください。そのとき、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に、置くようにしてください。



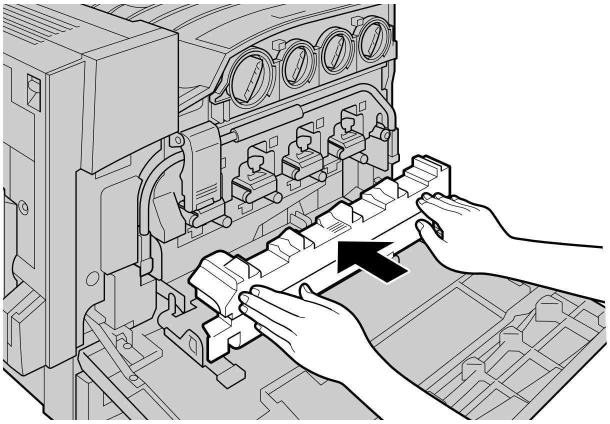
4　*フロントドアの内側から清掃棒を取り出す。Dの1～4の清掃口（四角い穴）に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込む*



5　*清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻す。4か所を、すべて1度ずつ清掃する*

ガイド

パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。



6 *いったん取り出した、廃トナーボックスの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、両手を使って左右均等に奥に押し込む*

7 *本体正面(B)の黒いカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、上に閉じる*

8 *フロントドアの内側から取り出した清掃棒を元の場所に戻す*

9 *左右のオレンジ色のつまみを持って黒いボトルのカバーを閉じ、フロントカバーを閉じる*

「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。

第12章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルについて説明します。

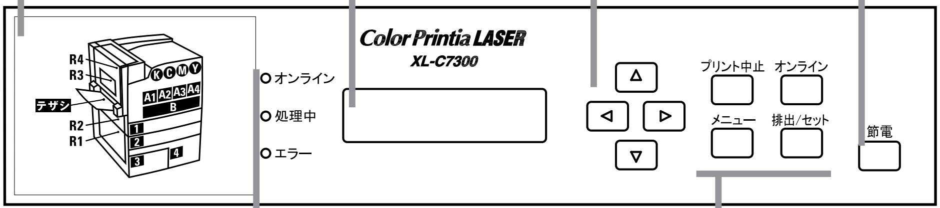
参照　ディスプレイの表示については、「液晶ディスプレイの表示について」（207 ページ）を参照してください。

●**表示部**
エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるカバーや用紙トレイの位置をここで確認します。

●**ディスプレイ**
設定項目、プリンタの状態、メッセージなどを表示します。

●**上下左右ボタン**
メニュー、項目、候補値間を移行します。本書中では、[◀] [▶] [▼] [▲] で表します。

●**節電ボタン**
節電中に緑色に点灯します。押すと節電状態を解除します。本書中では [節電] で表します。



●**オンラインランプ**
点灯中は、クライアントからのデータ受信が可能な状態です。

●**処理中ランプ**
ランプで印刷の処理状況を表します。

●**エラーランプ**
ランプでプリンタの異常を表します。

●**プリント中止スイッチ**
処理中の印刷を中止します。本書中では [プリント中止] で表します。

●**メニュースイッチ**
共通メニューに移行します。本書中では、[メニュー] で表します。

●**オンラインスイッチ**
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。オフライン中は、データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除されます。本書中では、[オンライン] で表します。

●**排出/セットスイッチ**
メニューの候補値の設定を行います。レポート/リストを印刷するときにも使用します。本書中では [排出/セット] で表します。

液晶ディスプレイの表示について

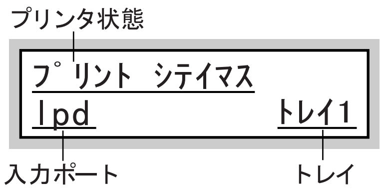
プリンタの状態や設定状態を表すメッセージが､ディスプレイに表示されます。

ガイド　オプションの装着の有無、設定の状態によって、表示されないメッセージがあります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っている状態では､ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面は、プリンタの状態や、実行中のデータの処理状態を表します。

lprからの印刷データを受け、用紙トレイ1の用紙に印刷しているときには、ディスプレイには次のようなメッセージが表示されます。



参照　電源投入時に液晶ディスプレイに表示される内容については「メッセージが表示される」(313ページ)を参照してください。

プリンタ状態

プリンタの状態を表します。「オマチクダサイ」/「プリントシテイマス」/「プリントデキマス」/「チュウシシテイマス」/「ハイシュツシテイマス」/「データマチデス」/ といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

参照　メッセージについては、「メッセージが表示される」(313ページ)を参照してください。

入力ポート

データ受信の入力ポートを表します。「パラレル」/「IPP」/「lpd」といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

パラレル　：セントロインタフェースからの受信印刷
IPP　　　：LANインタフェースからのIPP受信印刷
lpd　　　：LANインタフェースからのlpr受信印刷

トレイ

印刷する用紙トレイを表します。

共通メニュー画面

すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。共通メニュー画面を表示するには、〔メニュー〕を押してください。

ネットワーク / ポート設定の画面を表示すると、次のように表示されます。

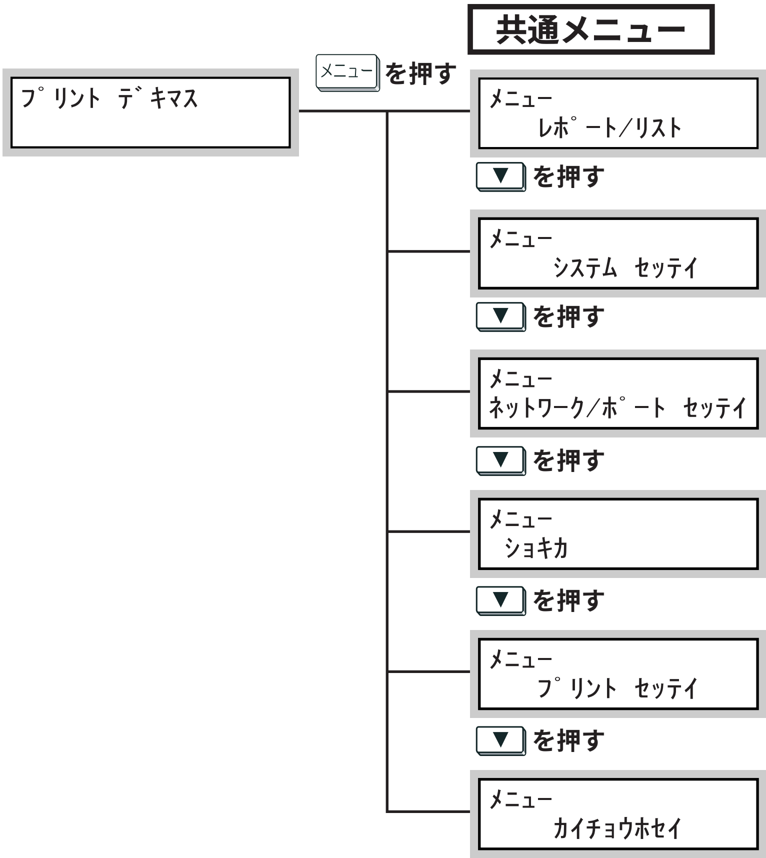
```
メニュー
ネットワーク/ホ゜ート セッテイ
```

参照　共通メニュー画面については、「第 14 章　共通メニューの設定」（261 ページ）を参照してください。

共通メニューの概要

すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

メニューについて



同じ階層を移動する場合は ▲ 、 ▼ を押します。
上下の階層を移動する場合は ◀ 、 ▶ を押します。

参照　共通メニューの設定については、「第14章　共通メニューの設定」（261ページ）を参照してください。

プリンタ側で印刷を中止する

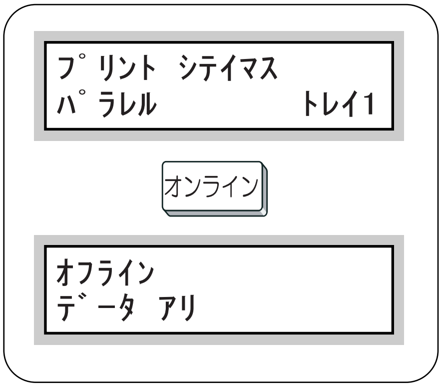
処理中の印刷ジョブを中止する

プリンタ側で、処理中のジョブの印刷を中止するには、プリンタのオペレータパネルの〔プリント中止〕スイッチを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

プリンタ内のすべての印刷ジョブを中止する

プリンタに受信されているすべてのジョブに対して印刷を中止する方法を以下に説明します。この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

ガイド バッファとは、パソコンから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

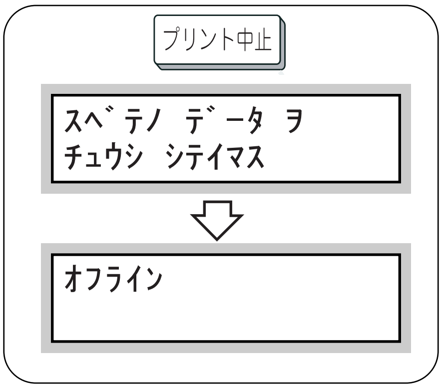


1 *左記のディスプレイ状態で、〔オンライン〕スイッチを押す*

オフライン状態になります。

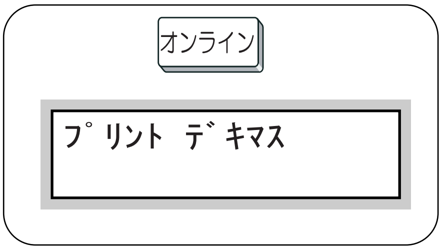
ガイド

〔オンライン〕スイッチを押すと、プリンタは自動的にデータの受信ができない状態となります。



2 *〔プリント中止〕スイッチを押す*

中止の処理が行われます。処理が終了すると、「オフライン」の表示になります。



3　〔オンライン〕スイッチを押す

「プリントデキマス」の表示になります。

参照　ホスト側で印刷を中止するには、「ホスト側で印刷を中止する」(234 ページ）を参照してください。

運用編

12

第13章

プリンタドライバの設定／印刷

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

印刷のながれ

Windows 環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
（ご使用になるホストやシステム構成によって、異なる場合があります。）

ホスト側で使用するアプリケーションソフトウェアを起動する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて　**メニューを操作する**

クライアントから印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。
① 共通メニューのネットワークポート設定で使用するポート状態を確認する
② 共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で使用するポートのプリントモードを確認する

参照
操作については、「共通メニューの設定を変更する」（265ページ）を参照してください。

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて　**印刷を中止する**

参照
操作については、「印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」（234ページ）を参照してください。

必要に応じて　**排出する**

参照
操作については、「印刷データを強制的に排出させる」（333ページ）を参照してください。

終　了

主な印刷機能一覧

印刷機能の設定について

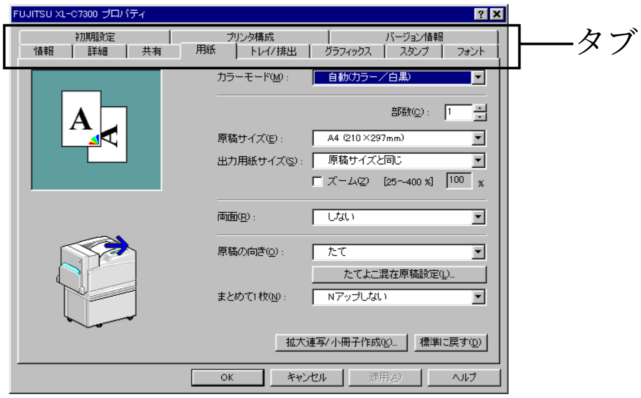
ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示するプロパティや、お使いのコンピュータにインストールしたプリンタのアイコンのプロパティ画面で設定を行います。
開いたプロパティ画面で、各タブを切り替えて、機能を設定します。
設定方法などについては、XL-C7300プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

参照　オンラインヘルプの使い方については、「オンラインヘルプの使いかた」（216ページ）を参照してください。

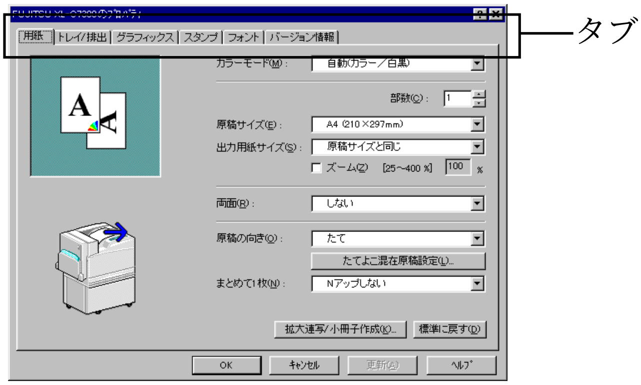
参照　〔プリンタの構成〕タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され設定できません。

プロパティ画面

〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示した場合（Windows 95の場合）



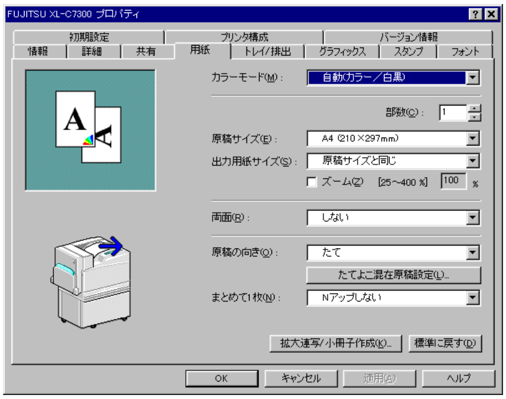
アプリケーションからの印刷設定でプリンタのプロパティ画面を表示した場合（Windows 95 の場合）



オンラインヘルプの使いかた

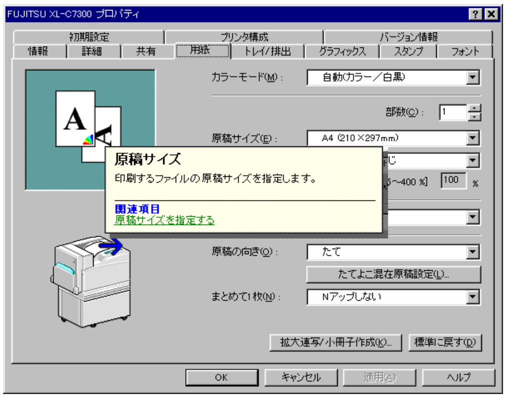
オンラインヘルプを使って、プリンタドライバ画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows 95 を例に説明します。

1 *〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示する*

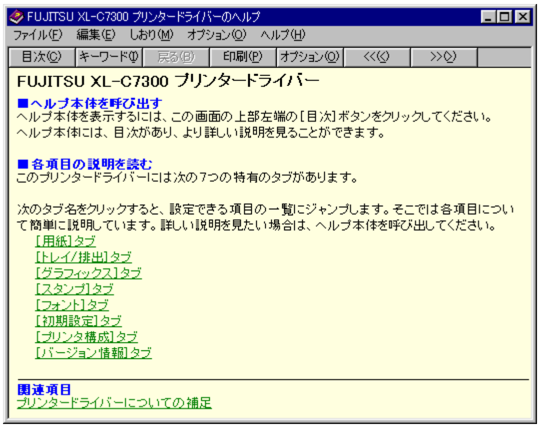


2 *使用する機能によって、各タブを選択し、〔?〕をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の〔ヘルプ〕をクリックする*

〔?〕を使用した場合



〔ヘルプ〕をクリックした場合



3 ヘルプが表示される

運用編

13

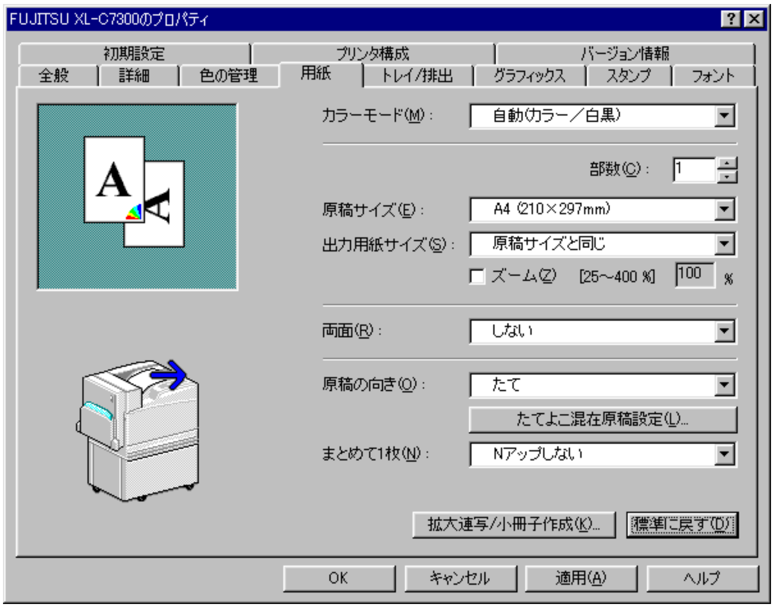
主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタドライバのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

ガイド

- 以下のプリンタドライバの機能は、2001 年 6 月現在のものです。
- 〔プリンタ構成〕タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され選択できません。

〔用紙〕タブ



カラーモード

カラーモードを指定します。
〔自動（カラー / 白黒)〕または〔白黒〕を選択します。
〔自動（カラー / 白黒)〕は、ページごとに色を判断し、白 / 黒以外の色が使われている場合はカラーで、白 / 黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。

部数

印刷する部数を、1～999 枚の範囲で、指定できます。

原稿サイズ

印刷するファイルの原稿サイズを指定します。

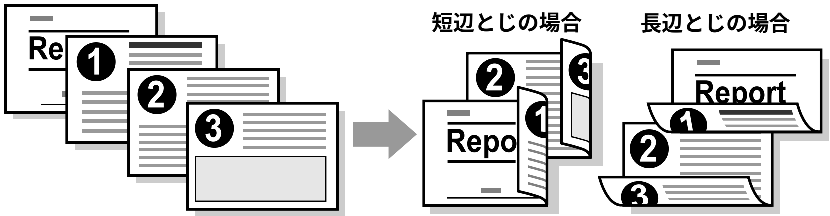
出力用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを指定します。

ズーム

チェックボックスをオフにすると、〔用紙〕タブの〔出力用紙サイズ〕で選択した用紙サイズに合わせて、自動的に拡大 / 縮小して印刷します。チェックボックスをオンにすると、任意の倍率を指定して印刷できます。倍率は、25～400% の範囲で、1% 刻みに指定できます。

両面



両面に印刷します。
両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。「長辺とじ」は用紙の長辺、「短辺とじ」は用紙の短辺を軸におもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。両面印刷機能付きの場合に使用できます。

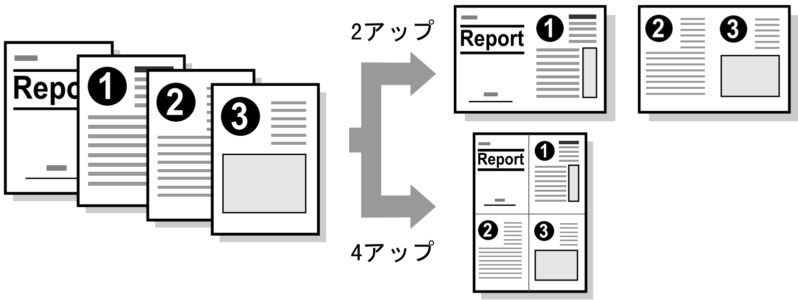
原稿の向き

印刷する原稿の向きを指定します。〔たて〕、または〔よこ〕を選択します。

〔たてよこ混在原稿設定〕ダイアログボックス

〔たてよこ混在原稿設定 . . .〕ボタンをクリックすると、〔たてよこ混在原稿設定〕ダイアログボックスが表示されます。
印刷するファイルにたてとよこのページが混在する場合の設定ができます。

まとめて１枚

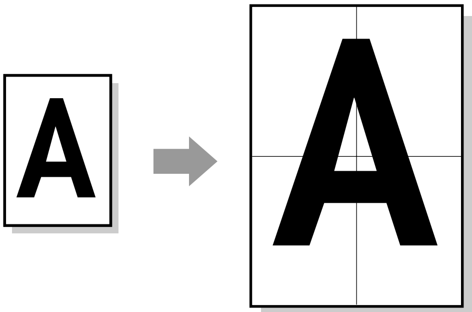


連続する2/4/8ページ分の原稿を、1枚の用紙にまとめて印刷します。この機能を「まとめて１枚」といいます。
まとめて1枚にするページ数を、〔2アップ〕、〔4アップ〕、〔8アップ〕から選択します。
また、下に表示される〔印字方向〕で、用紙に割り付ける順序が指定できます。

〔拡大連写 / 小冊子作成〕ダイアログボックス

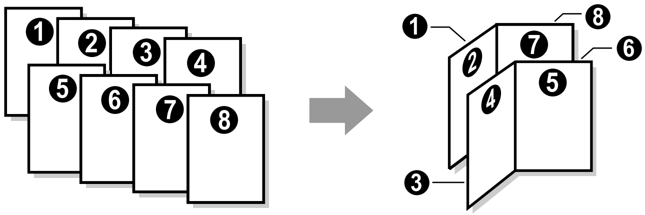
〔拡大連写 / 小冊子作成 . . .〕ボタンをクリックすると、〔拡大連写 / 小冊子作成〕ダイアログボックスが表示されます。拡大連写と小冊子作成の設定ができます。

● 拡大連写



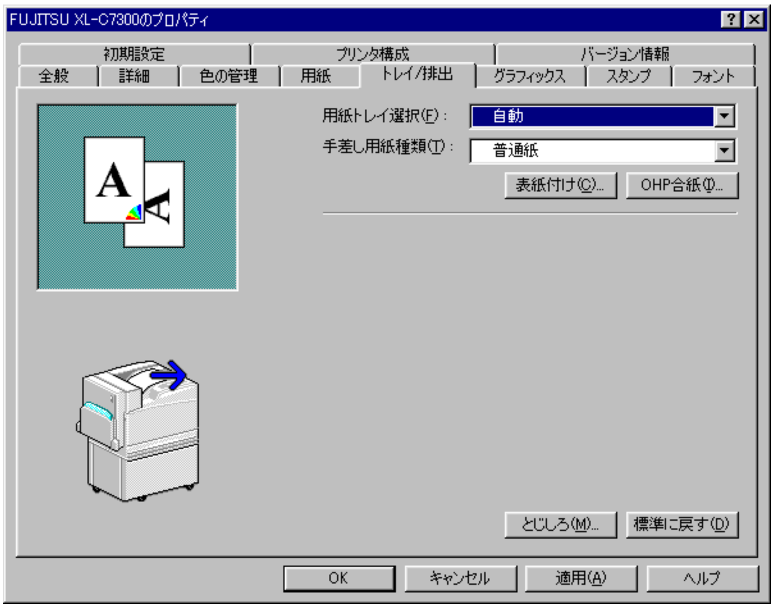
1ページ分のデータを拡大して、複数枚の用紙に分けて印刷できます。ポスター作成などに使用できます。印刷する用紙の枚数を、〔2 × 2〕、〔3 × 3〕、〔4 × 4〕から選択します。

● 小冊子作成



複数ページの原稿を印刷して重ね合わせ、中央で2つ折りにしたとき、中とじ冊子（小冊子）になるように印刷します。この機能を「小冊子作成」といいます。

〔トレイ / 排出〕タブ



▷ 用紙トレイ選択

印刷に使用する用紙トレイを指定します。

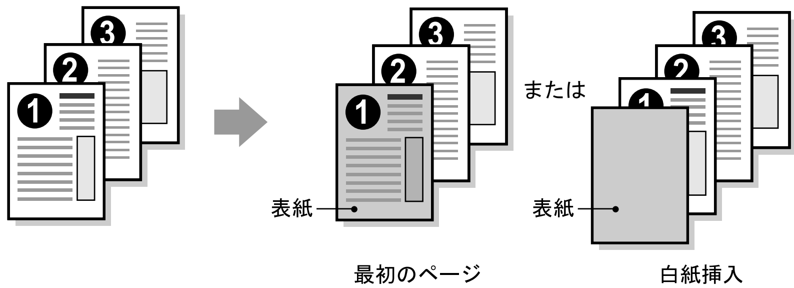
〔自動〕、〔トレイ 1〕、〔トレイ 2〕、〔トレイ 3（大容量）〕、〔トレイ 4（大容量）〕、〔手差し〕から選択します。表示される用紙トレイは、装着されている用紙トレイによって異なります。

手差し用紙種類

手差しトレイを使って印刷する場合の用紙の種類を指定します。
〔上質紙〕、〔普通紙〕、〔再生紙〕、〔厚紙1（106～169g/㎡）〕、〔厚紙1（106～169g/㎡）うら面〕、〔厚紙2（170～220g/㎡）〕、〔厚紙2（170～220g/㎡）うら面〕、〔OHPフィルム〕、〔ラベル紙〕、〔はがき〕、〔はがき（うら面）〕、〔ユーザー定義用紙種類1～5〕から選択します。

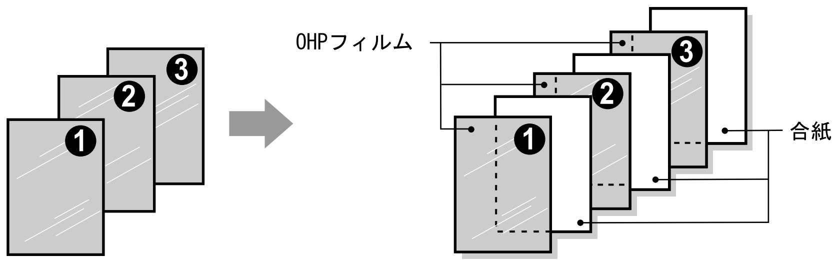
〔表紙付け〕ダイアログボックス

〔表紙付け...〕ボタンをクリックすると、〔表紙付け〕ダイアログボックスが表示されます。原稿の最初のページ（〔する（表紙へ印刷する）〕）、または原稿の前に白紙を挿入（〔する（表紙へは印刷しない）〕）し、それを表紙として、本文とは別の用紙に印刷することができます。

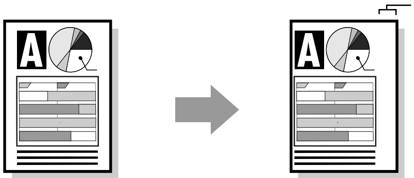


〔OHP合紙〕ダイアログボックス

〔OHP合紙...〕ボタンをクリックすると、〔OHP合紙〕ダイアログボックスが表示されます。OHPフィルムに1枚印刷するごとに、合紙を自動的に挿入する設定ができます。
OHPフィルムは、手差しトレイにセットし、合紙用の用紙は、用紙トレイ1にセットします。OHPフィルムのセット方向と、合紙のセット方向は同じにしてください。また、このとき〔初期設定〕タブの〔プリント機能〕で〔手差し用紙の給紙方向〕の設定とOHPフィルムのセット方向が合っていないと印刷できません。

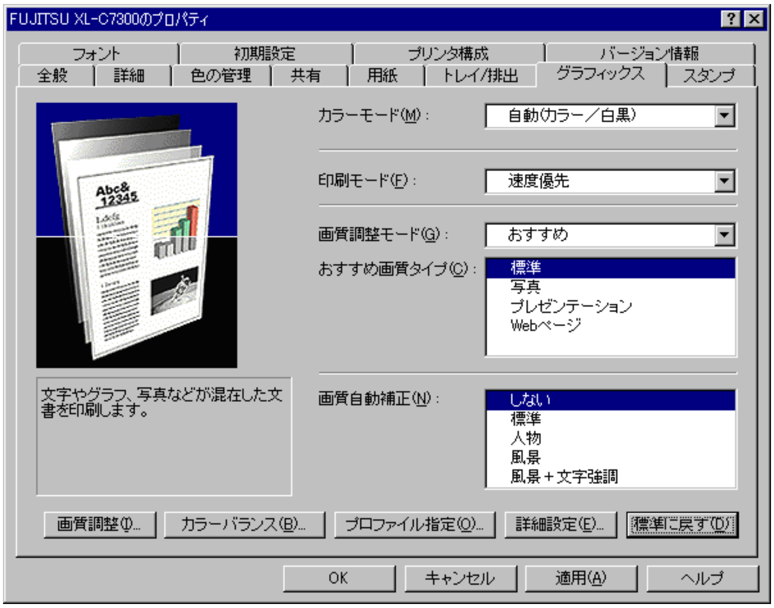


〔とじしろ〕ダイアログボックス



〔とじしろ ...〕ボタンをクリックすると、〔とじしろ〕ダイアログボックスが表示されます。用紙に付けるとじしろの設定ができます。とじしろは、用紙の左 / 右 / 上 / 下のどれかに付けることができます。0～50㎜の範囲で、1㎜刻みに指定できます。

〔グラフィックス〕タブ



カラーモード

カラーモードを指定します。

〔自動（カラー / 白黒）〕、または〔白黒〕から選択します。〔自動（カラー / 白黒）〕は、ページごとに色を判断し、白 / 黒以外の色が使われている場合はカラーで、白 / 黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。

参照　アプリケーション側でICCプロファイルなどを使って色変換した印刷データを、〔自動（カラー / 白黒）〕で印刷した場合、モニタ上でモノクロに見える原稿でもカラーで印刷されます。

参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）

印刷モード

印刷する速度を優先するか、画質を優先するかを指定します。

〔速度優先〕、〔標準〕、〔画質優先〕から選択します。

〔速度優先〕は、〔標準〕に対して、速度を優先して印刷し、〔画質優先〕は、画質を優先して印刷します。画質優先で印刷すると、処理時間が長くかかります。

参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）

画質調整モード

画質調整モードを指定します。

〔おすすめ〕、〔ICM 調整（システム）〕、〔CMS 調整（アプリケーション）〕、〔色変換しない〕から選択します。

〔ICM 調整（システム）〕はWindows 98/Me/2000 の場合にだけ表示されます。

参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）

おすすめ画質タイプ / インテント

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。

〔おすすめ画質タイプ〕は、〔画質調整モード〕で〔おすすめ〕を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから画質タイプを選択します。

〔インテント〕は、〔画質調整モード〕で〔ICM 調整（システム）〕を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから色の変換方式を選択します。

参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）

画質自動補正リストボックス

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。
〔しない〕、〔標準〕、〔人物〕、〔風景〕、〔風景+文字強調〕から選択します。

参照　「印刷モードを設定する」（249 ページ）

〔画質調整〕タブ

〔画質調整 . . .〕ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、〔画質調整〕タブが表示されます。〔画質調整〕タブでは、明度 / 彩度 / コントラストを原稿全体、または文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。

参照　「画質を調整して印刷する」（253 ページ）

〔カラーバランス〕タブ

〔カラーバランス . . .〕ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、〔カラーバランス〕タブが表示されます。
〔カラーバランス〕タブでは、ブラック / シアン / マゼンタ / イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。

参照　「画質を調整して印刷する」（253 ページ）

〔プロファイル指定〕タブ

〔プロファイル指定 . . .〕ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、〔プロファイル指定〕タブが表示されます。
〔プロファイル指定〕タブでは、原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性に合わせた、色温度 / ガンマ指定の設定や、ICC プロファイルの指定ができます。

参照　「画質を調整して印刷する」（253 ページ）

〔詳細設定〕タブ

〔詳細設定 . . .〕ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、〔詳細設定〕タブが表示されます。
〔詳細設定〕タブでは、文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

- 文字

  テキストオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーのみで印刷する〔グレー保証〕機能や、モノクロで印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する〔すべての色を黒に変換〕機能を設定できます。

- 図 / 表 / グラフ

  線など、図形として描画されるオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーだけで印刷する〔グレー保証〕機能や、モノクロで印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する〔すべての色を黒に変換〕機能、細い線を見やすく太らせて印刷する〔細い線を太くする〕機能などを設定できます。

- 写真

  写真データなどイメージとして描画されるオブジェクトに対し、拡大/縮小を滑らかに行なう補間機能や、イメージデータの圧縮について設定できます。

- 拡大・縮小時に補間処理を行なう

  写真やイメージに対する拡大・縮小処理を補間ありで行なうことで、滑らかに見せる機能です。

- スムージング

  白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

- トナーセーブ

  トナーを節約して、原稿を薄く印刷します。ドラフト原稿を印刷するときなどに便利です。

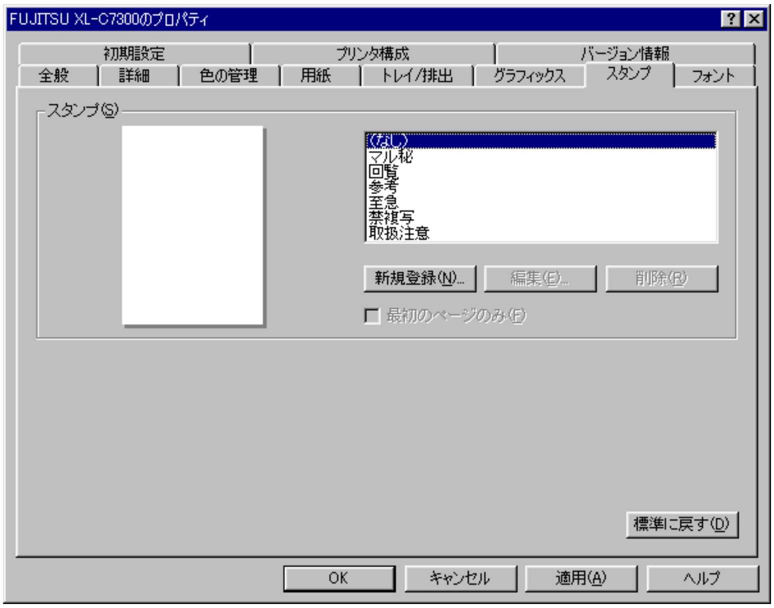
- 薄墨印刷

  モノクロ印刷時に、黒で印刷する部分を薄墨色に変換して印刷します。

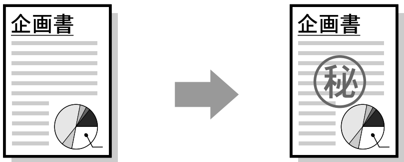
- プリンタドライバの解像度

  システムやアプリケーションに通知する解像度を設定します。細い線などが出力されない場合に設定してください。

〔スタンプ〕タブ



スタンプ



印刷データにスタンプを重ねて印刷する機能を設定できます。標準スタンプとして、〔スタンプ〕タブの〔スタンプ〕リストボックスに「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」の6種類が登録されています。〔最初のページのみ〕チェックボックスをオンにすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。オフにすると、すべてのページにスタンプが印刷されます。
新しいスタンプの登録、スタンプの編集、スタンプの削除もできます。

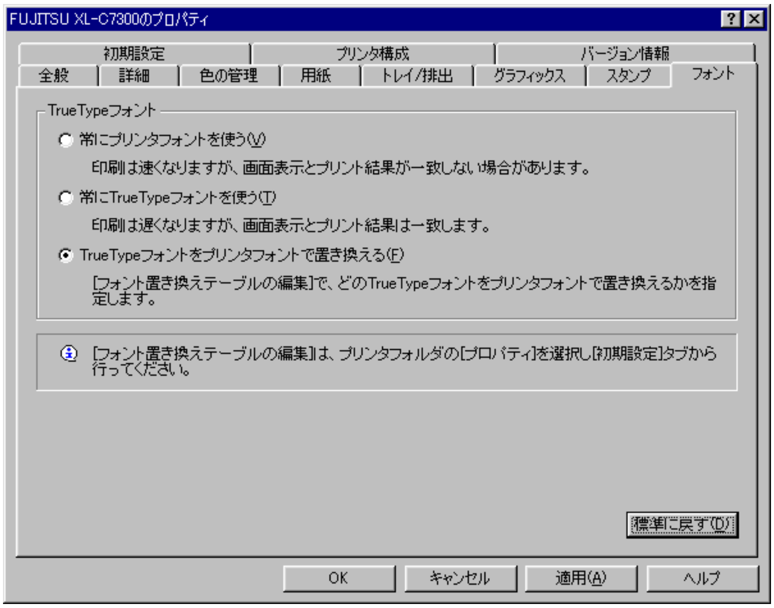
- スタンプリストボックス
  使用するスタンプ機能を選択します。

- 〔新規登録〕ボタン
  新しい種類のスタンプを登録するときにクリックします。〔スタンプ登録〕ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを設定して登録できます。

- 〔編集〕ボタン
  すでに登録したスタンプの編集を行うときにクリックします。〔スタンプ編集〕ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを編集します。

- 〔最初のページのみ〕
  最初のページにだけスタンプを付ける場合にチェックボックスをオンにします。

〔フォント〕タブ



True Type フォント

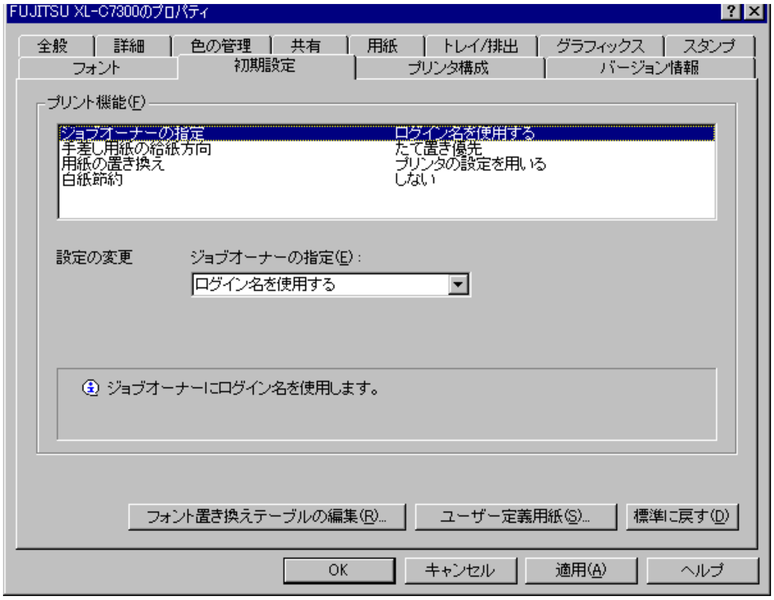
TrueType フォントの印刷方法を設定できます。
〔常にプリンタフォントを使う〕は、文書内で使用されている TrueType フォントにいちばん近いプリンタフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。

〔常にTrueTypeフォントを使う〕は、すべてのTrueTypeフォントをプリンタにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。

〔TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える〕は、フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。

参照　「TrueType フォントの印刷方法を設定する」（245 ページ）

〔初期設定〕タブ



プリント機能

プリンタ本体のオプション構成以外で、プリンタドライバ側の設定を変える必要がある項目の初期設定をします。
設定を変更する場合は〔設定の変更〕で項目を選択します。
項目を選択するとタブ下部に、選択したプリント機能とその選択肢について、簡単な説明が表示されます。設定するときの参考にしてください。
設定できる項目は、次のとおりです。

ジョブオーナの指定

ジョブオーナの指定方法を選択します。ジョブオーナは、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。

〔ログイン名を使用する〕

ジョブオーナ名として、Windowsのログイン名が使用されます。ジョブオーナ名は、「ログインユーザ名\ホスト名」になります。ログイン名の最大文字数は、24バイト相当（半角で24文字、全角で12文字）です。24バイトを超える場合は、24バイトまでが有効になります。

〔オーナ名を入力する〕
ジョブオーナ名を任意に指定したい場合に選択します。下に表示される〔ジョブオーナ名〕に、任意のジョブオーナー名を入力します。
ジョブオーナー名の最大文字数は、31バイト相当（半角で31文字、全角で15文字）です。31バイトを超える場合は、31バイトまでが有効になります。

● 手差し用紙の給紙方向

手差しトレイを使用して印刷する場合の、用紙のセット方向を〔たて置き優先〕、または〔よこ置き優先〕から設定します。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合（例えば、B4やA3サイズ）は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向で印刷されます。
この給紙方向の設定と手差しトレイへのセット方向が異なると印刷できません。
なお、OHP合紙機能を使用する場合は、ここでの設定と、手差しトレイにセットするOHPフィルムのセット方向、用紙トレイ1にセットする合紙のセット方向をすべて合わせてください。

● 用紙の置き換え

〔トレイ/排出〕タブの〔用紙トレイ選択〕の〔自動〕を選択して印刷する場合で、選択されたサイズの用紙がプリンタにないときの動作の設定をします。
選択できる項目は、次のとおりです。
〔プリンタの設定を用いる〕
プリンタ本体の設定を使用します。設定については、プリンタ本体のオペレータパネルで確認してください。
〔用紙補給を表示する〕
プリンタ本体のオペレータパネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。
〔近いサイズを選択（縮小/等倍）〕
最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。
〔大きいサイズを選択（等倍）〕
次に大きな用紙に等倍で印刷します。

- 白紙節約

  白紙ページを含む文書を印刷する場合に、白紙ページを印刷するかしないかの設定をします。〔する〕、または〔しない〕から選択します。

- メタファイルスプール（Windows 2000/NT4.0）

  印刷情報をディスクにスプールする形式を指定します。〔する〕、または〔しない〕から選択します。

  〔しない〕に設定すると、RAW形式でスプールします。印刷情報の変換に時間がかかるため、印刷処理から開放される時間が長くなります。

  〔する〕に設定すると、EMF（メタファイル）形式でスプールします。印刷処理から開放される時間が短くなります。〔する〕を選択して問題が起きる場合は、〔しない〕を選択してください。

- 印刷保証（メモリを160MB以上に増設し、ドライバの〔プリンタ構成〕タブで〔メモリ容量160MB以上〕を設定した場合のみ）

  印刷処理のデータ圧縮方法を設定します。〔する〕、または〔しない〕から選択します。印刷指示しても何も印刷されない場合に、〔する〕を選択して印刷を試してください。

  〔する〕に設定すると、〔印刷モード〕は自動的に〔速度優先〕になります。

〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックス

〔フォント置き換えテーブルの編集...〕ボタンをクリックすると、〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックスが表示されます。

TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。

参照　「TrueTypeフォントの印刷方法を設定する」（245ページ）

〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックス

〔ユーザー定義用紙...〕ボタンをクリックすると、〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスが表示されます。

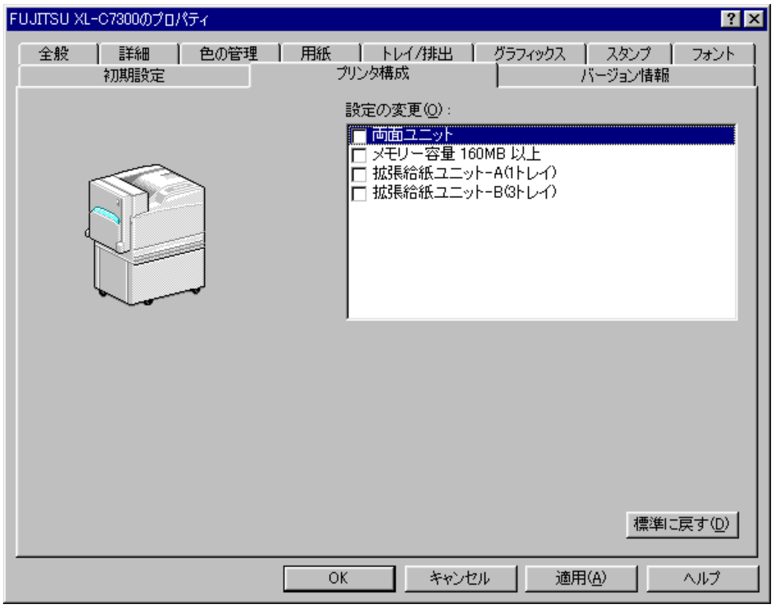
不定形サイズの用紙に印刷するための用紙サイズが登録できます。

用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。

用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100～305mm、長辺140～482mmの範囲で0.1mm刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94～12.01インチ、長辺5.51～18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます。

参照　「不定形用紙に印刷する」（241ページ）

〔プリンタ構成〕タブ



● 〔両面ユニット〕

本プリンタが両面印刷可能な場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、〔用紙〕タブの〔両面〕の項目が選択できるようになり、両面印刷ができます。同時に〔メモリ容量160MB以上〕チェックボックスもオンになります。

● 〔メモリ容量 160MB 以上〕

増設のメモリが装着されている場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、両面印刷、印刷保証ができます。また、〔グラフィックス〕タブの〔カラーモード〕の〔自動（カラー/白黒）〕と〔印刷モード〕の〔画質優先〕が組み合わせて使用できます。

● 〔拡張ユニット - A（1 トレイ）〕

拡張給紙ユニット - A（1トレイ）が装着されている場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、〔トレイ/排出〕タブの〔用紙トレイ選択〕から、〔トレイ2〕が選択できるようになります。

● 〔拡張ユニット - B（3 トレイ)〕

拡張給紙ユニット - B（3トレイ）が装着されている場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、〔トレイ/排出〕タブの〔用紙トレイ選択〕から、〔トレイ2〕〔トレイ3（大容量）〕〔トレイ4（大容量）〕が選択できるようになります。

〔バージョン情報〕タブ

本プリンタドライバのバージョンを確認できます。

印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する

印刷を中止するには、まずホスト側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンタ側で印刷を取り消します。
また、印刷を指示したジョブの処理状況をホスト側で確認できます。
以下に操作方法を説明します。

ホスト側で印刷を中止する

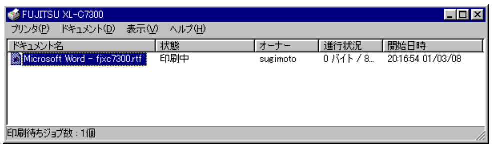
ホスト側で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

Windows での取り消し方法

Windowsをお使いの場合の印刷指示の取り消し方法について説明します。

1　*〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする*

2　*該当するプリンタアイコンをダブルクリックする*



3　*表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（〔Delete〕キーを押す）する*

Internet Services を使った取り消しについて

Internet Services を使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消しできます。
Internet Services については、「ホストからプリンタを設定する（Internet Services）」（280 ページ）を参照してください。

参照　プリンタ側で印刷を中止するには、「プリンタ側で印刷を中止する」（210 ページ）を参照してください。

印刷指示したジョブの状態を確認する

Windowsでの確認方法

Windowsをお使いの場合の印刷指示したジョブの確認方法について説明します。

1 *〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする*

2 *該当するプリンタアイコンをダブルクリック（または右クリックしてメニューを表示し、〔開く〕を選択）して状態を確認する*



Internet Servicesを使った確認方法について

Internet Servicesを使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。
Internet Servicesについては、「ホストからプリンタを設定する（Internet Services）」（280ページ）を参照してください。

運用編

13

特殊用紙に印刷する

特殊用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。

・はがき
・はがき(うら面)
・厚紙 1(106 ～ 169 g / m²)
・厚紙 1(106 ～ 169 g / m²) うら面
・厚紙 2(170 ～ 220 g / m²)
・厚紙 2(170 ～ 220 g / m²) うら面
・OHP フィルム
・ラベル紙
・ユーザ定義用紙種類 1 ～ 5

特殊用紙に印刷する場合は、手差しトレイを使用します。
給紙トレイの指定は、〔トレイ / 排出〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows 95 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド

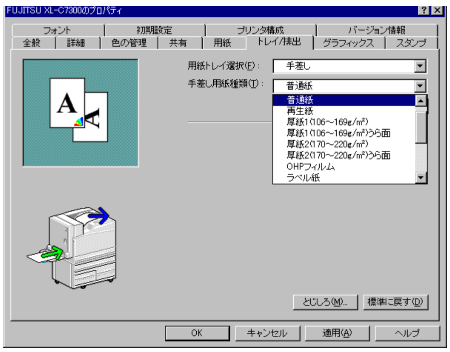
・プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
・手差しトレイの使いかたについては、「用紙のセット」（128 ページ）を参照してください。

1 *手差しトレイに、特殊用紙をセットする*

2 *ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕をクリックする*

3 *〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする*

4 *〔トレイ / 排出〕タブをクリックする*



5 *〔用紙トレイ選択〕から、〔手差し〕を指定する*

6 *〔手差し用紙種類〕から、用紙の種類を選択する*

7 *〔OK〕をクリックし、印刷を実行する*

長尺用紙に印刷する

長尺用紙に印刷する方法を説明します。長尺用紙の印刷条件は以下の通りです。

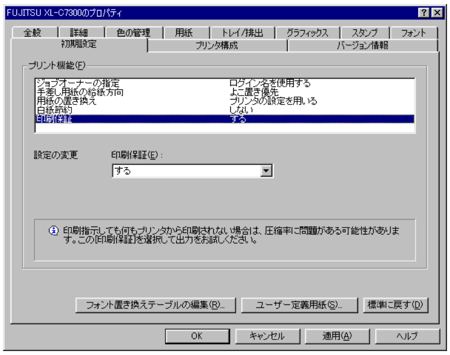
・メモリ容量 160MB 以上（プリンタ構成タブ）
・印刷保証する（初期設定タブ）
・手差しトレイ（トレイ / 排出タブ）
・厚紙 1（106 〜 169g/m²）または厚紙 1（106 〜 169g/m²）うら面（トレイ / 排出タブ）
・長尺（用紙タブ）

ガイド

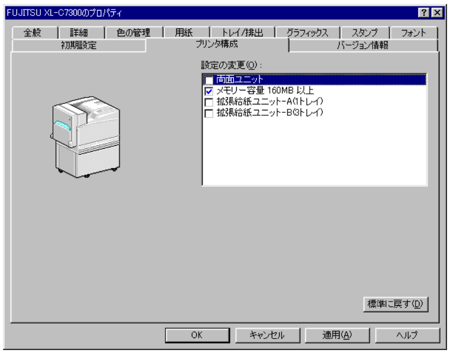
・長尺印刷を行なうには、拡張メモリ（128MB）を増設する必要があります。
・プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
・手差しトレイの使いかたについては、「用紙をセットする」（132 ページ）を参照してください。

1　*手差しトレイに、長尺用紙をセットする*

2　*〔スタート〕→〔設定〕→〔プリンタ〕で〔FUJITSU XL-C7300〕アイコンを右クリックしプロパティを開く*



3　*〔初期設定〕タブで〔印刷保証〕を〔する〕に設定する*

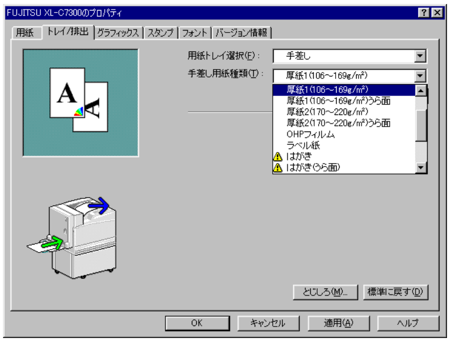


4　〔プリンタ構成〕タブで〔メモリ容量160MB以上〕をONにする

5　〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする

6　〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする

7　〔トレイ/排出〕タブをクリックする



8　〔用紙トレイ選択〕から、〔手差し〕を指定する

9　〔手差し用紙種類〕から、厚紙1（106～169g/m^2）を選択する

10　〔用紙〕タブをクリックする



11　〔出力用紙サイズ〕を〔長尺〕にする

12　〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

はがきに印刷する

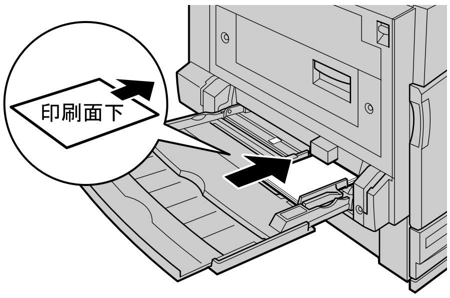
官製はがきに印刷する方法を説明します。

はがきのセット方法

手差しトレイに官製はがきをセットします。

ガイド　手差しトレイの使いかたについては、「手差しトレイに用紙をセットする」（139 ページ）を参照してください。

1　はがきの印刷する面を下に向ける



2　はがきをセットする場合は、郵便番号枠側を差し込み口に向けてセットする

お願い
- はがきが装置またはプリンタ本体に送られないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。
- 用紙上限線を超えてセットしないでください。

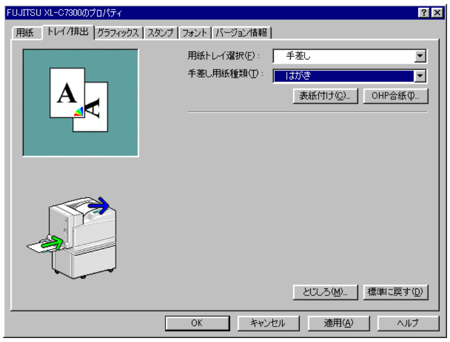
印刷設定

印刷の設定は、〔トレイ / 排出〕タブと〔用紙〕タブを表示して行います。ここでは、Windows 95 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

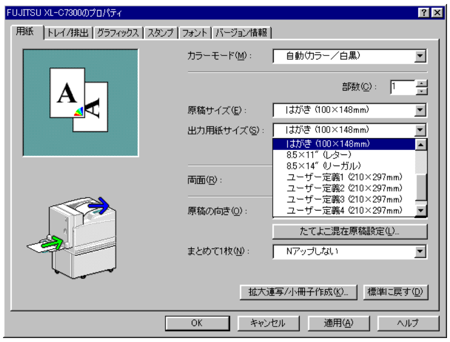
ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3 〔トレイ / 排出〕タブをクリックし、〔用紙トレイ選択〕から、〔手差し〕を指定する



4 〔用紙〕タブをクリックし、〔原稿サイズ〕から、〔はがき（100 × 148㎜）〕を選択する

5 〔トレイ / 排紙〕タブをクリックし、〔手差し用紙種類〕から、〔はがき〕または〔はがき(うら面)〕を指定する

ガイド　両面に印刷する場合、最初の印刷面は〔はがき〕を選択し、そのうら面を印刷するときは、〔はがき（うら面)〕を選択してください。

6 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

不定形用紙に印刷する

不定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。不定形用紙に印刷するには、まずプリンタドライバに不定形サイズの登録をします。

不定形サイズをユーザ定義サイズとして登録すると、〔用紙〕タブの〔原稿サイズ〕と〔出力用紙サイズ〕から、それぞれ不定形サイズ（ユーザ定義サイズ）が選択できるようになります。印刷するときは、手差しを使用してください。

用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100～305mm、長辺140～482mmの範囲で0.1mm刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94～12.01インチ、長辺5.51～18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます。

ガイド

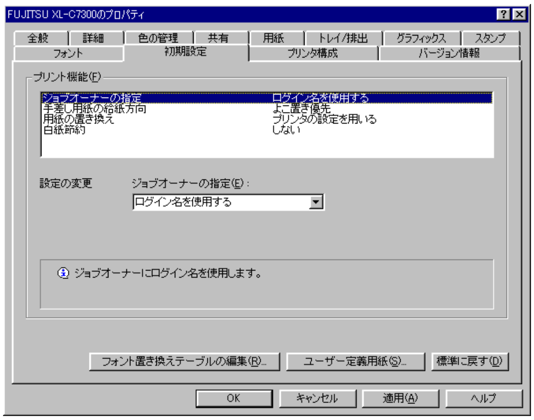
- Windows 2000/NT4.0では、「Administrator」の権利があるユーザの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- 〔ユーザ定義用紙〕ダイアログボックスの設定は、Windows 2000/NT4.0の場合、ローカルプリンタではホストのフォームデータベースを使用するため、ホスト上の他のプリンタにも影響します。ネットワーク共有プリンタではプリントキューが存在するサーバ上のフォームデータベースを使用するため、別のホスト上の同じネットワーク共有プリンタにも影響します。Windows 95/98/Meの場合、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ホスト上の他のプリンタの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンタでも、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、他のホスト上の同じネットワーク共有プリンタの設定には影響しません。
- 両面印刷可能なユーザ定義サイズは、短辺が140.0～297.0mm、かつ長辺が140.0～432.0mmの範囲となります。

不定形用紙を登録する

不定形サイズの用紙の登録は、〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスで行います。

1　*〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示する*

2　*〔初期設定〕タブをクリックする*



3　*〔ユーザー定義用紙．．．〕をクリックする*

〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスが表示されます。



4　*〔設定一覧〕リストボックスから、設定する用紙を選択する*

5　*〔設定の変更〕で、短辺と長辺の長さを指定する*

キー入力、または▲▼ボタンで指定します。

短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6 *用紙名を付ける場合は、〔用紙名をつける〕チェックボックスをオンにして、〔用紙名〕に入力する*

用紙名の最大文字数は半角で14文字、全角で7文字です。

7 *必要に応じて、手順4～6を繰り返して、用紙サイズを定義する*

8 *〔OK〕をクリックする*

9 *〔初期設定〕タブで、〔OK〕をクリックする*

印刷のしかた

不定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。印刷するときは、手差しトレイを使用してください。

参照　手差しトレイの使い方については、「手差しトレイに用紙をセットする」（139ページ）を参照してください。

ここでは、Windows 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

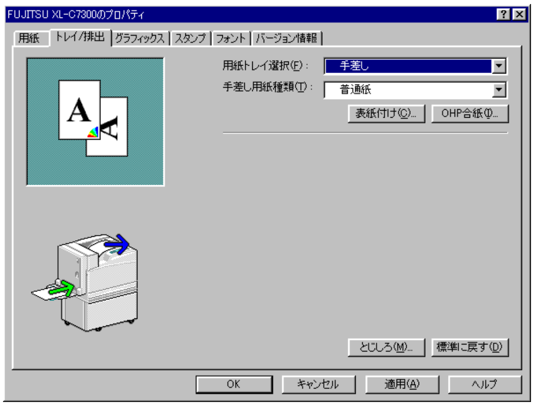
ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 *手差しトレイに、不定形サイズの用紙をセットする*

2 *〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する*

3 *〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする*

4 *〔トレイ / 排出〕タブをクリックする*

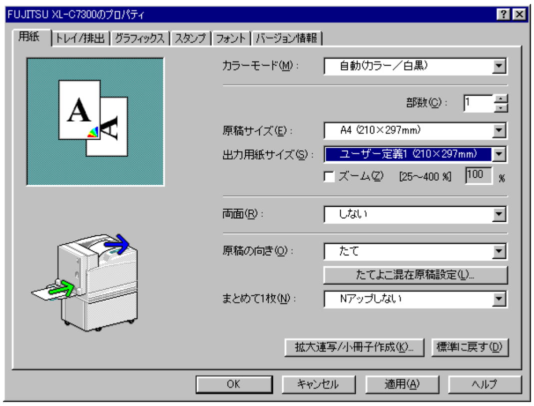


5　〔用紙トレイ選択〕から、〔手差し〕を選択する

6　〔手差し用紙種類〕から、用紙の種類を選択する

7　〔用紙〕タブをクリックする

8　〔出力用紙サイズ〕から、使用する不定形サイズの用紙を選択する



9　〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

TrueTypeフォントの印刷方法を設定する

ここでは、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できるフォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueTypeフォントの置き換え方法について説明します

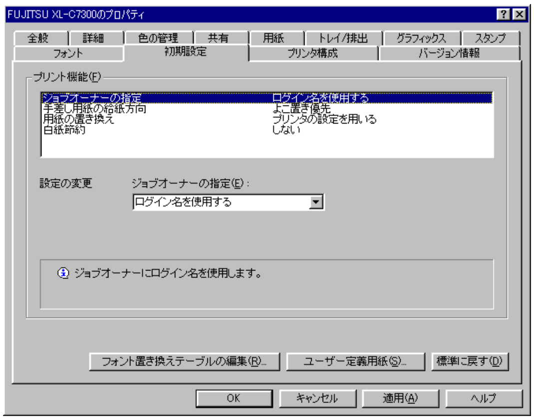
TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する

フォント置き換えテーブルで、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックスで行います。

1　*〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示する*

2　*〔初期設定〕タブをクリックする*

3　*〔フォント置き換えテーブルの編集．．．〕をクリックする*



〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックスが表示されます。

〔TrueTypeフォント〕列には、システムにインストールされているすべてのTrueTypeフォント（Windows 95/98/Meではフォントのファミリー名、Windows 2000/NT4.0ではフォントのフェイス名）が表示されます。

〔プリンタフォント〕列には、TrueTypeフォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。〔ソフトフォント〕と表示されているフォントは、印刷時にTrueTypeフォントをプリンタにダウンロードして使用します。

4　*〔TrueType フォント〕列から、設定を変更するフォントを選択する*



5　*〔置き換えるプリンタフォント〕から、使用するプリンタフォントを選択する。〔ソフトフォント〕を選択すると、印刷時に TrueType フォントをプリンタにダウンロードして使用する*

6　*必要に応じて、手順 3、4 を繰り返して、置き換えるフォントを指定する*

7　*〔OK〕をクリックする*

8　*〔初期設定〕タブで、〔OK〕をクリックする*

TrueType フォントの印刷方法を設定する

TrueType フォントの置き換え方法を指定して印刷できます。
選択できる項目は、次のとおりです。

選択肢	内容
常にプリンタフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えて印刷します。文書内で使用されている TrueType フォントにいちばん近いプリンタフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
常に TrueType フォントを使う	すべての TrueType フォントをプリンタにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンタフォントに置き換えるものと、プリンタにダウンロードするものの2種類の設定があります。Windows 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと（Windows 95/98/Me の場合）、またはフォントフェイスごと（Windows 2000/NT4.0 の場合）に設定できます。

参照　フォント置き換えテーブルの編集方法については、「TrueType フォント置き換えテーブルを編集する」(245ページ) を参照してください。

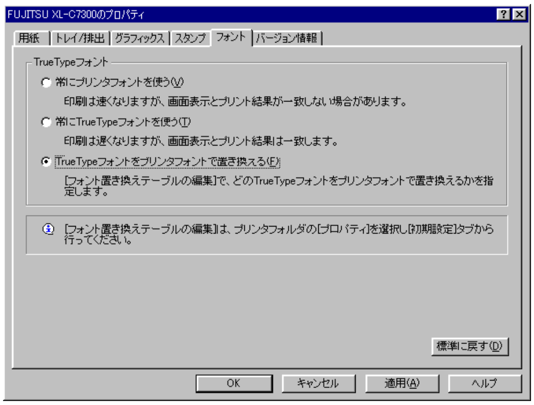
TrueTypeフォントの置き換えの指定は、〔フォント〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 *〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する*

2 *〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする*

3 *〔フォント〕タブをクリックする*



4 *設定する内容のラジオボタンをクリックする*

5 *〔OK〕をクリックし、印刷を実行する*

印刷モードを設定する

カラーで印刷する場合の詳細な設定をすることができます。
設定は、〔グラフィックス〕タブを表示して行います。ここでは、〔グラフィックス〕タブで設定できる画質などの印刷モードについて説明します。

〔印刷モード〕について

〔印刷モード〕は、〔標準〕、〔速度優先〕、〔画質優先〕から選択します。

選択肢	内　容
速度優先	画質を落としても早く印刷したい場合に選択します。
画質優先	印刷処理時間が長くても、より高画質で印刷したい場合に選択します。
標準	〔画質優先〕と〔速度優先〕の中間モードです。

ガイド

- 〔初期設定〕タブの〔プリント機能〕で、〔印刷保証〕を〔する〕に設定している場合は、〔速度優先〕以外は選択できません。
- 〔画質優先〕と〔カラーモード〕の〔自動（カラー / 白黒）〕を組み合わせて印刷する場合は、本機に160MB以上のメモリ容量が必要です。

〔画質調整モード〕について

〔画質調整モード〕は、〔おすすめ〕、〔ICM 調整（システム）〕、〔CMS 調整（アプリケーション）〕、〔色変換しない〕から選択します。
〔おすすめ〕を選択した場合は、〔おすすめ画質タイプ〕リストボックスから、画質タイプを選択します。

〔おすすめ〕
独自の方式で画質調整を行います。
画質タイプは以下のとおりです。選択するときは、XL-C7300プリンタドライバ画面の左上に表示される画質イメージを参考にしてください。

選択できる項目は次のとおりです。

選択肢	内　容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書を印刷します。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。RGBで表現される画像の印刷に適しています。
プレゼンテーション	色を鮮やかに調整して印刷します。プレゼンテーション資料に適しています。
Webページ	Webページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。

〔ICM調整（システム）〕
Windows 98/Me/2000のICM機能を使用して色変換を行います。〔ICM調整（システム）〕は、Windows 98/Me/2000の場合にだけ表示されます。〔ICM調整（システム）〕を選択した場合は、〔インテント〕リストボックスから色の変換方式を選択します。

ガイド　本プリンタ用のICCプロファイルを使用するには、ICCプロファイルを、Windows 95/98/Me/2000の場合は「x（ドライブ名）:\〔Windowsシステムディレクトリ〕\color\」に、Windows NT4.0の場合は「x（ドライブ名）:\〔Windowsインストールディレクトリ〕\にコピーします。

選択できる項目は次のとおりです。

選択肢	内　容
鮮やかさ（Saturation）	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト（Perceptual）	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック（Colorimetric）	プリンタで再現可能な色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

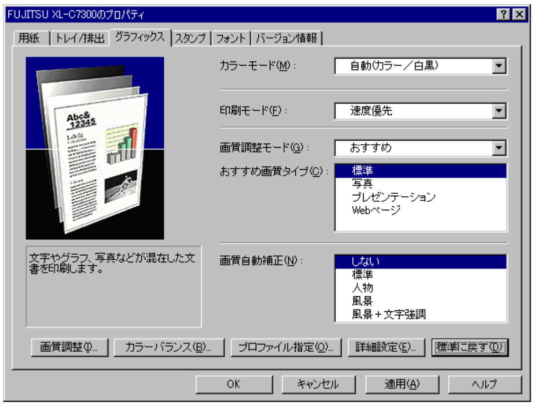
〔CMS調整（アプリケーション）〕
プリンタドライバは色変換しません。独自のCMS（カラーマネージメントシステム）を持つアプリケーションから印刷する場合は、プリンタの特性に合わせて色変換された色データをプリンタドライバに指示します。この場合、プリンタドライバで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

ガイド
印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、〔グラフィックス〕タブの〔詳細設定...〕をクリックし、〔詳細設定〕タブの〔解像度〕で、〔標準（600dpi)〕、〔レイアウト再現（300dpi)〕、〔細線再現(200dpi)〕から選択します。本プリンタの解像度は600dpiですが、〔レイアウト再現（300dpi)〕、または〔細線再現(200dpi)〕を選択すると、600dpiで正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または200dpiとして通知できます。〔レイアウト再現（300dpi)〕、または〔細線再現(200dpi)〕を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンタにダウンロードする場合にドットが粗くなることがあります。

1　*〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する*

2　*〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする*

3　*〔グラフィックス〕タブをクリックする*



4　*〔カラーモード〕から、〔自動（カラー／モノクロ)〕を選択する*

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

5　*〔印刷モード〕から、〔速度優先〕、〔標準〕、〔画質優先〕のどれかを選択する*

6　*〔画質調整モード〕から、モードを選択する*

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

7 〔画質調整モード〕で〔おすすめ〕を選択した場合は、〔おすすめ画質タイプ〕から、画質タイプを選択する。〔ICM調整（システム）〕を選択した場合は、〔インテント〕から、色の変換方式を選択する

〔おすすめ画質タイプ〕の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

ガイド 〔ICM 調整（システム）〕は、Windows 98/Me/2000 の場合にだけ表示されます。

8 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

画質を調整して印刷する

画質について詳細な設定をして印刷できます。
設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには4つのタブがあります。それぞれのタブで設定できる項目は次のとおりです。

タブ名	内　容
画質調整タブ	明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランスタブ	ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定タブ	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICC プロファイルの指定ができます。
詳細設定タブ	文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

明度 / コントラスト / 彩度を調整する

明度 / コントラスト / 彩度は、原稿全体、または〔文字〕、〔図 / 表 / グラフ〕、〔写真〕の原稿要素ごとに調整できます。
明度 / コントラスト / 彩度は、それぞれ－100～100の範囲で、1刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項目名	内　容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化が急です。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。

調整は、〔画質調整〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

ガイド

- 〔グラフィックス〕タブの「画質調整モード」が「ICM調整（システム）」、または「CMS調整（アプリケーション）」の場合は、明度 / コントラスト / 彩度は調整できません。「ICM調整（システム）」は、Windows 98/Me/2000の場合に表示されます。
- 〔グラフィックス〕タブの「カラーモード」が「モノクロ」の場合は、彩度は調整できません。
- プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1　*〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する*

2　*〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする*



3　*〔グラフィックス〕タブをクリックし、〔画質調整...〕をクリックする*

グラフィックスプロパティが開き、〔画質調整〕タブが表示されます。

4　*〔原稿全体を設定する〕、または〔原稿要素ごとに設定する〕をクリックする*

5　*〔原稿要素ごとに設定する〕を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択する*

6　*明度 / コントラスト / 彩度を調整する*

キー入力、またはスライドバーで、－100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

7　*〔OK〕をクリックする*

カラーバランスを調整する

CMYK（シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック）のトナー濃度を調整して印刷できます。
各色とも低濃度 / 中濃度 / 高濃度に対して、それぞれ－3～＋3の範囲で、7段階の調整ができます。

参照　階調補正については、「階調を補正する」（186ページ）を参照してください。

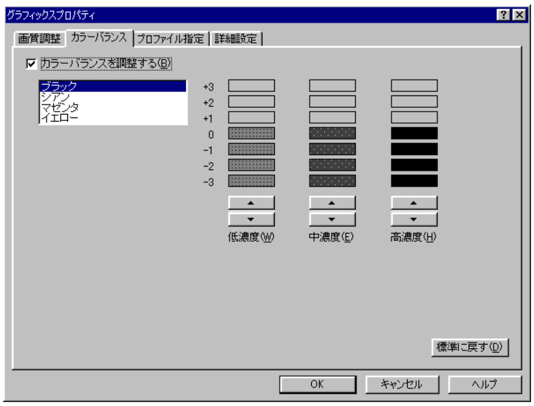
調整は、〔カラーバランス〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

ガイド

- プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 〔グラフィックス〕タブの〔カラーモード〕が〔モノクロ〕の場合は、ブラックだけ調整できます。

1　*〔ファイル〕メニューから、「印刷」を選択する*

2　*〔プリンタ名〕を確認し、「プロパティ」をクリックする*



3　*〔グラフィックス〕タブをクリックし、「カラーバランス . . .」をクリックする*

グラフィックスプロパティが開き、〔カラーバランス〕タブが表示されます。

4　*〔カラーバランスを調整する〕チェックボックスをオンにする*

5　右のリストボックスから、調整する色を選択する

6　濃度を調整する

低濃度 / 中濃度 / 高濃度のグラフの下の▲▼ボタンで、－3～＋3の範囲で、7段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。

7　〔OK〕をクリックする

デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性に合わせた補正を行って印刷できます。
補正方法には〔色温度 / ガンマ指定〕と、〔ICC プロファイル指定〕があります。
〔色温度 / ガンマ指定〕は、すべての原稿要素に適応する〔色温度〕と〔ガンマ補正〕が指定できます。

項目名	内　容
色温度	使用しているモニタの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニタの特性に最も近いものを選択してください。 〔5000K（D50）〕、〔6500K（D65）〕、〔9300K〕から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。 〔1.0〕、〔1.4〕、〔1.8〕、〔2.2〕、〔2.6〕から選択できます。

〔ICC プロファイル指定〕は、〔モニタ〕と〔入力画像〕に対して ICC プロファイルを指定できます。ICC プロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できる ICC プロファイルは、モニタと RGB スキャナのものに限ります。

項目名	内　容
モニタ	文字、図、表、グラフに適応する ICC プロファイルを指定します。〔しない〕、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニタの ICC プロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応する ICC プロファイルを指定します。〔しない〕、〔モニタと同じ〕、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力した RGB スキャナの ICC プロファイルを選択します。

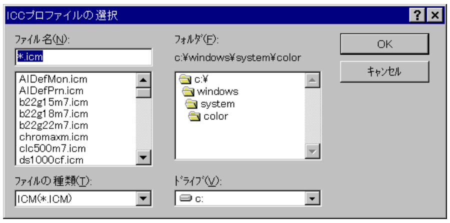
ガイド 「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前に ICC プロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、〔モニタ〕、〔入力画像〕ともに、ICCプロファイルを任意のフォルダから読み込むことができます。〔ICCプロファイルの選択〕ダイアログボックスでは、ICCプロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角128文字です。
〔ICCプロファイルの選択〕ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリは、次のとおりです。

Windows 95/98/Me/2000　:x:\〔Windowsシステムディレクトリ〕\color\
Windows NT4.0　:x:\〔Windowsインストールディレクトリ〕

ガイド　「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

Windows 95の例を示します。



調整は、〔プロファイル指定〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

ガイド

・〔グラフィックス〕タブの〔画質調整〕モードが〔ICM調整（システム)〕、または〔CMS調整（アプリケーション)〕の場合は、補正できません。〔ICM調整（システム)〕は、Windows 98/Me/2000の場合に表示されます。
・プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1　〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3　〔グラフィックス〕タブをクリックし、〔プロファイル指定〕をクリックする

グラフィックスプロパティが開き、〔プロファイル指定〕タブが表示されます。

4　〔色温度 / ガンマ指定〕、または〔ICC プロファイル指定〕をクリックして、補正方法を選択する

5　選択した補正方法の詳細を指定する

6　〔OK〕をクリックする

第14章

共通メニューの設定

この章では、すべてのプリントモードに共通の項目を設定ができる共通メニューの設定について説明します。

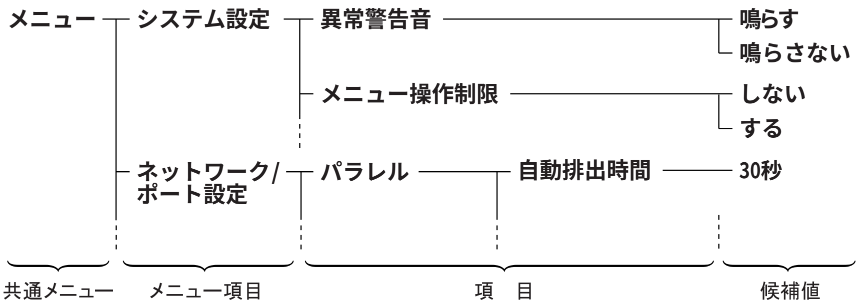
共通メニューについて

共通メニューは、レポート / リスト、システム設定、ネットワーク / ポート設定、初期化 / データ削除、プリント設定、階調補正から構成されています。すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

・共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。



レポート / リスト

レポート / リストメニューは、プリンタの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、出力の集計など本プリンタ内部の情報を印刷し、確認するためのメニューです。

参照　レポート / リストメニューについて詳しくは、「レポート / リストを印刷する」（172 ページ）を参照してください。

システム設定

システム設定メニューは、警告音、節電モード、システム時計など本プリンタの動作設定を行うためのメニューです。

参照　システム設定メニューで設定できる項目および操作は、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）を参照してください。

ネットワーク / ポート設定

ネットワーク / ポート設定メニューは、ホストに接続されている本プリンタのインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

ガイド　「停止」に設定されているポートの各種設定はできません。

参照　ネットワーク / ポート設定メニューで設定できる項目および操作は、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）を参照してください。

初期化

初期化メニューは、プリンタ設定値の初期化をするためのメニューです。

参照　初期化メニューで設定できる項目および操作は、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）を参照してください。

プリント設定

プリント設定メニューは、用紙や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

参照　プリント設定メニューで設定できる項目および操作は、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）を参照してください。

階調補正

印刷画質の色階調がずれた場合に、階調を補正するためのメニューです。

参照　階調補正については、「階調を補正する」（186 ページ）を参照してください。

共通メニューの設定を変更する

ここでは、共通メニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

共通メニューの項目一覧

共通メニューで設定できる項目について、システム設定、ネットワーク / ポート設定、初期化、プリント設定に分けて説明します。

参照　上記のメニューの設定方法については、「共通メニューの設定を変更する」（275 ページ）を参照してください。また、上記以外のメーター確認メニューについては「総印刷枚数を確認する」（182 ページ）、レポート / リストメニューについては「レポート / リストを印刷する」（172 ページ）、階調補正については、「階調を補正する」（186 ページ）を参照してください。

ガイド　Internet Services を使用すると、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、「ホストからプリンタを設定する（Internet Services)」（280 ページ）を参照してください。

システム設定一覧

システム設定メニューは、警告音、節電モード、システム時計など本プリンタの動作設定を行うためのメニューです。

異常警告音

本プリンタに異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は【ナラサナイ】です。

ガイド　音量の調整はできません。

メニュー操作制限　*1

メニュー操作にパスワードによる制限をかけるかどうかを設定します。【スル】に設定すると、メニュー操作時にパスワードの入力が必要になります。初期値は【シナイ】です。

ガイド　【スル】に設定したときにパスワードが設定されていないと、パスワード設定画面が表示されます。パスワードを 4 桁の数字で入力してください。

パスワードの変更　*1

メニュー操作制限を設定している場合のパスワードを変更できます。パスワードを 4 桁の数字で入力してください。

ガイド　メニュー操作制限を【スル】に設定しないと、パスワードを変更できません。

オフライン自動解除　*1

オフライン状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を 1 分後、2 分後、または 3 ～ 30 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は【シナイ】です。

ガイド　オフライン状態は、〔オンライン〕スイッチによるものと〔メニュー〕スイッチによるものです。

節電モード

節電モード（スリープモード）は、節電モード移行時間(P.267)にて設定した時間が経過すると、自動的に製品の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

節電モード移行後、節電モードの解除条件は以下のとおりです。

- パラレル／ IPP ／ lpr ポートからのデータを受信したとき
- 節電ボタンが緑色に点灯している状態で、節電ボタンを押したとき
- Internet Services を使用して、装置の状態表示や設定の変更を行ったとき

ガイド

・節電モードを「有効」に設定していても、オペレーションパネルから共通メニューに入って操作を行っている場合は、節電モードに移行しません。
・オペレーションパネルの消灯までの移行時間は、節電モードの設定状態に関わりなく15分固定です。
消灯時には節電ボタンも同時に消灯（緑色）します。
たとえば、節電モードを「無効」あるいは30分に設定した場合でも、オペレーションパネルは15分後に消灯します。
なお、オペレーションパネルの消灯解除の条件は、節電モードの解除条件と同じです。

節電モード移行時間　*1

節電モード（スリープモード）に移行するまでの時間を15〜240分の間で1分単位に設定します。節電モードになると、〔節電〕が点灯します。
初期値は【30 フンゴ】です。

システム時計　*1

本プリンタのシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦（4桁、2000〜2099年の範囲）・24時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻がリストやレポートに印刷されます。

日付：2001年01月01日のように、YYYY/MM/DDの形式で設定します。

時刻：12時02分のように、HH/MMの形式で設定します。

自動ジョブ履歴

処理を行ったプリントジョブに関する情報（ジョブ履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。

【シュツリョクスル】に設定すると、過去に自動で排出されていないジョブ履歴が、記憶領域いっぱいになった時点（50件）で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちのプリントジョブは記録されません。
初期値は【シュツリョクシナイ】です。

レポート両面プリント

オプション品の両面ユニットを装着している場合のみ使用できます。レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。初期値は【カタメン】です。

ネットワーク / ポート設定一覧

ネットワーク / ポート設定メニューは、ホストに接続されている本プリンタのインタフェースの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

パラレル

・自動排出時間

データが受信されない状態が継続したとき、本プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は5～1275秒の間で、5秒単位に設定します。初期値は【30ビョウ】です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

・インプットプライム

INPUT_PRIME制御（ハードウェアリセット）を有効にするか無効にするかを設定します。INPUT_PRIME信号を受信すると、リセット処理が行われます。初期値は【ユウコウ】です。

お願い

ホストによっては、印刷するたびにINPUT_PRIME信号が出力されてリセット処理が行われるので、オペレータパネルから指定したメニュー操作の内容が印刷結果に反映されないことがあります。このような場合は【ムコウ】を指定することによって、メニュー操作の内容を反映できます。

lpd

・コネクションタイムアウト

LANからのlpr印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2～3600秒の間で、1秒単位に設定します。初期値は【16ビョウ】です。

・受け付け IP の制限
LANからの印刷を受け付けるIPアドレスを制限するかしないかを設定します。【スル】に設定すると、登録されている IP アドレス以外からの印刷を受け付けません。初期値は【シナイ】です。

ガイド【スル】に設定しても、登録されている IP アドレスがすべて000.000.000.000 の場合は、無効となります。

・受け付け IP の登録　*1
受け付け IP の制限機能を使う場合に、印刷を受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、5 個まで登録できます。xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。最初の xxx は 0 〜 223 まで、残りの xxx は 0 〜 255 までの数値です。

IPP
IPP を使う場合に設定します。

・アクセス権制御
印刷ジョブの中止や削除、本プリンタをオフライン状態にするときやオフライン状態の解除をするときに、アクセス権制御をするかしないかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

・追加ポート番号　*1
追加ポート番号を 0、80、または 8000 〜 9999 の間で設定します。初期値は【80】です。

・タイムアウト
データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、1 〜 65535 秒の間で設定します。初期値は【60 ビョウ】です。

SNMP 設定
SNMP を使う場合に設定します。SNMP の設定は、複数台のプリンタをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンタの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンタの情報を収集します。

・コミュニティ登録(R)
プリンタの管理情報（MIB）を読み出すためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1〜12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

・コミュニティ登録(R/W)
プリンタの管理情報(MIB)を読み書きするためのコミュニティ名を、英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

・コミュニティ登録(Trap)
トラップで使用するコミュニティ名を、英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

ガイド　SNMPによるエージェントの管理は、以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ → エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント → マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント → マネージャ

TCP/IP設定

・IPアドレス取得方法
TCP/IPを使うために必要な情報（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）をDHCP（Dynamic Host Configuration Protcol）サーバから自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は【DHCP】です。

ガイド　【DHCP】から、【シュドウ】に変更した場合、IPアドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを手動で設定してください。

・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス　*1
これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。最初のxxxは0～223まで、残りのxxxは0～255までの数値です。

お願い

・誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響をおよぼすことがあります。
・サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを"0"に設定した場合など）、数値の設定後に〔メニュー〕スイッチを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
・ゲートウェイアドレスは、指定する必要があるときだけ設定してください。DHCPサーバより自動取得する場合は、設定する必要はありません。

Ethernet設定

Ethernetインタフェースの通信速度/コネクタの種類を設定します。候補値は、以下のとおりです。

【ジドウ】（初期値）
100BASE-TXと10BASE-Tを自動的に切り替えます。

【100BASE-TX】
100BASE-TXに固定して使う場合に選択します。

【10BASE-T】
10BASE-Tに固定して使う場合に選択します。

初期化一覧

NVメモリに記憶されているプリンタ設定値の初期化をします。

ガイド

初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。初期値については、「共通メニュー一覧」（276ページ）を参照してください。

NVメモリ初期化

NVメモリを初期化します。NVメモリとは、電源を切っても本プリンタの設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリのことです。

NVメモリを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

集計レポート初期化

出力集計レポートの初期化を行います。

プリント設定一覧

プリント設定メニューは、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

参照　自動トレイ選択について詳しくは、「用紙のセット」の「自動トレイ選択について」（138ページ）を参照してください。

用紙の置き換え

自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。候補値は、以下のとおりです。

【シナイ】（初期値）
置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。

【スル（オオキイサイズ）】
選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。

【スル（チカイサイズ）】
選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

ガイド　ホスト側から指定があった場合は、ホスト側の指定が優先されます。

トレイの用紙種類

用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべての用紙トレイで【フツウシ】です。ユーザ1～5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

・トレイ1～4
普通紙、再生紙、上質紙、ユーザ1～5から選択します。

用紙の優先順位

自動トレイ選択によって選択される用紙トレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。ユーザ1～5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

・普通紙、再生紙、上質紙、ユーザ1～5
それぞれの用紙種類について、優先順位を【シナイ】、【1】～【8】から選択します。異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、【トレイの優先順位】によって決定します。【シナイ】に設定すると、その用紙種類が設定されている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙【1】、再生紙【2】、上質紙【3】、ユーザ1～5【シナイ】です。

トレイの優先順位

用紙トレイ1～4について、自動トレイ選択によって選択される用紙トレイの優先順位を設定します。手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。

・1～3
優先順位1～3を、【トレイ1】～【トレイ4】から選択します。各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。優先順位2が設定できる用紙トレイは、優先順位1で設定した用紙トレイ以外で、優先順位3が設定できる用紙トレイは、優先順位1と2で設定した用紙トレイ以外になります。残りの用紙トレイが優先順位4になります。初期値の優先順位は【トレイ1】～【トレイ4】の順番です。

用紙の画質処理

上質紙、普通紙、再生紙、ユーザ1～5の各用紙に、画質の処理方法が設定できます。ユーザ1～5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

初期値は、再生紙が【C】で、それ以外は【B】です。

・普通紙、再生紙、上質紙、ユーザ1～5
それぞれの用紙種類について、画質の処理方法を設定します。

候補は、以下のとおりです。

【A】
カラー専用の上質紙に適した画質です。

【B】
一般的に使われているオフィス用紙に適した画質です。

【C】
再生紙に適した画質です。

【D】
地合の悪い用紙で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。

【E】
【D】の画質処理に加えて、低線数で処理します。【D】で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、〔印刷モード〕を〔速度優先〕にした場合と、〔印刷モード〕が〔標準〕、〔画質調整モード〕が〔おすすめ〕の場合で、〔おすすめ画質タイプ〕を〔写真〕、または〔プレゼンテーション〕を選択して印刷した場合にだけ有効です。

【F】
地合が悪く、重さが90g/㎡の用紙で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。

【G】
【F】の画質処理に加えて、低線数で処理します。【F】で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、〔印刷モード〕を〔速度優先〕にした場合と、〔印刷モード〕が〔標準〕、〔画質調整モード〕が〔おすすめ〕の場合で、〔おすすめ画質タイプ〕を〔写真〕、または〔プレゼンテーション〕を選択して印刷した場合にだけ有効です。

用紙名称設定

用紙の名称を5種類まで登録できます。登録できる用紙の種類は、普通紙、上質紙、再生紙です。

・ユーザ1～5
英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。

*1　〔▲〕スイッチまたは〔▼〕スイッチで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〔▲〕スイッチと〔▼〕スイッチを同時に押すと、初期値が表示されます。

運用編

14

共通メニューの設定を変更する

共通メニューの設定方法について、自動ジョブ履歴印刷を「出力する」に設定する場合を例に説明します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（プリンタ電源ONの状態）

① [ﾒﾆｭｰ] を押す

```
ﾒﾆｭｰ
    ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
```
（メニューの表示）

② [▲] または [▼] を押して、設定したい項目（例：【システムセッテイ】）を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
    ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
```

③ [▶] を押す

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
   ｲｼﾞｮｳ ｹｲｺｸｵﾝ
```
（システム設定の表示）

④ [▲] または [▼] を押して、設定したい項目（例：【ジドウジョブリレキ】）を選択する

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
   ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ
```

⑤ [▶] を押す

```
ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ
   ｼｭﾂﾘｮｸｼﾅｲ*
```
（自動ジョブ履歴の表示）

⑥ [▲] または [▼] を押して、設定したい項目（例：【シュツリョクスル】）を選択する

- システム時計、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する場合は、[◀] または [▶] を押して、設定したい値にカーソルを移動する
- 必要に応じて、[▶] を押してメニューを進み、[▲] または [▼] を押して、設定したい値または項目を選択する

```
ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ
   ｼｭﾂﾘｮｸｽﾙ
```

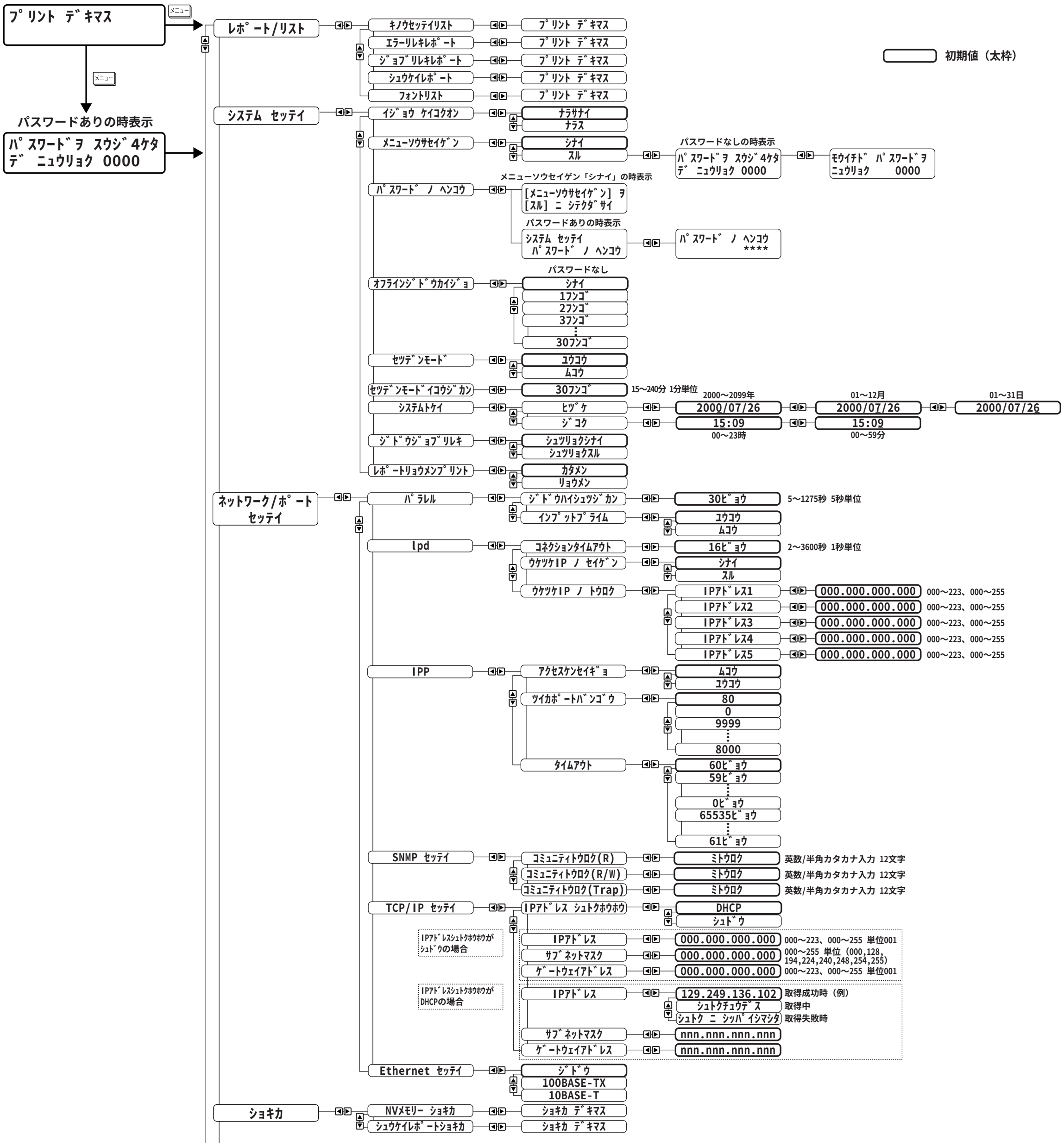
⑦ [排出/ｾｯﾄ] を押す

```
ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ
   ｼｭﾂﾘｮｸｽﾙ*
```
（自動ジョブ履歴印刷を自動的に印刷する状態に設定）

⑧ [ﾒﾆｭｰ] を押す

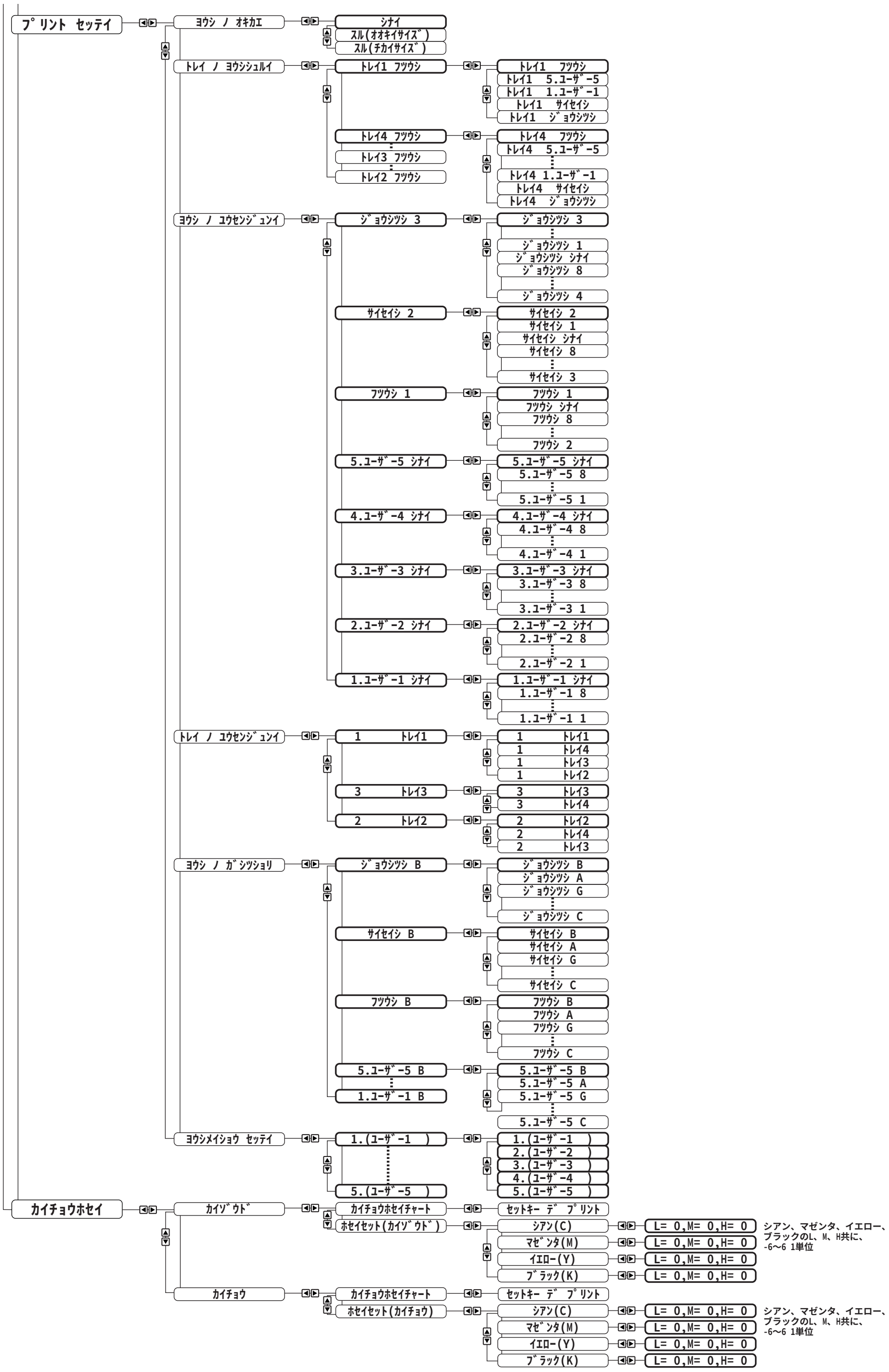
共通メニュー一覧

共通メニューの構成は、次のとおりです。



次ページへ

前ページより


プ リント セッテイ
ヨウシ ノ オキカエ
シナイ
スル(オオキイサイズ゛)
スル(チカイサイズ゛)
トレイ ノ ヨウシシュルイ
トレイ1 フツウシ
トレイ1 フツウシ
トレイ1 5.ユーザ゛-5
トレイ1 1.ユーザ゛-1
トレイ1 サイセイシ
トレイ1 ジ゛ョウシツシ
トレイ4 フツウシ
トレイ3 フツウシ
トレイ2 フツウシ
トレイ4 フツウシ
トレイ4 5.ユーザ゛-5
トレイ4 1.ユーザ゛-1
トレイ4 サイセイシ
トレイ4 ジ゛ョウシツシ
ヨウシ ノ ユウセンジ゛ュンイ
ジ゛ョウシツシ 3
ジ゛ョウシツシ 3
ジ゛ョウシツシ 1
ジ゛ョウシツシ シナイ
ジ゛ョウシツシ 8
ジ゛ョウシツシ 4
サイセイシ 2
サイセイシ 2
サイセイシ 1
サイセイシ シナイ
サイセイシ 8
サイセイシ 3
フツウシ 1
フツウシ 1
フツウシ シナイ
フツウシ 8
フツウシ 2
5.ユーザ゛-5 シナイ
5.ユーザ゛-5 シナイ
5.ユーザ゛-5 8
5.ユーザ゛-5 1
4.ユーザ゛-4 シナイ
4.ユーザ゛-4 シナイ
4.ユーザ゛-4 8
4.ユーザ゛-4 1
3.ユーザ゛-3 シナイ
3.ユーザ゛-3 シナイ
3.ユーザ゛-3 8
3.ユーザ゛-3 1
2.ユーザ゛-2 シナイ
2.ユーザ゛-2 シナイ
2.ユーザ゛-2 8
2.ユーザ゛-2 1
1.ユーザ゛-1 シナイ
1.ユーザ゛-1 シナイ
1.ユーザ゛-1 8
1.ユーザ゛-1 1
トレイ ノ ユウセンジ゛ュンイ
1 トレイ1
1 トレイ1
1 トレイ4
1 トレイ3
1 トレイ2
3 トレイ3
3 トレイ3
3 トレイ4
2 トレイ2
2 トレイ2
2 トレイ4
2 トレイ3
ヨウシ ノ カ゛シツショリ
ジ゛ョウシツシ B
ジ゛ョウシツシ B
ジ゛ョウシツシ A
ジ゛ョウシツシ G
ジ゛ョウシツシ C
サイセイシ B
サイセイシ B
サイセイシ A
サイセイシ G
サイセイシ C
フツウシ B
フツウシ B
フツウシ A
フツウシ G
フツウシ C
5.ユーザ゛-5 B
1.ユーザ゛-1 B
5.ユーザ゛-5 B
5.ユーザ゛-5 A
5.ユーザ゛-5 G
5.ユーザ゛-5 C
ヨウシメイショウ セッテイ
1.(ユーザ゛-1)
5.(ユーザ゛-5)
1.(ユーザ゛-1)
2.(ユーザ゛-2)
3.(ユーザ゛-3)
4.(ユーザ゛-4)
5.(ユーザ゛-5)
カイチョウホセイ
カイゾ゛ウト゛
カイチョウホセイチャート
セットキー デ゛ プ リント
ホセイセット(カイゾ゛ウト゛)
シアン(C)
マゼ゛ンタ(M)
イエロー(Y)
ブ゛ラック(K)
L= 0,M= 0,H= 0
シアン、マゼンタ、イエロー、
ブラックのL、M、H共に、
-6〜6 1単位
カイチョウ
カイチョウホセイチャート
セットキー デ゛ プ リント
ホセイセット(カイチョウ)
シアン(C)
マゼ゛ンタ(M)
イエロー(Y)
ブ゛ラック(K)
L= 0,M= 0,H= 0
シアン、マゼンタ、イエロー、
ブラックのL、M、H共に、
-6〜6 1単位

第15章

インターネットサービスの設定

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

ホストからプリンタを設定する(Internet Services)

Internet Servicesの概要

Internet Servicesは、TCP/IP環境が使用できる場合に、Webブラウザを介して、プリンタの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。
プリンタの設定では、オペレータパネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。
Internet Servicesを利用できる環境、ホスト装置、およびブラウザは、以下のとおりです。

使用できる環境

Internet Servicesを利用するには、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境が必要です。

ホスト装置

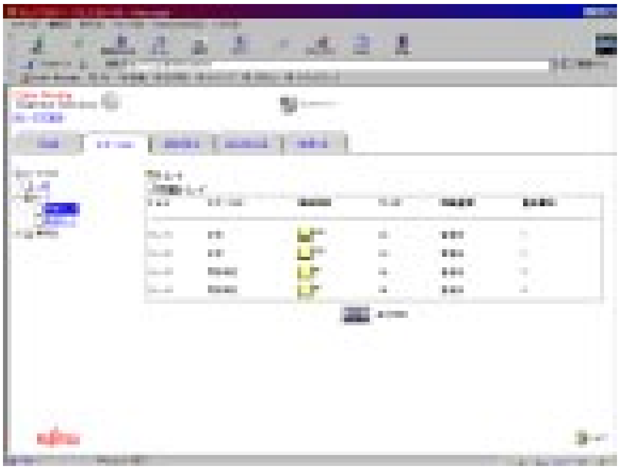
・Microsoft Windows 95 Operating System日本語版(ServicePack 1以上)
・Microsoft Windows 98 Operating System日本語版
・Microsoft Windows Me Operating System日本語版
・Microsoft Windows NT Workstation 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
・Microsoft Windows NT Server 4.0日本語版（ServicePack 4以上）
・Microsoft Windows 2000 Professional日本語版(ServicePack 1を含む)
・Microsoft Windows 2000 Server日本語版（ServicePack 1を含む）

ブラウザ

・Windows用 Netscape Communicator ver4.51以降の日本語版
・Windows用 Internet Explorer ver4.01SP2以降の日本語版

Internet Services の画面構成

Internet Services の画面構成について説明します。



上部エリア

ウィンドウの上部に表示されるエリアです。初期状態（トップページ表示）では、ロゴマーク、機種名が表示されています。各カテゴリのページでは、ロゴマークと機種名に加えて、トップページへのリンクと、各カテゴリーに移動するためのタブ（リンク）が表示されます。

下部エリア

常に弊社のホームページへのリンク、ヘルプへのリンクが表示されています。下部エリアは、どのページにも同じ内容が表示されます。

右側エリア、左側エリア

右側エリアと左側エリアの表示内容は、各カテゴリの機能を選択するたびに大きく変化します。

ブラウザの設定

本サービスを利用する前に、使用するWebブラウザで以下の設定を確認してください。

Netscape Communicatorでの確認

1. 〔編集〕メニューの〔設定...〕を選択する
2. 〔カテゴリ〕で〔詳細〕を選択する
3. 〔JavaScriptを有効にする〕がオンになっていることを確認する
4. 〔カテゴリ〕の〔詳細〕の左にある〔+〕を選択する
5. 〔詳細〕の下の〔キャッシュ〕を選択する
6. 〔キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較〕で、〔セッション毎〕または〔毎回〕を選択する
7. 〔OK〕をクリックし、ダイアログボックスを閉じる

Internet Explorerでの確認

1. バージョン4.xでは、〔表示〕メニューから〔インターネット オプション...〕を、5.xでは〔ツール〕メニューから〔インターネット オプション...〕を選択する
2. 〔全般〕タブにある、〔インターネット一時ファイル〕の〔設定...〕をクリックする
3. 〔設定〕ダイアログボックスの〔保存しているページの新しいバージョンの確認:〕で、〔ページを表示するごとに確認する〕または〔Internet Explorerを起動するごとに確認する〕を選択する
4. 〔OK〕をクリックし、ダイアログボックスを閉じる

プロキシサーバとポート番号について

本サービスを利用する場合の、プロキシサーバの設定とポート番号について説明します。

プロキシサーバの設定

本サービスを使用する場合には、プロキシサーバを経由しないで直接接続することをお勧めします。

ガイド プロキシサーバを経由する場合は、ブラウザで本プリンタのIPアドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その時は、ブラウザ側で本プリンタのIPアドレスを、プロキシサーバを使用しない経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザの説明書をごらんください。

ポート番号の設定

本サービスのポート番号は、工場出荷時は「80」に設定されています。ポート番号はプロパティ画面の〔プロトコル設定〕の〔HTTP〕で変更することもできます。設定できるポート番号は80、8000～9999です。
なお、ポート番号を変更した場合には、ブラウザから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。たとえば、ポート番号を8080にした場合には、以下のように指定します。

http://〔本プリンタのインターネットアドレス〕:8080

または

http://〔本プリンタのIPアドレス〕:8080

ガイド ポート番号は、機能設定リストで確認できます。機能設定リストについては、「レポート / リストの種類」(172ページ)を参照してください。

プリンタ側の設定

本サービスを使用する場合は、プリンタ本体にIPアドレスが設定されている必要があります。

お願い

IPアドレスの設定の方法は、「IPアドレスを設定する」(35ページ)を参照してください。

Internet Servicesについて設定できる項目

本体側でインターネットサービスを起動したあと、Internet Serviceに関する以下の項目を設定できます。

〔プロパティ〕画面の〔Internet Services設定〕で設定できる項目
- ・表示更新時間　（工場出荷時：【120秒】）
- ・管理者モード　（工場出荷時：【有効】）
- ・管理者名　（工場出荷時：【admin】）
- ・管理者パスワード　（工場出荷時：【admin】）
- ・管理者メールアドレス

〔プロパティ〕画面の〔プロトコル設定〕の〔HTTP〕で設定できる項目
- ・ポート番号　（工場出荷時：【80】）
- ・最大セッション数　（工場出荷時：【5】）
- ・タイムアウト　（工場出荷時：【30秒】）

Internet Services を使用する

Internet Services を使用する場合は、次の手順でブラウザを起動します。

1　*ホストを起動し、ブラウザを起動する*

2　*ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〔Enter〕キーを押す*

・プリンタの IP アドレスを指定した例



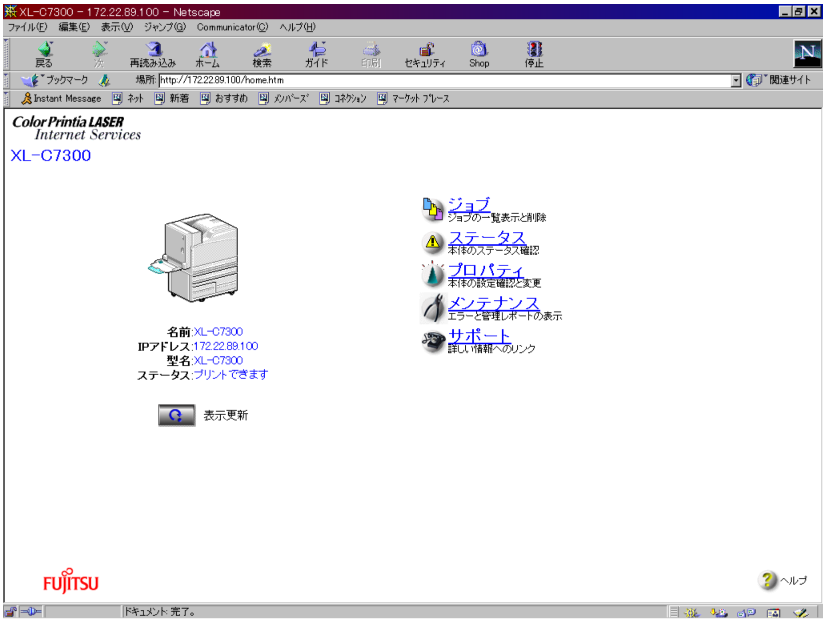
・インターネットアドレスを指定した例



ガイド　ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。

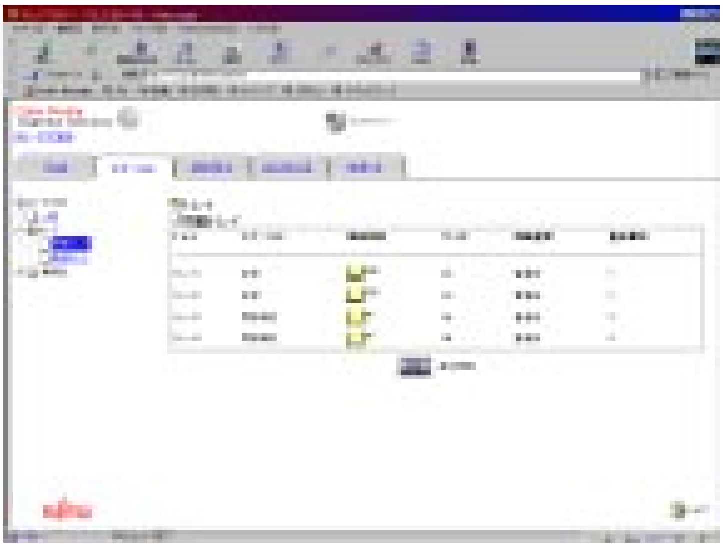


Internet Services の画面が表示されます。



オンラインヘルプの使いかた

各画面で設定できる項目の詳細については、ヘルプボタンを押して、オンラインヘルプをご覧ください。



Internet Services 使用時のトラブル

項目名	内　容
Internet Services に接続できない。	本プリンタは正常に作動していますか？ 本プリンタの電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ 機能設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IPアドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバを使用していますか？ プロキシサーバによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバを使わずに、ブラウザの設定を「プロキシサーバを使用しない」にするか、接続したいアドレスを「プロキシサーバを使用しない」に設定してください。
ブラウザで「しばらくお待ちください」等のメッセージが表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、ブラウザの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本プリンタが正常に作動しているかを確認してください。
〔表示更新〕が機能しない。	指定されている OS やブラウザを使用していますか？
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない。	「Internet Servises の概要」（280 ページ）を参照して、使用している OS やブラウザが使用できるかどうかを確認してください。
画面の表示が崩れる。	ブラウザのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	〔表示更新〕を押してください。

運用編

15

<table>
<tr><th>項目名</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>日本語が正しく設定できない。</td><td>シフト JIS コードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。</td></tr>
<tr><td>〔新しい設定を適用〕を押しても反映されない。</td><td>入力した値は正しいですか？
入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">〔新しい設定を適用〕を押すと、ブラウザに「無効なまたは認識されない応答をサーバが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。</td><td>ユーザ名とパスワードは正しいですか？
正しいユーザ名とパスワードを入力してください。</td></tr>
<tr><td>本プリンタを再起動してください。</td></tr>
</table>

第16章

こんなときには

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

よくある質問

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。
本プリンタをご使用される場合に、参考にしてください。

プリンタの設定状況を確認したい

メニュー→レポート / リスト→機能設定リストの順に見ると、現在のプリンタの設定状況が確認できます。

参照　機能設定リストについては、「レポート / リストを印刷する」（172 ページ）を参照してください。

どんな印刷機能があるか知りたい

本プリンタ専用のプリンタドライバでは、まとめて 1 枚、両面機能、拡大連写、小冊子作成など、様々な印刷機能が使用できます。

参照　各機能については、「主な印刷機能一覧」（218 ページ）を参照してください。

用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイを使用すると便利です。
また、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変えることもできます。

参照　手差しトレイへの用紙セット方法や、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズ変更については、「用紙のセット」（136 ページ）を参照してください。

はがきに印刷したい

本プリンタでは、手差しトレイを使用して、官製はがきに印刷できます。

参照　印刷方法については、「はがきに印刷する」（237 ページ）を参照してください。

モノクロ印刷したい

モノクロ原稿は、自動的に判断してモノクロ印刷されます。カラー原稿をモノクロ印刷したい場合は、プリンタドライバのプロパティでグラフィックスタブの〔カラーモード〕を〔白黒〕に設定します。

参照　カラーモードの設定については、「主な印刷機能一覧」（218 ページ）を参照してください。

特殊用紙に印刷したい

手差しトレイを使用して、はがき、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙などに印刷できます。特殊用紙は、用紙トレイ1〜4からは印刷できません。

参照　印刷方法については、「特殊用紙に印刷する」（236 ページ）を参照してください。

原稿に合わせた画質で印刷したい

原稿の種類（写真、文字、プレゼンテーション、Web など）に合わせて印刷したり、細かいカラーに関しての設定ができます。

参照　原稿の種類に合わせて印刷する場合は、「印刷モードを設定する」（249 ページ）を、細かいカラーの印刷設定については「画質を調整して印刷する」（253 ページ）を参照してください。

印刷指示したのに印刷されない

ジョブ履歴レポート、またはエラー履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。

参照　ジョブ履歴レポート、エラー履歴レポートについては、「レポート / リストを印刷する」（172ページ）を参照してください。

OS をバージョンアップして、本プリンタを使用したい

プリンタドライバは、各 OS 専用のものがあります。新しい OS に対応したプリンタドライバをインストールし直してください。

参照　プリンタドライバのインストール方法については、「第 5 章 プリンタドライバのインストール」（41 ページ）を参照してください。

印刷指示した印刷ジョブが出力されたか確認したい

Internet Services を使用すると、お使いのコンピュータから印刷ジョブの削除もできます。

参照　Internet Services については、「ホストからプリンタを設定する」（280 ページ）を、プリンタモニタについては、「ホスト側でプリンタの状態を確認する（プリンタモニタ）」（127 ページ）参照してください。

印刷枚数を確認したい

プリンタ出力集計レポートを印刷すると、ホスト別（ジョブオーナー別）の印刷枚数を確認できます。

参照　印刷枚数の確認にについては、「総印刷枚数を確認する」（182ページ）を参照してください。

トラブルの対処方法

トラブル対処のながれ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。
以下の流れに従って、対処してください。

トラブル発生

↓

「故障かなと思う前に」（294ページ）を確認してください

↓

印字品質が悪くありませんか?

悪い場合 → **「印字品質が悪いとき」（309ページ）**

↓

操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか

表示されている場合 → **「メッセージが表示される」（313ページ）**

↓

お使いのネットワーク環境に対し、プリンタ本体、お使いのコンピュータ、サーバなどは正しく設定されていますか?

確認する場合 → **各ネットワーク環境設定記載部分**

「TCP/IP環境使用時のトラブル」（329ページ）を参照し、システム管理者等の方が、処置を行ってください。

↓

本プリンタの注意制限の場合があります

「付録　注意/制限事項について」（342ページ）を参照し、確認してください。

ガイド 上記の流れに従って対処をしても、トラブルが処置できなかった場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(339 ページ)にご連絡ください。

故障かなと思う前に

故障かなと思う前に、もう一度、本プリンタの状態を確認してください。
それでも問題が解決しない場合は、「印字品質が悪いとき」（309 ページ）、および「メッセージが表示される」（313 ページ）へ進んで、適切な処置を行ってください。

⚠警告

感電	本プリンタは精密部品、および高圧電源を使用しています。 ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外は、絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。
火災	プリンタを改造したり、部品を変更して使用したりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。

ガイド　印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、「ジョブ履歴レポート」に保存されます。
印刷処理がされていない場合は、「ジョブ履歴レポート」を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照　「ジョブ履歴レポート」の印刷方法については、「レポート / リストを印刷する」（172 ページ）を参照してください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源スイッチが 切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。 参照「電源を入れる / 切る」（197 ページ）
	電源コードが 抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、電源スイッチを入れてください。 参照「電源を入れる / 切る」（197 ページ）
	電源の電圧が 適切ですか？	電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）であることと、本プリンタの最大消費電力（1050W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照「安全にご利用いただくために」（xii ページ）
印刷できない	「オンライン」ランプが 消灯していませんか？	本プリンタがオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっています。 下記の表示状態に応じて処置してください。 ・【オフライン】 〔オンライン〕スイッチを押して、オフライン状態を解除します。 ・その他 〔メニュー〕スイッチを押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照「各部の名称と機能」（6 ページ）
	オペレータパネルの ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照「メッセージが表示される」（313 ページ）
	メモリ容量が不足 していませんか？	〔印刷モード〕を〔速度優先〕にするか、〔印刷保証〕を利用して再印刷する、または 128MB 増設メモリを取り付けて、メモリを増設してください。 参照〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」（249 ページ）、印刷保証については「主な印刷機能一覧」（215 ページ）

症状	原因	処置
印刷を指示したのに「処理中」ランプが点滅、点灯しない	インタフェースケーブルが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、インタフェースケーブルの接続を確認してください。
	ホストの環境が正しく設定されていますか？	プリンタドライバなどホストの環境を確認してください。
手差しトレイに印刷を指示したのに印刷されない	印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか？	正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷を指示してください。 参照 「用紙について」（144 ページ）
印刷を指示してないのに、【プリントシテイマス】が表示される（パラレルインタフェース使用時）	本プリンタの電源を入れたあとに、ホストの電源を入れませんでしたか?	〔プリント中止〕スイッチを押して、印刷を中止します。 ガイド 本プリンタの電源を入れるときには、ホストの電源が入っていることを確認してください。
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	「印字品質が悪いとき」を参照して処置してください。 参照 「印字品質が悪いとき」（309 ページ）
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	本プリンタに標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。	アプリケーションまたはプリンタドライバの設定を確認してください。
「処理中ランプ」が点灯、点滅したまま排紙されない	データが本プリンタ内部に残っています。	印刷の中止をしてください。 参照 「印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」（234 ページ）
用紙トレイの出し入れができない	印刷中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れせずに、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本プリンタがデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れを行ってください。

紙づまりになったとき

用紙がつまると、プリンタが停止してアラームが鳴ります（異常警告音を「スル」にしている場合）。オペレータパネルのエラーランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置をオペレータパネルの左にある表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。
用紙は破れないように、静かに取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも、紙片を製品の中に残さないで、すべて取り除いてください。処置を終了しても、紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙がつまっています。メッセージに従って処置してください。
紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙がつまる前の状態から印刷が再開されます。

⚠注意

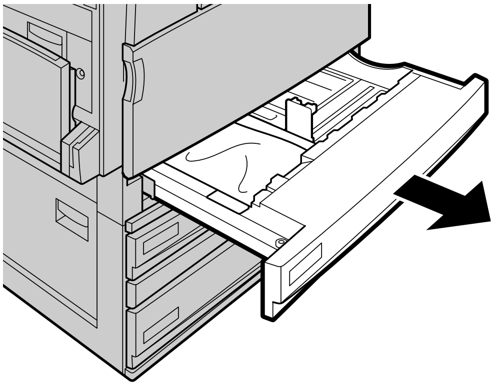
火災　つまった用紙を取り除くときは、製品内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災の原因となることがあります。なお、紙片が取り除けない場合および定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。けがややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。

お願い

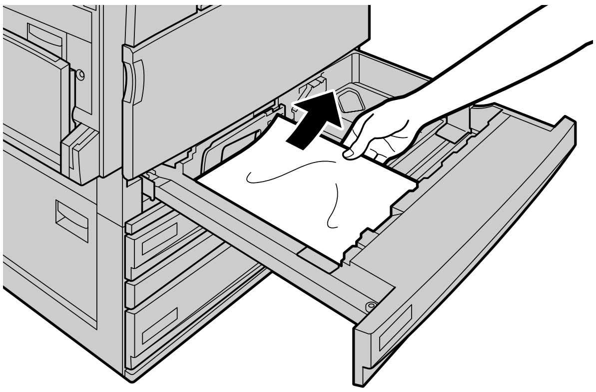
・紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認せずに用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて製品の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
・紙片が本プリンタ内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
・紙づまりの処置をするときは、本プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本プリンタ内に残っている印刷データや、本プリンタのメモリに蓄えられた情報が消去されます。
・本プリンタ内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

用紙トレイでつまった用紙を取り除く

用紙トレイ1～4での紙づまり処置方法を説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイをオペレータパネルの左にある表示部で確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。なお、トレイ3､4について、オプションの拡張給紙ユニット-B（3段）を使用している場合は、「用紙トレイ3(大容量トレイ)でつまっている用紙を取り除く」(299ページ）を参照してください。

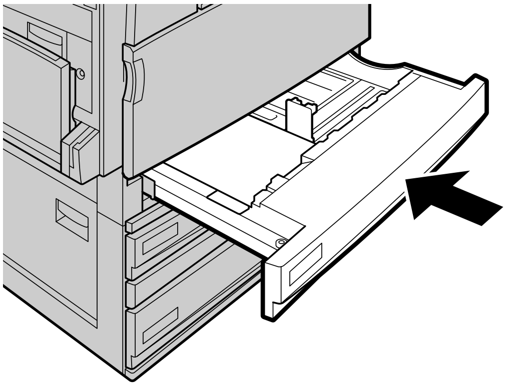


1 *ディスプレイに表示されている紙がつまっている用紙トレイを引き出す*



2 *つまっている用紙を取り除く*

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

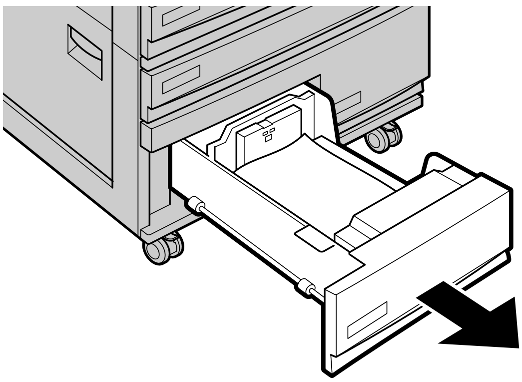


3 *奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む*

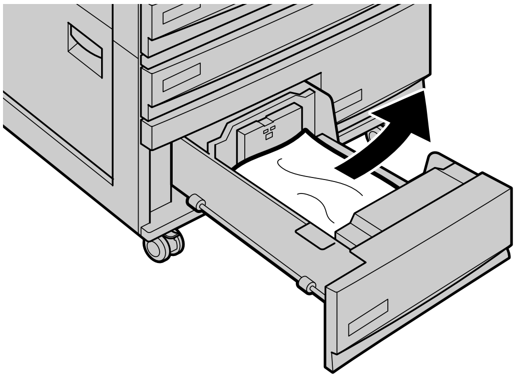
拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く

拡張給紙ユニット -B（3段）での紙づまりの処置方法について説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイを確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

用紙トレイ3（大容量）でつまっている用紙を取り除く

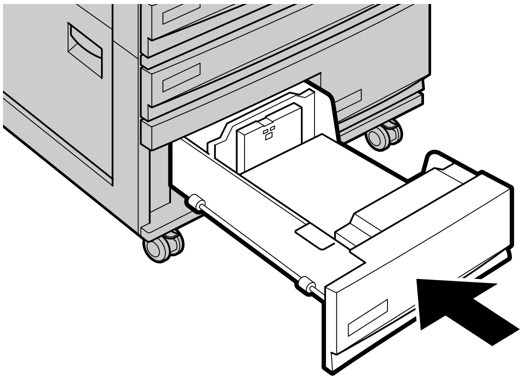


1 *用紙トレイ3（大容量）を引き出す*



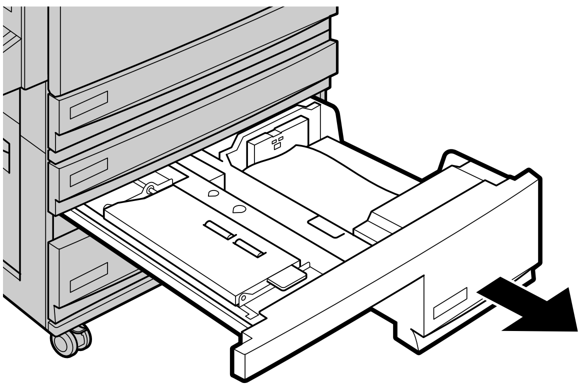
2 つまっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

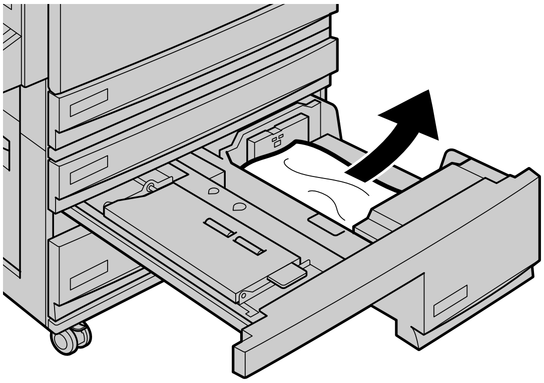


3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む

用紙トレイ4（大容量）でつまっている用紙を取り除く

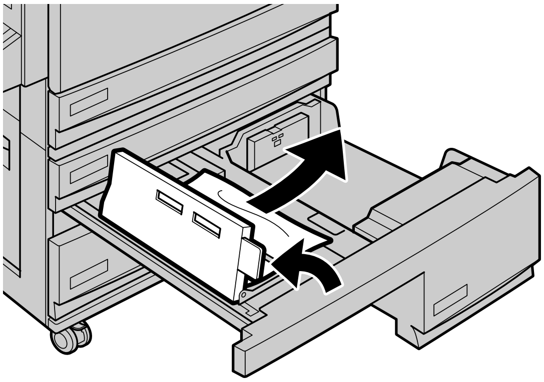


1 用紙トレイ4（大容量）を引き出す

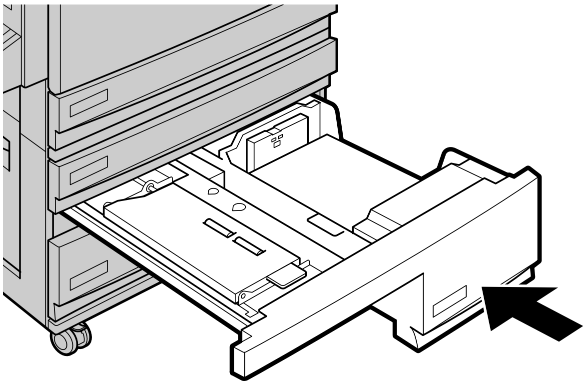


2 つまっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



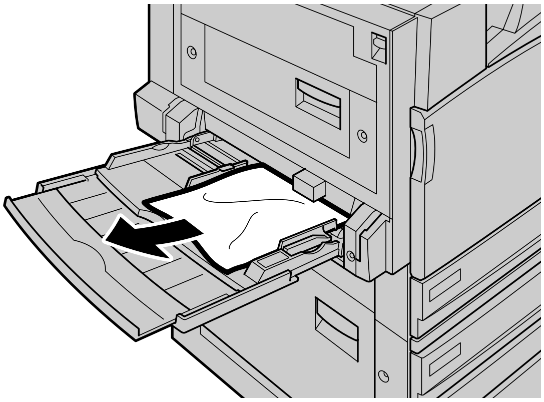
3 用紙搬送部に用紙がつまっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除く



4 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む

手差しトレイでつまった用紙を取り除く

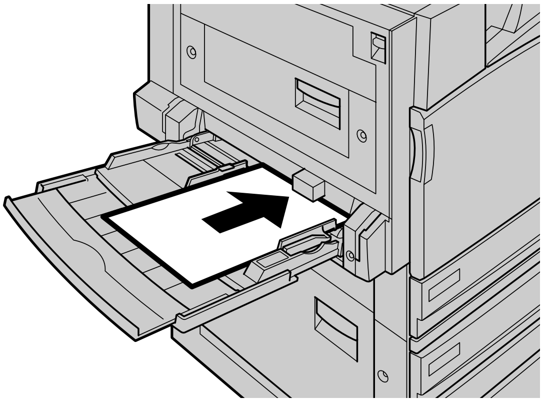
手差しトレイでの紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。



1　*手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、つまった用紙がある場合には取り除く*

お願い

用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

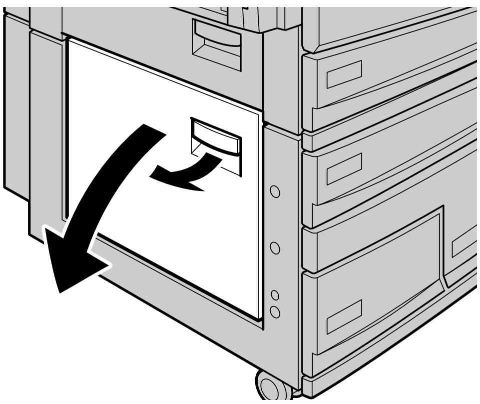


2　*取り出した用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる*

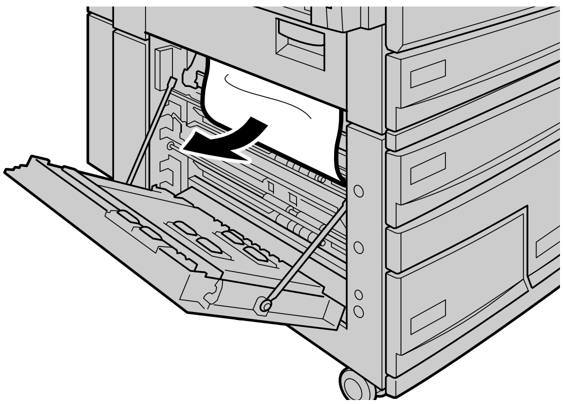
R1カバー内でつまった用紙を取り除く

トレイキャビネットの左側のR1カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

ガイド R1カバーでの紙づまりメッセージは、標準＋1トレイモデル、標準＋3トレイモデル、標準＋拡張給紙ユニット-B（3段）モデルの場合に、ディスプレイに表示されます。

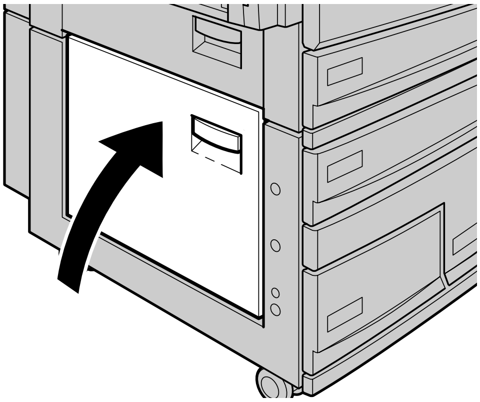


1 *リリースレバーを引きながら、R1カバーをゆっくりと開く*



2 *つまっている用紙を取り除く*

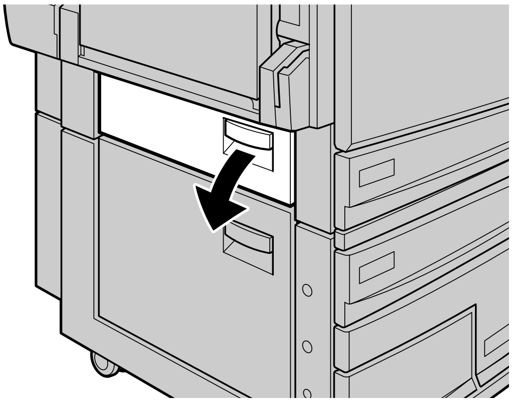
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



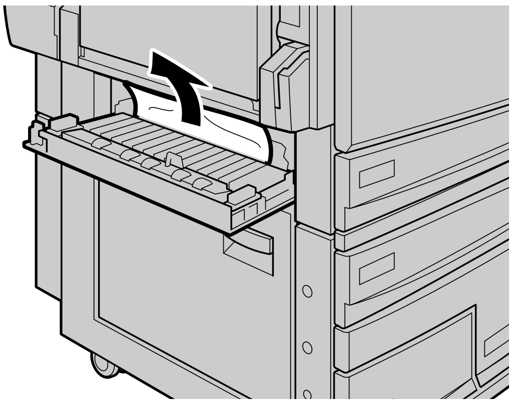
3 *R1カバーをゆっくりと閉じる*

R2 カバー内でつまった用紙を取り除く

用紙トレイ 1 の左側の R2 カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

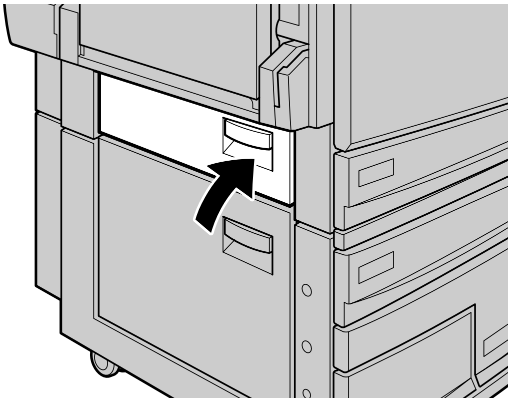


1 *リリースレバーを引きながら、R2カバーをゆっくりと開く*



2 *つまっている用紙を取り除く*

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



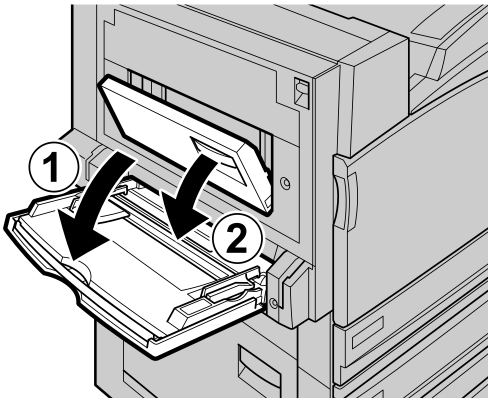
3　*R2カバーをゆっくりと閉じる*

R3カバー内でつまった用紙を取り除く

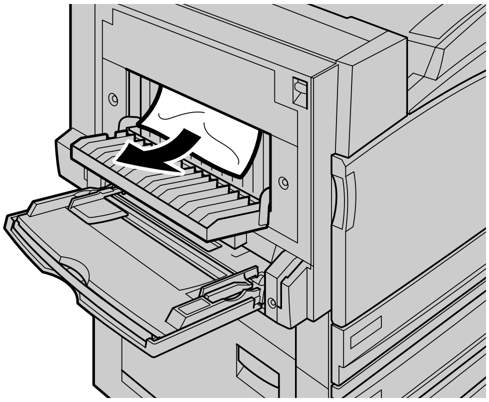
両面ユニットを装着の場合のR3カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。



R3カバーでの紙づまりメッセージは、お使いのプリンタが両面印刷機能付きの場合に、ディスプレイに表示されます。

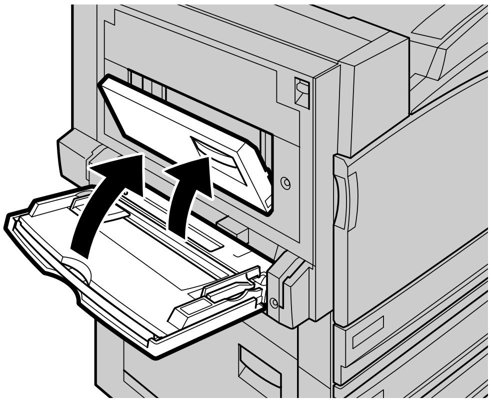


1　*手差しトレイを開き、R3カバーをゆっくりと開く*



2　つまった用紙を取り除く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



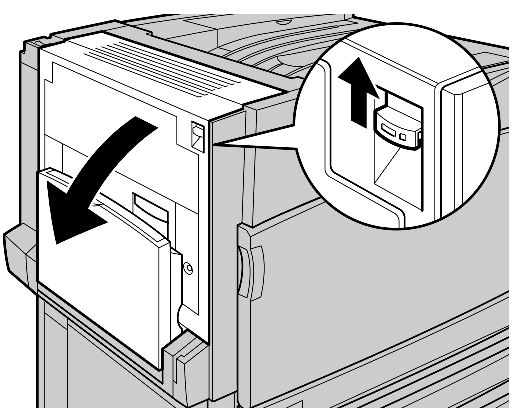
3　R3 カバーを閉じ、手差しトレイを上げる

R4 カバー内でつまった用紙を取り除く

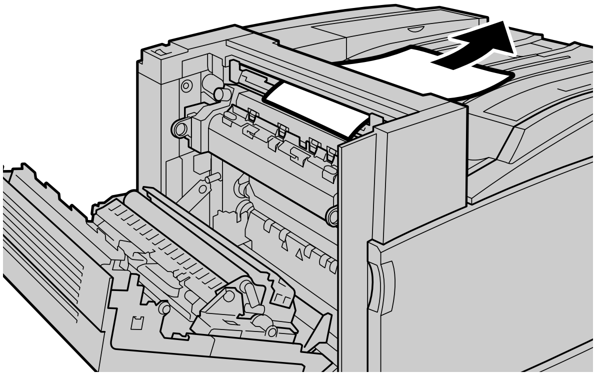
R4カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

お願い

用紙を取り除くとき、R4 カバーの内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に画像が付いていることがあります。この転写ベルトには触れないでください。画質に影響をおよぼしたり、転写ベルトの損傷による交換が必要になることがあります。

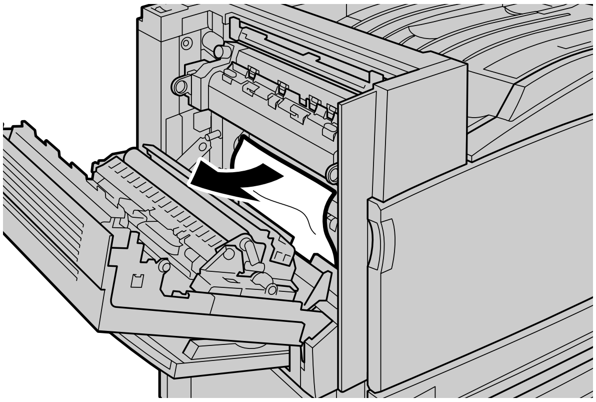


1　*リリースレバーを上げながら、R4カバーをゆっくりと開く*



2　*つまっている用紙の先端がセンタートレイの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除く*

⚠注意	やけど「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

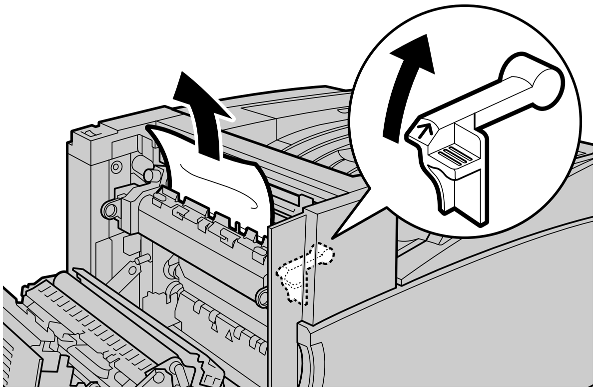


3　*つまっている用紙を取り除く*

⚠注意	やけど「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

運用編

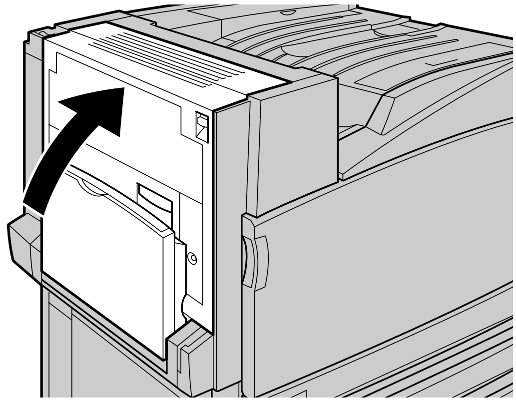
16



4 *定着部（ヒューザ）に用紙がつまって引き抜けない場合は、レバーを上げて、用紙を取り除く*

用紙を取り除いたらレバーを戻してください。

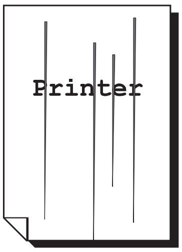
⚠注意	やけど「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

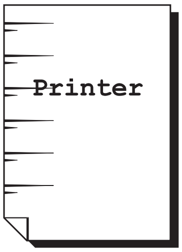
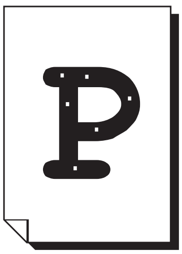
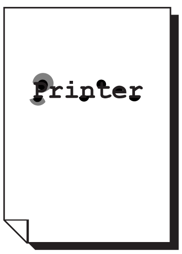


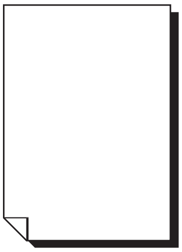
5 *R4カバーの中央部を押してR4 カバーをゆっくりと閉じ、手差しトレイを上げる*

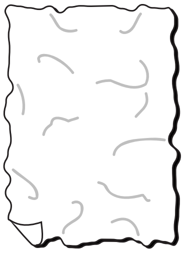
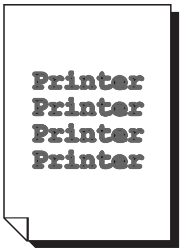
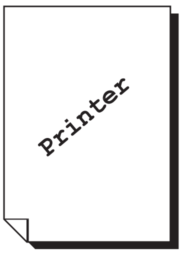
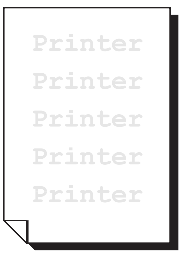
印字品質が悪いとき

印字品質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。
該当する処置をしても印字品質が改善されない場合は、弊社にご連絡ください。

症状	原因	処置
印刷がうすい（かすれる、不鮮明） 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照「用紙のセット」（136 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照「トナーカートリッジを交換する」（156 ページ）
黒点が印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
黒線が印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）

症状	原因	処置
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚印刷してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（127 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
指でこするとかすれる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（127 ページ）
用紙全体が黒く印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
	高圧電源の故障が考えられます。	ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。

症状	原因	処置
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています(重送)。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照　「用紙のセット」(136 ページ)
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」(156 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してしください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」(160 ページ)
白抜けや白筋が出る  	レーザスキャナ部が汚れている可能性があります。	レーザスキャナ部を清掃してください。 参照　「プリンタを清掃する」(199 ページ)
	高圧電源の故障が考えられます。	ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照　「用紙のセット」(136 ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」(127 ページ)

症状	原因	処置
用紙にシワが付く 文字がにじむ  	使用している用紙が適切ではありません。	新しい用紙と交換してください。 参照　「用紙のセット」（136ページ）
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	
縦長に白抜けする 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（160ページ）
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ）
斜めに印刷される 	用紙カセットのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照　「用紙のセット」（136ページ）
全体がうっすらと印刷される 	手差しトレイを使用して印刷した場合で、プリンタドライバで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なります。一度に複数枚の用紙が搬送されています。	手差しトレイに、正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。 参照　「用紙のセット」（136ページ）

メッセージが表示される

ここでは、プリンタのディスプレイに表示されるメッセージとエラーコードについて説明します。

メッセージ一覧

メッセージには、プリンタの状態を表すものとエラーを表すものがあります。エラーメッセージについては、「原因」と「処置」を記載しています。

ガイド　エラーメッセージが表示されたときは、本プリンタ内に残っている印刷データや、本プリンタのメモリ上に蓄えられた情報は保証されません。

メッセージ	原因／処置
IPｱﾄﾞﾚｽ ｶﾞ ﾁｮｳﾌｸ ｼﾃ ｲﾏｽ	【原因】　IP アドレスが重複しています。 【処置】　IP アドレスを変更してください。 参照　「IP アドレスを設定する」（35 ページ）
R* ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】　R＊カバーが開いています。 【処置】　R＊カバーを閉じてください。 参照　「各部の名称と機能」（6 ページ）
xxxx ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ*	【状態】　レポート / リストを印刷しています。 ホストからの印刷データを受信できません。
ｴﾗｰ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ (***-***)	【原因】　エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。 【処置】　ディスプレイに表示されているエラーコード「(＊＊＊ - ＊＊＊)」を確認して処置してください。 参照　「エラーコード一覧（50 音順）」（317 ページ）

ガイド　「＊」は数字を表します。「xxxx」は印刷しているレポート / リストの文書番号と文書名を表します。

運用編

16

メッセージ	原因／処置
ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	【状態】・本プリンタのシステム状態を診断/初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、【プリントデキマス】のメッセージに変わります。 ・本プリンタ内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウオームアップ中です。 ホストからの印刷データは受信できません。
ｶﾊﾞｰR* ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 R＊カバーが開いています。 【処置】 R＊カバーを閉じてください。 参照 「各部の名称と機能」(6ページ)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ R*ｦｱｹﾃ ﾐﾄﾞﾘﾉﾚﾊﾞｰｦ ｱｹﾞﾙ	【原因】 R＊カバー部で紙づまりが発生しています。 【処置】 ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照 「紙づまりになったとき」(297ページ)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ R*ｦｱｹﾃ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 R＊カバー部で紙づまりが発生しています。 【処置】 ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照 「紙づまりになったとき」(297ページ)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾄﾚｲ* ﾆ ﾂﾏｯﾃｲﾙﾖｳｼｦｼﾞｮｷｮ	【原因】 用紙トレイ＊で紙づまりが発生しています。 【処置】 用紙トレイ＊につまっている用紙を取り除いてください。 参照 「紙づまりになったとき」(297ページ)
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ xxxx	【状態】 本プリンタ内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。 ホストからの印刷データを受信できます。

ガイド 「＊」は数字を表します。

メッセージ	原因／処置
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾃﾞｰﾀ ｦ ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ	【状態】 本プリンタ内部に残っている印刷データを破棄中です。 ホストからの印刷データは受信できません。
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾃﾞｰﾀ ｦ ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ	【状態】 本プリンタ内部に残っている印刷データを強制排出中です。 ホストからの印刷データは受信できません。
ｾﾝﾀｰﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾀﾞｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】 センタートレイの用紙がいっぱいになりました。 【処置】 センタートレイから用紙を取り除いてください。 参照 「各部の名称と働き」(46 ページ)
ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ xxxx　　　　ﾄﾚｲ*	【状態】 印刷中のデータを破棄しています。 ホストからの印刷データを受信できます。
ﾃﾞｰﾀ ﾏﾁﾃﾞｽ xxxx	【状態】 印刷データを待っている状態です。 ホストからの印刷データを受信できます。

ガイド 「*」は数字を表します。「xxxx」は入力ポートを表します。

運用編

16

メッセージ	原因／処置
デ゛ンケ゛ン ヲ オフ−オン シテクダ゛サイ（***−***）	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 ＊＊＊ - ＊＊＊の表示が、 103-336 のとき 電源スイッチを切り、オペレータパネルのディスプレイが消灯してから、プリンタ RAM モジュールが確実に取り付けられていることを確認してください。 参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付け方」（150 ページ） 確認後、再度電源を入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「（103-336）」の表示を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、オペレータパネルのディスプレイが消灯されてから、電源プラグをコンセントから抜き、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。 116-340 のとき 次のどれかの方法で処置してください。 ・〔印刷モード〕を速度優先にする。 ・印刷保証を利用する。 ・メモリを増設する。 参照 〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」（249 ページ）、印刷保証については「主な印刷機能一覧」（215 ページ） 上記以外の表示のとき 電源スイッチを切り、オペレータパネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「（＊＊＊ - ＊＊＊）」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、オペレータパネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

ガイド 「＊」は数字を表します。

メッセージ	原因／処置
ﾄﾅｰ　C ｺｳｶﾝ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】　シアントナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいシアントナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ）
ﾄﾅｰ　K ｺｳｶﾝ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】　ブラックトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいブラックトナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ）
ﾄﾅｰ　M ｺｳｶﾝ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】　マゼンタトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ）
ﾄﾅｰ　Y ｺｳｶﾝ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】　イエロートナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ）
ﾄﾅｰ　C ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	【状態】　シアントナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいシアントナーカートリッジを準備してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ﾄﾅｰ　K ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	【状態】　ブラックトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいブラックトナーカートリッジを準備してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因／処置
トナー　M コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】　マゼンタトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいマゼンタトナーカートリッジを準備してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156 ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
トナー　Y コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】　イエロートナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいイエロートナーカートリッジを準備してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（156 ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ハイトナーホ゛ックス　　B ヲ　コウカン　シテクタ゛サイ	【原因】　廃トナーボックスがいっぱいになりました。 【処置】　新しい廃トナーボックスに交換してください。 参照　「廃トナーボックスを交換する」（165 ページ）
ハイトナーホ゛ックス　　B コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】　廃トナーボックスルの交換時期です。新しい廃トナーボックスを準備してください。 参照　「廃トナーボックスを交換する」（165 ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ト゛ラム　A1 コウカン　シテクタ゛サイ	【原因】　ドラムカートリッジ A1 の交換時期です。 【処置】　新しいドラムカートリッジ A1 に交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）
ト゛ラム　A2 コウカン　シテクタ゛サイ	【原因】　ドラムカートリッジ A2 の交換時期です。 【処置】　新しいドラムカートリッジ A2 に交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（160 ページ）

メッセージ	原因／処置
ﾄﾞﾗﾑ A3 ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 ドラムカートリッジ A3 の交換時期です。 【処置】 新しいドラムカートリッジ A3 に交換してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」(160 ページ)
ﾄﾞﾗﾑ A4 ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 ドラムカートリッジ A4 の交換時期です。 【処置】 新しいドラムカートリッジ A4 に交換してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」(160 ページ)
ﾄﾞﾗﾑ A1 ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	【状態】 ドラムカートリッジ A1 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A1 を準備してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」(160ページ) 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ﾄﾞﾗﾑ A2 ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	【状態】 ドラムカートリッジ A2 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A2 を準備してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」(160 ページ) 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ﾄﾞﾗﾑ A3 ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【状態】 ドラムカートリッジ A3 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A3 を準備してください。 参照 「ドラムカートリッジを交換する」(160 ページ) 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因／処置
ﾄﾞﾗﾑ A4 ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	【状態】ドラムカートリッジA4の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジA4を準備してください。 参照「ドラムカートリッジを交換する」（160ページ） 印刷処理、およびホストからの印刷データを受信できます。
ﾄﾞﾗﾑ A1 ﾂｶｴﾏｾﾝ	【原因】A1のドラムカートリッジが不良です。 【処置】A1のドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑ A2 ﾂｶｴﾏｾﾝ	【原因】A2のドラムカートリッジが不良です。 【処置】A2のドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑ A3 ﾂｶｴﾏｾﾝ	【原因】A3のドラムカートリッジが不良です。 【処置】A3のドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑ A4 ﾂｶｴﾏｾﾝ	【原因】A4のドラムカートリッジが不良です。 【処置】A4のドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑ/ﾊｲﾄﾅｰ ﾎﾞｯｸｽｦｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】ドラムカートリッジ、または廃トナーボックスがセットされていない、または正しくセットされていません。 【処置】ドラムカートリッジ、または廃トナーボックスを正しくセットしてください。 参照「ドラムカートリッジを交換する」（160ページ）、「廃トナーボックスを交換する」（165ページ）
ﾃｻﾞｼ ﾉ ｦｳｼｦ ｶｸﾆﾝ xxxx　　　　XXXX	【原因】テザシトレイのサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙は、用紙切れです。 【処置】テザシトレイにサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙を補給してください。 参照「用紙のセット」（136ページ）

ガイド　「＊」は数字、「xxxx」は用紙サイズまたは用紙サイズと方向、「XXXX」は用紙種類を表します。

メッセージ	原因／処置
ﾄﾚｲ＊ ﾆ ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳ xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ＊のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。 【処置】 用紙トレイ＊にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
ﾃｻﾞｼ ﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝ xxxx XXXX	【原因】 テザシトレイに正しい用紙がセットされていません。 【処置】 テザシトレイにサイズと方向が xxxx で、用紙種類がXXXXの用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
ﾄﾚｲ＊ ﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝ xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ＊に正しい用紙がセットされていません。 【処置】 用紙トレイ＊にサイズと方向が xxxx で、用紙種類がXXXXの用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
ﾄﾚｲ＊ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 用紙トレイ＊が引き出されています。 【処置】 用紙トレイ＊を正しくセットしてください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
ﾄﾚｲ＊ ﾉ ﾖｳｼ ｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 用紙トレイ＊にセットされているサイズの用紙には印刷できません。 【処置】 印刷できる用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（136 ページ）
ﾄﾚｲ＊ｦ ｱｹﾃ ｵｸﾘｶｹﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 用紙トレイ＊で紙づまりが発生しています。 【処置】 用紙トレイ＊につまっている用紙を取り除いてください。 参照 「紙づまりになったとき」（297 ページ）
ﾄﾚｲ＊（ﾕｳｾﾝ）ﾆ ｾｯﾄ xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ＊のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。 【処置】 用紙トレイ＊にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 「用紙をセットする」（136 ページ）

ガイド　「＊」は数字、「xxxx」は用紙サイズまたは用紙サイズと方向、「XXXX」は用紙種類を表します。

メッセージ	原因／処置
ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ xxxx ﾃｻﾞｼ	【状態】　印刷データを排出しています。 ホストからの印刷データを受信できます。
ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ xxxx ﾄﾚｲ*	【状態】　印刷データを排出しています。 ホストからの印刷データを受信できます。
ﾋｮｳｼﾞｭﾝROMﾌｾｲｺﾞｳ ｾｯﾄｷｰﾃﾞ NVMｼｮｷｶ	【原因】　装着されているROMのバージョンが合っていません。または、使用できない組み合わせのROMが装着されています。 【処置】　〔排出／セット〕を押して、メモリを初期化するか、装着されているROMを確認してください。
ﾌﾞﾋﾝ ｺｳｶﾝ ﾉ ｲﾗｲ ｼﾞｷﾃﾞｽ(***-***)	【原因】　部品の交換の時期が近づいています。 【処置】　「(＊＊＊ - ＊＊＊)」の表示内容を、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。
ﾌﾞﾋﾝ ｺｳｶﾝ ｦ ｲﾗｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ(***-***)	【原因】　部品の交換の時期です。 【処置】　「(＊＊＊ - ＊＊＊)」の表示内容を、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

ガイド　「＊」は数字を表します。「xxxx」は用紙サイズと方向、または入力ポートを表します。「XXXX」は用紙種類です。

メッセージ	原因／処置
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ xxxx	【状態】 印刷データ処理中です。 ホストからの印刷データを受信できます。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ xxxx ﾃｻﾞｼ	【状態】 テザシを使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください ホストからの印刷データを受信できます。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ xxxx ﾄﾚｲ*	【状態】 トレイ＊を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください ホストからの印刷データを受信できます。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ	【状態】 ホストからの印刷データを受信できる状態です。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ (***-***)	【原因】 本プリンタに故障が発生しています。 【処置】 電源スイッチを切り、オペレータパネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「(＊＊＊ - ＊＊＊)」を確認して処置してください。 参照 「エラーコード一覧（50 音順）」（323 ページ）
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	【原因】 フロントカバーが開いています。 【処置】 フロントカバーを閉じてください。 参照 「エラーコード一覧（50 音順）」（323 ページ）
ｵﾌﾗｲﾝ	【状態】 待機中に、〔オンライン〕を押したオフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〔オンライン〕を押してください。 ホストからの印刷データは受信できません。
ｵﾌﾗｲﾝ ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ	【状態】 印刷中に、〔オンライン〕を押したオフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〔オンライン〕を押してください。 ホストからの印刷データは受信できません。

ガイド 「＊」は数字を表します。「xxxx」は入力ポートを表します。

メッセージ	原因／処置
ﾓｳｲﾁﾄﾞﾃｻﾞｼ ﾉ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	【原因】 手差しトレイに、正しく用紙がセットされていないか、本プリンタ用以外のOHPフィルムがセットされています。 【処置】 手差しトレイに、正しく用紙をセットするか、OHPフィルムは、本プリンタ用のOHPフィルムを使用してください。 参照 「用紙のセット」（136ページ）
ﾖｳｼ/ｾｯﾃｲｦ ｶｸﾆﾝ (ﾜｸﾂｷOHPﾊﾂｶｴﾏｾﾝ)	【原因】 本プリンタ用以外のOHPフィルムがセットされているか、OHP以外の印刷において、プリンタドライバの設定で用紙の種類をOHPにしていませんか。 【処置】 OHPフィルムは、本プリンタ用OHPを使用してください。プリンタドライバの設定を、OHP以外の目的とする用紙種類に設定してください。 参照 「用紙のセット」（136ページ）

エラーコード一覧

エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や本プリンタに故障が発生した場合は、次のようなメッセージとエラーコード（＊＊＊−＊＊＊）が表示されます。

エラー　シュウリョウ　シマシタ (***−***)	プ゜リント　デ゛キマス (***−***)

下表でエラーコードを参照して、処置してください。

お願い

エラーコードが表示されたときは、本プリンタ内に残っている印刷データや、本プリンタのメモリ上に蓄えられた情報は保証されません。

エラーコード	原因／処置
003-747	【原因】不定形サイズを指定して、〔用紙トレイ選択〕を〔自動〕に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 【処置】印刷データを確認してください。上記の場合は、手差しトレイを選択してください。
007-250	【原因】本体と拡張給紙ユニットとの間で、通信エラーが発生しました。 【処置】「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、拡張給紙ユニット以外の用紙トレイは使用できます。
007-270	【原因】用紙トレイ 1 が故障しました。 【処置】「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1以外の用紙トレイは使用できます。
007-271	【原因】用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2以外の用紙トレイは使用できます。
007-274	【原因】手差しトレイが故障しました。 【処置】「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、手差しトレイ以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因／処置
007-276	【原因】　用紙トレイ3（大容量）が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ3（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-277	【原因】　用紙トレイ4（大容量）が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ4（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-281	【原因】　用紙トレイ1が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ1以外の用紙トレイは使用できます。
007-282	【原因】　用紙トレイ2が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ2以外の用紙トレイは使用できます。
007-291	【原因】　用紙トレイ3（大容量）が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ3（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-293	【原因】　用紙トレイ4（大容量）が故障しました。 【処置】　「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。なお、用紙トレイ4（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
016-701	【原因】　メモリが不足したため、印刷データを処理できませんでした。 【処置】　〔印刷モード〕を〔速度優先〕にして、もう一度印刷を指示してください。 参照　「印刷モードを設定する」（249ページ）

エラーコード	原因／処置
016-702	【原因】 プリントページバッファが不足したため、印刷データを処理できませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 ・〔印刷モード〕を〔速度優先〕にする ・印刷保証を利用する ・メモリを増設する 参照 〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」（249 ページ）、印刷保証については「主な印刷機能一覧」（215 ページ）、プリントページバッファについては「メモリの割り当てについて」（17 ページ）
016-721	【原因】 印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 共通メニューの〔プリント設定〕の〔用紙の優先順位〕がすべての用紙で【シナイ】に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している 【処置】 自動トレイ選択で印刷をする場合は、〔用紙の優先順位〕で、用紙のどれかを【シナイ】以外に設定してください。 参照 〔用紙の優先順位〕については、「共通メニューの設定を変更する」（265 ページ）
016-730	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-709	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。 【原因】 プリンタケーブルが確実に接続されていない。 【処置】 プリンタケーブルを確実に接続してください。 【原因】 プリンタケーブルが長すぎる。 【処置】 1.5m以下のプリンタケーブルを使用してください。
016-726	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。または、データ転送中に電源が切断されました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除するか、プリンタ本体の電源を再投入して、もう一度印刷を指示してください。

エラーコード	原因／処置
016-749	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-761	【原因】 イメージ処理中エラーが発生しました。 【処置】 〔印刷モード〕を〔速度優先〕にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、印刷保証モードで印刷してください。 参照 〔印刷モード〕については「印刷モードを設定する」（249ページ）、印刷保証については「主な印刷機能一覧」（215 ページ）
161-762	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。

TPC/IP環境使用時のトラブル

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合

印刷されないとき

お使いのコンピュータの〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、表示されたウインドウで、本プリンタのアイコンをダブルクリックし、状態が「印刷不可状態（NetworkError）」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
本プリンタが、ホストと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、ホストが接続されているネットワークと、本プリンタが接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているか確認する。	本プリンタを、ホストが接続されているネットワークに直接接続する。
ホストから本プリンタまでのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
本プリンタの IP アドレスを誤って入力している。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。プリンタアイコンの〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕を選択し、〔詳細〕タブの〔ポートの設定〕を選択する。表示された〔FUJITSU TCP/IP DPU ポートの設定〕ダイアログボックスの IP アドレスと、機能設定リストの IP アドレスを比較する（機能設定リストのプリント方法は、「レポート / リストを印刷する」（163 ページ）を参照してください）。	

原因	確認方法	処置
ホストから印刷指示をしたあと、本プリンタの電源が切れたり、電源が入っていない本プリンタへホストから印刷を指示した。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。 本プリンタの電源が入っているか調べる。	本プリンタの電源を入れる。
本プリンタに対して、多数のホストから同時同時に印刷を指示している。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。	なし（自動的に印刷が再開されます）。
パソコンのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	「印刷不可状態（SpoolError）」と表示される。〔マイコンピュータ〕を開き、Windows 95/98/Meがインストールされているディスク（例:Cドライブ）を右クリックする。表示されたメニューから〔プロパティ〕を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、〔プリンタ〕ウィンドウの〔ドキュメント〕メニューの〔一時停止〕を選択し、停止状態を解除する（印刷が再開されます）。

Windows NT4.0、Windows 2000の場合

印刷されないとき

原因	確認方法	処置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機のIPアドレスが正しいかどうか調べてもらう。	本プリンタに、正しいIPアドレスを設定する。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	オペレータパネルのディスプレイでエラーが表示されていないか確認する。	電源スイッチを入れ直す。
ホストと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	ホストと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

TCP/IP(lpr)の注意と制限

TCP/IP（lpr）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

設定について

本プリンタ側の設定について

・IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
・ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。

ホスト側の設定について

・IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
・NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IPアドレスなど）の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

印刷するとき

あるホストから印刷要求を受け付けていた場合、別のホストからの印刷要求を受け付けることができません。

ホストのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

ホストのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合、本プリンタ側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本プリンタの受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切/入してください。

ガイド　本プリンタの受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、オペレータパネルから操作できます。操作方法は、「印刷を中止する/印刷指示したジョブの状態を確認する」(234ページ)、および「印刷データを強制排出させる」(333ページ)を参照してください。

印刷データを強制的に排出させる

本プリンタが受信しているすべてのジョブを実行して印刷します。
この操作によって、印刷データの受信を中断し、受信バッファを空の状態にすることができます。

参照　本プリンタのすべてのジョブを消去する方法もあります。消去する方法については、「印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」（234 ページ）を参照してください。

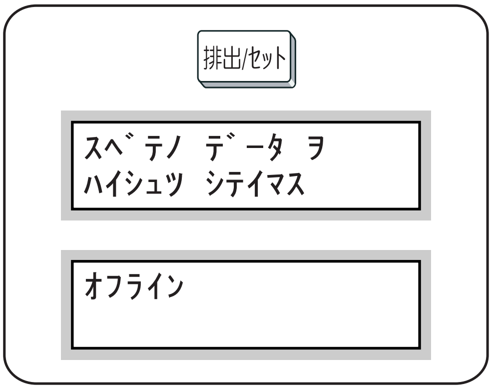


1　*左記のディスプレイ状態で〔オンライン〕スイッチを押す*

オフライン状態になります。

ガイド

〔オンライン〕スイッチを押すと、本プリンタは自動的にデータの受信ができない状態になります。



2　*〔排出／セット〕スイッチを押す*

印刷が開始されます。
すべてのジョブを実行して印刷すると、【ポーズ　シテイマス】の表示になります。

3　〔オンライン〕スイッチを押す

【プリントデキマス】の表示になります。

ガイド

パラレルインタフェースの場合、手順１の〔オフライン〕スイッチを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〔排出／セット〕スイッチを押したあとに新しい印刷ジョブとして認識され、手順４のオフライン解除後、新しい印刷ジョブとして処理されます。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

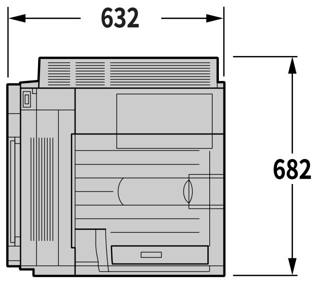
プリンタの仕様

基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

本体

項　目	内　容
印刷方式	マイクロタンデムレーザーゼログラフィー
ウオームアップタイム	電源投入後、45秒以内
印刷速度 （モノクロ / カラー）	用紙トレイ1から給紙 片面：22枚/分（A4縦セット時)、16枚/分（A4横セット時)、13枚/分（B4)、11枚/分（A3) 両面：18枚/分（A4縦セット時、10枚/分（A4横セット時)、9枚/分（B4)、8枚/分（A3)
	手差しトレイから給紙 普通紙：片面16枚/分（A4縦セット時)、11枚/分（A3) 両面16枚/分（A4縦セット時)、8枚/分（A3) OHPフィルム：8枚/分（A4縦セット時) 厚紙1/厚紙2/ラベル紙：8枚/分（A4縦セット時)、5枚/分 はがき：8枚/分
解像度	23.6ドット/mm（600dpi）
用紙サイズ	用紙トレイ1～4：A3～A5 手差しトレイ： はがき～A3、幅12インチ（305mm）（ガイド移動時） 不定形：短辺：100mm～305mm、長辺：140mm～482mm
使用環境条件	温度：10℃～32℃ 湿度：15%～85%RH（ただし結露しないこと）
電源	100V・15A、50/60Hz共用
消費電力	最大：1050W以下、稼動時平均：485W以下 スリープモード時：5W以下
外形寸法	標準モデル： 幅632mm×奥行682mm×高さ493mm
	標準＋拡張給紙ユニット-A（1トレイ）： 幅632mm×奥行682mm×高さ857mm
	標準＋拡張給紙ユニット-B（3トレイ）： 幅632mm×奥行682mm×高さ857mm
質量	約82kg（消耗品含む）
インタフェース	標準：Ethernet（100Base-TX/10Base-T） 双方向パラレル（IEEE1284-B）

項　目	内　容
給紙容量	標準モデル： 　用紙トレイ 1（560 枚）、手差しトレイ（100 枚）
	標準＋拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）： 　用紙トレイ 1、2（各 560 枚）、手差しトレイ（100 枚）
	標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）： 　用紙トレイ 1、2（各 560 枚）、用紙トレイ 3（大容量）（1000 枚）、 　用紙トレイ 4（大容量）（1300 枚）、手差しトレイ（100 枚）
最大給紙容量	3,520 枚（560 ＋ 560 ＋ 1000 ＋ 1,300 ＋ 100） ※標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）の場合
出力トレイ容量	約 400 枚（A4 縦セット時、64g/m^2）
両面印刷	あり（両面ユニット装着の場合）
メモリ容量	標準：32MB
	オプション：128MB 増設メモリ
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、 　欧文 15 書体）
PDL	Windows 専用
対応プロトコル	セントロ：Compatible.Nibble Ethernet：TCP/IP(lpr、IPP、DHCP、HTTP)、UDP/IP(SNMP)
ドライバ対応 OS	Windows 95/98/Me、Windows 2000/NT4.0 日本語版
稼動音	稼動時：54dB（A）、待機時：25dB（A）
製品占有寸法	標準モデル： 　幅 632mm ×奥行 682mm 　（手差し含まず）  単位：mm
質量 （用紙、オプションを除く）	標準モデル：82kg（消耗品含む）
	標準＋拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）：102kg（消耗品含む）
	標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）：121kg（消耗品含む）
耐用期間 *1	30 万枚（A4 横）または 5 年（8 時間 / 日）のいずれか早いほう

*1：・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
・24 時間運用の場合は、耐用期間は 5 年より短くなります。
・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用時間が 30 万枚より短くなります。
・耐用期間中でも次の商品は、摩耗するため、交換することをお勧めします。

寿命部品	交換目安※ 1
ヒューザ	10 万ページ
トレイフィードローラ（3 個）	10 万枚
手差しフィードローラ	10 万枚
2nd BTR	10 万ページ
ベルトクリーナ	10 万ページ

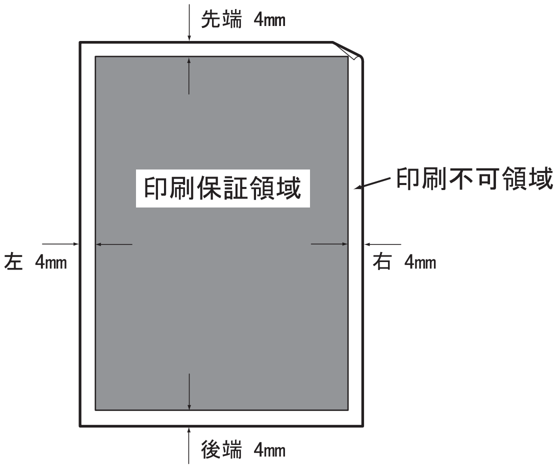
※ 1：片面印刷時　1 枚＝ 1 ページ
　　両面印刷時　1 枚＝ 2 ページ

付

印刷できる領域

標準印字エリア

【A3 ～ A5、はがき、OHP フィルム、ラベル紙、ユーザ定義用紙の場合】
用紙の各端より、約 4mm を除く領域が印刷できる領域です。



【長尺用紙の場合】
用紙の各端より、約 4mm を除く領域が印刷できる領域です。
用紙の先端および後端より約 4mm、左端および右端より約 9mm を除く領域が印刷を保証できる領域です。

内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。

アウトラインフォント

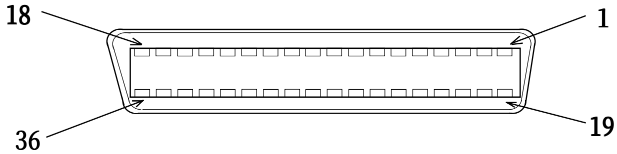
	書体
和文	平成明朝〔Wt.3〕
	平成角ゴシック〔Wt.5〕
欧文	平成明朝（ローマン）
	平成角ゴシック（サンセリフ）
	平成角ゴシック（FMT）
	Enhanced Classic
	Enhanced Modern
	CS Times Roman
	CS Times Italic
	CS Times Bold
	CS Times Bold Italic
	CS Triumvirate Regular
	CS Triumvirate Italic
	CS Triumvirate Bold
	CS Triumvirate Bold Italic
	CS Courier
	CS Courier Oblique
	CS Courier Bold
	CS Courier Bold Oblique
	CS Symbol

パラレルインタフェース

本プリンタに標準で装備されているパラレルインタフェース(セントロニクス準拠インタフェース/IEEE1284規格準拠)について説明します。

コネクタの形状

プリンタには、IEEE1284-Bタイプのコネクタが装備されています。コネクタの形状は、次のようになっています。



ピン配置

双方向がOFFのとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

ピン番号	信号名称	I/0
1	nStrobe	I
2	Data1	I
3	Data2	I
4	Data 3	I
5	Data 4	I
6	Data 5	I
7	Data 6	I
8	Data 7	I
9	Data 8	I
10	nAck	0
11	Busy	0
12	PError	0
13	Select	0
14	nAutoFd	I
15	(RESERVED)	—
16	Logic GND	—
17	Chassis Gnd	—
18	Peripheral Logic High	0

ピン番号	信号名称	I/0
19	Signal Ground	—
20	Signal Ground	—
21	Signal Ground	—
22	Signal Ground	—
23	Signal Ground	—
24	Signal Ground	—
25	Signal Ground	—
26	Signal Ground	—
27	Signal Ground	—
28	Signal Ground	—
29	Signal Ground	—
30	Signal Ground	—
31	nInit	I
32	nFault	0
33	(RESERVED)	—
34	(RESERVED)	—
35	(RESERVED)	—
36	nSelectIn	I

ガイド

- I/0はプリンタから見てIが入力信号、0が出力信号、—は信号でないことを表しています。
- 双方向がONのときの結線は、IEEE1284-Bタイプコネクタの規格に準拠しています。

信号の意味

双方向がOFFのとき

・nStrobe(Pin No.1)
Data1～8を読み込むための同期信号、LOWアクティブのパルスが必要です。

・Data1～8(Pin No.2～9)
8 bits パラレルのData入力でData1がLSB（最下位bit ）、Data8がMSB（最上位bit ）です。

・nAck(Pin No.10)
受信DATAの取り込み完了を表すLOWアクティブのパルス信号です。

・Busy(Pin No.11)
プリンタがDATA受信不可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。

・PError(Pin No.12)
用紙がなくなったことを表すHIGHアクティブの信号です。

・Select(Pin No.13)
データ受信可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。

・nAutoFd(Pin No.14)
双方向がONのときのための信号です。

・Chassic Gnd(Pin No.17)
フレームグランドに接続されます。

・Peripheral Logic High(Pin No.18)
プリンタ側の+5V電圧です。

・Signal Ground(Pin No.19～30)
各信号用グランドに接続されます。

・nInit(Pin No.31)
プリンタの初期化を要求するLOWアクティブのパルス信号です。

・nFault(Pin No.32)
プリンタに紙づまりなどの障害が発生したことを表すLOWアクティブの信号です。

・nSelectIn(Pin No.36)
双方向がONのときのための信号です。

双方向がONのとき

各信号線はIEEE 1284の規格に準拠しています。

付

注意 / 制限事項について

本体の注意と制限

ここでは、本プリンタを使用するうえでの注意、および制限について説明します。

印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果となることがあります。この場合、メモリの増設をお勧めします。

・両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
・ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

太字指定(ボールド)のフォントの印刷について

太字指定と標準指定のフォントで印刷時の区別がつきにくい場合があります。
特に大きなサイズのフォントでその傾向が強くなります。完全に区別をつけたい場合は、フォントのスタイルを斜体に変更したり、フォントサイズや色を標準のものと変えることをお勧めします。

TCP/IP（lpr）

TCP/IP（lpr）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本プリンタ側の設定について

・IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
・ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。

ホスト側の設定について

IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。

電源を切るとき

本プリンタの電源を切るときは、次の点に注意してください。

印刷中のデータを含め、本プリンタの受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。

ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがホスト上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

あるホストから印刷要求を受け付けていた場合、別のホストからの印刷要求を受け付けることができません。

ホストのIPアドレスやコンピュータ名を変更した場合

ホストのIPアドレスやコンピュータ名を変更した場合、本プリンタ側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本プリンタの受信バッファに印刷データがない状態で、本プリンタの電源を切/入してください。

ガイド

本プリンタの受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、オペレータパネルから操作できます。操作方法は、「印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.75)、「印刷データを強制的に排出させる」(P.233)を参照してください。

用語集

CMYK

カラー印刷などでの色の表現方法です。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の4色に分解し、その4種類の色を重ね合わせて印刷します。

DPI

Dot Per Inchの略で、1インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

ICM

Image Color Matchingの略で、Windows 98/Me/2000で採用されている色管理用ソフトウェアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンタによる印刷結果の色を一致させます。

IPP

Internet Printing Protocolの略で、RFCとして規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコルHTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LANを超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

lpd

Line Printer Daemonの略で、ホストからのlpr(LPR)印刷要求に対し、受信制御を行います。

lpr(LPR)

Line Printer Remoteの略で、TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows 2000/NT4.0では、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

NVメモリ

電源を切ってもプリンタの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリです。

RAM

Random Access Memoryの略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリ）です。

ROM

Read Only Memoryの略で、情報の読み出し専用の記憶装置（メモリ）です。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットやイントラネットで使われている最も代表的なプロトコル(通信の手段）の名称。正確には伝送制御プロトコル/インターネットプロトコルといいます。

印字領域

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

解像度

画像の細かさを表します。通常1インチあたりのドット数（単位はdpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

階調

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

カット紙

A4、B5などの定型サイズの用紙のことです。

共通メニュー

メーター確認、クイックセットアップ、レポート/リスト、システム設定、ネットワーク/ポート設定、メモリ設定、初期化/データ削除、プリント設定、階調補正から構成され、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

グラデーション

写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

受信バッファ

バッファとはホストから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリ容量を増やすことによって、ホストの解放を早くすることができます。

初期値

工場出荷時、およびNVメモリ初期化時の設定です。

ジョブ

ひとまとまりの印刷データのことです。印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。

スクリーン

プリンタなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

スムージング

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

プロトコル

データ通信を行うために必要な通信規約です。

プリントページバッファ

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを、プリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より６か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。
- 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。詳細は、添付の修理・サービス網一覧表をご覧ください。

  「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

  0120-950-222(フリーダイヤル)
- ハードウェア修理相談センターの連絡先は、下記のとおりです。

  「ハードウェア修理相談センター」

  0120-422-297(フリーダイヤル)

  受付時間 ： 平日 9:00 ～ 17:00

  (土曜、日曜、祝日および当社指定の休日を除く)

付

索 引

ス

セ

ソ

タ

ツ

テ

ト

ナ

ネ

ハ

ヒ

フ

ページプリンタ　XL-C7300

取扱説明書

B5WY-0181-01-00

発行日　　2001年6月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan